

第 3 章

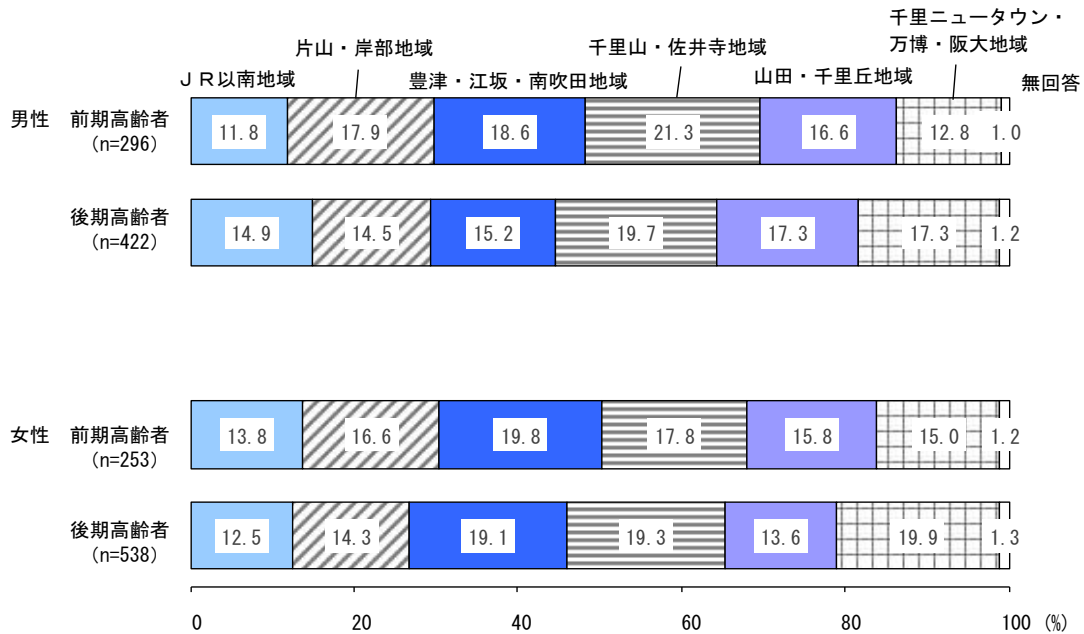
高齡者調查結果

第3章 高齢者調査結果

1. 回答者の属性

(1) 圏域、性別、年齢

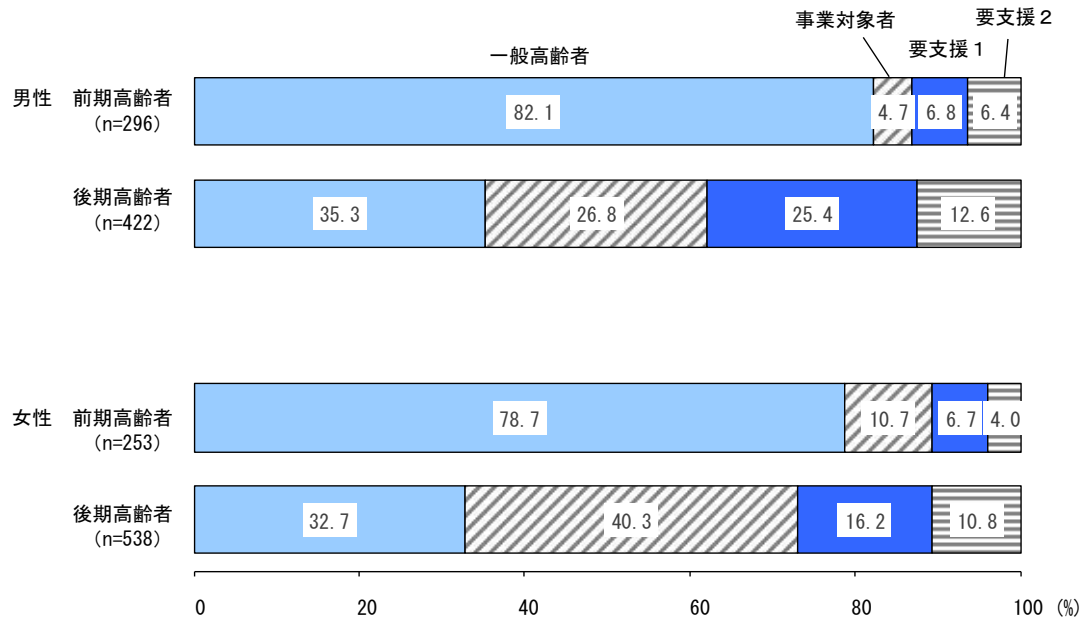
- 回答者の属性は、男性が46.5%、女性が50.9%となっています。
- 性・年齢別では、男性前期高齢者が18.9%、男性後期高齢者が26.9%、女性前期高齢者が16.1%、女性後期高齢者が34.3%となっています。



		母数 (n)	母数の構成比	圏域						
性別	年齢			JR以南地域	片山・岸部地域	南豊吹津・江坂・	千里山・佐井寺地域	山田・千里丘地域	万博・千里ニュータウン・阪大地域	無回答
全体		1,567	100.0	13.0	15.1	17.6	19.1	15.1	16.7	3.3
性別	男性	728	46.5	13.9	15.8	16.5	20.2	16.9	15.7	1.1
	女性	797	50.9	12.8	15.1	19.2	18.9	14.2	18.3	1.5
年齢	65～69歳	246	15.7	13.0	17.9	20.3	18.7	15.0	13.8	1.2
	70～74歳	304	19.4	12.5	16.8	18.4	20.4	17.1	13.8	1.0
	75～79歳	298	19.0	13.1	13.8	15.4	23.8	16.4	17.1	0.3
	80～84歳	336	21.4	14.0	17.0	19.3	15.8	14.6	17.0	2.4
	85～89歳	239	15.3	12.6	10.9	18.4	21.8	11.7	23.0	1.7
	90歳以上	96	6.1	14.6	16.7	14.6	12.5	21.9	19.8	-
性・年齢	男性 前期高齢者	296	18.9	11.8	17.9	18.6	21.3	16.6	12.8	1.0
	男性 後期高齢者	422	26.9	14.9	14.5	15.2	19.7	17.3	17.3	1.2
	女性 前期高齢者	253	16.1	13.8	16.6	19.8	17.8	15.8	15.0	1.2
	女性 後期高齢者	538	34.3	12.5	14.3	19.1	19.3	13.6	19.9	1.3

※ 全体の数には、性別や年齢について無回答のものも含まれます。

(2) 認定該当状況



単位：%

		母数 (n)	認定該当状況				(再掲)
			一般 高齢 者	事 業 対 象 者	要 支 援 1	要 支 援 2	要 支 援 1 ・ 2
全体		1,567	50.1	25.0	15.5	9.4	25.0
性 ・ 年 齢	男性 前期高齢者	296	82.1	4.7	6.8	6.4	13.2
	男性 後期高齢者	422	35.3	26.8	25.4	12.6	38.0
	女性 前期高齢者	253	78.7	10.7	6.7	4.0	10.7
	女性 後期高齢者	538	32.7	40.3	16.2	10.8	27.0
圏 域	J R以南地域	204	55.4	17.6	18.6	8.3	26.9
	片山・岸部地域	237	52.7	22.8	15.2	9.3	24.5
	豊津・江坂・南吹田地域	276	47.8	27.5	15.6	9.1	24.7
	千里山・佐井寺地域	299	49.2	25.4	15.7	9.7	25.4
	山田・千里丘地域	237	49.8	27.4	15.2	7.6	22.8
	千里ニュータウン・万博・阪大地域	262	50.4	24.0	14.1	11.5	25.6

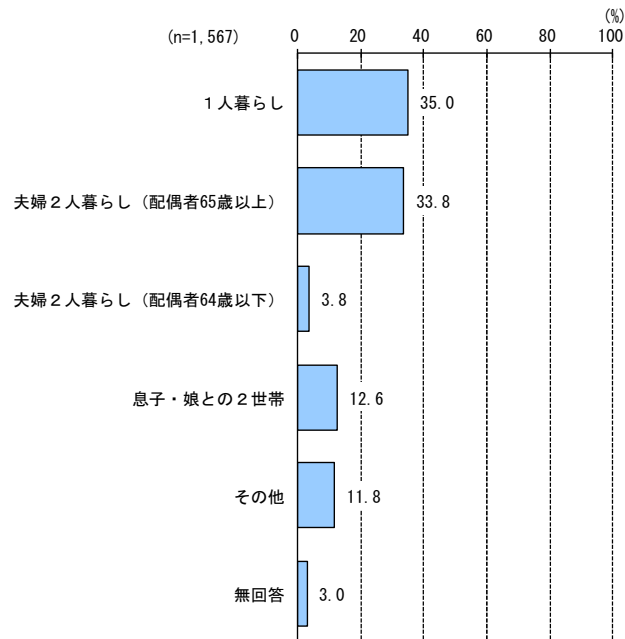
2. ご家族や生活状況について

(1) 家族構成

●問 1.1 家族構成をお教えてください。(1つだけ)

○ 家族構成について、「1人暮らし」が35.0%で最も多く、次いで「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が33.8%、「息子・娘との2世帯」が12.6%となっています。

【家族構成】



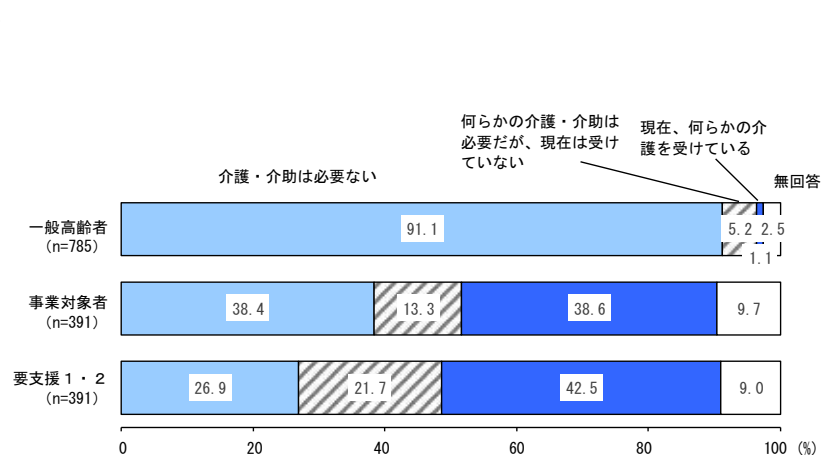
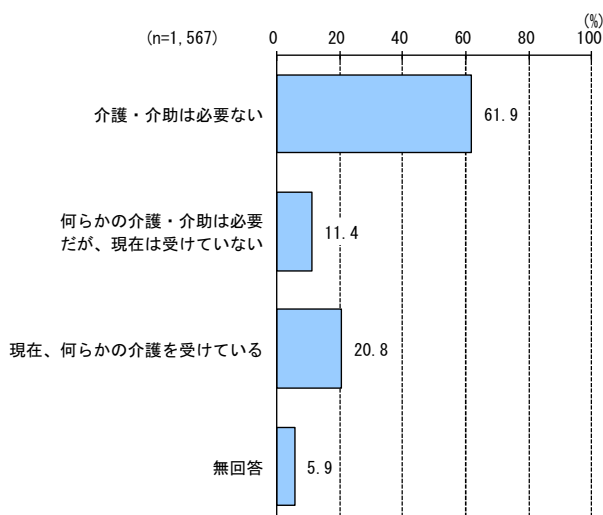
(2) 介護・介助の必要性

●問 1.2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つだけ)

○ 介護・介助の必要性について、「介護・介助は必要ない」が61.9%で最も多く、次いで「現在、何らかの介護を受けている」が20.8%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が11.4%となっています。

【介護・介助の必要性】

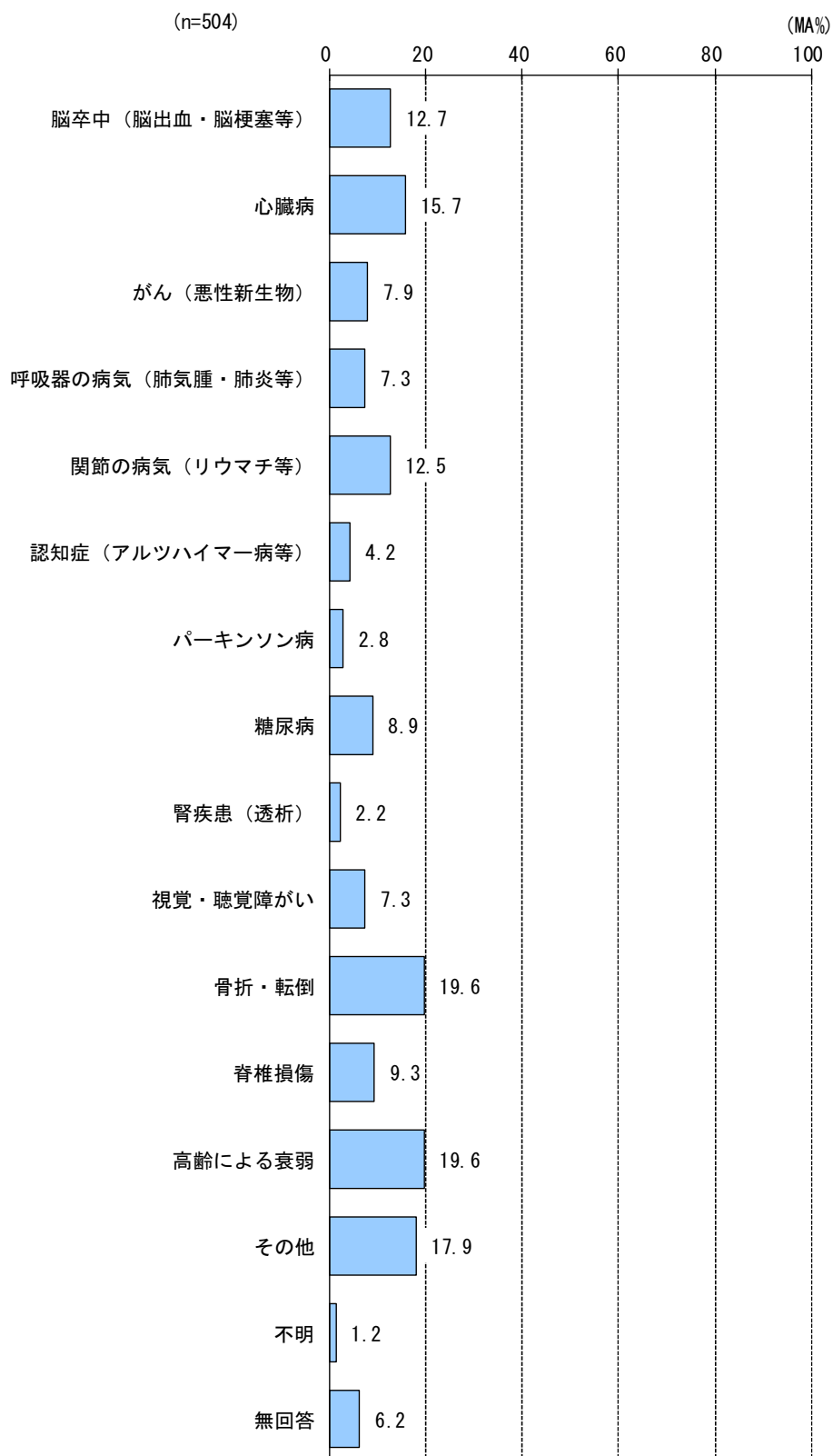
【認定該当状況別】



●問 1.2-1 (問 1.2 で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている」と答えた方(介護・介助が必要な方)のみ) 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(いくつでも)

○ 介護・介助が必要になった主な原因について、「骨折・転倒」「高齢による衰弱」が 19.6%で最も多く、次いで「心臓病」が 15.7%となっています。

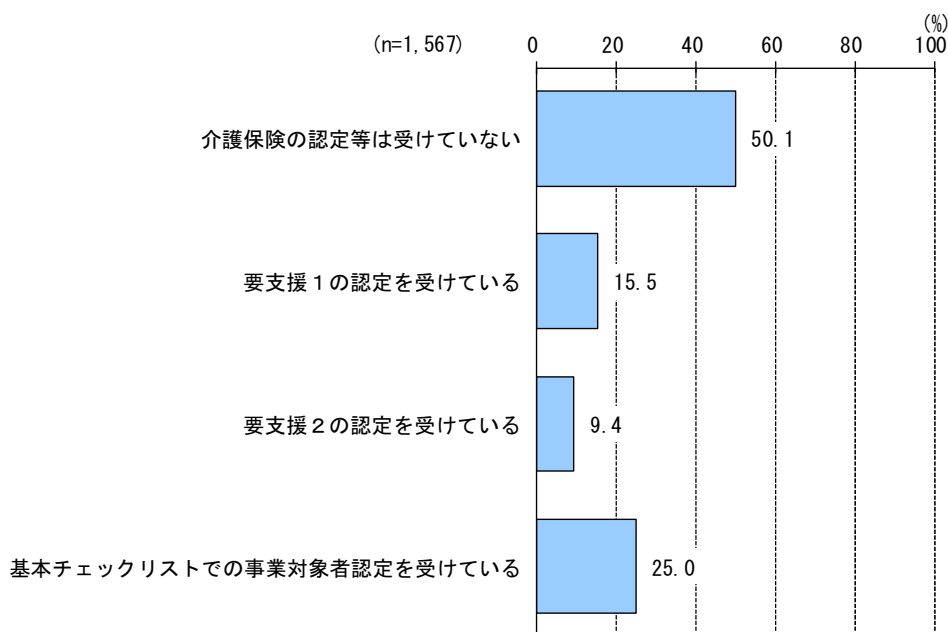
【介護・介助が必要になった主な原因(MA)】



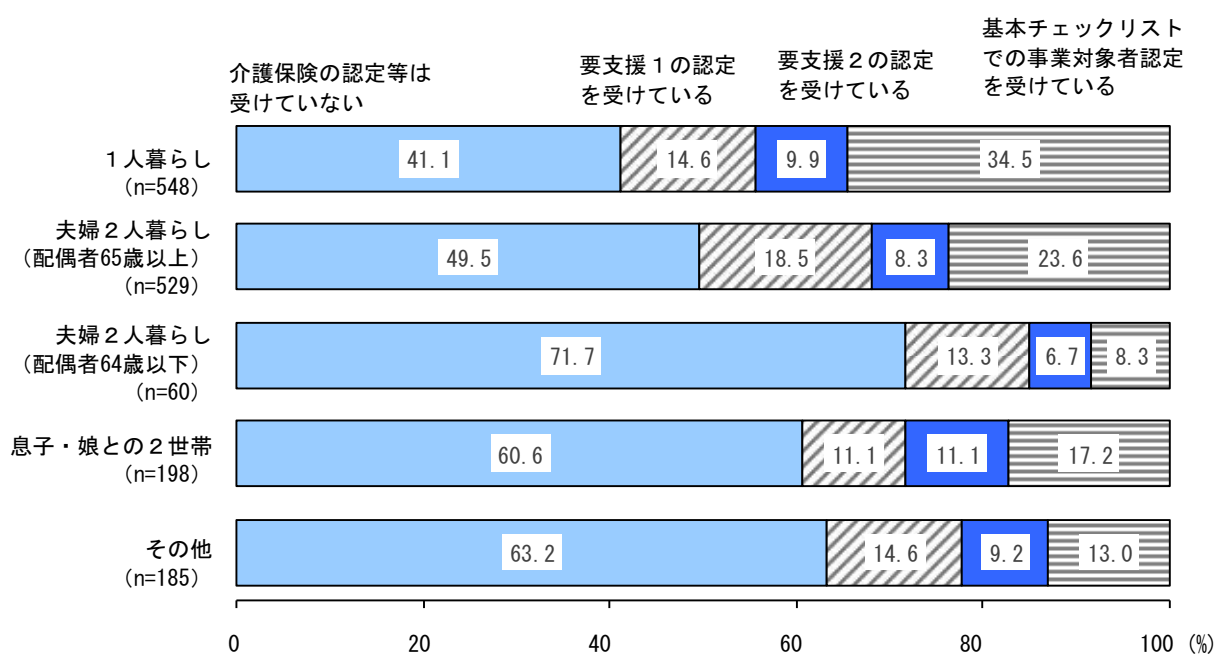
●問 1.3 あなたの現在の状態を教えてください。(1つだけ)

- 現在の状態について、「介護保険の認定等は受けていない」が50.1%、「要支援1の認定を受けている」が15.5%、「要支援2の認定を受けている」が9.4%、「基本チェックリストでの事業対象者認定を受けている」が25.0%となっています。
- 家族構成別にみると、1人暮らしでは、「介護保険の認定等は受けていない」が41.1%と他の家族構成に比べて少なくなっており、半数以上の人が必要支援認定者または事業対象者となっています。

【現在の状態】



【家族構成別】



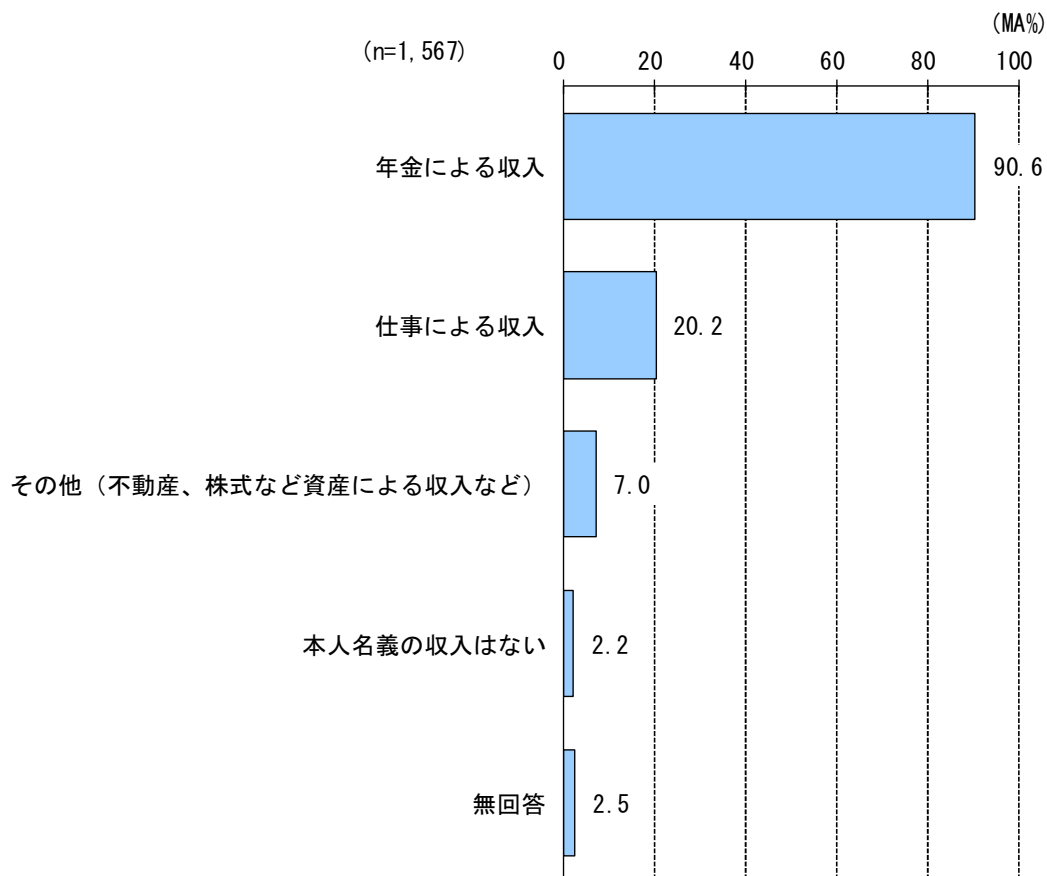
(3) 暮らしの状況

① 収入と仕事

●問 1.4 あなたに収入はありますか。(いくつでも)

- 収入の種類について、「年金による収入」が90.6%で最も多く、次いで「仕事による収入」が20.2%、「その他（不動産、株式など資産による収入など）」が7.0%となっています。
- 性・年齢別にみると、「仕事による収入」は男性前期高齢者が39.2%で最も多く、次いで女性前期高齢者が30.0%となっています。一方で、女性後期高齢者は7.1%と最も少なく、「年金による収入」のみの方が多くなっています。

【収入の種類(MA)】

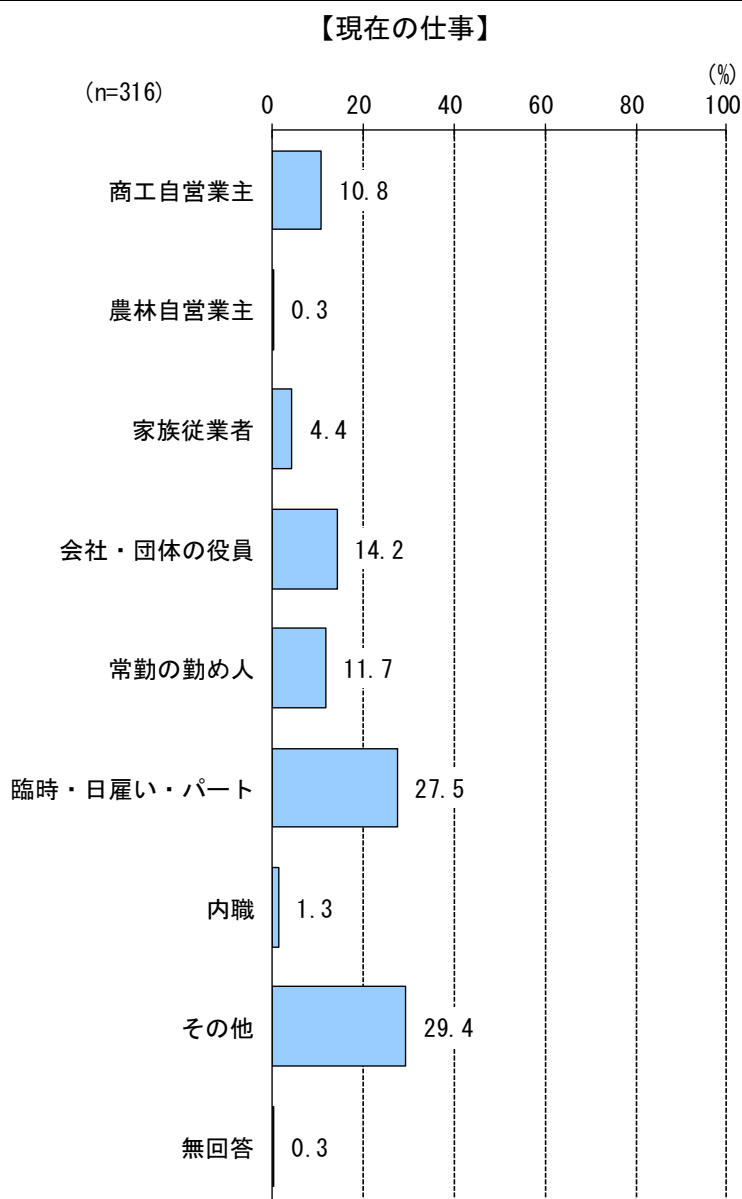


単位：%

		母数 (n)	収入の種類(MA)				
			年金による収入	仕事による収入	入式 など (株)	その 他 (不 動 産、 株)	い 本人 名義 の 収入 は な い
全体		1,567	90.6	20.2	7.0	2.2	2.5
性・ 年齢	男性 前期高齢者	296	84.1	39.2	7.8	4.7	2.4
	後期高齢者	422	93.1	16.1	7.6	1.9	1.7
	女性 前期高齢者	253	92.1	30.0	6.3	0.8	0.8
	後期高齢者	538	95.2	7.1	6.5	1.5	1.7

●問 1.4-1 (問 1.4 で「仕事による収入」と答えた方(仕事による収入がある方)のみ) 現在のお仕事をお答えください。(1つだけ)

○ 現在の仕事について、「臨時・日雇い・パート」が27.5%で最も多く、次いで「会社・団体の役員」が14.2%、「常勤の勤め人」が11.7%となっています。



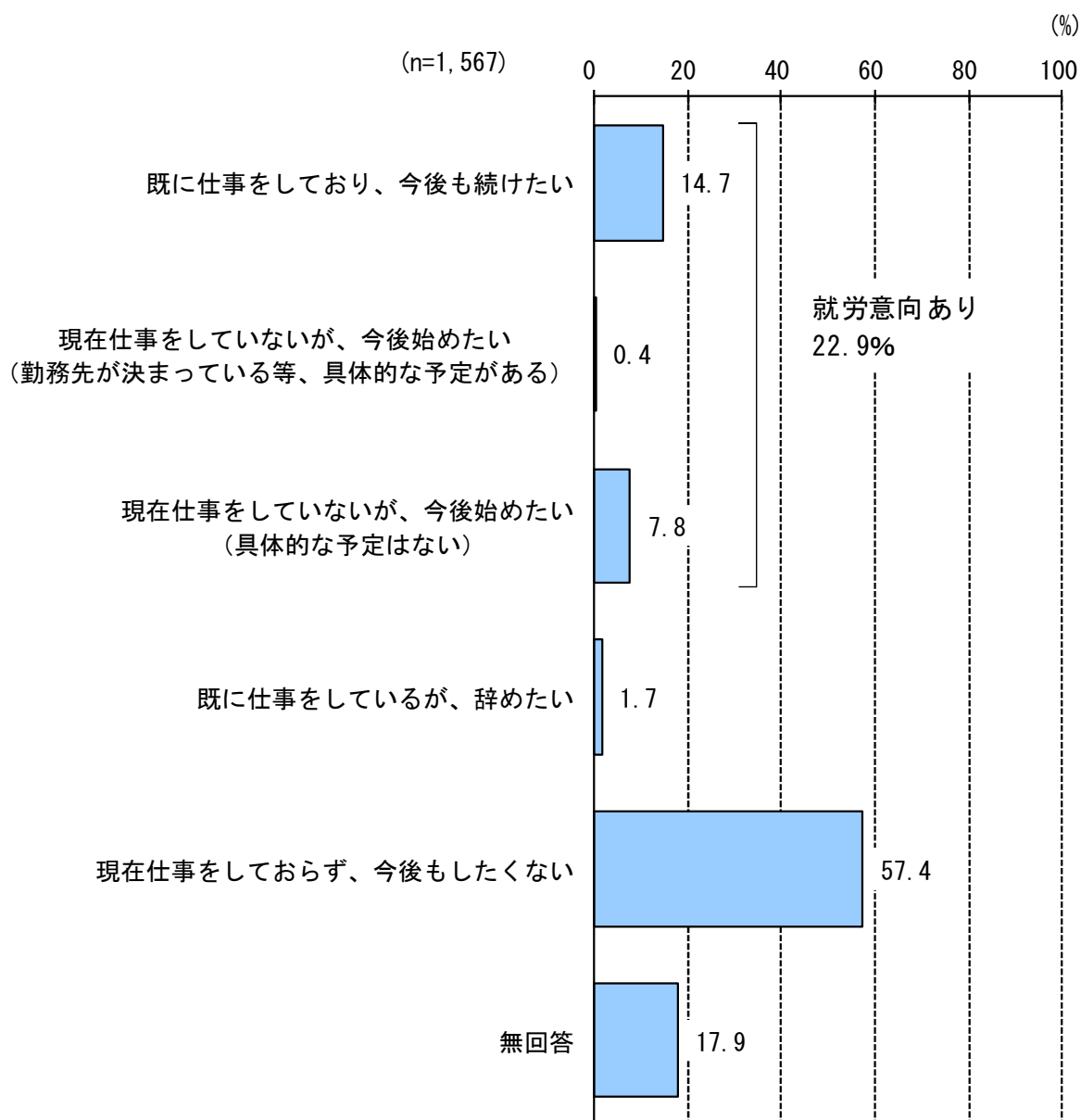
単位：%

		母数 (n)	現在の仕事								
			商工自営業主	農林自営業主	家族従業者	会社・団体の役員	常勤の勤め人	ト臨時・日雇い・パート	内職	その他	無回答
全体		316	10.8	0.3	4.4	14.2	11.7	27.5	1.3	29.4	0.3
性・年齢	男性 前期高齢者	116	15.5	0.9	-	15.5	22.4	26.7	0.9	18.1	-
	後期高齢者	68	11.8	-	-	17.6	5.9	11.8	2.9	50.0	-
	女性 前期高齢者	76	5.3	-	10.5	7.9	6.6	56.6	-	11.8	1.3
	後期高齢者	38	7.9	-	13.2	15.8	-	5.3	2.6	55.3	-

●問 1.5 今後1年の間に、収入のある仕事をしたいと考えていますか。(1つだけ)

- 今後1年間の就労意向について、「現在仕事をしておらず、今後もしたくない」が57.4%で最も多く、次いで「既に仕事をしており、今後も続けたい」が14.7%、「現在仕事をしていないが、今後始めたい(具体的な予定はない)」が7.8%となっています。
- 「既に仕事をしており、今後も続けたい」「現在仕事をしていないが、今後始めたい(勤務先が決まっている等、具体的な予定がある)」「現在仕事をしていないが、今後始めたい(具体的な予定はない)」を合わせた“就労意向あり”は、22.9%となっています。

【今後1年間の就労意向】

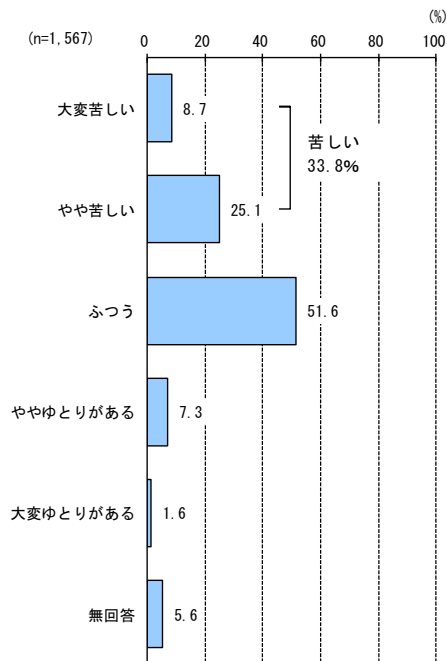


② 経済状況

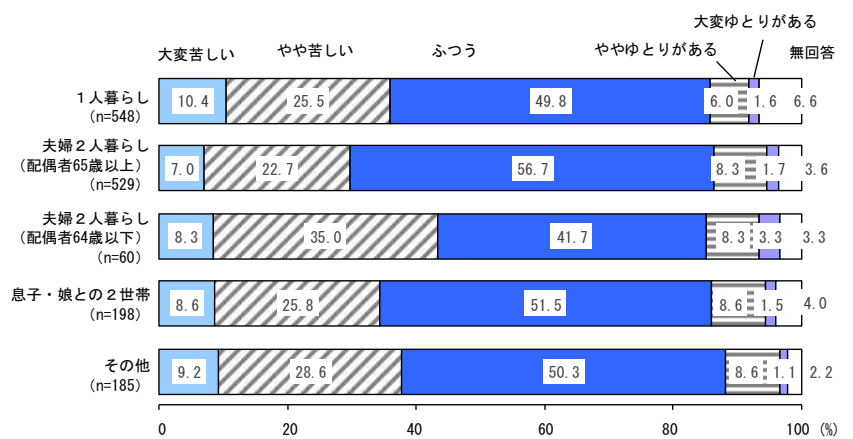
●問 1.6 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つだけ)

- 経済状況について、「ふつう」が51.6%で最も多く、次いで「やや苦しい」が25.1%、「大変苦しい」が8.7%となっています。
- 「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた“苦しい”は、33.8%となっています。
- 家族構成別にみると、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」では、“苦しい”が43.3%となっており、他の家族構成に比べて多くなっています。
- 就労意向別にみると、「現在仕事をしていないが、今後始めたい（具体的な予定はない）」人について、“苦しい”が61.0%となっています。

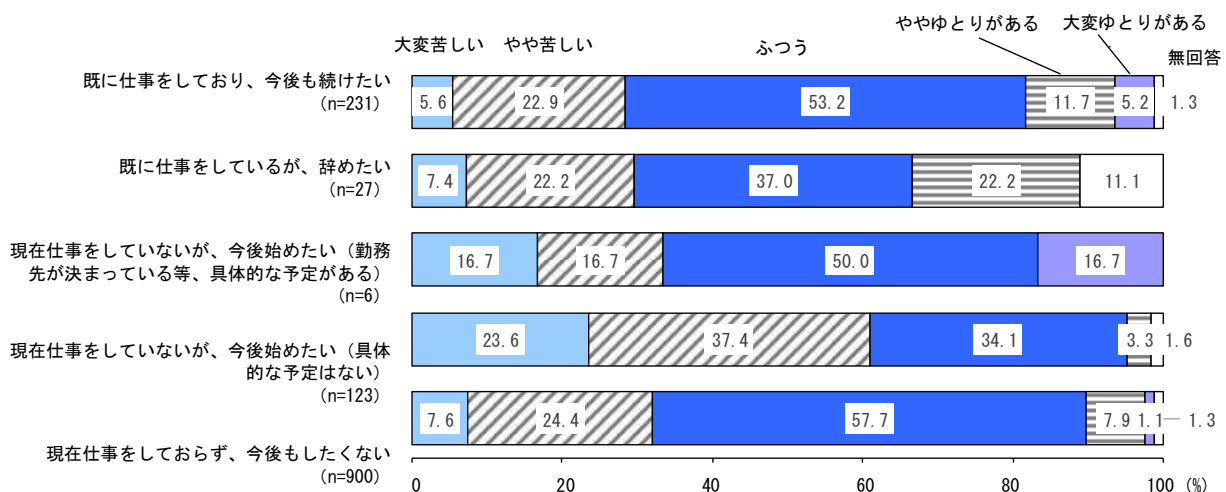
【経済状況】



【家族構成別】



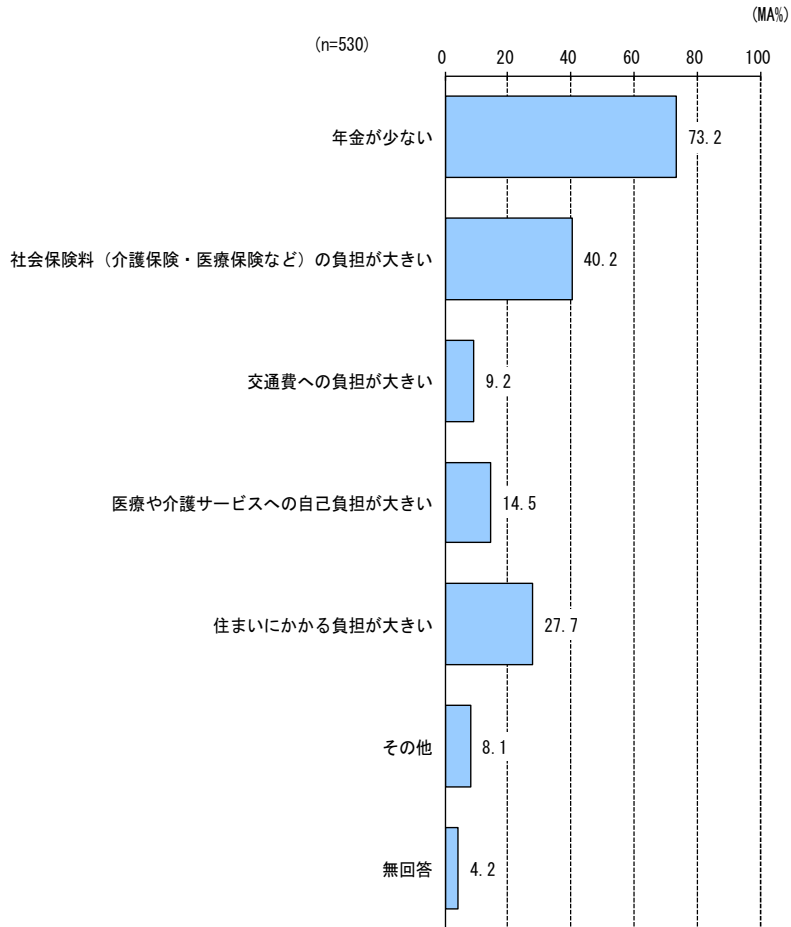
【就労意向別】



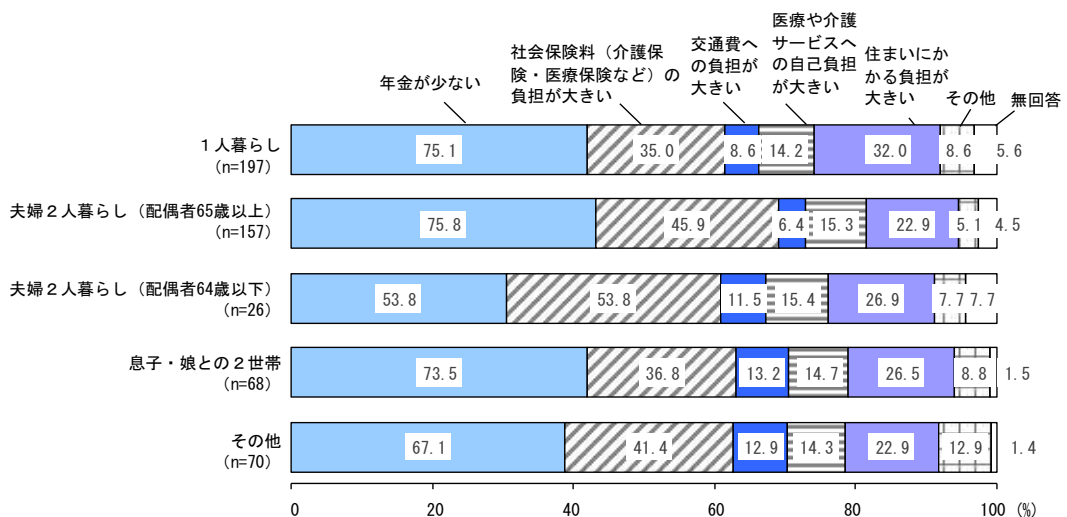
●問 1.6-1 (問 1.6 で「大変苦しい」「やや苦しい」と答えた方(暮らしの状況が経済的に苦しい方)のみ)暮らしの状況が経済的に苦しい理由をお答えください。(いくつでも)

- 暮らしの状況が経済的に苦しい理由について、「年金が少ない」が73.2%で最も多く、次いで「社会保険料(介護保険・医療保険など)の負担が大きい」が40.2%、「住まいにかかる負担が大きい」が27.7%となっています。
- 家族構成別にみると、「1人暮らし」では「住まいにかかる負担が大きい」が32.0%となっており、他の家族構成に比べて多くなっています。

【暮らしの状況が経済的に苦しい理由(MA)】



【家族構成別】



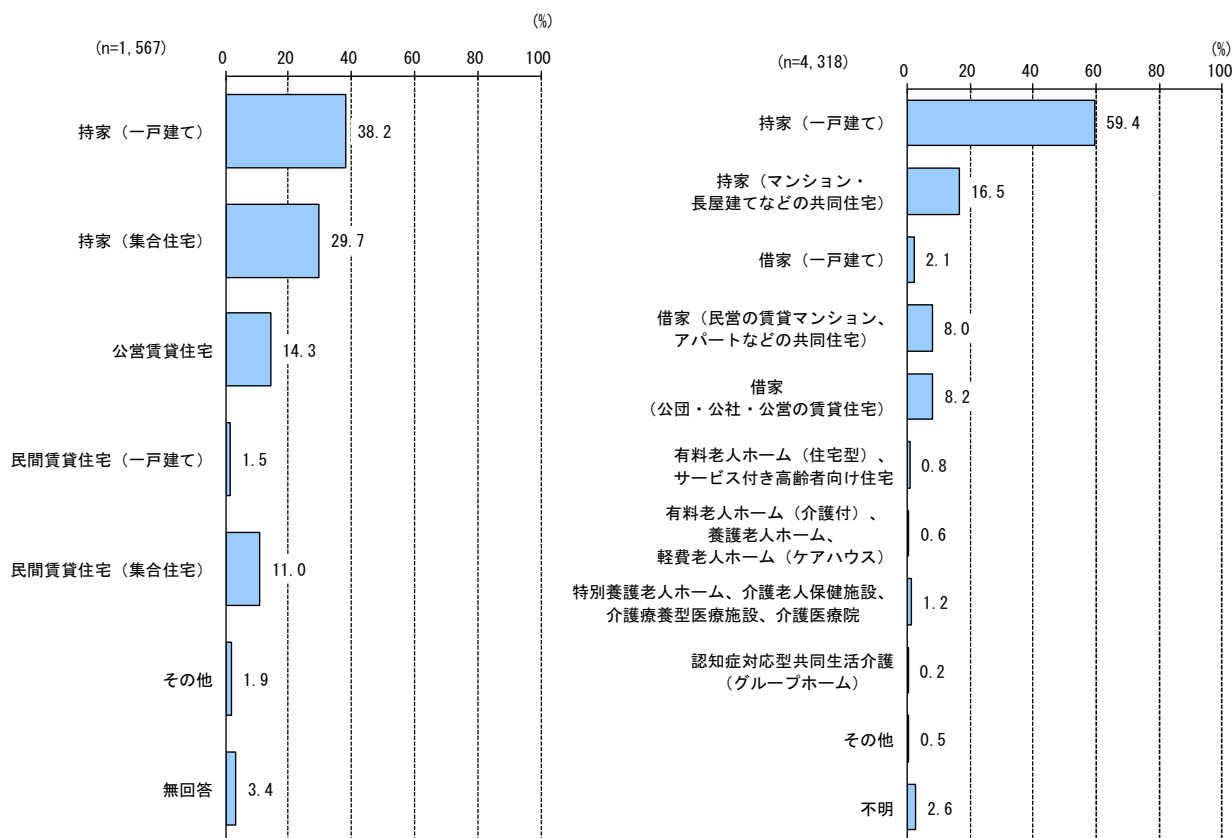
③ 住まいの状況

●問 1.7 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つだけ)

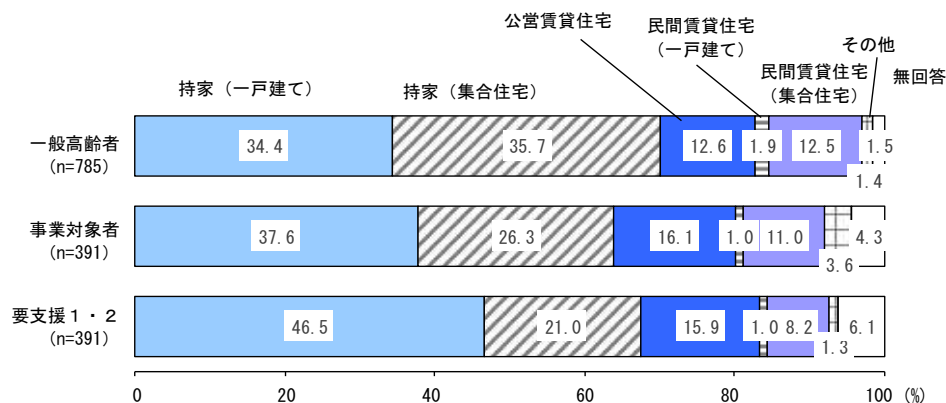
- 住まいについて、「持家（一戸建て）」が38.2%で最も多く、次いで「持家（集合住宅）」が29.7%、「公営賃貸住宅」が14.3%となっています。
- 「持家（一戸建て）」「民間賃貸住宅（一戸建て）」を合わせた“一戸建て”は39.7%、「持家（集合住宅）」「民間賃貸住宅（集合住宅）」を合わせた“集合住宅”は40.7%となっています。
- 大阪府調査と比べると、“一戸建て”が少なく、“集合住宅”が多くなっています。

【住まい】

(大阪府調査)



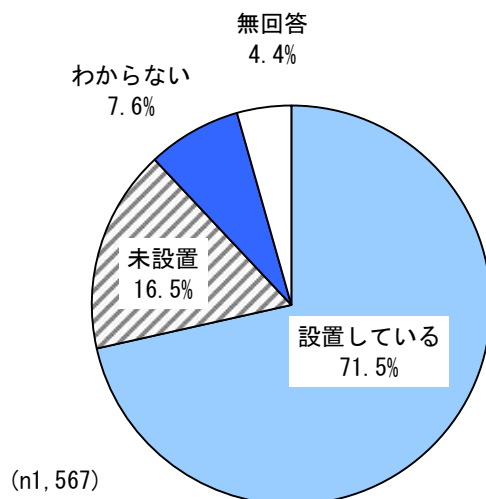
【認定該当状況別】



- 問 1.8 平成 23 年 6 月 1 日から設置が義務付けられている「住宅用火災警報器」を設置していますか。(1つだけ)

○ 住宅用火災警報器の設置状況について、「設置している」が71.5%で最も多く、次いで「未設置」が16.5%、「わからない」が7.6%となっています。

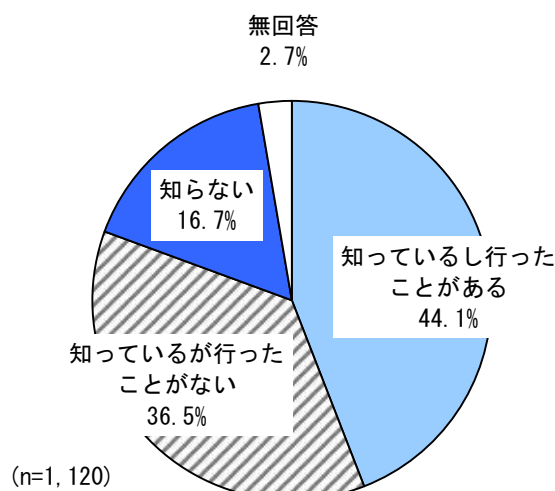
【住宅用火災警報器の設置状況】



- 問 1.8-1 (問 1.8 で「設置している」と答えた方(住宅用火災警報器を設置している方)のみ) 住宅用火災警報器が実際に動くかどうかの確認(作動確認)を定期的に行う必要があることを知っていますか。(1つだけ)

○ 住宅用火災警報器の定期的な作動確認の必要性の周知状況について、「知っているし行ったことがある」が44.1%で最も多く、次いで「知っているが行ったことがない」が36.5%、「知らない」が16.7%となっています。

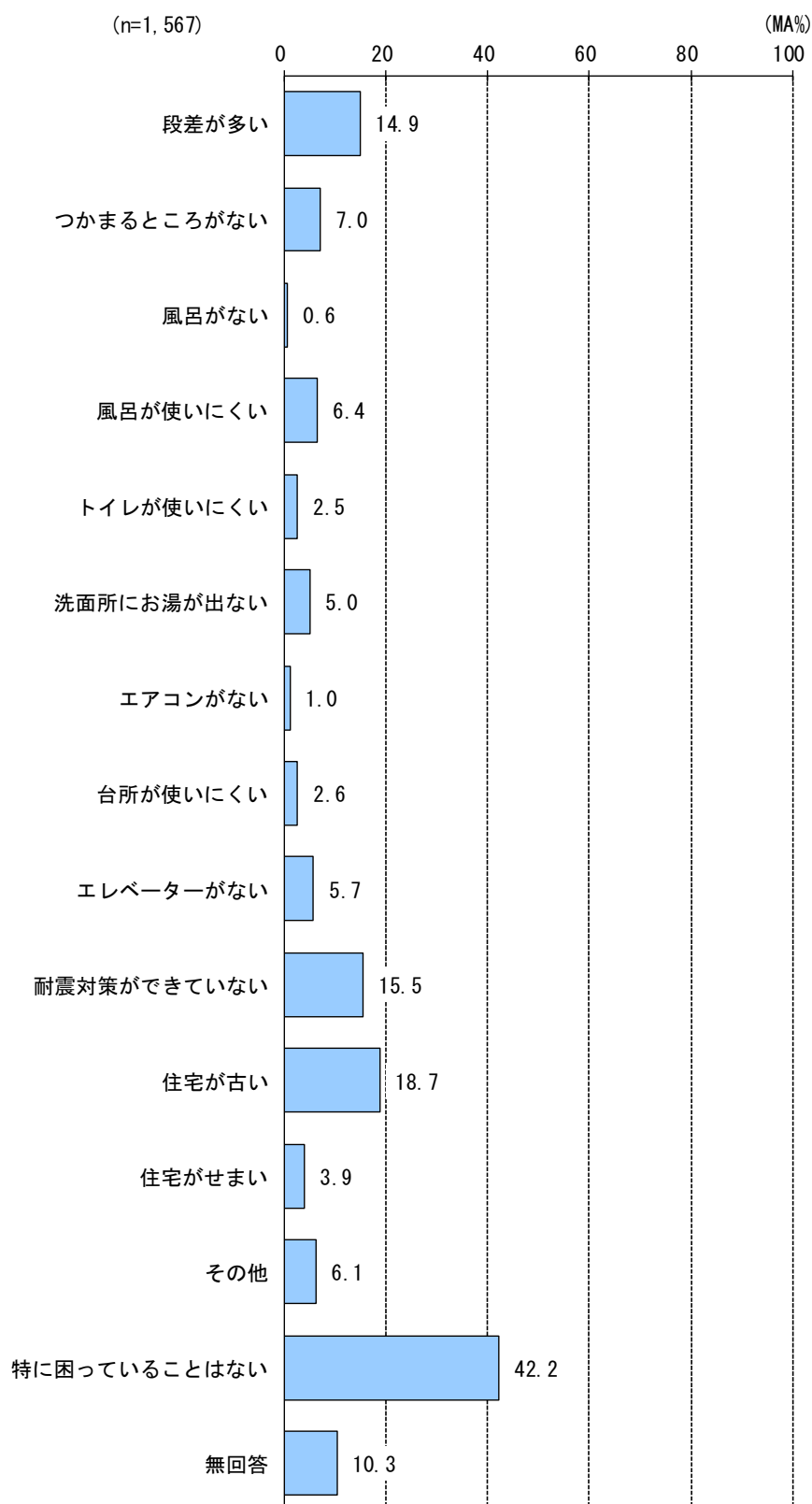
【住宅用火災警報器の定期的な作動確認の必要性の周知状況】



●問 1.9 お住まいで困っていることはありますか。(いくつでも)

○ 住まいで困っていることについて、「特に困っていることはない」と「無回答」を除く 47.5% が住まいで困っていることがあり、困りごととして「住宅が古い」が 18.7% で最も多く、次いで「耐震対策ができていない」が 15.5%、「段差が多い」が 14.9% となっています。

【住まいで困っていること (MA)】



3. からだを動かすことについて

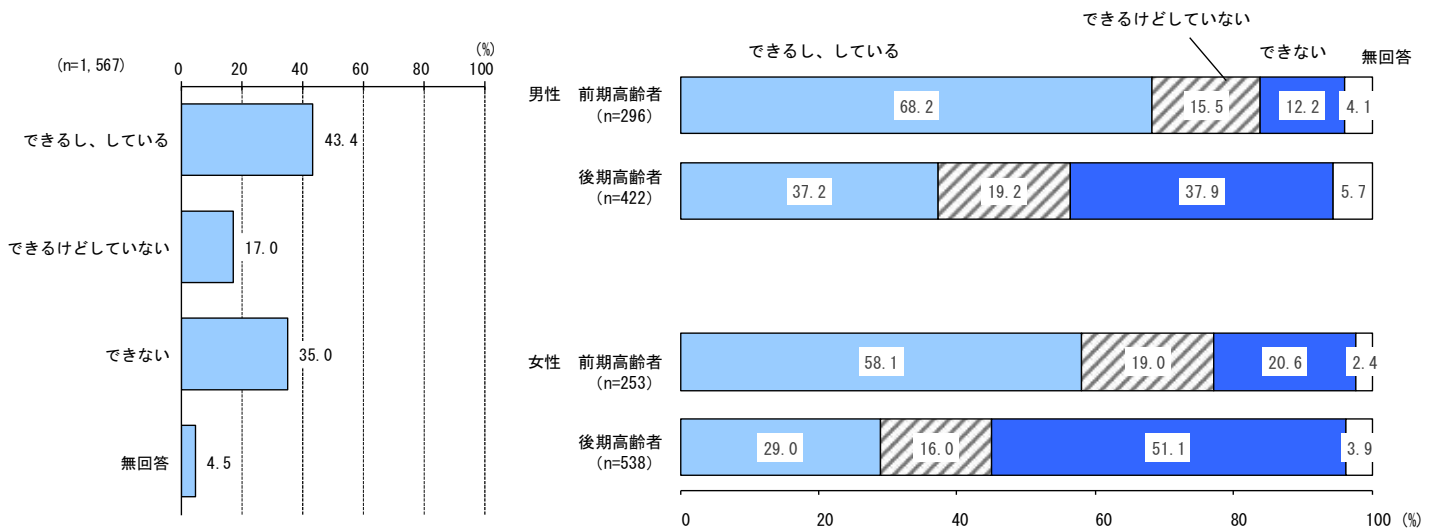
(1) 運動・転倒の状況

●問 2.1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つだけ)

- 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについて、「できるし、している」が43.4%で最も多く、次いで「できない」が35.0%、「できるけどしていない」が17.0%となっています。
- 性・年齢別にみると、後期高齢者では、「できるし、している」人が前期高齢者の半数近くとなっています。

【階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか】

【性・年齢別】

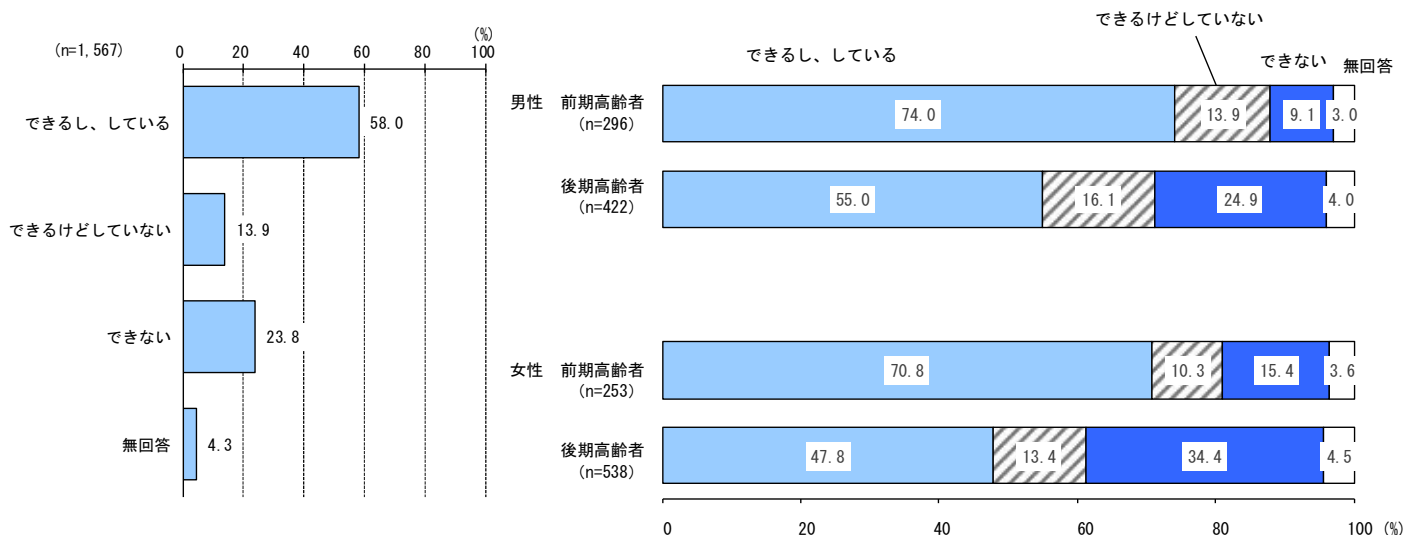


●問 2.2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つだけ)

- 椅子に座った状態からの立ち上がりについて、「できるし、している」が58.0%で最も多く、次いで「できない」が23.8%、「できるけどしていない」が13.9%となっています。
- 性・年齢別にみると、後期高齢者では、「できるし、している」人が前期高齢者と比べて2割程度少なくなっています。

【椅子に座った状態からの立ち上がり】

【性・年齢別】

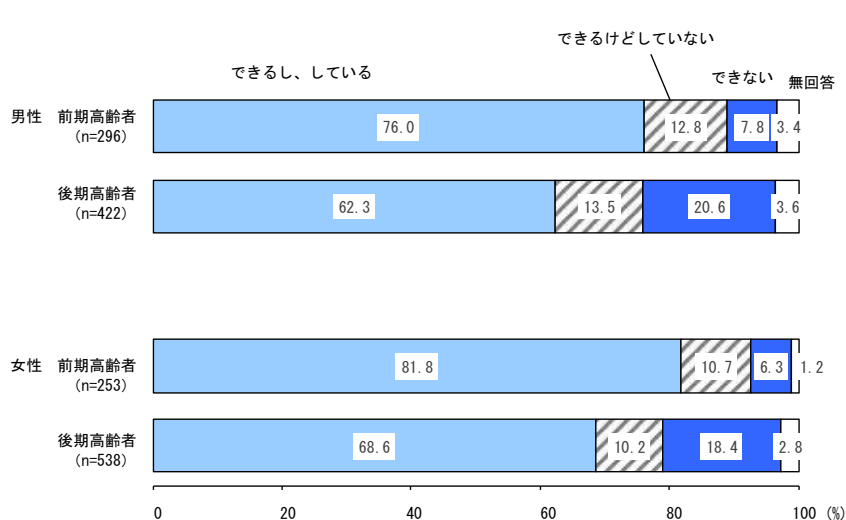
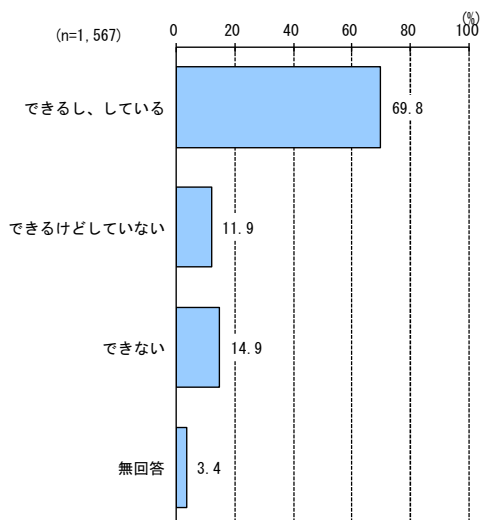


●問 2.3 15分位続けて歩いていますか。(1つだけ)

- 15分位続けての歩行について、「できるし、している」が69.8%で最も多く、次いで「できない」が14.9%、「できるけどしていない」が11.9%となっています。
- 性・年齢別にみると、後期高齢者では、「できるし、している」人が前期高齢者と比べて1割程度少なくなっています。

【15分位続けての歩行】

【性・年齢別】

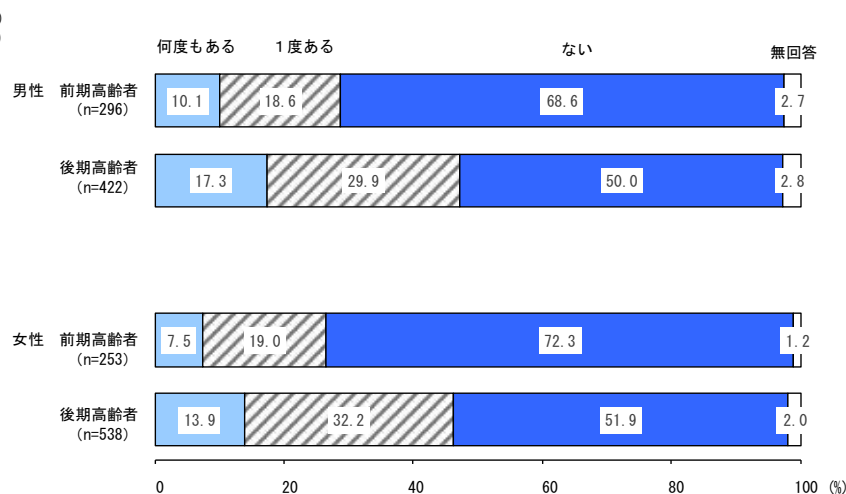
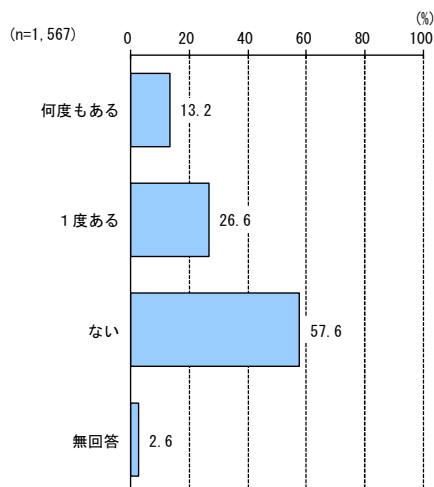


●問 2.4 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つだけ)

- 転倒経験について、「ない」が57.6%で最も多く、次いで「1度ある」が26.6%、「何度もある」が13.2%となっています。
- 性・年齢別にみると、後期高齢者では、「何どもある」「1度ある」を合わせた“転倒経験がある”人が半数近くとなっています。

【転倒経験】

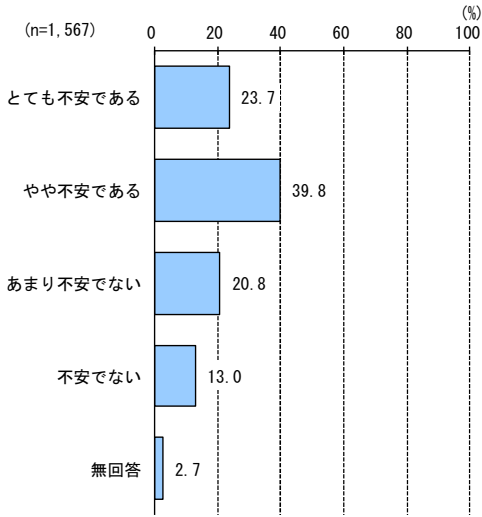
【性・年齢別】



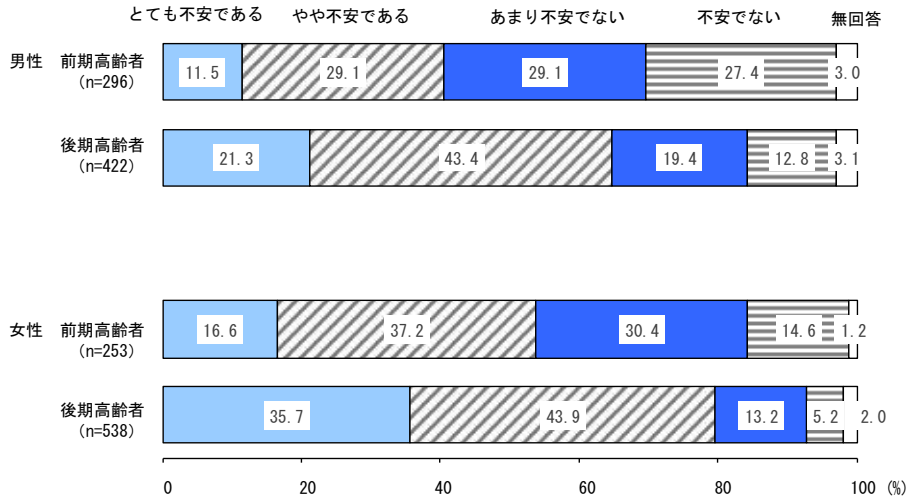
●問 2.5 転倒に対する不安は大きいですか。(1つだけ)

- 転倒に対する不安について、「やや不安である」が39.8%で最も多く、次いで「とても不安である」が23.7%となっています。
- 性・年齢別にみると、後期高齢者では前期高齢者に比べ、「とても不安である」「やや不安である」を合わせた“不安である”人が多く、特に女性では79.6%となっています。

【転倒に対する不安】



【性・年齢別】



※リスク判定は51~57ページに掲載しています。

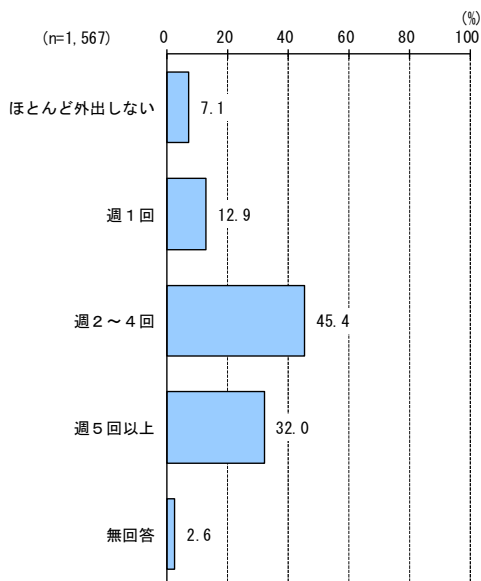
(2) 外出の状況

① 外出の頻度

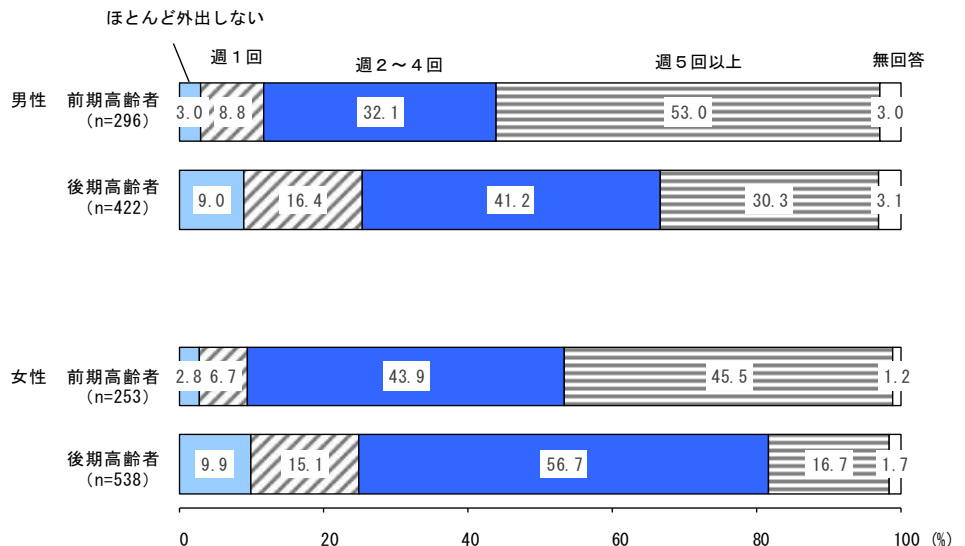
●問 2.6 週に1回以上は外出していますか。(1つだけ)

- 外出頻度について、「週2~4回」が45.4%で最も多く、次いで「週5回以上」が32.0%、「週1回」が12.9%となっています。
- 就労状況別にみると、仕事をしている人では、「週5回以上」外出する人が52.5%となっており、仕事をしていない人(27.2%)に比べて多くなっています。

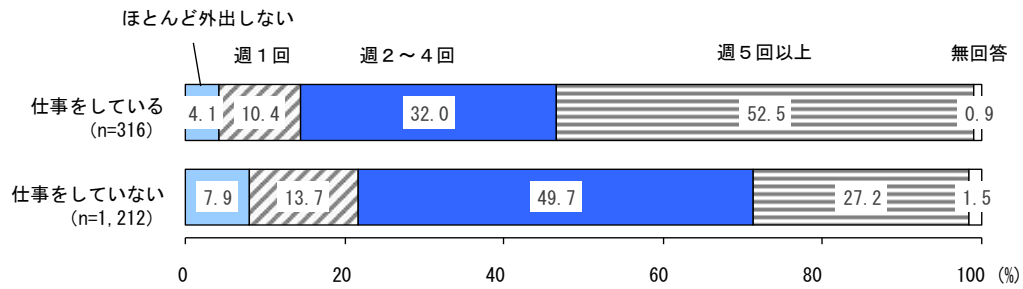
【外出頻度】



【性・年齢別】



【就労状況別】

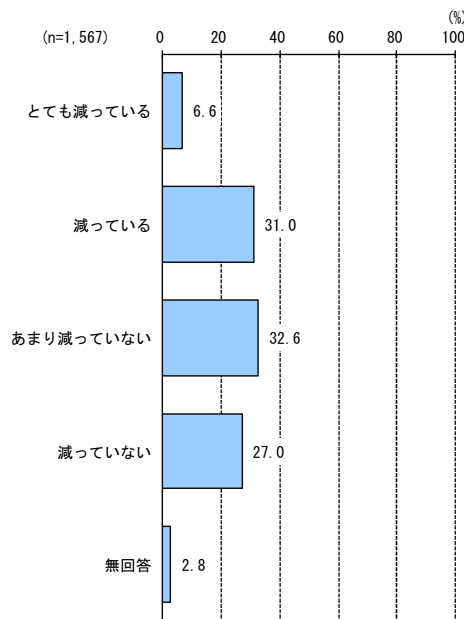


※リスク判定は51~57ページに掲載しています。

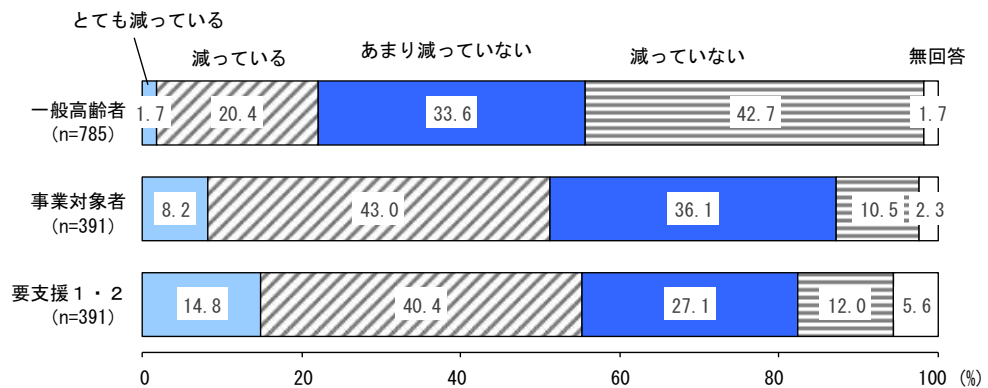
●問 2.7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つだけ)

- 昨年と比べて外出の回数について、「あまり減っていない」が32.6%で最も多く、次いで「減っている」が31.0%、「減っていない」が27.0%となっています。
- 「とても減っている」「減っている」を合わせた“減っている”は、37.6%となっています。
- 認定該当状況別にみると、事業対象者、要支援1・2では、「とても減っている」「減っている」を合わせた“減っている”人が半数以上となっています。

【昨年と比べて外出の回数】



【認定該当状況別】

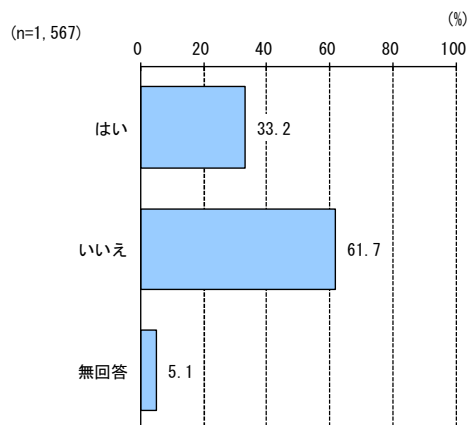


② 外出を控えているか

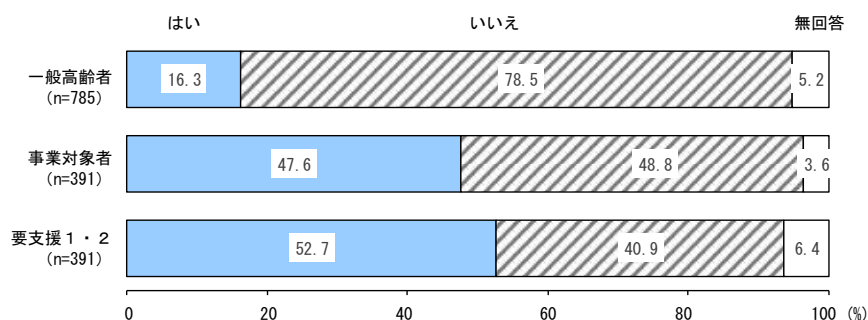
●問 2.8 外出を控えていますか。(1つだけ)

○ 外出を控えているかについて、「はい」が33.2%、「いいえ」が61.7%となっています。

【外出を控えているか】



【認定該当状況別】

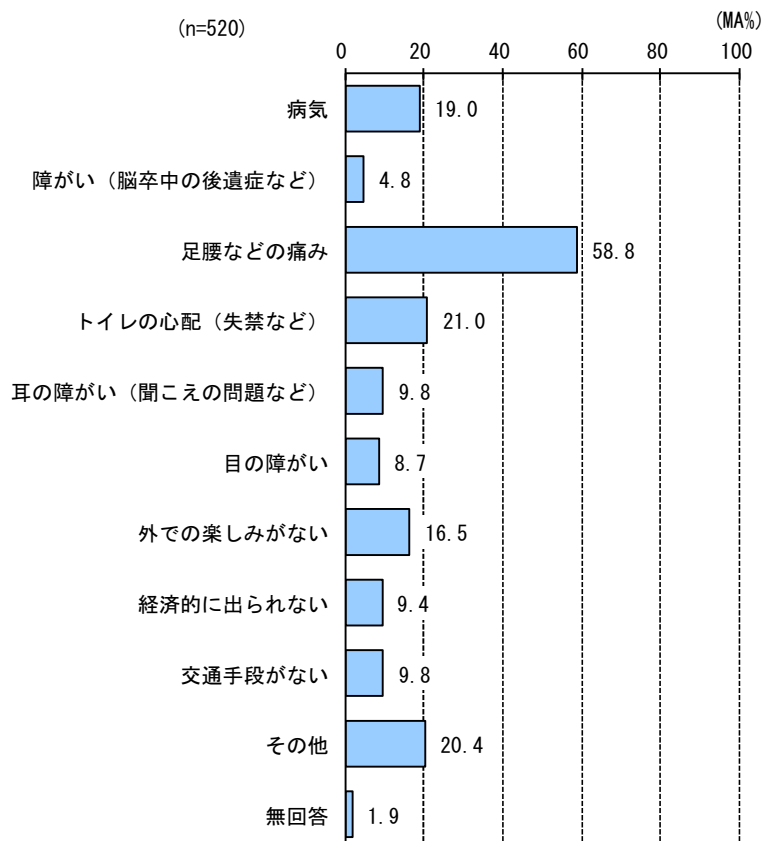


●問 2.8-1 (問 2.8で「はい」と答えた方(外出を控えている方)のみ) 外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも)

○ 外出を控えている理由について、「足腰などの痛み」が58.8%で最も多く、次いで「トイレの心配(失禁など)」が21.0%、「病気」が19.0%となっています。

○ 「その他」の意見として、「新型コロナウイルス」「転倒に対する不安」が多くなっています。

【外出を控えている理由(MA)】

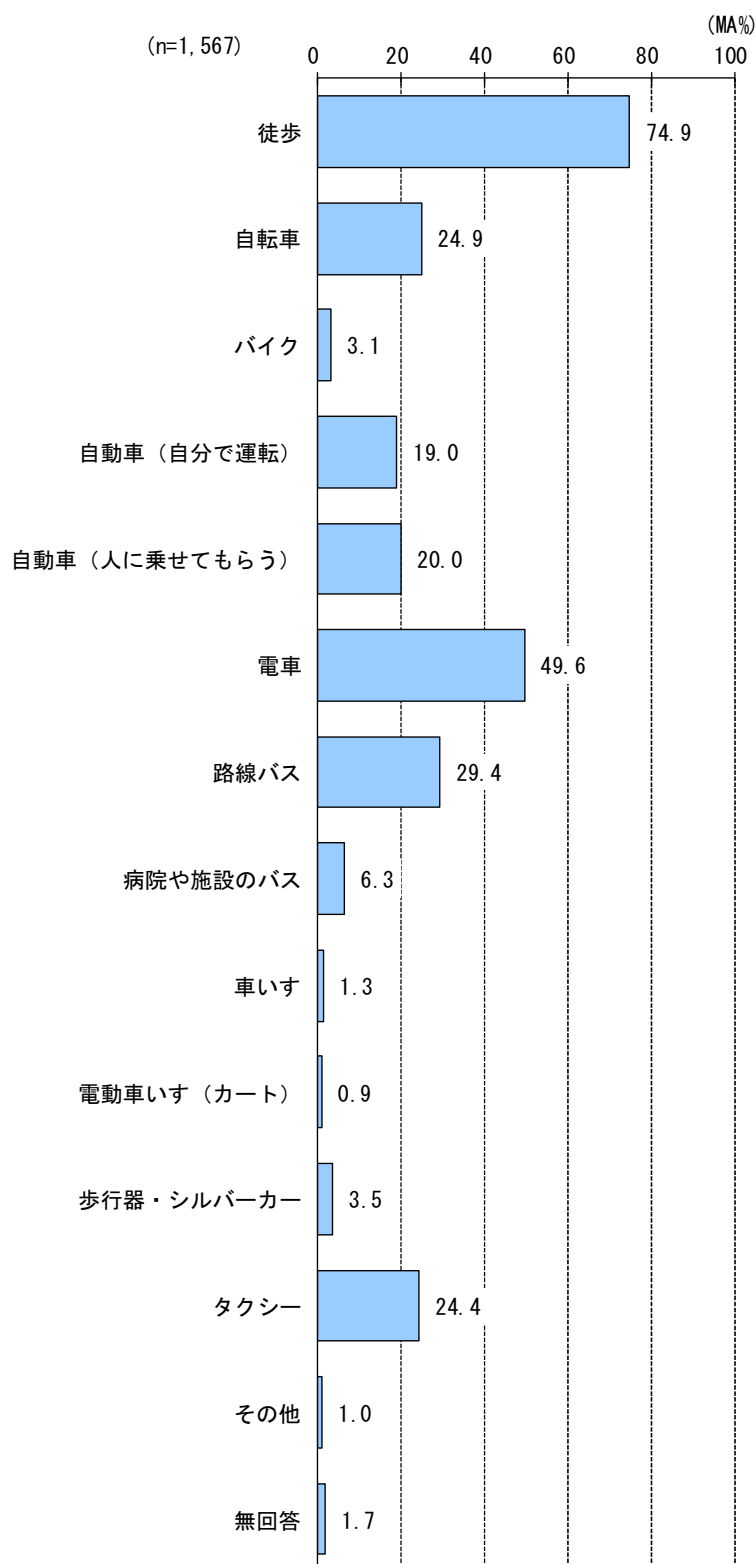


③ 外出の際の移動手段

●問 2.9 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも)

- 外出する際の移動手段について、「徒歩」が74.9%で最も多く、次いで「電車」が49.6%、「路線バス」が29.4%となっています。
- 「電車」「路線バス」といった公共交通機関を利用している人が多くなっています。

【外出する際の移動手段(MA)】



単位：％

		母数 (n)	外出する際の移動手段(MA)						
			徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せても らう)	電車	路線バス
全体		1,567	74.9	24.9	3.1	19.0	20.0	49.6	29.4
年齢	前期高齢者	550	80.2	38.4	6.0	34.9	15.5	57.5	27.3
	後期高齢者	969	72.9	18.0	1.5	10.3	23.1	45.5	31.0
性・年齢	男性 前期高齢者	296	79.1	38.9	8.1	48.6	7.4	55.1	25.7
	後期高齢者	422	69.7	25.1	2.6	20.4	19.0	44.1	26.8
	女性 前期高齢者	253	81.8	37.9	3.6	19.0	24.9	60.5	29.2
	後期高齢者	538	75.5	12.3	0.7	2.6	26.4	46.8	34.0

単位：％

		母数 (n)	外出する際の移動手段(MA)						
			病院や施設のバス	車いす	電動車いす (カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全体		1,567	6.3	1.3	0.9	3.5	24.4	1.0	1.7
年齢	前期高齢者	550	3.3	0.9	0.5	0.4	13.5	0.7	1.1
	後期高齢者	969	8.2	1.3	1.0	5.2	30.4	1.2	1.7
性・年齢	男性 前期高齢者	296	3.7	0.3	1.0	0.3	12.2	0.3	1.7
	後期高齢者	422	5.7	2.4	2.1	2.6	30.6	1.2	1.9
	女性 前期高齢者	253	2.8	1.6	-	0.4	15.0	1.2	-
	後期高齢者	538	10.2	0.6	0.2	7.1	30.5	1.3	1.5

4. 食べることについて

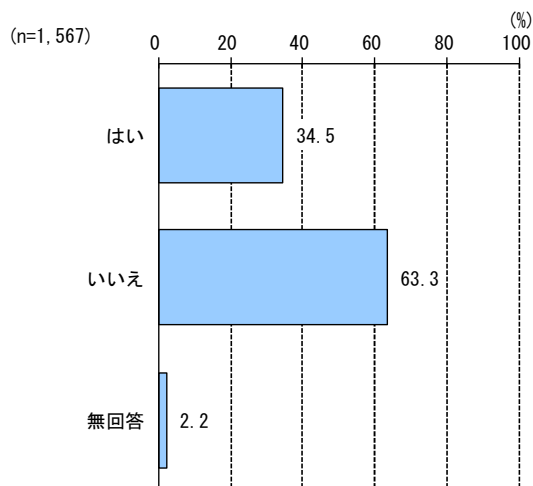
(1) 口腔

① 口内の健康状態

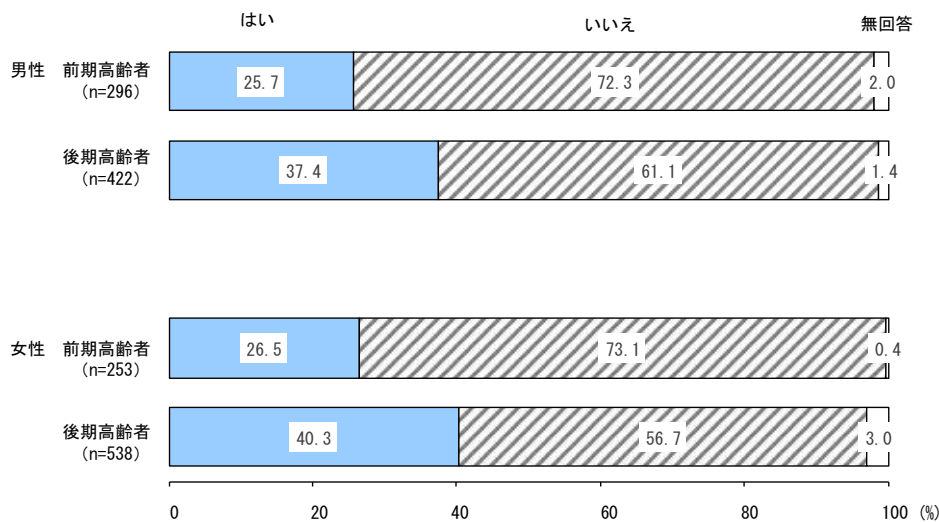
●問 3.2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つだけ)

○ 半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについて、「はい」が 34.5%、「いいえ」が 63.3%となっています。

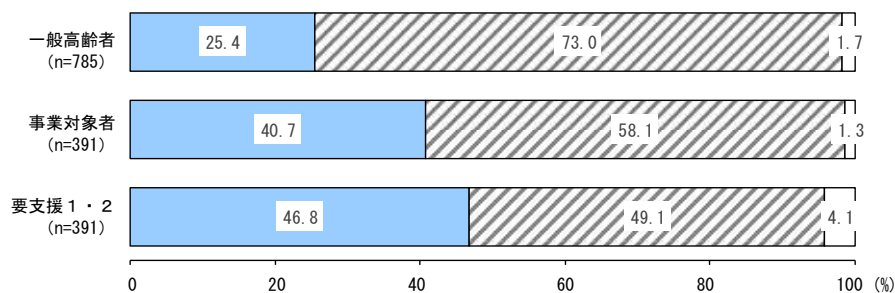
【半年前に比べて固いものが食べにくくなったか】



【性・年齢別】



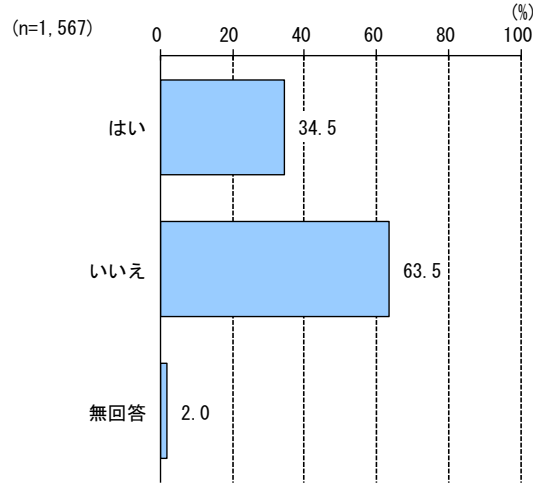
【認定該当状況別】



●問 3.3 お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つだけ)

○ お茶や汁物等でむせることがあるかについて、「はい」が 34.5%、「いいえ」が 63.5%となっています。

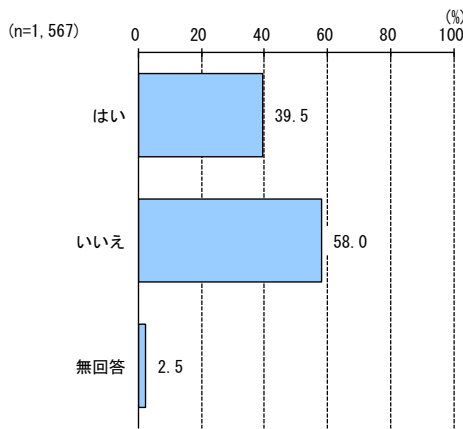
【お茶や汁物等でむせることがあるか】



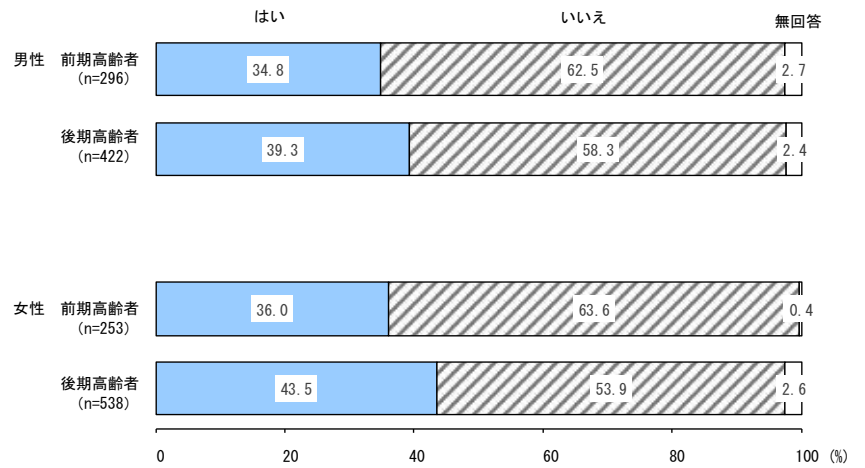
●問 3.4 口の渇きが気になりますか。(1つだけ)

○ 口の渇きが気になるかについて、「はい」が 39.5%、「いいえ」が 58.0%となっています。

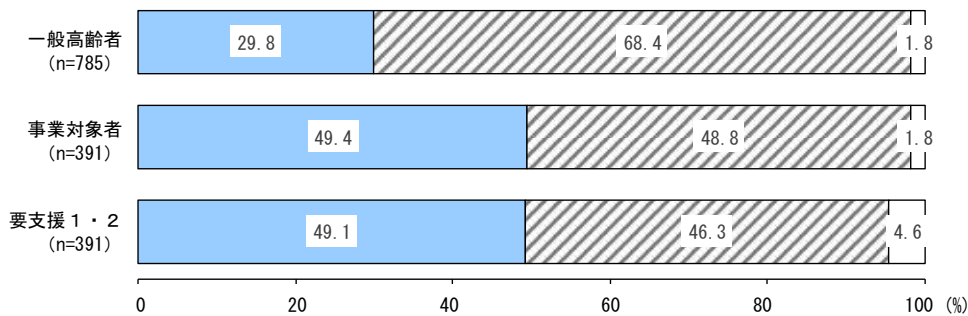
【口の渇きが気になるか】



【性・年齢別】



【認定該当状況別】



※リスク判定は 51~57 ページに掲載しています。

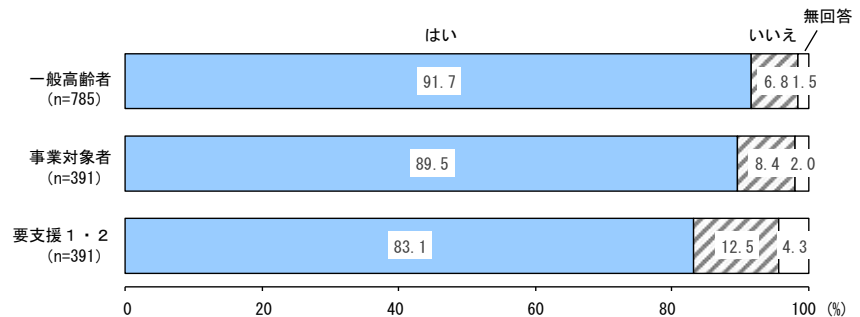
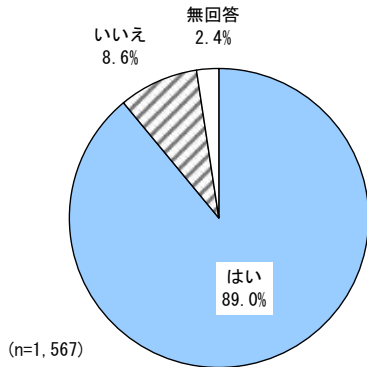
② 歯の状況

●問 3.5 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（1つだけ）

○ 歯磨きを毎日しているかについて、「はい」が89.0%、「いいえ」が8.6%となっています。

【歯磨きを毎日しているか】

【認定該当状況別】



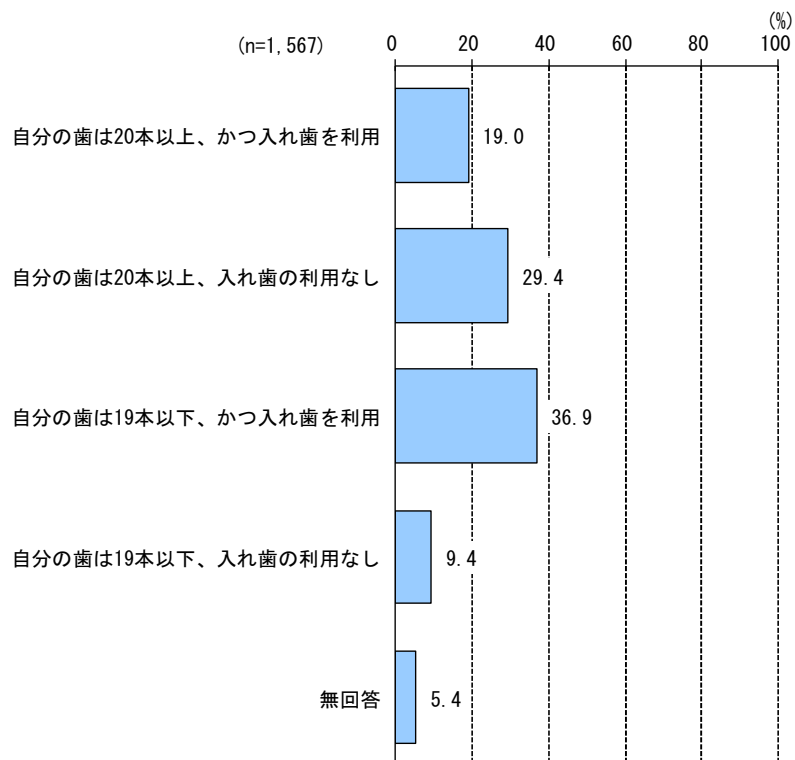
●問 3.6 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください。（1つだけ）

○ 歯の数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が36.9%で最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が29.4%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が19.0%となっています。

○ 80歳以上で“自分の歯は20本以上”を達成した（8020達成者）割合は、80～84歳で39.6%、85～89歳で39.7%、90歳以上で26.0%となっています。

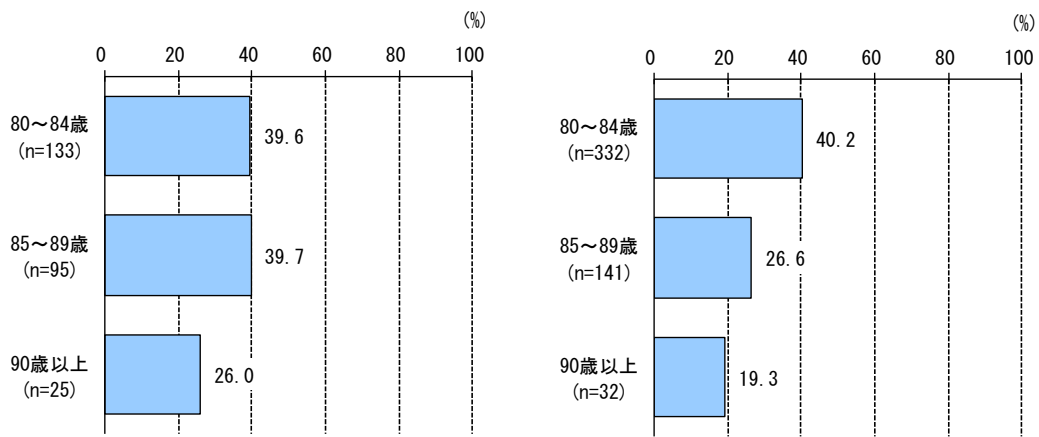
○ 前回調査と比べると、85～89歳、90歳以上で8020達成者が多くなっています。

【歯の数と入れ歯の利用状況】

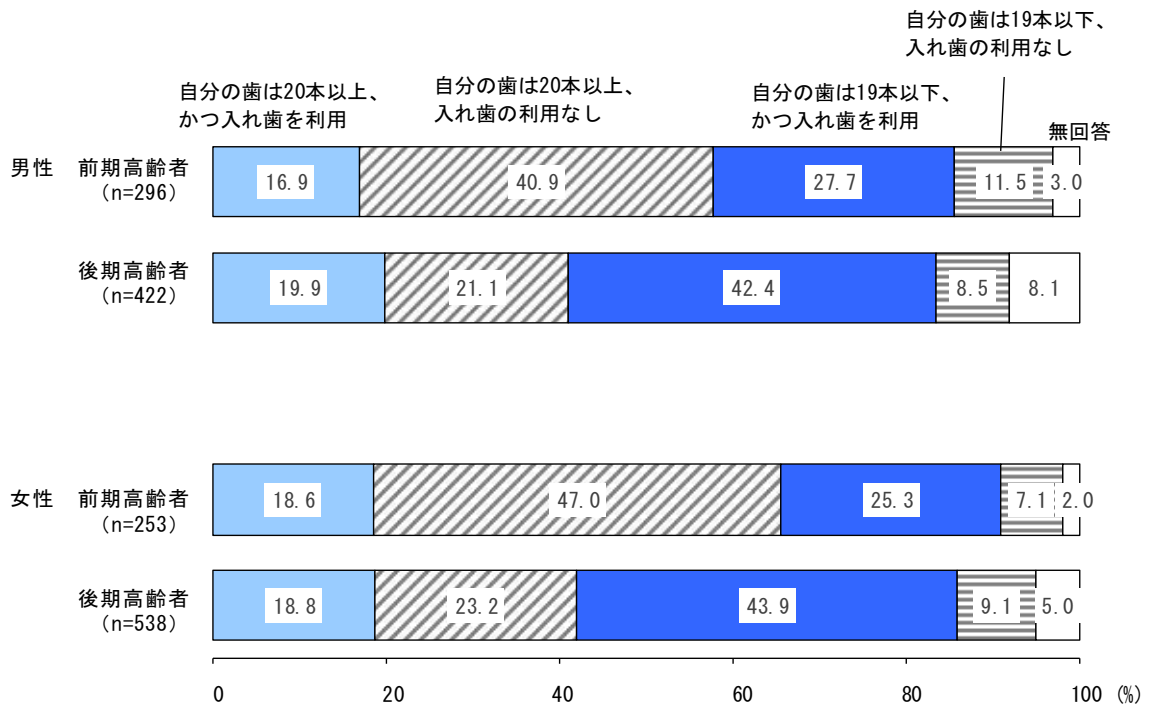


【8020 達成状況】

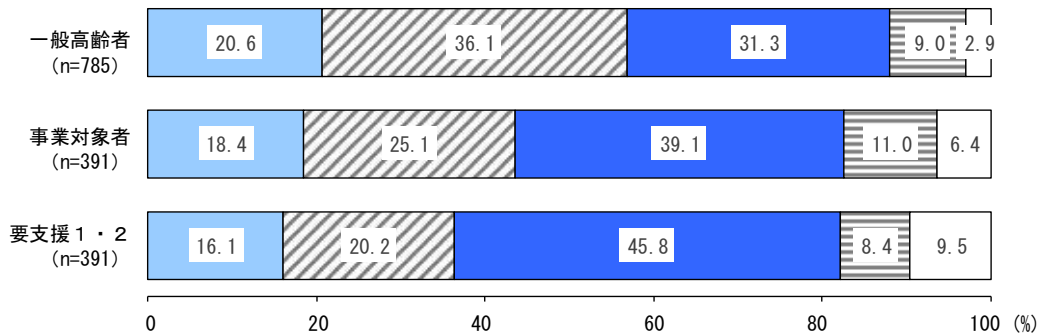
(前回調査)



【性・年齢別】



【認定該当状況別】

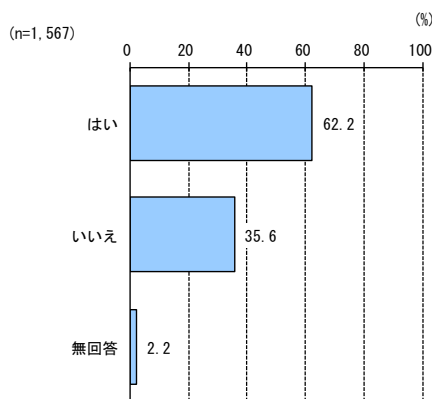


③ 歯科の受診状況

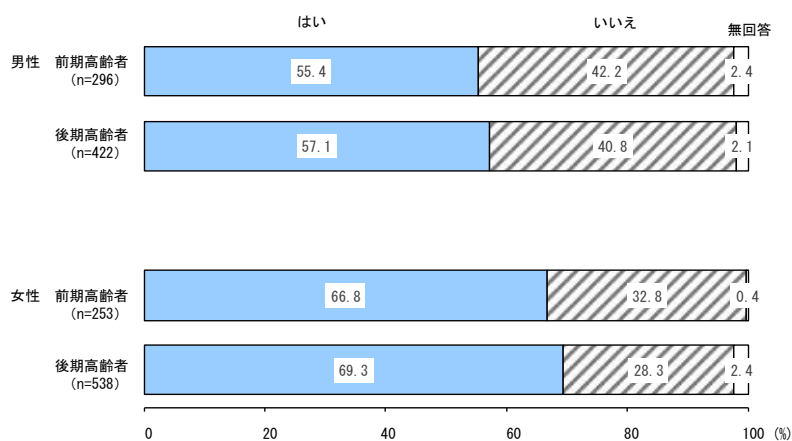
●問 3.9 定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか。（1つだけ）

○ 定期的に歯科受診をしているかについて、「はい」が 62.2%、「いいえ」が 35.6%となっています。

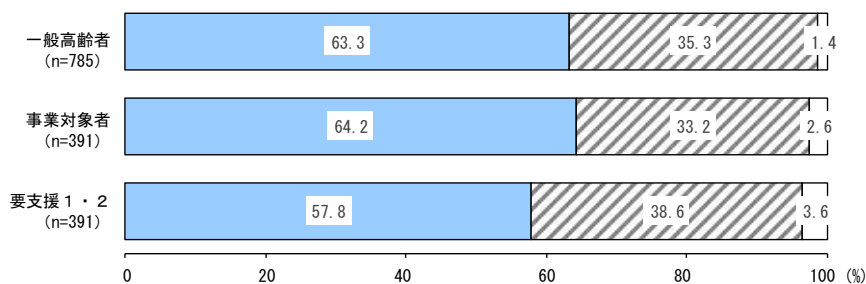
【定期的に歯科受診をしているか】



【性・年齢別】



【認定該当状況別】



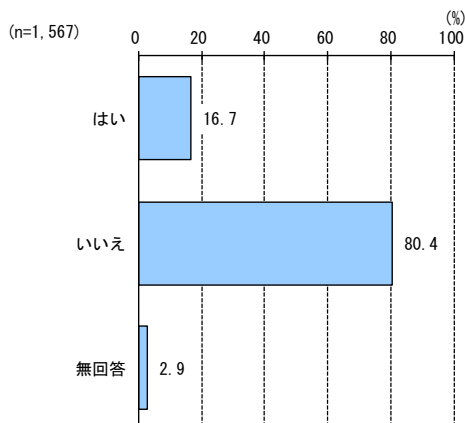
(2) 栄養

① 体重の状況

●問 3.7 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。（1つだけ）

○ 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかについて、「はい」が 16.7%、「いいえ」が 80.4%となっています。

【6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか】



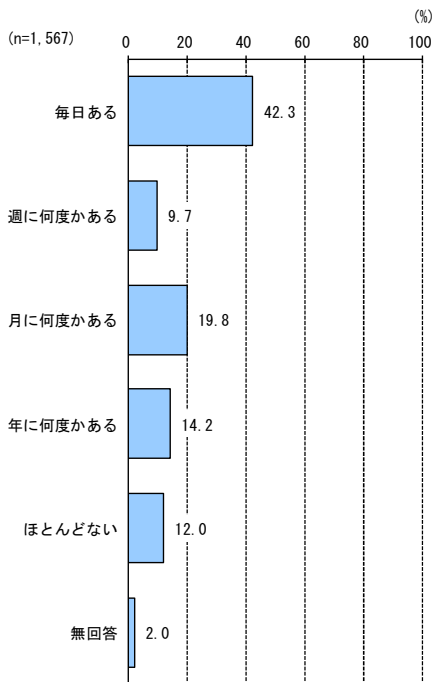
※リスク判定は51～57ページに掲載しています。

② 孤食の状況

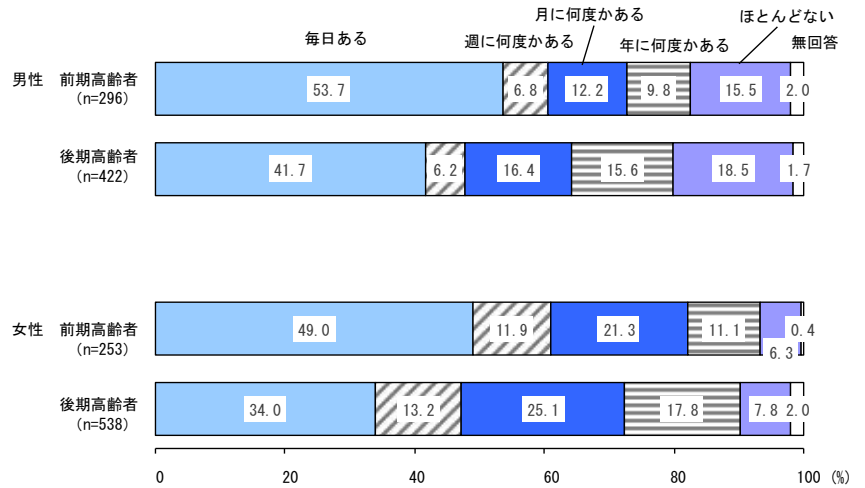
●問 3.8 どなたかと食事をとる機会がありますか。(1つだけ)

- 共食の有無について、「毎日ある」が42.3%で最も多く、次いで「月に何度かある」が19.8%、「年に何度かある」が14.2%となっています。
- 性・年齢別にみると、女性後期高齢者では、「毎日ある」が34.0%と少なくなっています。
- 家族構成別にみると、1人暮らしでは、「ほとんどない」が21.9%となっており、他の家族構成に比べて多くなっています。

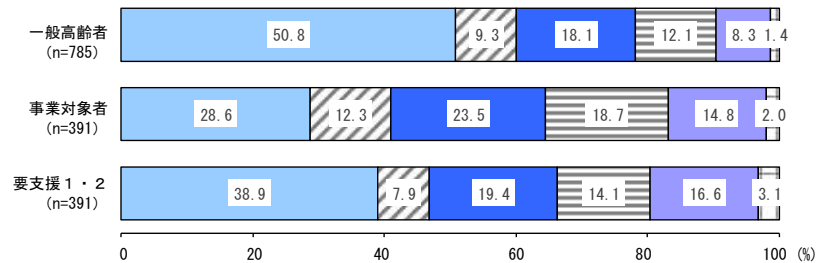
【共食の有無】



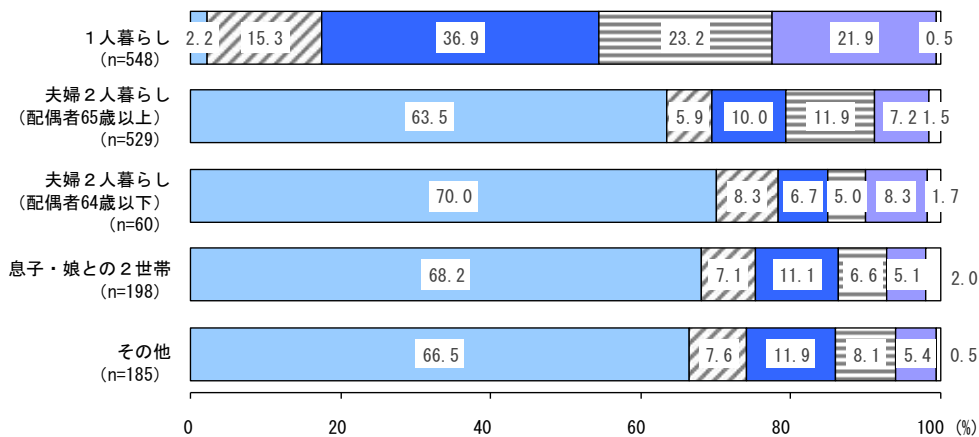
【性・年齢別】



【認定該当状況別】



【家族構成別】

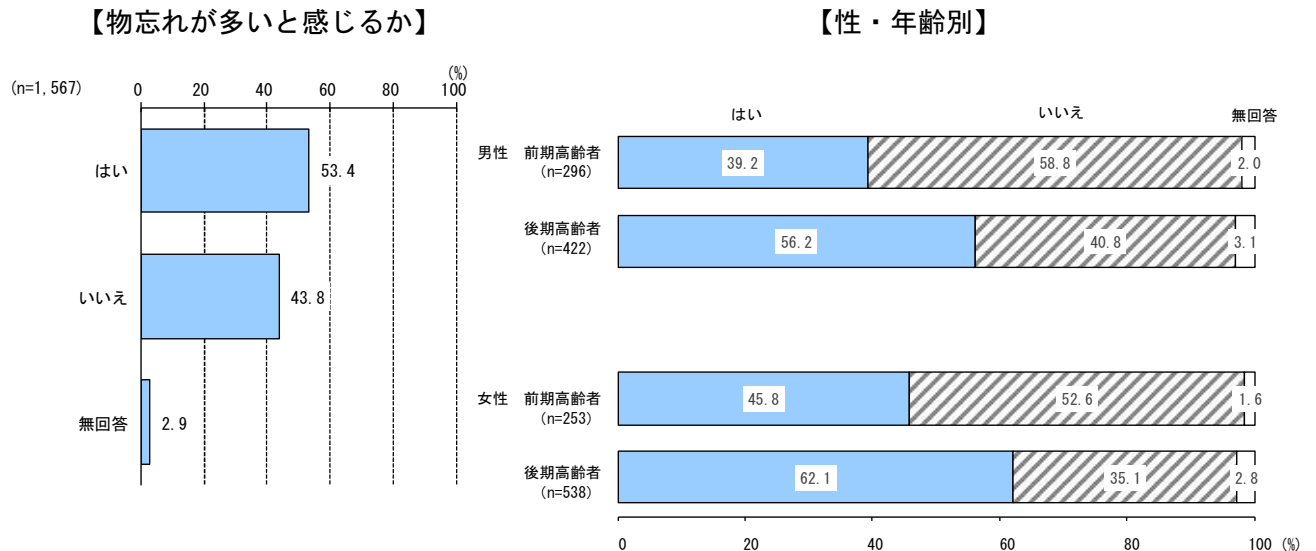


5. 毎日の生活について

(1) 物忘れ

●問 4.1 物忘れが多いと感じますか。(1つだけ)

○ 物忘れが多いと感じるかについて、「はい」が53.4%、「いいえ」が43.8%となっています。

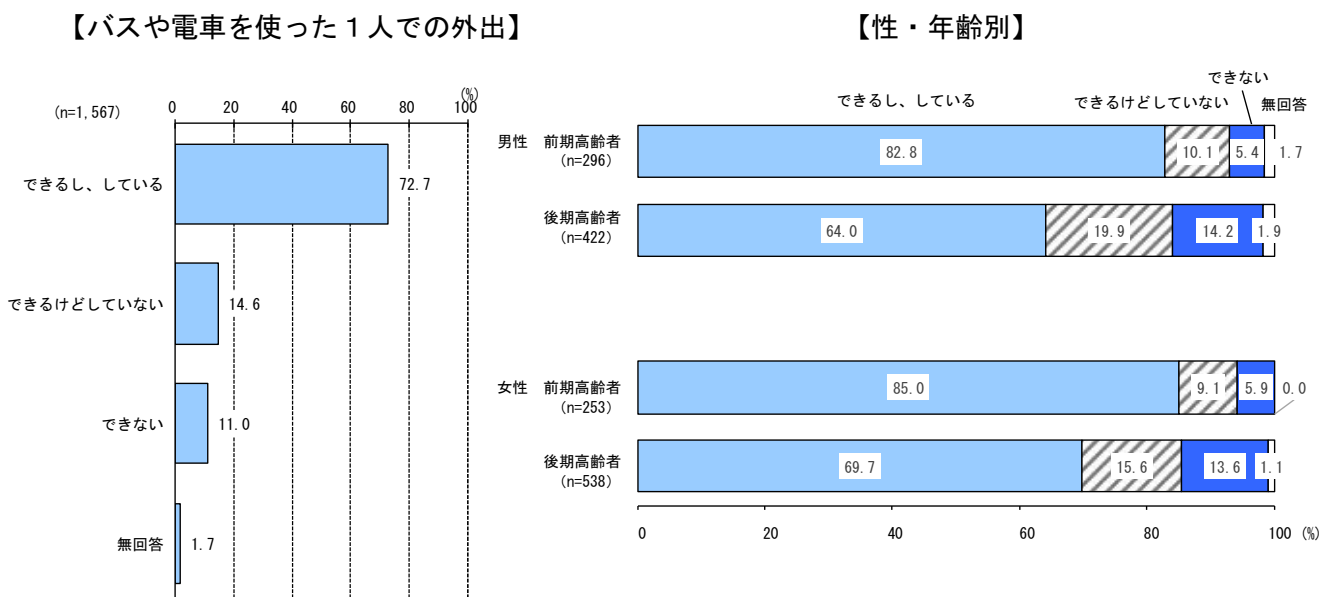


※リスク判定は51~57ページに掲載しています。

(2) 日常生活動作 (IADL) の状況

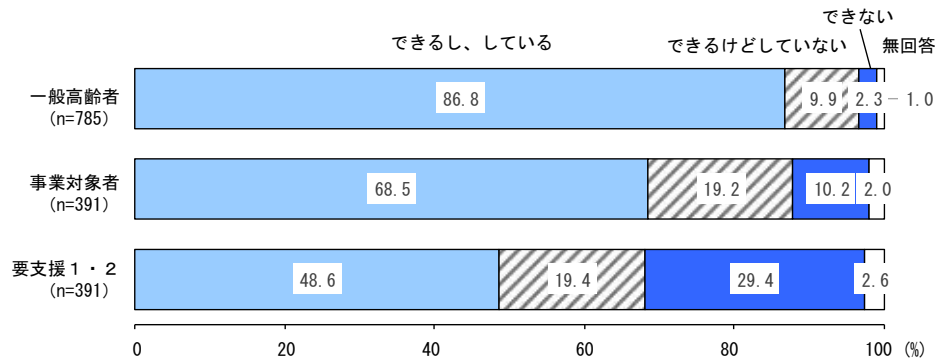
●問 4.2 バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)。(1つだけ)

○ バスや電車を使った1人での外出について、「できるし、している」が72.7%、「できるけどしていない」が14.6%、「できない」が11.0%となっています。



※IADL…手段的自立度のことをいい、日常生活を営む上で、普通におこなっている食事や排せつなどの行為・行動に加えより複雑で高次の動作のことで、高齢者の生活自立度を評価するための指標です。

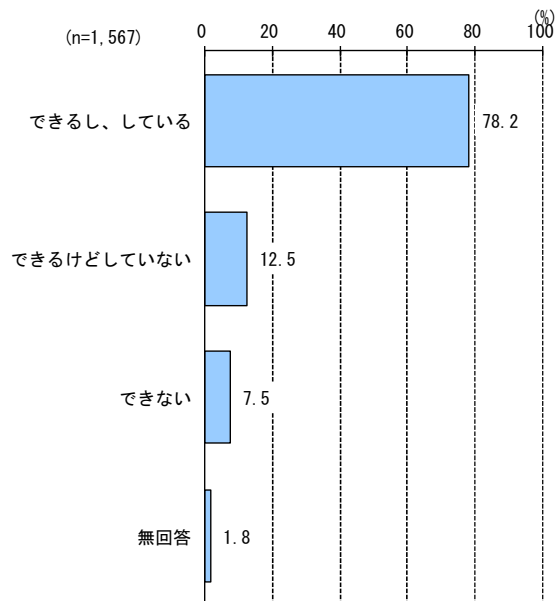
【認定該当状況別】



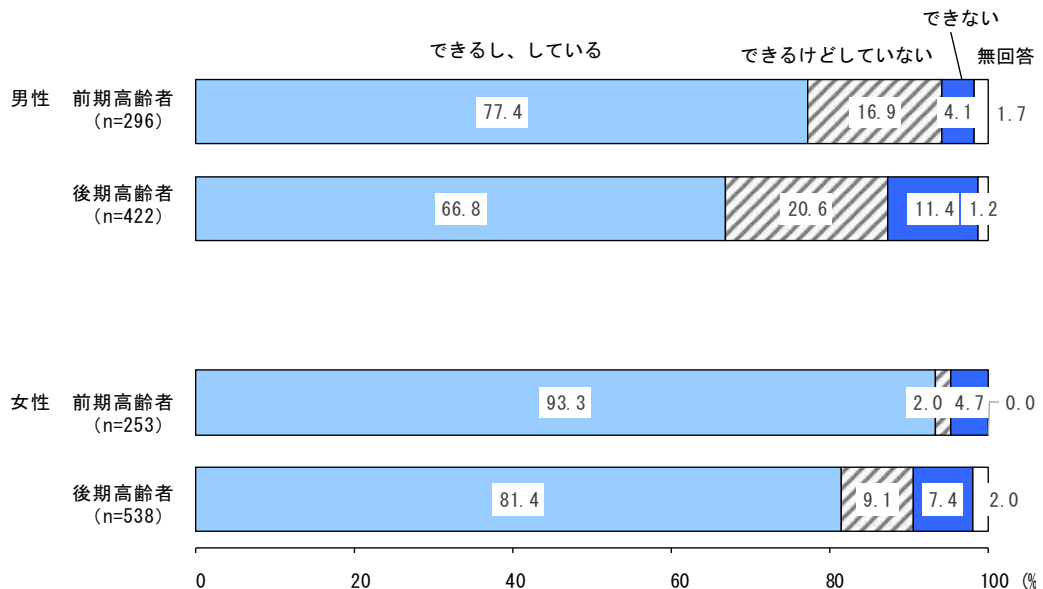
●問 4.3 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つだけ)

○ 食品・日用品の買物について、「できるし、している」が78.2%、「できるけどしていない」が12.5%、「できない」が7.5%となっています。

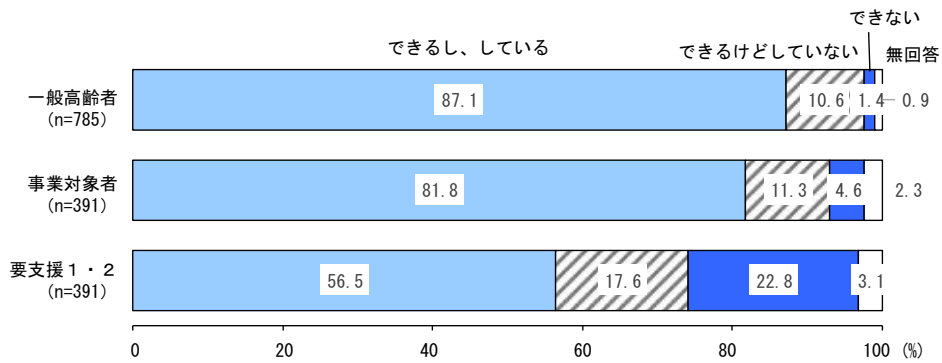
【食品・日用品の買物】



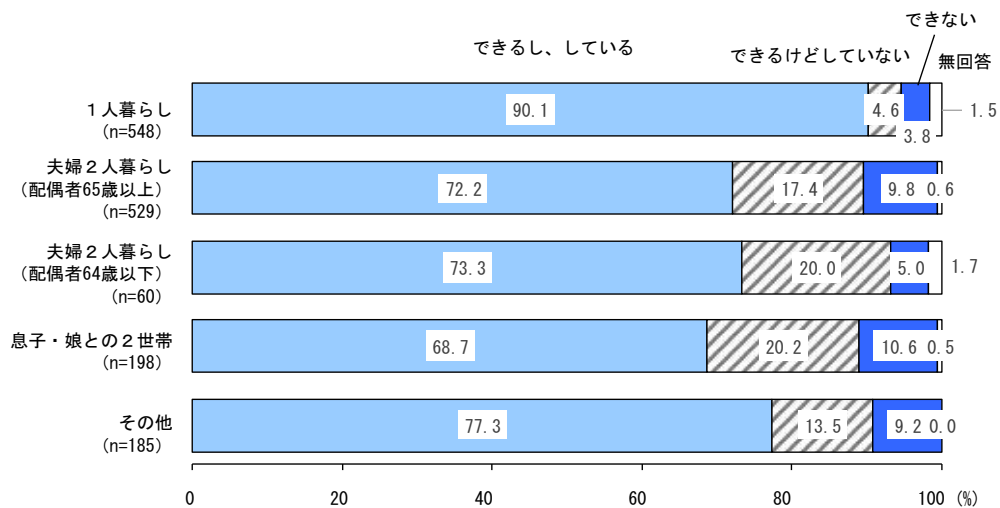
【性・年齢別】



【認定該当状況別】



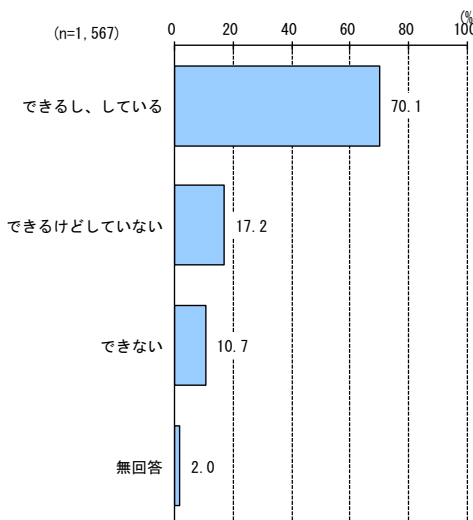
【家族構成別】



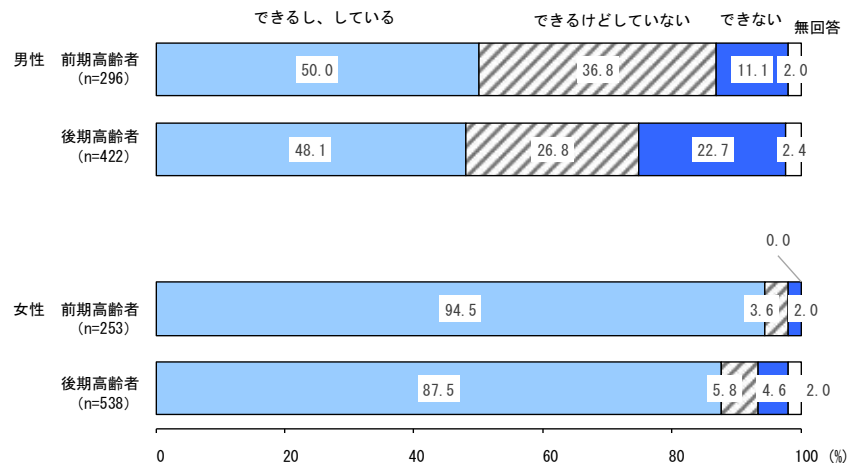
●問 4.4 自分で食事の用意をしていますか。(1つだけ)

- 食事の用意について、「できるし、している」が70.1%、「できるけどしていない」が17.2%、「できない」が10.7%となっています。
- 性・年齢別にみると、前期高齢者・後期高齢者ともに、男性は女性に比べ「できるけどしていない」「できない」が多くなっています。特に男性後期高齢者では、「できない」が22.7%と多くなっています。

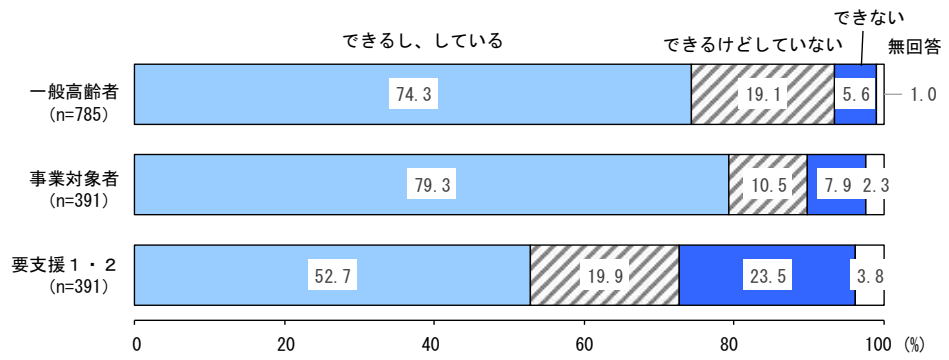
【食事の用意】



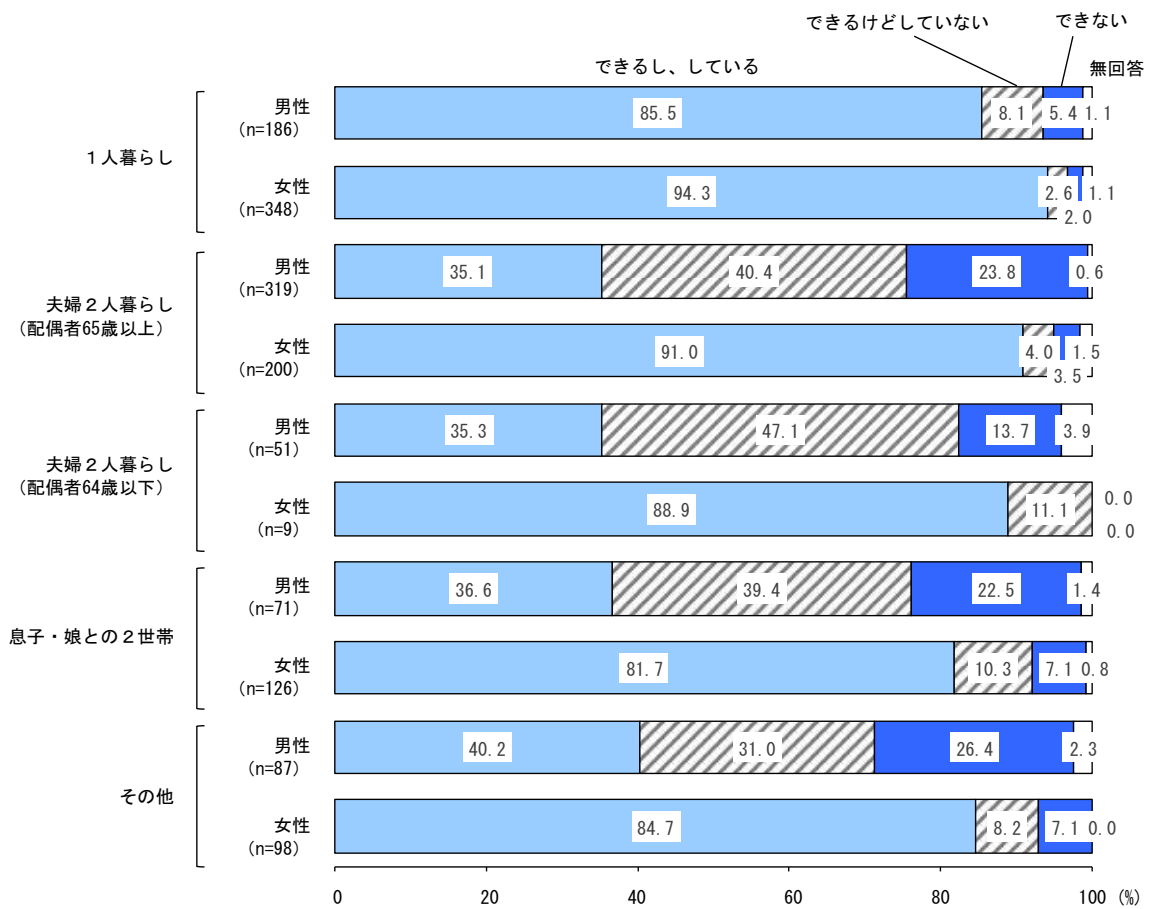
【性・年齢別】



【認定該当状況別】



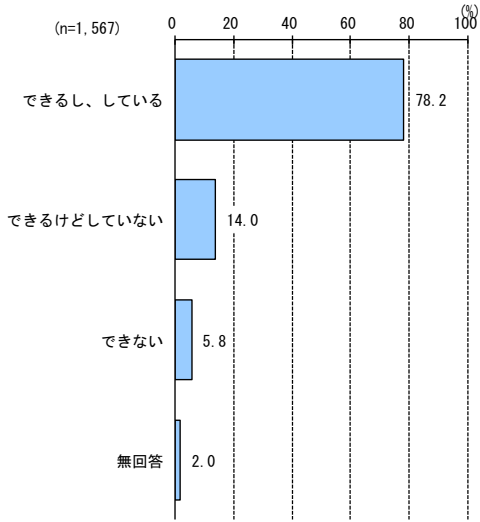
【家族構成・性別】



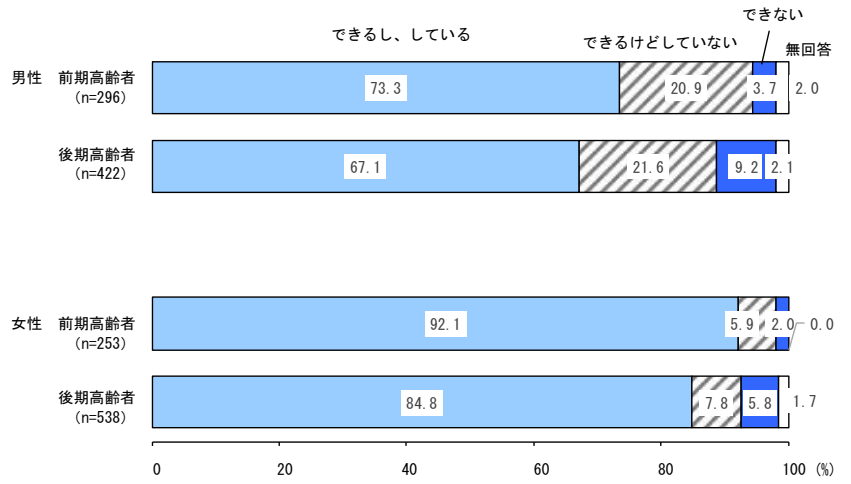
●問 4.5 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つだけ)

○ 請求書の支払いについて、「できるし、している」が78.2%、「できるけどしていない」が14.0%、「できない」が5.8%となっています。

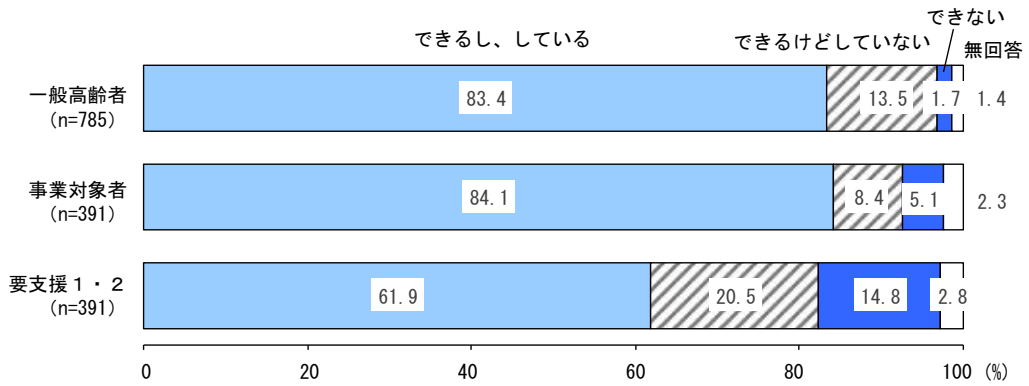
【請求書の支払い】



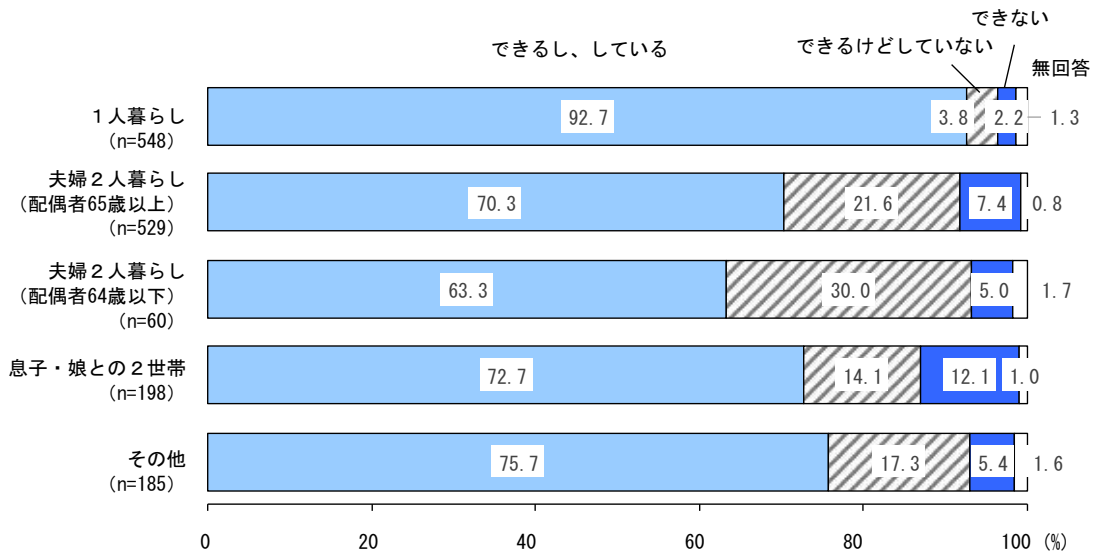
【性・年齢別】



【認定該当状況別】



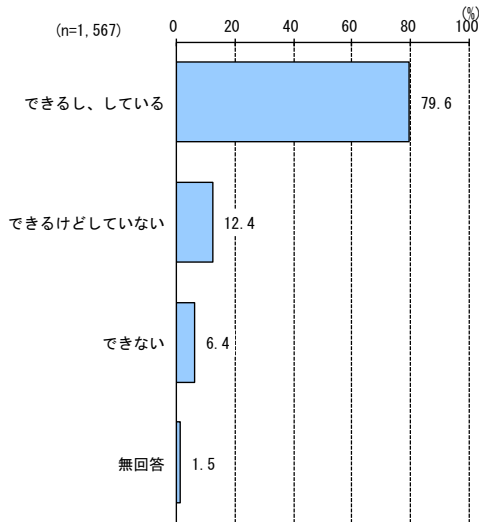
【家族構成別】



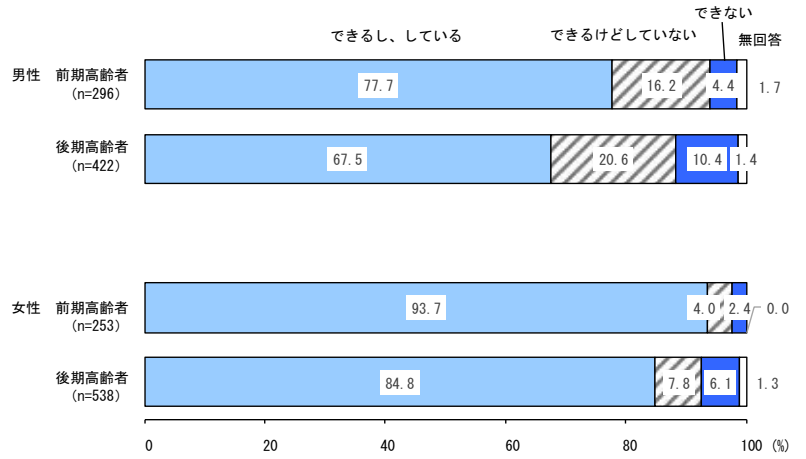
●問 4.6 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つだけ)

○ 預貯金の出し入れについて、「できるし、している」が79.6%、「できるけどしていない」が12.4%、「できない」が6.4%となっています。

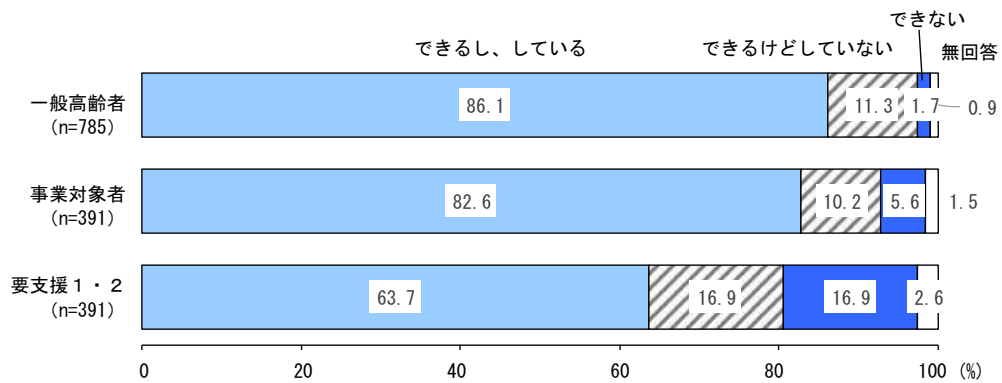
【預貯金の出し入れ】



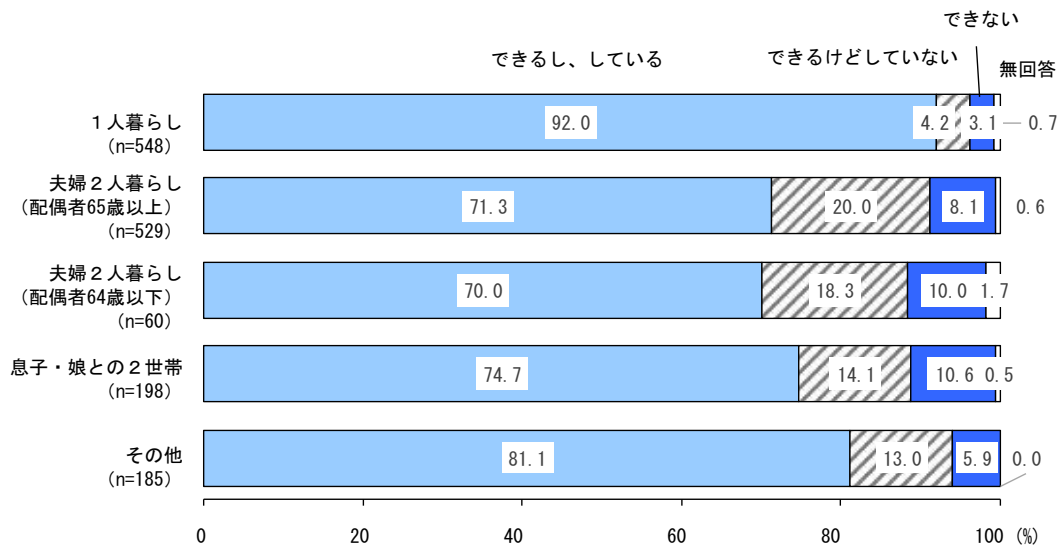
【性・年齢別】



【認定該当状況別】



【家族構成別】



※リスク判定は51~57ページに掲載しています。

(3) 社会との関わり

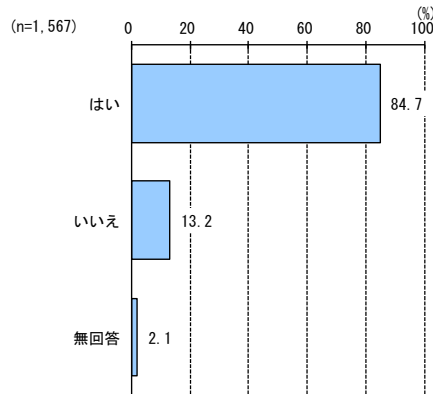
- 問 4.7 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。（1つだけ）
- 問 4.8 新聞を読んでいますか。（1つだけ）
- 問 4.9 健康についての記事や番組に関心がありますか。（1つだけ）

○ 年金などの書類が書けるかについて、「はい」が84.7%、「いいえ」が13.2%となっています。

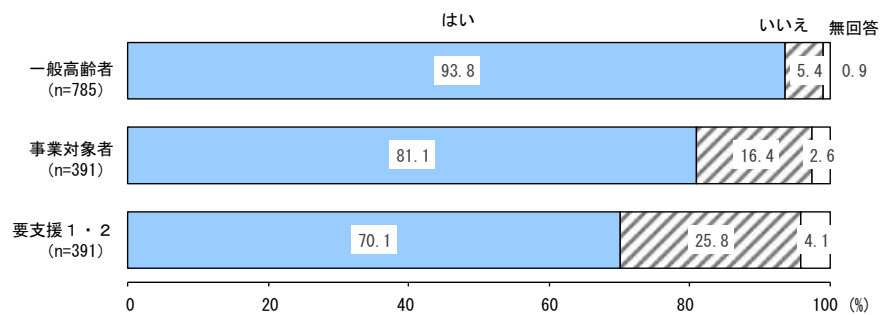
○ 新聞を読んでいるかについて、「はい」が74.3%、「いいえ」が24.1%となっています。

○ 健康についての記事や番組に関心があるかについて、「はい」が89.3%、「いいえ」が9.0%となっています。

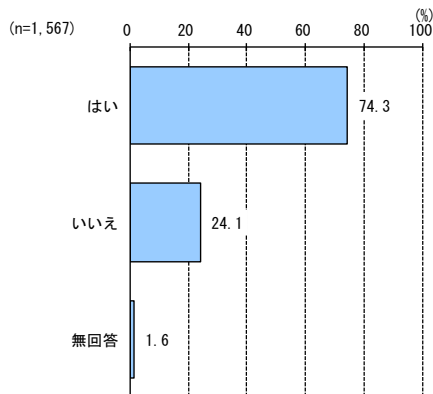
【年金などの書類が書けるか】



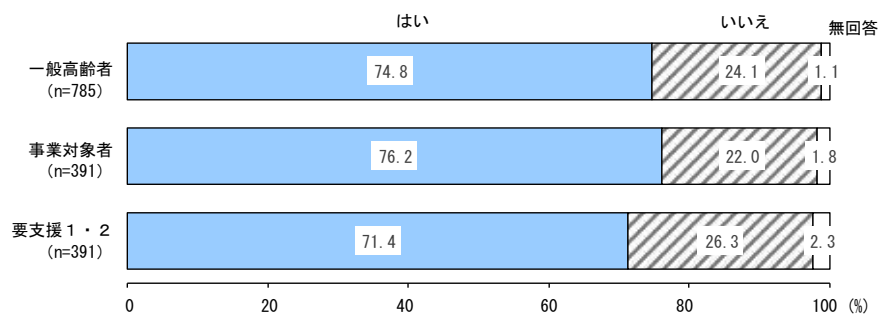
【認定該当状況別】



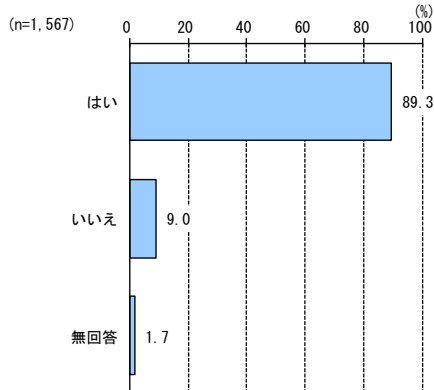
【新聞を読んでいるか】



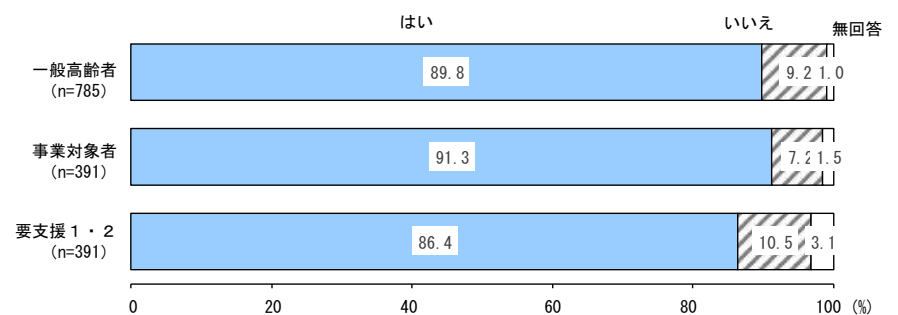
【認定該当状況別】



【健康についての記事や番組に関心があるか】



【認定該当状況別】

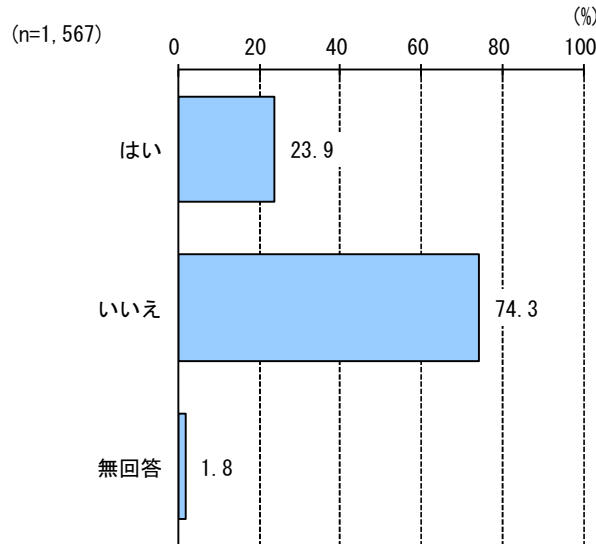


(4) 自宅での入浴

●問 4.10 自宅での入浴に不安や不便を感じていますか。(1つだけ)

○ 自宅での入浴に不安や不便を感じているかについて、「はい」が23.9%、「いいえ」が74.3%となっています。

【自宅での入浴に不安や不便を感じているか】



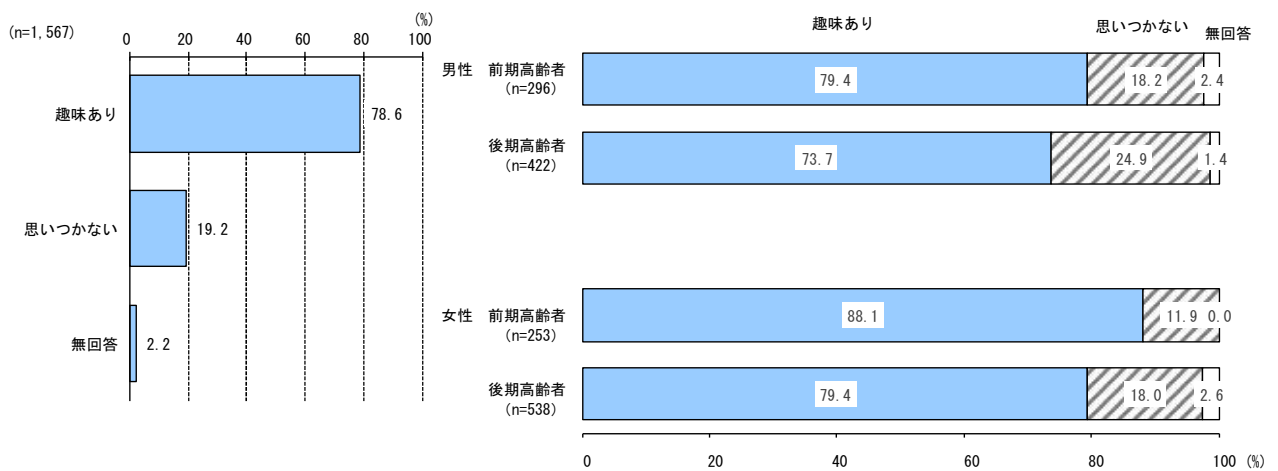
(5) 趣味・生きがいについて

●問 4.11 趣味はありますか。(1つだけ)

○ 趣味の有無について、「趣味あり」が78.6%、「思いつかない」が19.2%となっています。

【趣味の有無】

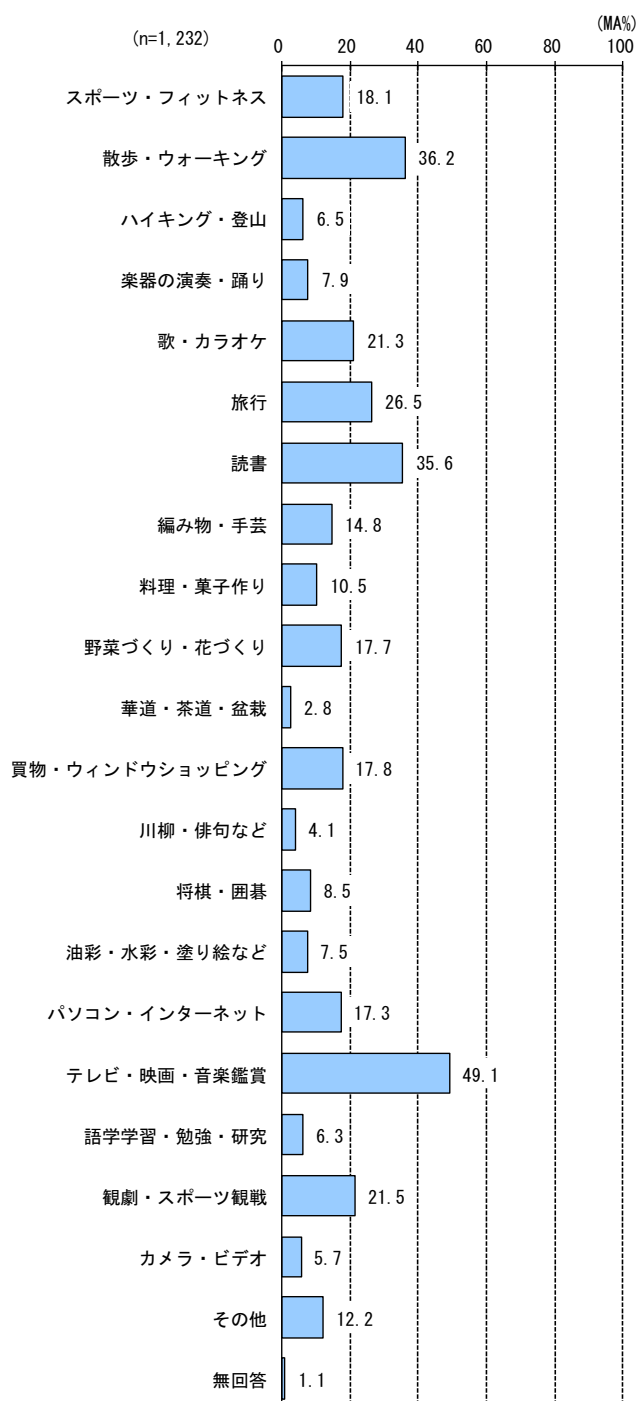
【性・年齢別】



●問 4.11-1 (問 4.11 で「趣味あり」と答えた方(趣味ありの方)のみ) あなたの趣味は何ですか。(いくつでも)

- 趣味について、「テレビ・映画・音楽鑑賞」が 49.1%で最も多く、次いで「散歩・ウォーキング」が 36.2%、「読書」が 35.6%となっています。
- 性・年齢別にみると、男女ともに前期高齢者では「旅行」、後期高齢者では「歌・カラオケ」が多くなっています。男性では女性に比べ、「将棋・囲碁」「パソコン・インターネット」、女性では男性に比べ、「編み物・手芸」「料理・菓子作り」「買物・ウィンドウショッピング」が多くなっています。また、女性後期高齢者では他の区分に比べ、「散歩・ウォーキング」「観劇・スポーツ観戦」は少なく、「野菜作り・花づくり」が多くなっています。

【趣味(MA)】



単位：％

	母数 (n)	趣味(MA)											
		スポーツ・フィットネス	散歩・ウォーキング	ハイキング・登山	楽器の演奏・踊り	歌・カラオケ	旅行	読書	編み物・手芸	料理・菓子作り	野菜づくり・花づくり	華道・茶道・盆栽	
全体	1,232	18.1	36.2	6.5	7.9	21.3	26.5	35.6	14.8	10.5	17.7	2.8	
性・年齢	男性 前期高齢者	235	27.2	45.1	9.8	8.5	14.9	31.5	36.6	0.4	8.1	11.5	0.4
	後期高齢者	311	16.4	37.0	4.8	4.8	24.4	19.3	35.4	-	4.5	14.8	0.6
	女性 前期高齢者	223	23.8	40.4	9.9	9.4	18.4	37.2	34.1	22.0	14.8	17.9	5.8
	後期高齢者	427	12.2	29.5	4.2	9.4	24.8	24.4	36.8	29.7	13.8	23.0	4.0

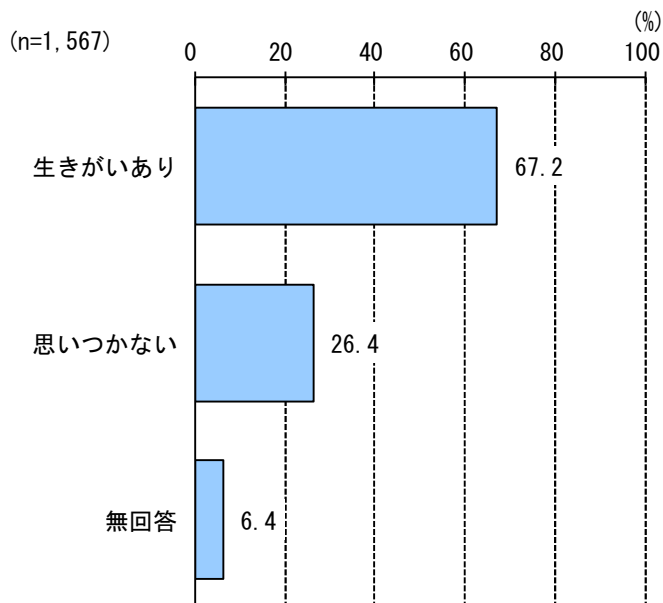
単位：％

	母数 (n)	趣味(MA)											
		買物・ウィンドウショッピング	川柳・俳句など	将棋・囲碁	油彩・水彩・塗り絵など	パソコン・インターネット	テレビ・映画・音楽鑑賞	語学学習・勉強・研究	観劇・スポーツ観戦	カメラ・ビデオ	その他	無回答	
全体	1,232	17.8	4.1	8.5	7.5	17.3	49.1	6.3	21.5	5.7	12.2	1.1	
性・年齢	男性 前期高齢者	235	8.1	2.1	13.6	4.7	31.9	52.8	8.1	24.7	9.8	13.6	1.3
	後期高齢者	311	8.7	6.1	19.6	6.1	19.6	47.3	7.7	24.8	9.3	12.2	1.9
	女性 前期高齢者	223	31.4	1.8	-	9.0	15.7	51.6	7.6	23.3	3.1	8.5	-
	後期高齢者	427	22.5	5.4	1.9	9.1	8.9	48.2	3.7	16.9	2.3	13.6	0.7

●問 4.12 生きがいがありますか。(1つだけ)

○ 生きがいの有無について、「生きがいあり」が 67.2%、「思いつかない」が 26.4%となっています。

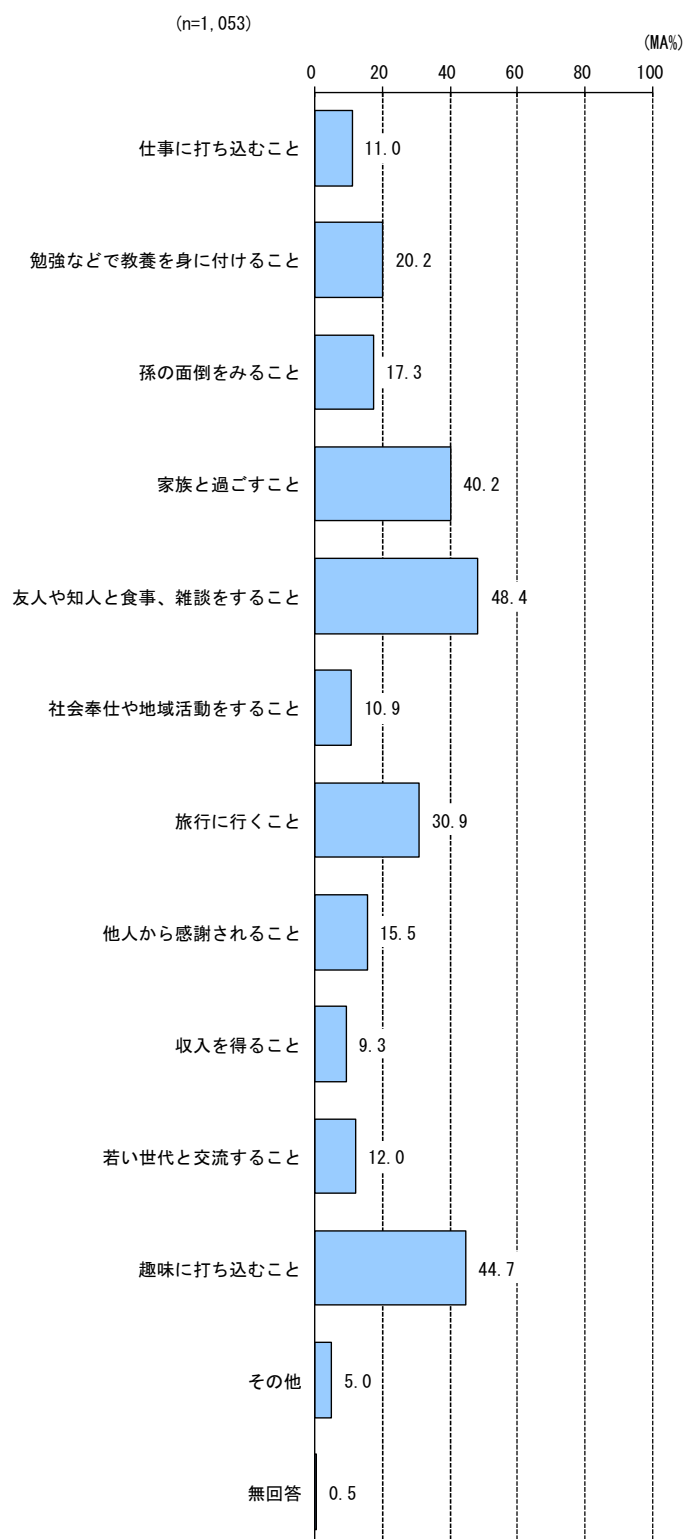
【生きがいの有無】



●問 4.12-1 (問 4.12 で「生きがいあり」と答えた方(生きがいありの方)のみ) あなたの生きがいは何ですか。(いくつでも)

- 生きがいについて、「友人や知人と食事、雑談をすること」が48.4%で最も多く、次いで「趣味に打ち込むこと」が44.7%、「家族と過ごすこと」が40.2%となっています。
- 性・年齢別にみると、前期高齢者・後期高齢者ともに、男性では「趣味に打ち込むこと」、女性では「友人や知人と食事、雑談をすること」が最も多くなっています。

【生きがい(MA)】



単位：%

		母数 (n)	生きがい(MA)					友人や知人と食事、雑談をすること	社会奉仕や地域活動をするこ
			仕事に打ち込むこと	勉強などで教養を身に付けること	孫の面倒をみるこ	家族と過ごすこと			
全体		1,053	11.0	20.2	17.3	40.2	48.4	10.9	
性・年齢	男性 前期高齢者	202	23.3	24.8	23.8	41.6	34.7	14.4	
	後期高齢者	269	7.8	20.8	10.4	45.7	36.4	10.4	
	女性 前期高齢者	193	16.1	19.7	28.0	37.8	62.7	13.0	
	後期高齢者	359	3.6	17.5	12.5	37.0	58.2	8.1	

単位：%

		母数 (n)	生きがい(MA)					その他	無回答
			旅行に行くこと	他人から感謝されること	収入を得ること	若い世代と交流すること	趣味に打ち込むこと		
全体		1,053	30.9	15.5	9.3	12.0	44.7	5.0	0.5
性・年齢	男性 前期高齢者	202	35.1	12.4	18.8	12.4	49.5	2.5	-
	後期高齢者	269	23.0	13.4	7.1	8.6	46.8	6.3	1.1
	女性 前期高齢者	193	45.1	17.6	15.5	11.4	42.0	3.1	0.5
	後期高齢者	359	26.7	17.3	2.5	14.8	42.9	6.7	0.3

(6) リスク判定

※各種リスク判定の「非該当」には判定不能も含まれます。

※前回調査は今回と抽出条件が異なるため、リスク該当者が少なくなっています。

◆運動器の機能低下リスクの判定

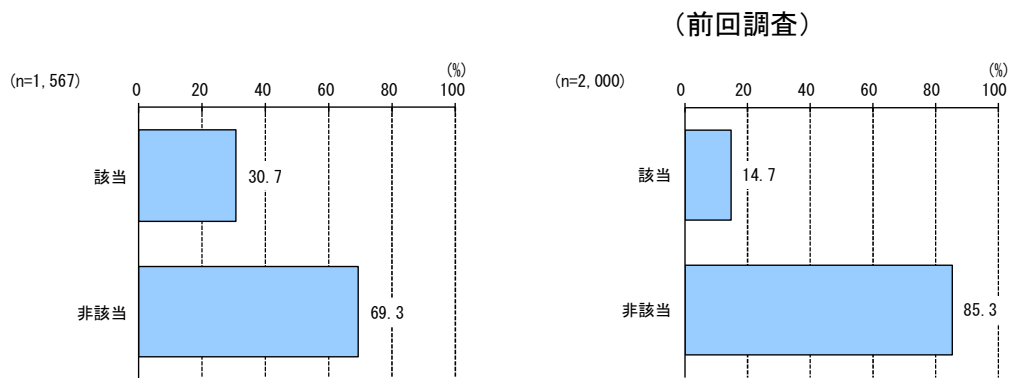
●リスク判定方法

以下の5問中3問に該当した人を、運動器の機能が低下していると判定しました。

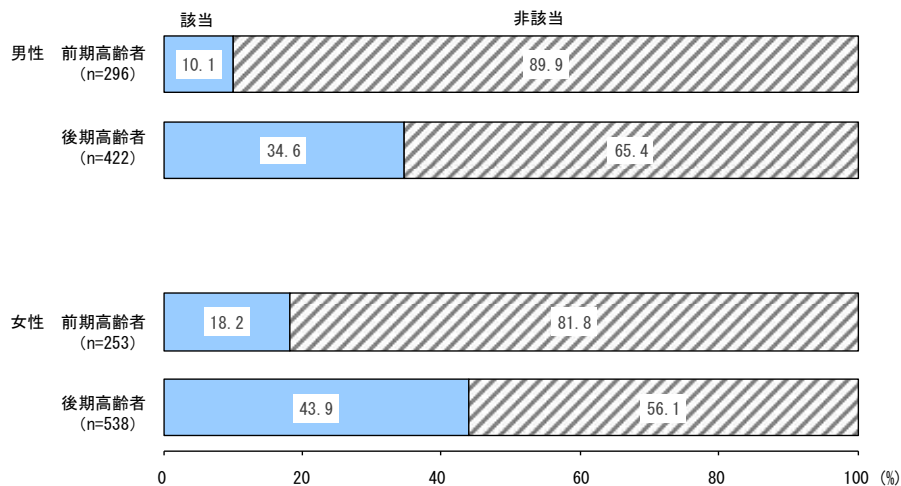
問 2.1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	「3. できない」
問 2.2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	
問 2.3 15分位続けて歩いていますか。	
問 2.4 過去1年間に転んだ経験がありますか。	「1. 何度もある」 「2. 1度ある」
問 2.5 転倒に対する不安は大きいですか。	「1. とても不安である」 「2. やや不安である」

- 運動器の機能低下リスクについて、「該当」が30.7%、「非該当」が69.3%となっています。
- 前回調査と比べると、「該当」が16.0ポイント増加しています。
- 性・年齢別にみると、後期高齢者では前期高齢者に比べ「該当」が多く、特に女性では43.9%と多くなっています。

【運動器の機能低下リスク】

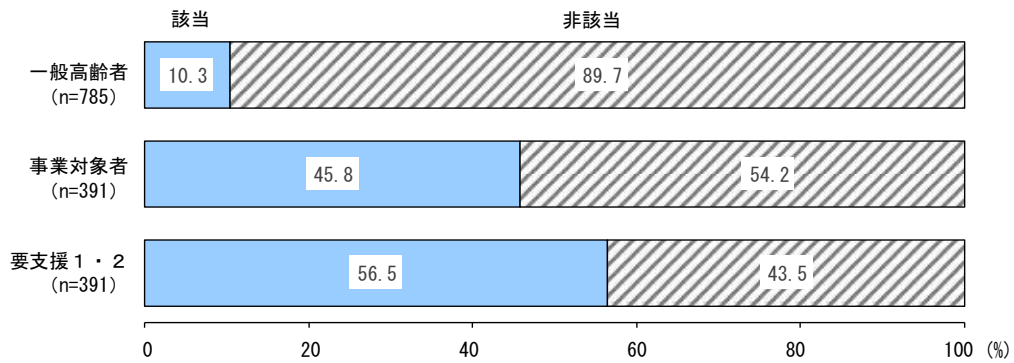


【性・年齢別】



- 認定該当状況別に見ると、一般高齢者では「該当」が10.3%であるのに対し、事業対象者では45.8%、要支援1・2では56.5%と多くなっています。

【認定該当状況別】



◆転倒リスクの判定

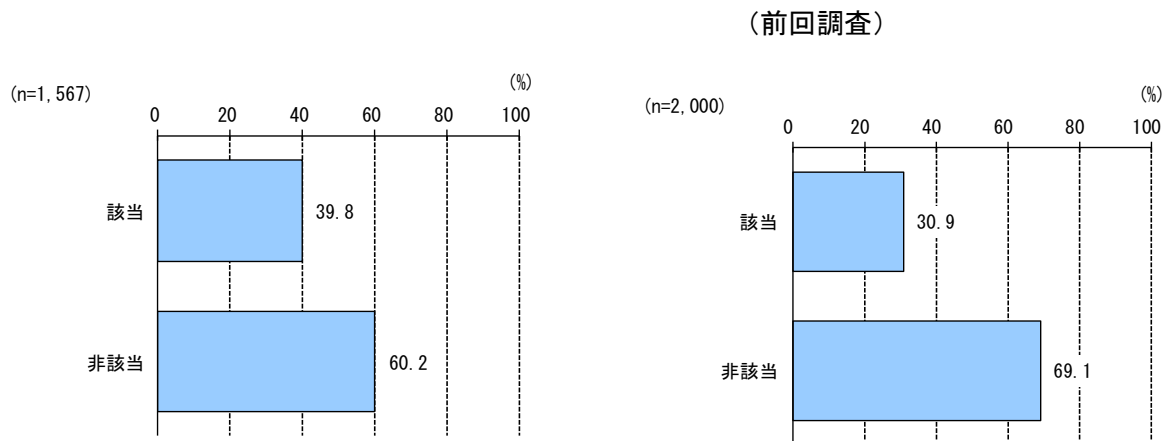
●リスク判定方法

以下に該当した人を、転倒リスクがあると判定しました。

問 2.4 過去1年間に転んだ経験がありますか。	「1. 何度もある」 「2. 1度ある」
--------------------------	-------------------------

- 転倒リスクについて、「該当」が39.8%、「非該当」が60.2%となっています。
- 前回調査と比べると、「該当」が8.9ポイント増加しています。

【転倒リスク】



◆閉じこもりのリスクの判定

●リスク判定方法

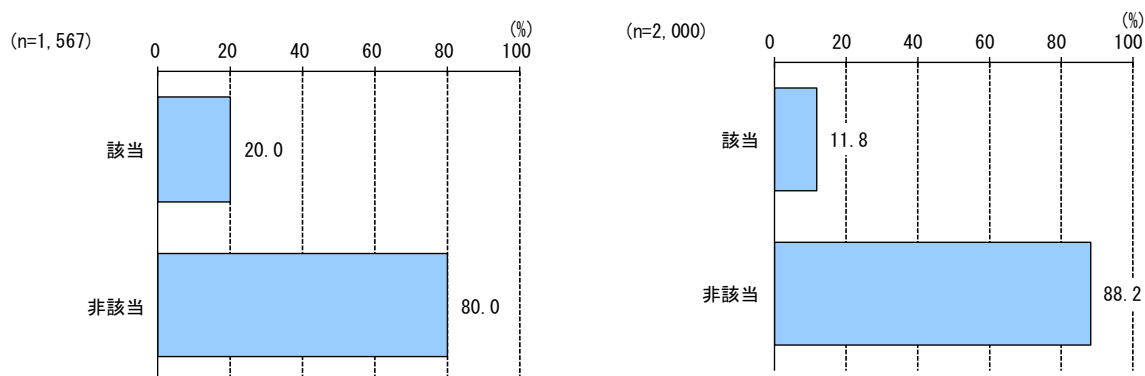
以下に該当した人を、閉じこもりのリスクがあると判定しました。

問 2.6 週に1回以上は外出していますか。	「1. ほとんど外出しない」 「2. 週1回」
------------------------	----------------------------

- 閉じこもりのリスクについて、「該当」が20.0%、「非該当」が80.0%となっています。
- 前回調査と比べると、「該当」が8.2ポイント増加しています。

【閉じこもりのリスク】

(前回調査)



◆口腔機能の低下リスクの判定

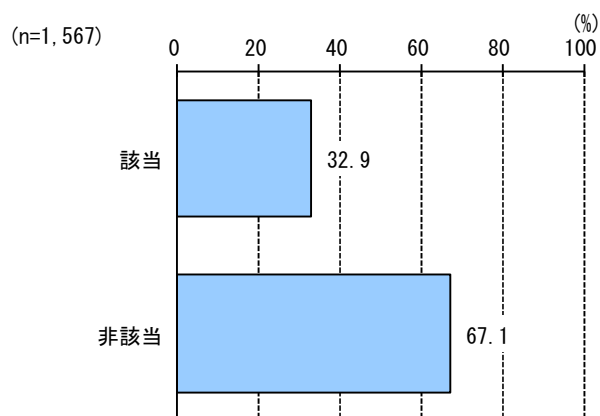
●リスク判定方法

以下の3問中2問に該当した人を、口腔機能が低下していると判定しました。

問 3.2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	「1. はい」
問 3.3 お茶や汁物等でむせることがありますか。	
問 3.4 口の渇きが気になりますか。	

- 口腔機能の低下リスクについて、「該当」が32.9%、「非該当」が67.1%となっています。

【口腔機能の低下リスク】



◆栄養改善のリスク（低栄養が疑われる高齢者）の判定

●リスク判定方法

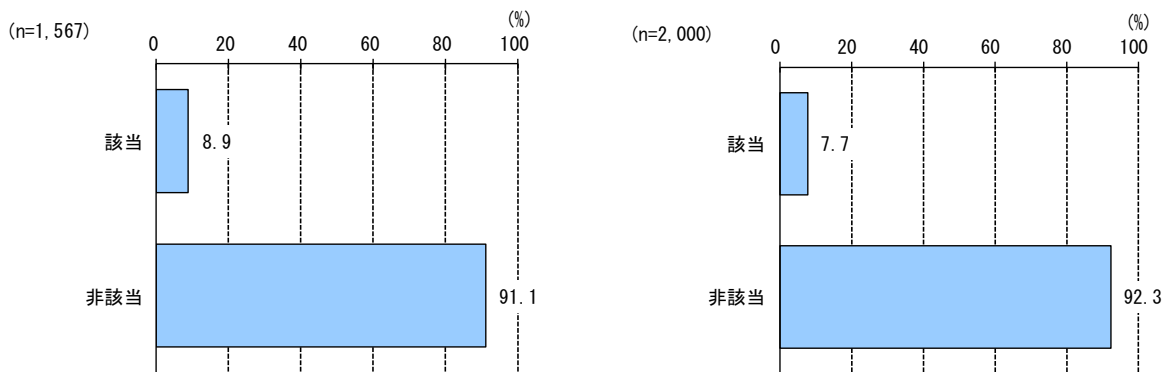
以下に該当した人を、栄養改善のリスクがある（低栄養が疑われる高齢者）と判定しました。

問 3.1 身長・体重を教えてください。	BMI : 体重 (kg) ÷ {身長 (m) × 身長 (m)} =18.5 以下
----------------------	---

- 栄養改善のリスク（低栄養が疑われる高齢者）について、「該当」が 8.9%、「非該当」が 91.1% となっています。
- 前回調査と比べると、「該当」が 1.2 ポイント増加しています。

【栄養改善のリスク（低栄養が疑われる高齢者）】

(前回調査)



◆低栄養状態の判定

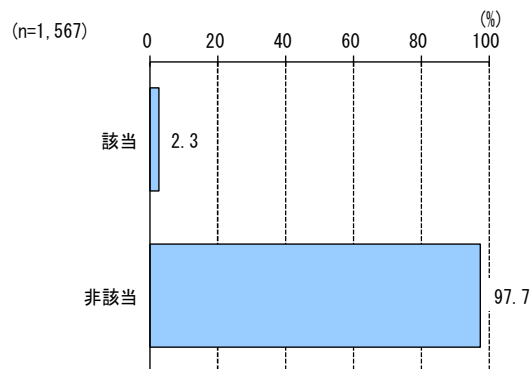
●リスク判定方法

以下の 2 問中 2 問に該当した人を、低栄養状態にあると判定しました。

問 3.1 身長・体重を教えてください。	BMI : 体重 (kg) ÷ {身長 (m) × 身長 (m)} =18.5 以下
問 3.7 6 か月間で 2～3 kg 以上の体重減少がありましたか。	「1. はい」

- 低栄養状態について、「該当」が 2.3%、「非該当」が 97.7% となっています。

【低栄養状態】



◆認知機能の低下リスクの判定

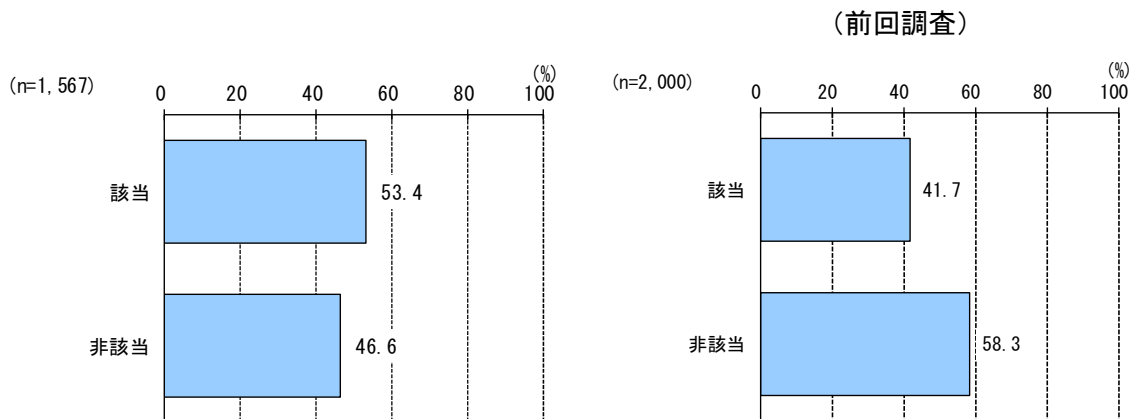
●リスク判定方法

以下に該当した人を、認知機能が低下していると判定しました。

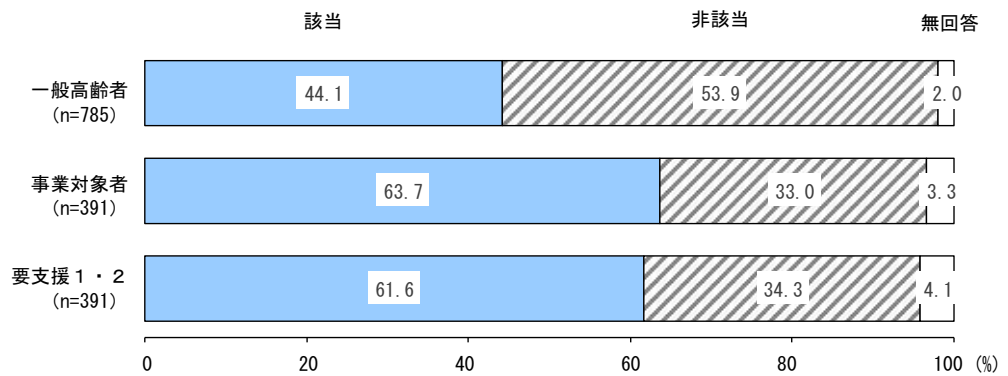
問 4.1 物忘れが多いと感じますか。	「1. はい」
---------------------	---------

- 認知機能の低下リスクについて、「該当」が53.4%、「非該当」が46.6%となっています。
- 前回調査と比べると、「該当」が11.7ポイント増加しています。
- 認定該当状況別にみると、一般高齢者では「該当」が44.1%であるのに対し、事業対象者、要支援1・2では6割を超えています。
- 外出頻度別にみると、週1回以下の人では、「該当」が6割を超えて多くなっています。

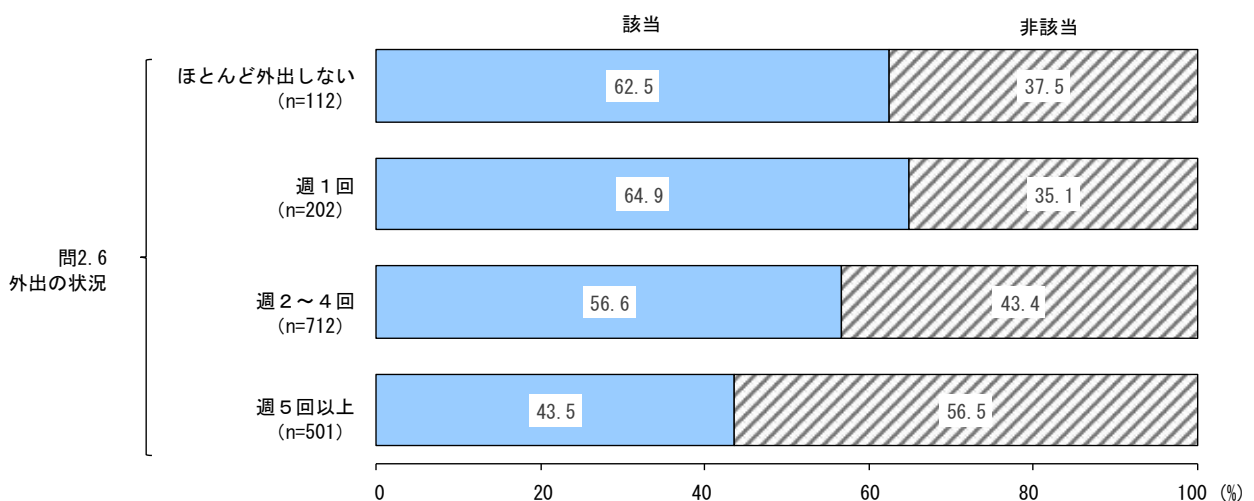
【認知機能の低下リスク】



【認定該当状況別】



【外出頻度別】



◆日常生活動作（IADL）判定

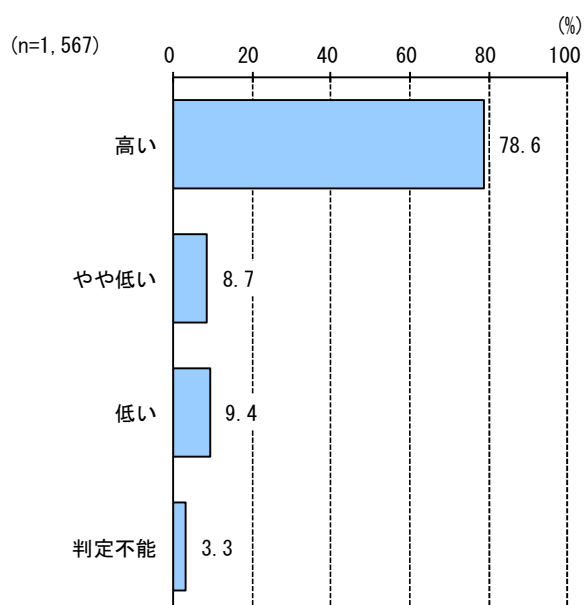
●判定方法

以下の5問について、「できる」が5つの場合「高い」、4つの場合「やや低い」、3つの場合「低い」と判定しました。無回答が1つ以上ある場合「判定不能」としてあります。

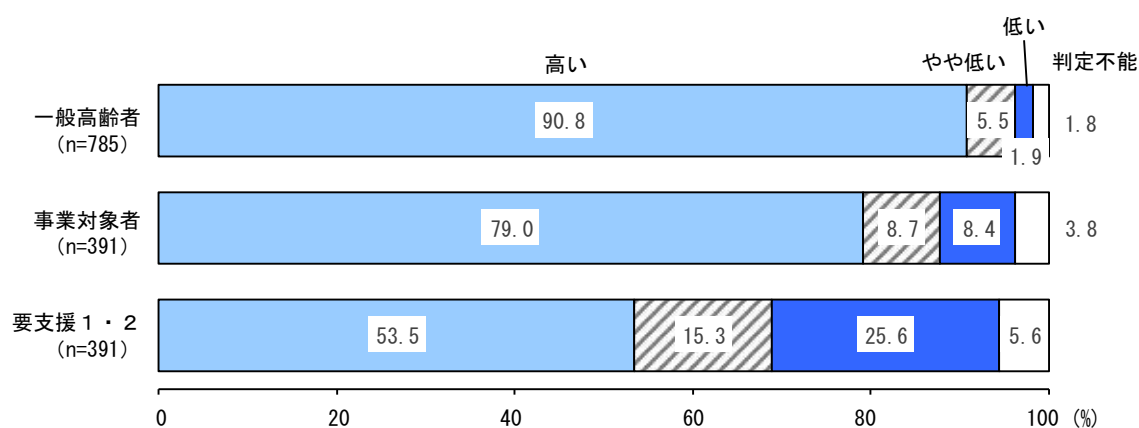
問 4.2 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。	「1. できる」
問 4.3 自分で食品・日用品の買物をしていますか。	
問 4.4 自分で食事の用意をしていますか。	
問 4.5 自分で請求書の支払いをしていますか。	
問 4.6 自分で預貯金の出し入れをしていますか。	

- 日常生活動作（IADL）について、「高い」が78.6%、「やや低い」が8.7%、「低い」が9.4%となっています。
- 認定該当状況別にみると、一般高齢者では「低い」が1.9%、事業対象者では8.4%であるのに対し、要支援1・2では25.6%と約4人に1人となっています。

【日常生活動作（IADL）】



【認定該当状況別】



◆うつ病のリスクの判定

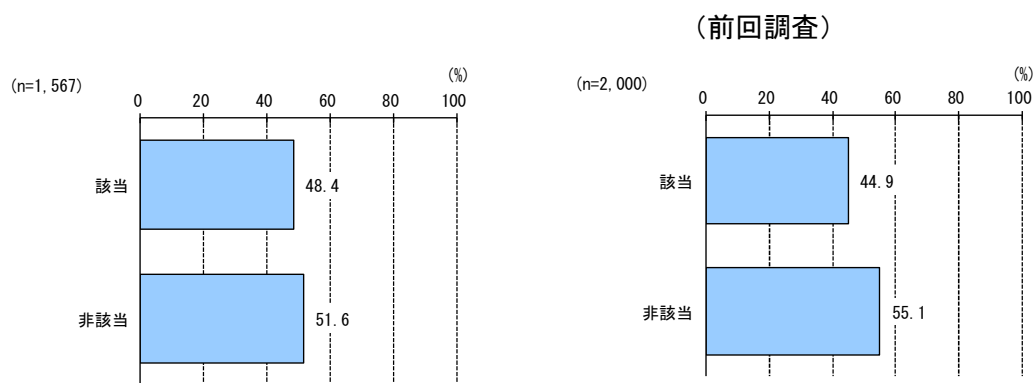
●リスク判定方法

以下の2問中1問該当した人をうつ病のリスクがあると判定しました。

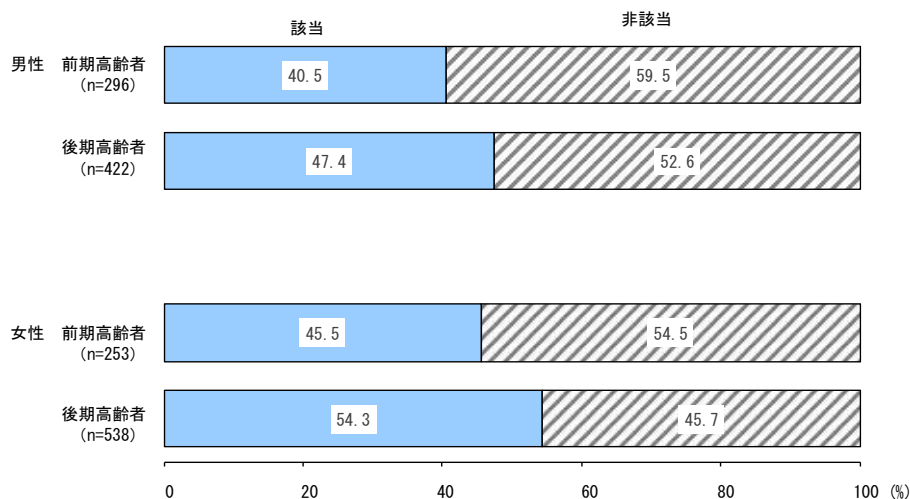
問 7.3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	「1. はい」
問 7.4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	

- うつ病のリスクについて、「該当」が48.4%、「非該当」が51.6%となっています。
- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べ、「該当」がやや多くなっています。
- 一般高齢者では「該当」が41.1%であるのに対し、事業対象者、要支援1・2では5割を超えています。

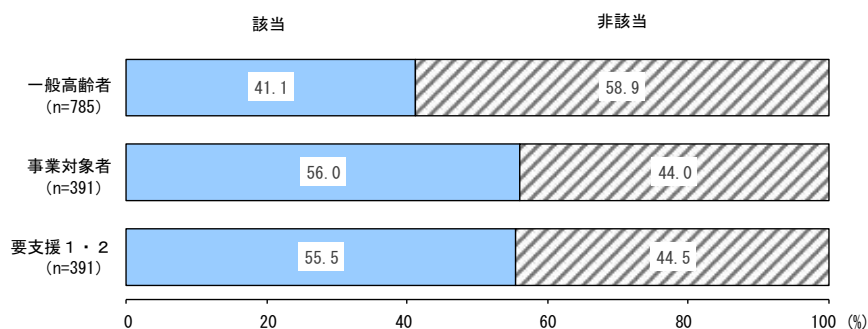
【うつ病のリスク】



【性・年齢別】



【認定該当状況別】



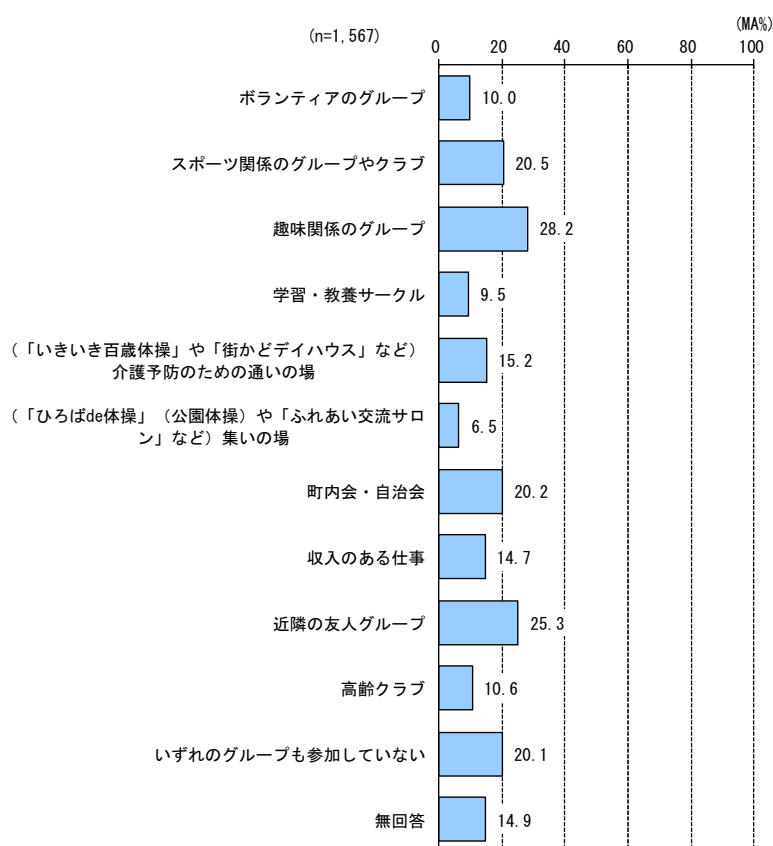
6. 地域での活動について

(1) 地域活動への参加の状況

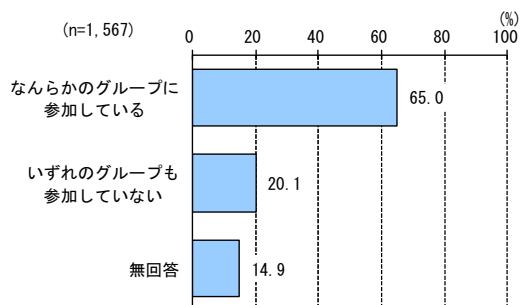
●問 5.1 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

- 参加している地域活動について、「趣味関係のグループ」が28.2%で最も多く、次いで「近隣の友人グループ」が25.3%、「スポーツ関係のグループやクラブ」が20.5%となっています。
- 地域活動への参加状況について、なんらかのグループに参加している人は65.0%、いずれのグループも参加していない人は20.1%となっています。
- 地域活動への参加状況と頻度について、なんらかのグループに週1回以上参加している人は、43.5%となっています。

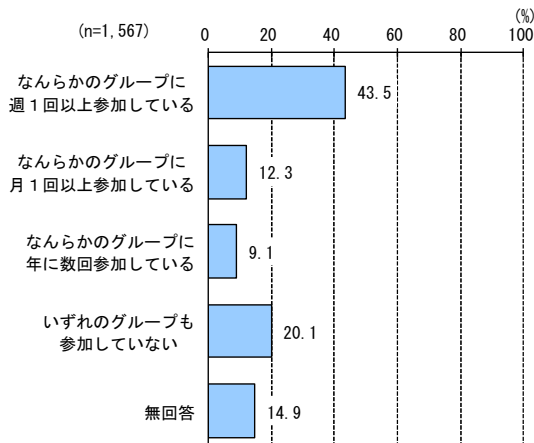
【参加している地域活動】



【地域活動への参加状況】



【地域活動への参加状況と頻度】



単位：％

		母数 (n)	①ボランティアのグループへの参加頻度						
			週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	な 参 い 加 し て い	無 回 答
全体		1,567	0.6	1.3	2.1	3.3	2.8	60.4	29.5
性・ 年齢	男性 前期高齢者	296	1.0	1.7	2.4	2.7	4.7	78.7	8.8
	後期高齢者	422	0.5	0.7	0.7	2.6	2.1	61.8	31.5
	女性 前期高齢者	253	0.4	4.0	3.6	4.7	2.8	71.5	13.0
	後期高齢者	538	0.4	0.4	1.9	3.7	2.2	46.7	44.8

単位：％

		母数 (n)	②スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度						
			週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	な 参 い 加 し て い	無 回 答
全体		1,567	2.1	6.0	6.6	3.3	2.6	51.8	27.7
性・ 年齢	男性 前期高齢者	296	1.4	5.4	7.1	6.4	3.0	67.9	8.8
	後期高齢者	422	0.9	3.1	3.6	2.6	5.0	55.2	29.6
	女性 前期高齢者	253	3.6	12.3	9.5	4.0	2.0	59.3	9.5
	後期高齢者	538	2.8	6.1	7.2	1.7	0.9	38.8	42.4

単位：％

		母数 (n)	③趣味関係のグループへの参加頻度						
			週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	な 参 い 加 し て い	無 回 答
全体		1,567	1.6	4.2	5.6	12.3	4.6	47.3	24.5
性・ 年齢	男性 前期高齢者	296	1.0	3.0	4.7	7.1	7.8	66.6	9.8
	後期高齢者	422	0.7	3.3	4.3	8.8	4.0	50.7	28.2
	女性 前期高齢者	253	1.6	5.1	7.5	19.0	5.1	51.4	10.3
	後期高齢者	538	2.6	5.2	6.3	15.1	3.3	33.8	33.6

単位：％

		母数 (n)	④学習・教養サークルへの参加頻度						
			週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	な 参 い 加 し て い	無 回 答
全体		1,567	0.1	0.7	2.0	2.9	3.8	60.3	30.2
性・ 年齢	男性 前期高齢者	296	0.3	-	1.4	2.7	4.1	80.4	11.1
	後期高齢者	422	-	0.2	1.4	2.8	3.3	59.7	32.5
	女性 前期高齢者	253	-	1.2	2.8	2.8	5.9	73.5	13.8
	後期高齢者	538	-	1.1	2.2	3.3	3.2	46.3	43.9

単位：％

		母数 (n)	⑤（「いきいき百歳体操」や「街かどデイハウス」など）介護予防のための通いの場への参加頻度						
			週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	な 参 い 加 し て い	無 回 答
全体		1,567	0.8	3.1	8.3	2.0	0.9	60.2	24.6
性・ 年齢	男性 前期高齢者	296	-	1.0	0.7	0.7	1.7	86.1	9.8
	後期高齢者	422	0.7	2.6	8.5	1.4	0.7	57.1	28.9
	女性 前期高齢者	253	0.4	2.8	4.7	1.6	0.8	78.7	11.1
	後期高齢者	538	1.7	4.8	13.6	3.7	0.7	42.2	33.3
状 該 認 況 当 定	一般高齢者	785	0.4	0.8	2.4	1.5	0.6	77.6	16.7
	事業対象者	391	1.8	5.4	19.9	3.6	0.5	38.6	30.2
	要支援1・2	391	0.8	5.6	8.4	1.5	1.8	46.8	35.0

単位：％

		母数 (n)	⑥（「ひろばde体操」（公園体操）や「ふれあい交流サロン」など）集いの場への参加頻度						
			週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	な ま ま な 参 加 し て い ない	無 回 答
全体		1,567	0.7	0.6	1.8	1.5	1.9	64.1	29.4
性・ 年齢	男性 前期高齢者	296	-	0.3	0.3	0.7	2.7	85.1	10.8
	後期高齢者	422	1.2	0.7	0.9	0.2	2.4	61.6	32.9
	女性 前期高齢者	253	0.4	-	0.8	1.6	1.2	81.0	15.0
	後期高齢者	538	0.9	0.7	3.7	3.2	1.5	49.3	40.7
状況 認定	一般高齢者	785	0.8	0.4	0.8	1.3	1.3	77.7	17.8
	事業対象者	391	1.0	0.8	3.8	2.6	2.8	47.6	41.4
	要支援1・2	391	0.3	0.8	1.8	1.0	2.3	53.5	40.4

単位：％

		母数 (n)	⑦町内会・自治会への参加頻度						
			週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	な ま ま な 参 加 し て い ない	無 回 答
全体		1,567	0.3	0.5	0.8	5.3	13.4	52.4	27.4
性・ 年齢	男性 前期高齢者	296	0.3	0.3	0.7	6.8	14.2	67.6	10.1
	後期高齢者	422	0.2	0.5	0.9	5.2	11.1	52.1	29.9
	女性 前期高齢者	253	0.8	0.4	0.4	4.3	16.2	64.0	13.8
	後期高齢者	538	-	0.6	0.6	5.4	14.3	40.5	38.7

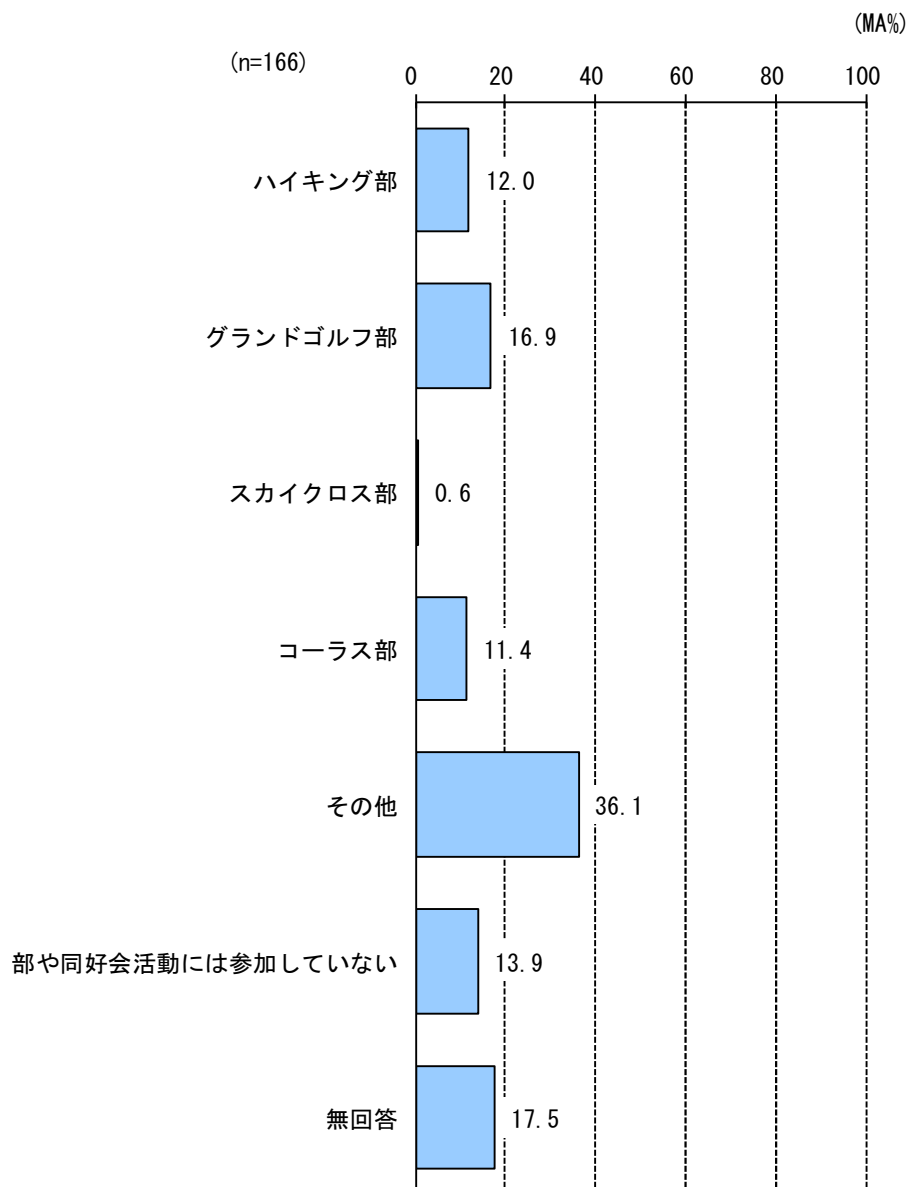
単位：％

		母数 (n)	⑧収入のある仕事への参加頻度						
			週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	な ま ま な 参 加 し て い ない	無 回 答
全体		1,567	7.4	3.4	1.2	1.1	1.6	57.1	28.2
性・ 年齢	男性 前期高齢者	296	19.9	6.1	3.0	2.0	4.1	57.1	7.8
	後期高齢者	422	3.1	2.8	0.5	0.5	1.2	61.1	30.8
	女性 前期高齢者	253	13.8	8.3	1.6	2.8	1.2	63.2	9.1
	後期高齢者	538	0.9	0.6	0.2	0.4	0.7	53.7	43.5

●問 5.1⑩-1 (問 5.1⑩で「週 4 回以上」「週 2~3 回」「週 1 回」「月 1~3 回」「年に数回」と答えた方(高齢クラブへ参加している方)のみ) 高齢クラブでは、どのような部や同好会活動に参加していますか。(いくつでも)

- 高齢クラブで参加している部や同好会活動について、全体から「部や同好会活動には参加していない」、無回答を除いた“参加している”が 68.6%、「部や同好会活動には参加していない」が 13.9%となっています。
- “参加している”では、「グランドゴルフ部」が 16.9%で最も多く、次いで「ハイキング部」が 12.0%となっています。
- 地域別にみると、「グランドゴルフ部」は JR 以南地域、豊津・江坂・南吹田地域で多くなっています。また、「その他」として、豊津・江坂・南吹田地域、千里山・佐井寺地域、山田・千里丘地域、千里ニュータウン・万博・阪大地域ではカラオケ、そのほか千里山・佐井寺地域では舞り、山田・千里丘地域、千里ニュータウン・万博・阪大地域ではウォーキング等の活動への参加が多くなっています。

【高齢クラブで参加している部や同好会活動(MA)】



単位：%

	母数 (n)	高齢クラブで参加している部や同好会活動(MA)							
		ハイ キン グ 部	グ ラ ン ド ゴ ル フ 部	ス カ イ ク ロ ス 部	コ ー ラ ス 部	そ の 他	は部 や同 好会 活動 に	無 回 答	
全体	166	12.0	16.9	0.6	11.4	36.1	13.9	17.5	
圏 域	J R以南地域	16	12.5	31.3	-	6.3	12.5	18.8	31.3
	片山・岸部地域	27	14.8	22.2	-	11.1	37.0	14.8	3.7
	豊津・江坂・南吹田地域	30	16.7	30.0	-	6.7	43.3	3.3	13.3
	千里山・佐井寺地域	30	10.0	6.7	-	13.3	36.7	10.0	26.7
	山田・千里丘地域	32	9.4	15.6	3.1	9.4	40.6	9.4	21.9
	千里ニュータウン・万博・阪大地域	27	11.1	3.7	-	14.8	40.7	25.9	14.8

その他

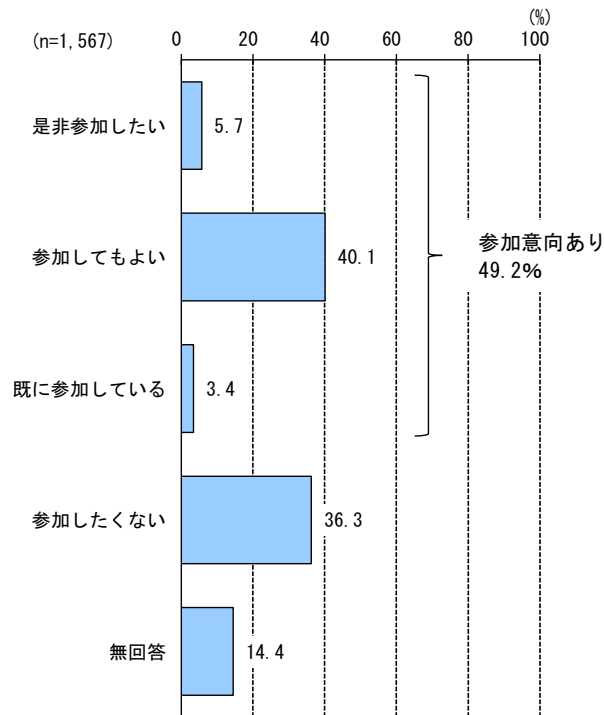
カテゴリー	延件数
カラオケ、歌	18
体操、ヨガ	13
茶話会、いきいきサロン	10
スポーツ	10
うち、ゴルフ	6
囲碁・将棋・麻雀	9
踊り	4
ウォーキング、ハイキング	3
旅行	2
料理	2
その他	10

(2) 地域づくり活動への参加意向

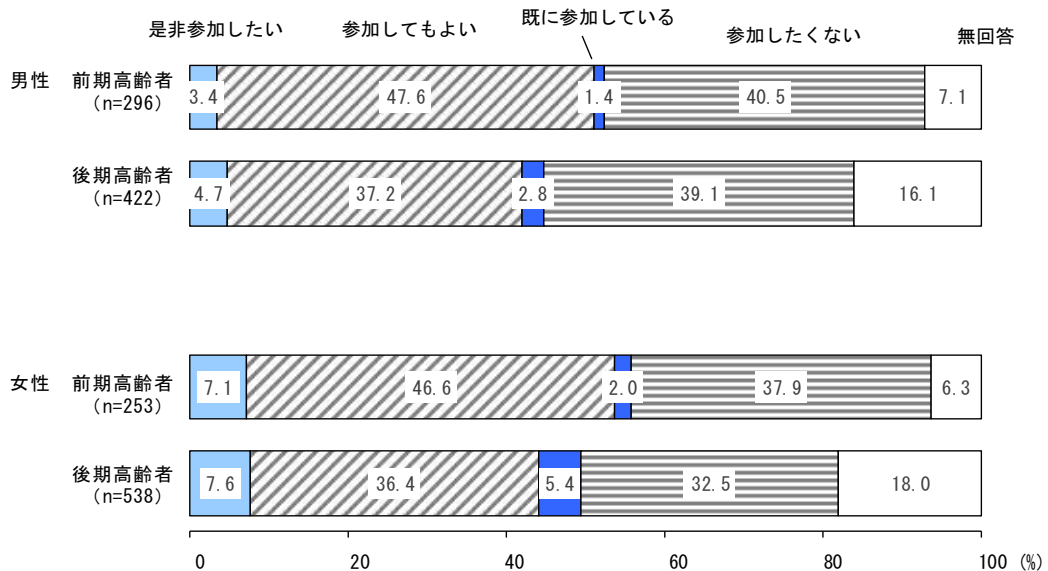
●問 5.2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つだけ)

- 地域づくり活動に対する参加者としての参加意向について、「参加してもよい」が40.1%で最も多く、次いで「参加したくない」が36.3%、「是非参加したい」が5.7%となっています。
- 「是非参加したい」「参加してもよい」「既に参加している」を合わせた“参加意向あり”は、49.2%となっています。

【地域づくり活動に対する参加者としての参加意向】

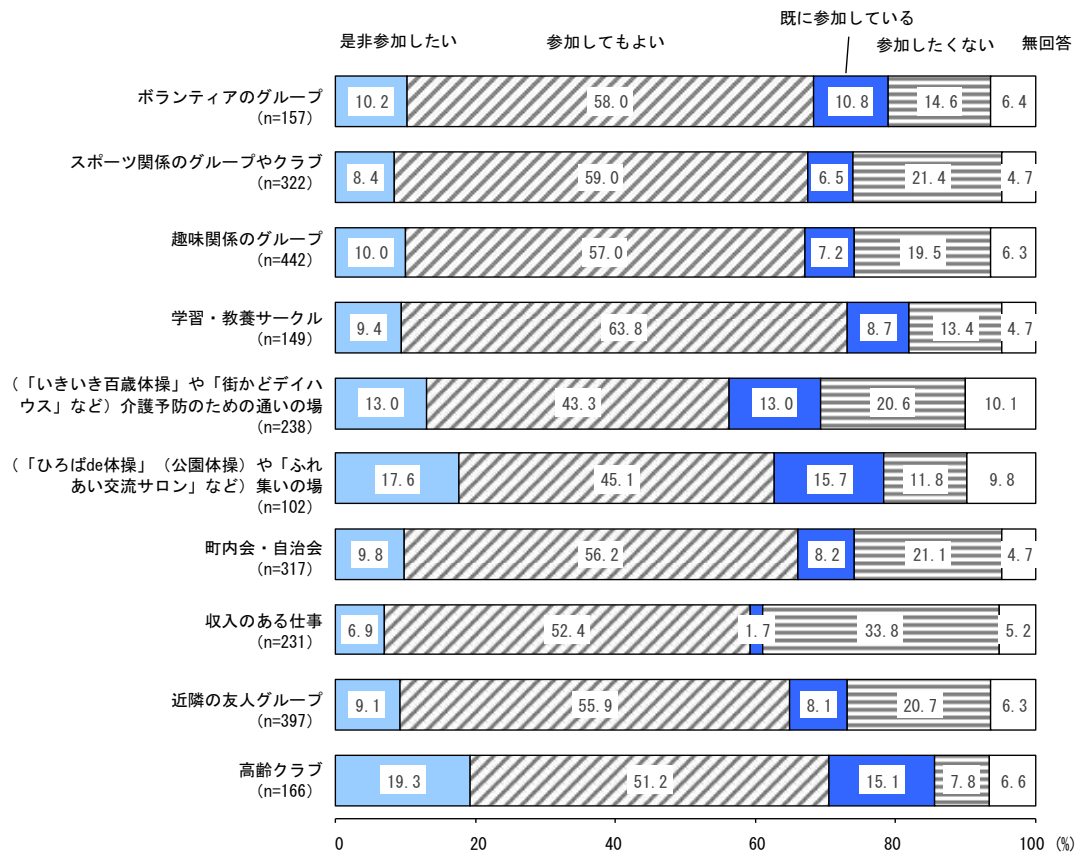


【性・年齢別】



【地域活動への参加状況別】

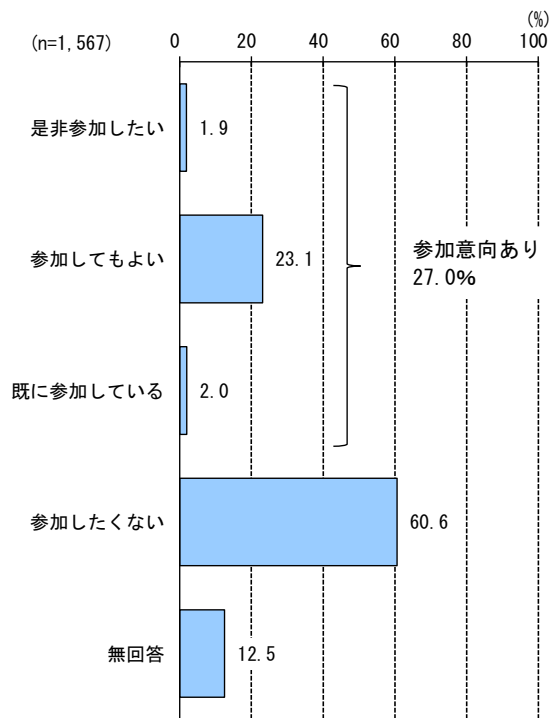
問5.1
参加している
地域活動



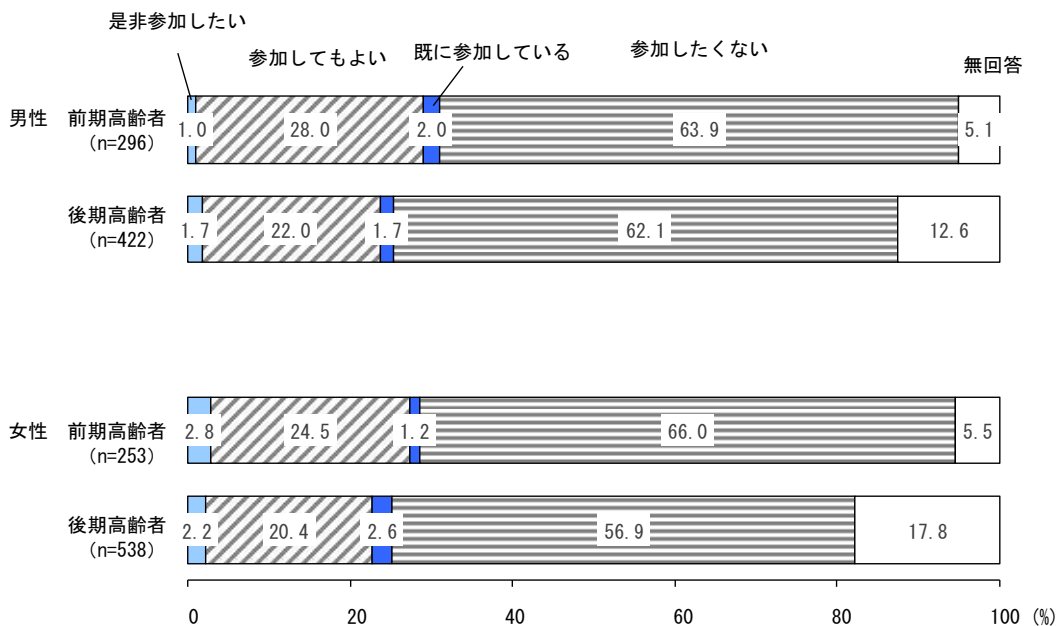
●問 5.3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（1つだけ）

- 地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向について、「参加したくない」が60.6%で最も多く、次いで「参加してもよい」が23.1%、「既に参加している」が2.0%となっています。
- 「是非参加したい」「参加してもよい」「既に参加している」を合わせた“参加意向あり”は、27.0%となっています。

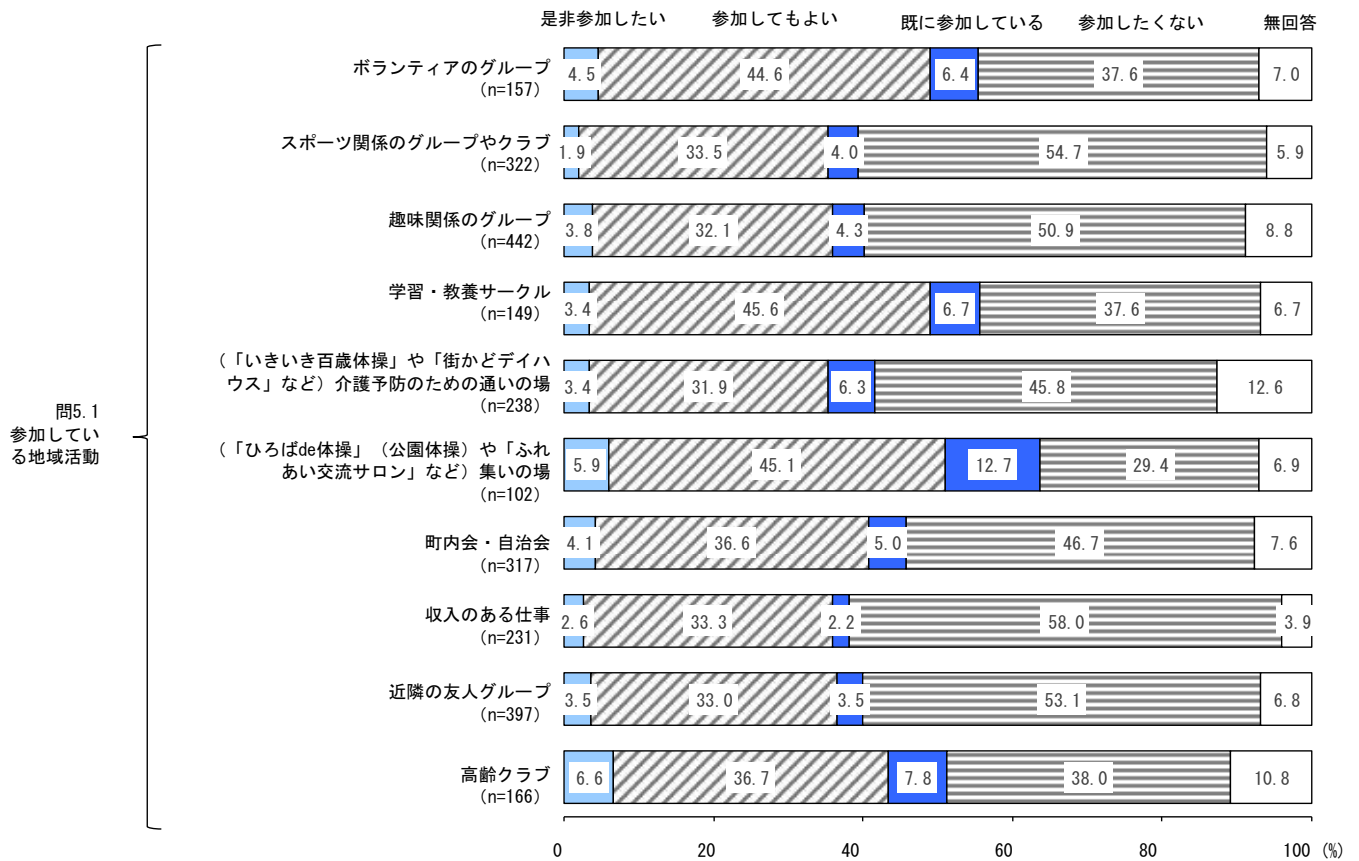
【地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向】



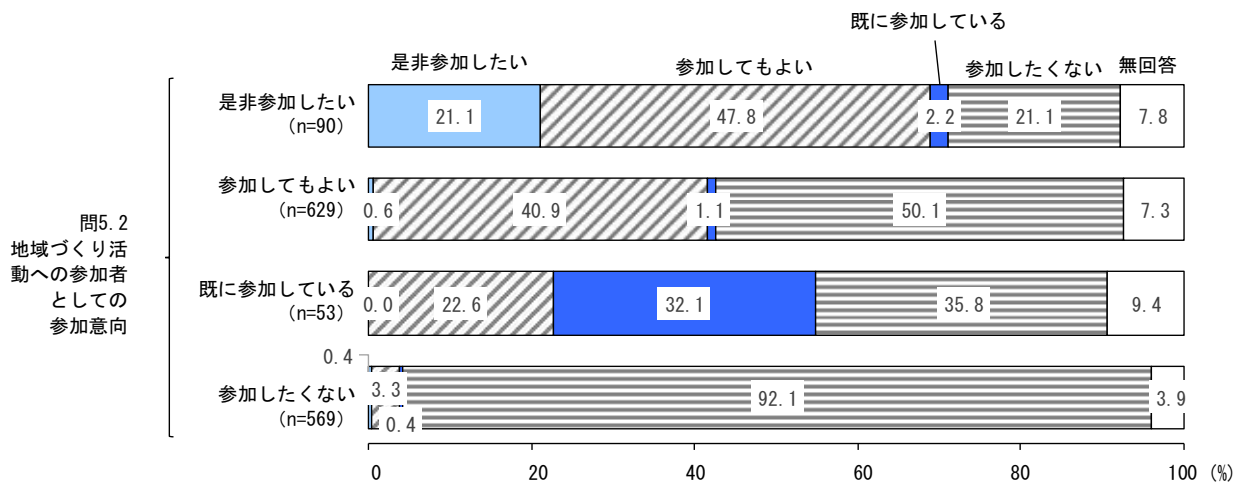
【性・年齢別】



【地域活動への参加状況別】



【地域づくり活動への参加者としての参加意向別】

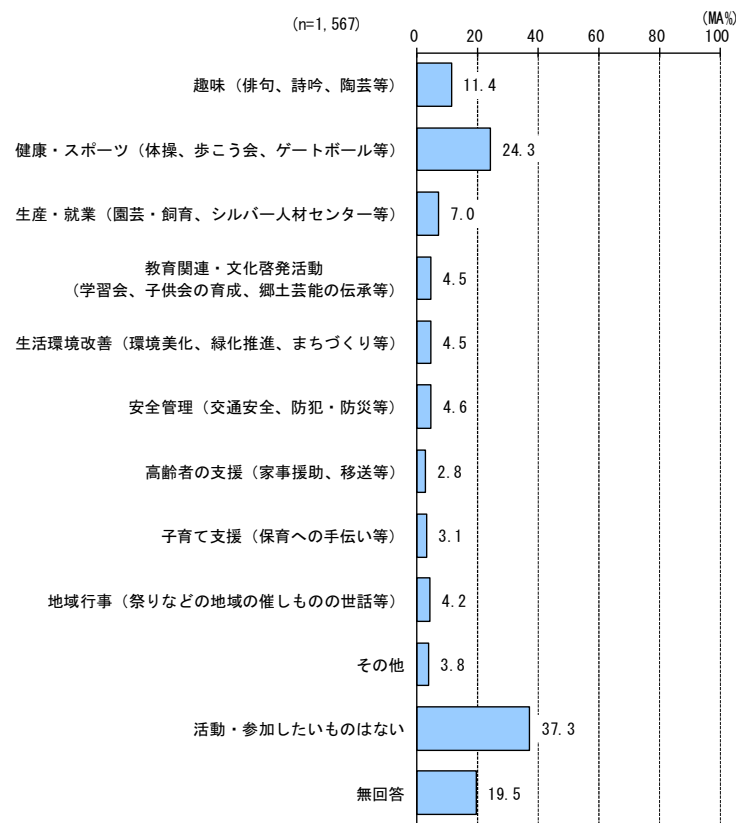


(3) 自主的に行われている活動で興味があるもの

●問 5.4 自主的に行われている次のような活動に興味はありますか。(いくつでも)

- 自主的に行われている活動で興味があるものについて、「活動・参加したいものはない」が 37.3%で最も多く、次いで「健康・スポーツ（体操、歩こう会、ゲートボール等）」が 24.3%、「趣味（俳句、詩吟、陶芸等）」が 11.4%となっています。
- 地域活動への参加状況別にみると、「活動・参加したいものはない」人は、収入のある仕事をしている人で 35.1%、いずれのグループにも参加していない人で 63.2%と多くなっています。

【自主的に行われている活動で興味があるもの(MA)】



単位：%

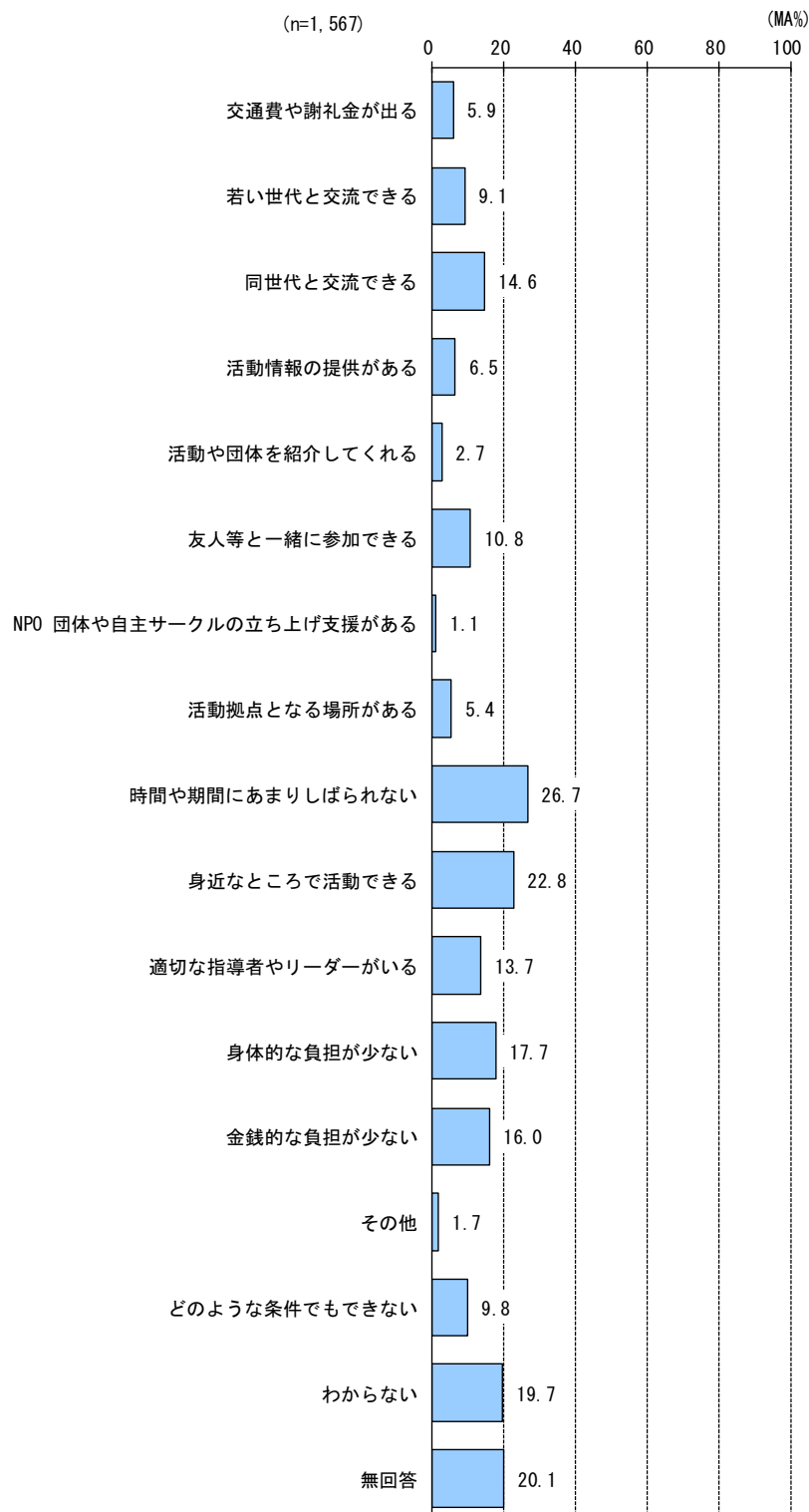
地域活動への参加状況(MA)	母数(n)	自主的に行われている活動で興味があるもの(MA)											
		趣味（俳句、詩吟、陶芸等）	健康・スポーツ（体操、歩こう会、ゲートボール等）	生産・就業（園芸・飼育、シルバー人材センター等）	教育関連・文化啓発活動（学習会、子供会の育成、郷土芸能の伝承等）	生活環境改善（環境美化、緑化推進、まちづくり等）	安全管理（交通安全、防犯・防災等）	高齢者の支援（家事援助、移送等）	子育て支援（保育への手伝い等）	地域行事（祭りなどの地域の催しもの世話等）	その他	活動・参加したいものはない	無回答
全体	1,567	11.4	24.3	7.0	4.5	4.5	4.6	2.8	3.1	4.2	3.8	37.3	19.5
①ボランティアのグループ	157	15.3	47.1	11.5	14.0	17.2	15.3	7.6	11.5	18.5	4.5	16.6	7.6
②スポーツ関係のグループやクラブ	322	10.9	48.1	9.3	6.2	9.0	8.1	4.3	7.1	6.5	3.4	27.6	8.1
③趣味関係のグループ	442	20.8	37.6	9.0	7.0	8.6	7.7	4.1	4.8	8.8	4.3	24.9	11.3
④学習・教養サークル	149	31.5	51.0	12.1	19.5	13.4	10.7	6.7	8.7	10.7	4.0	8.7	4.0
⑤（「いきいき百歳体操」や「街かどデイハウス」など）介護予防のための通いの場	238	15.1	33.6	6.3	7.6	5.0	6.7	6.7	3.4	10.1	2.9	29.8	14.3
⑥（「ひろばde体操」（公園体操）や「ふれあい交流サロン」など）集いの場	102	20.6	50.0	16.7	9.8	11.8	15.7	7.8	4.9	19.6	3.9	11.8	7.8
⑦町内会・自治会	317	16.1	37.5	11.0	7.9	10.7	10.1	6.0	6.6	12.0	2.8	26.8	9.1
⑧収入のある仕事	231	13.0	32.0	16.5	9.5	7.8	10.0	4.3	7.8	6.1	2.2	35.1	7.8
⑨近隣の友人グループ	397	17.6	37.5	9.8	8.1	7.3	7.3	4.0	5.3	9.6	4.0	27.7	10.1
⑩高齢クラブ	166	21.7	43.4	12.0	7.8	8.4	10.8	6.6	2.4	11.4	3.0	18.7	10.8
⑪いずれのグループも参加していない	315	7.6	11.1	2.5	2.2	1.9	2.2	1.9	0.6	0.6	5.4	63.2	9.8

(4) あれば参加・活動しやすい条件

●問 5.5 今後、地域活動・ボランティア活動に参加する場合、どのような条件があれば参加・活動しやすい（又は参加・活動したい）と思いますか。（いくつでも）

○ あれば参加・活動しやすい条件について、「時間や期間にあまりしぼられない」が26.7%で最も多く、次いで「身近なところで活動できる」が22.8%、「身体的な負担が少ない」が17.7%となっています。

【あれば参加・活動しやすい条件(MA)】



単位：%

		母数 (n)	あれば参加・活動しやすい条件(MA)							活動拠点となる場所がある
			交通費や謝礼金が出る	若い世代と交流できる	同世代と交流できる	活動情報の提供がある	活動や団体を紹介してくれる	友人等と一緒に参加できる	ちN P O 団体の自主サークルの立上げ支援がある	
全体		1,567	5.9	9.1	14.6	6.5	2.7	10.8	1.1	5.4
地域活動への参加状況(MA)	①ボランティアのグループ	157	15.3	24.8	29.9	14.6	5.7	23.6	4.5	17.8
	②スポーツ関係のグループやクラブ	322	10.2	15.8	20.5	9.9	5.0	17.4	1.9	9.9
	③趣味関係のグループ	442	8.4	13.6	21.9	10.0	5.4	18.3	1.8	9.7
	④学習・教養サークル	149	10.7	24.8	32.9	14.1	7.4	26.2	4.0	11.4
	⑤(「いきいき百歳体操」や「街かどデイハウス」など)介護予防のための通いの場	238	4.6	10.5	25.6	8.0	4.2	20.2	1.3	4.2
	⑥(「ひろばde体操」(公園体操)や「ふれあい交流サロン」など)集いの場	102	8.8	14.7	37.3	11.8	6.9	30.4	2.0	7.8
	⑦町内会・自治会	317	9.1	15.1	26.2	10.1	4.1	21.5	2.2	8.5
	⑧収入のある仕事	231	13.9	18.2	18.2	10.8	5.6	13.4	3.5	10.8
	⑨近隣の友人グループ	397	8.8	15.1	23.9	9.3	4.3	25.7	1.3	9.1
	⑩高齢クラブ	166	9.0	12.0	30.7	6.6	4.8	25.9	1.2	7.2
	⑪いずれのグループも参加していない	315	3.2	4.4	7.6	2.9	1.0	1.9	0.6	1.6

単位：%

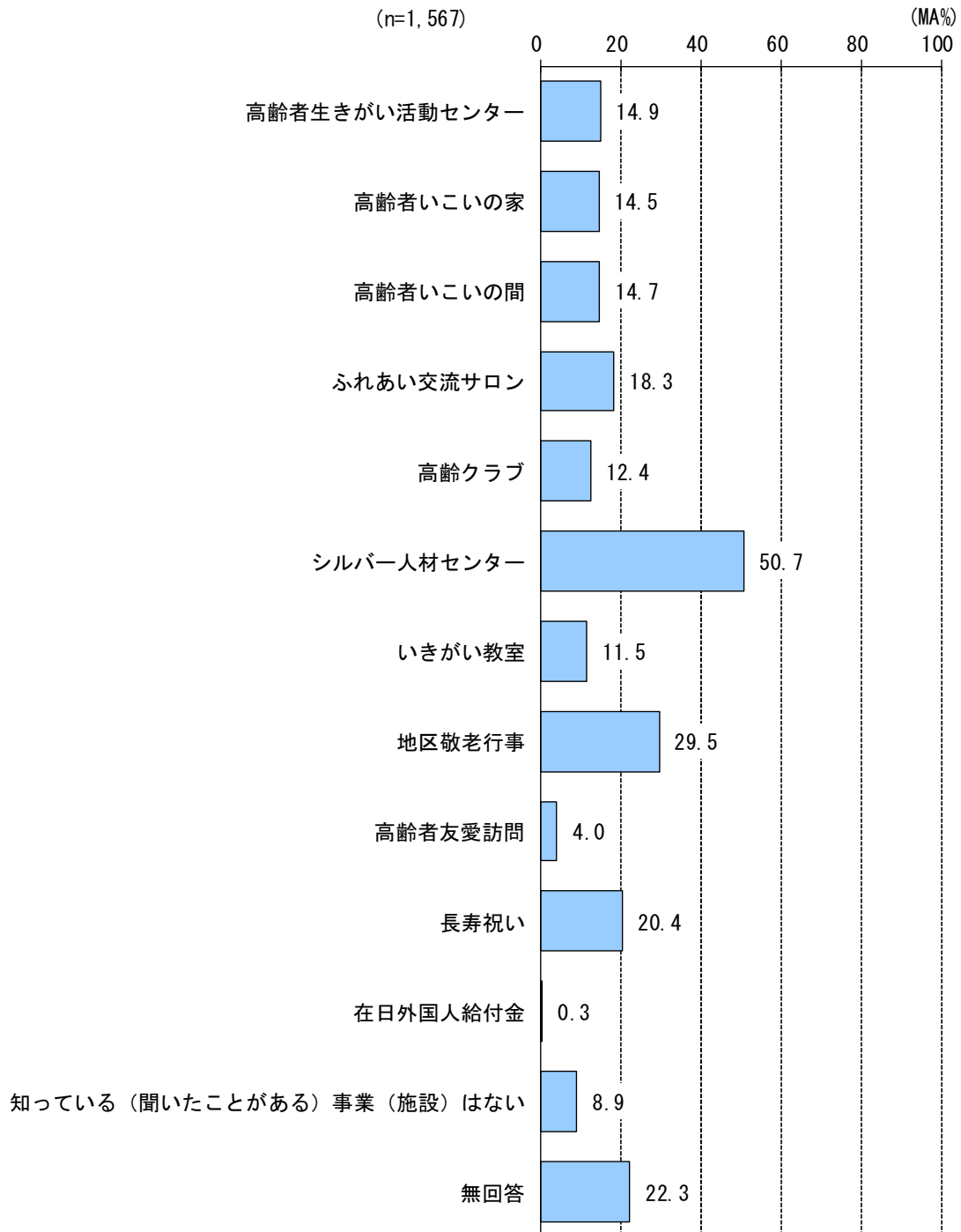
		あれば参加・活動しやすい条件(MA)								
		い時間や期間にあまりしづらな	身近なところで活動できる	適切な指導者やリーダーがいる	身体的な負担が少ない	金銭的な負担が少ない	その他	どのような条件でもできない	わからない	無回答
全体		26.7	22.8	13.7	17.7	16.0	1.7	9.8	19.7	20.1
地域活動への参加状況(MA)	①ボランティアのグループ	46.5	46.5	29.3	30.6	29.9	-	2.5	5.7	8.3
	②スポーツ関係のグループやクラブ	40.7	36.0	26.4	23.6	24.2	0.9	3.7	12.7	9.9
	③趣味関係のグループ	37.1	33.5	23.8	23.8	24.0	0.9	5.2	13.8	12.9
	④学習・教養サークル	42.3	46.3	34.2	32.9	27.5	0.7	4.7	6.0	6.7
	⑤(「いきいき百歳体操」や「街かどデイハウス」など)介護予防のための通いの場	26.1	31.9	23.9	28.6	19.3	1.3	8.4	13.4	17.6
	⑥(「ひろばde体操」(公園体操)や「ふれあい交流サロン」など)集いの場	36.3	41.2	26.5	33.3	21.6	1.0	2.9	6.9	7.8
	⑦町内会・自治会	38.8	40.7	19.9	27.4	23.0	1.3	6.0	11.4	8.2
	⑧収入のある仕事	43.3	38.5	22.9	18.6	24.2	0.4	4.8	17.3	8.2
	⑨近隣の友人グループ	40.6	38.3	21.4	25.9	25.4	0.8	5.3	14.6	8.8
	⑩高齢クラブ	29.5	39.8	24.7	33.1	21.7	0.6	4.2	14.5	12.0
	⑪いずれのグループも参加していない	17.8	10.8	6.0	12.1	9.5	4.4	20.0	33.0	13.0

(5) 知っている（聞いたことがある）事業（施設）

●問 5.6 次の事業（施設）について知っている（聞いたことがある）ものはありますか。
（いくつでも）

○ 知っている（聞いたことがある）事業（施設）について、「シルバー人材センター」が50.7%で最も多く、次いで「地区敬老行事」が29.5%、「長寿祝い」が20.4%となっています。

【知っている（聞いたことがある）事業（施設）(MA)】

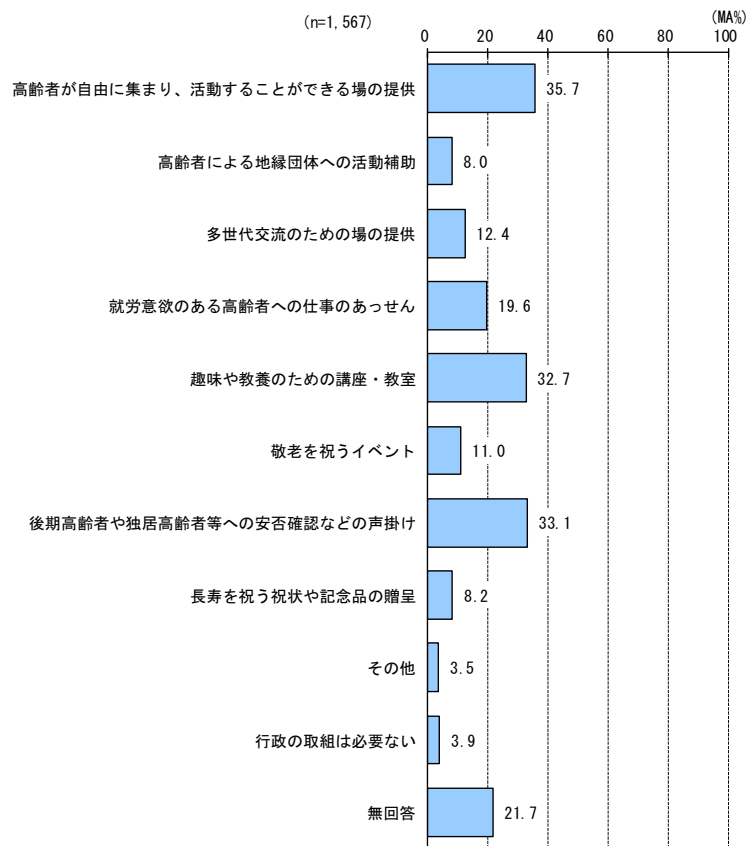


(6) 高齢者の生きがいに繋がると思う行政の取組

●問 5.7 行政のどのような取組が、高齢者の生きがいに繋がると思いますか。(いくつでも)

- 高齢者の生きがいに繋がると思う行政の取組について、「高齢者が自由に集まり、活動することができる場の提供」が35.7%で最も多く、次いで「後期高齢者や独居高齢者等への安否確認などの声掛け」が33.1%、「趣味や教養のための講座・教室」が32.7%となっています。
- 性・年齢別にみると、女性では男性に比べ、「高齢者が自由に集まり、活動することができる場の提供」「後期高齢者や独居高齢者等への安否確認などの声掛け」が多くなっています。また、前期高齢者では「就労意欲のある高齢者への仕事のあっせん」「趣味や教養のための講座・教室」が多くなっています。

【高齢者の生きがいに繋がると思う行政の取組(MA)】



単位：%

性・年齢	母数 (n)	高齢者の生きがいに繋がると思う行政の取組(MA)											
		提供できる場の提供	高齢者への活動補助	多世代交流のための場の提供	就労意欲のある高齢者への仕事のあっせん	趣味や教養のための講座・教室	敬老を祝うイベント	後期高齢者や独居高齢者等への安否確認などの声掛け	長寿を祝う祝状や記念品の贈呈	その他	行政の取組は必要ない	無回答	
全体	1,567	35.7	8.0	12.4	19.6	32.7	11.0	33.1	8.2	3.5	3.9	21.7	
男性	前期高齢者	296	33.8	11.5	14.5	36.1	37.5	6.1	22.3	5.7	5.4	5.1	12.2
	後期高齢者	422	30.3	6.9	8.8	11.4	26.8	13.0	30.1	9.0	3.3	5.0	25.4
女性	前期高齢者	253	47.0	9.9	20.6	30.8	44.3	7.1	37.2	5.1	3.6	4.3	11.9
	後期高齢者	538	37.4	6.5	10.8	12.6	30.7	14.5	40.9	11.0	2.8	2.4	25.7

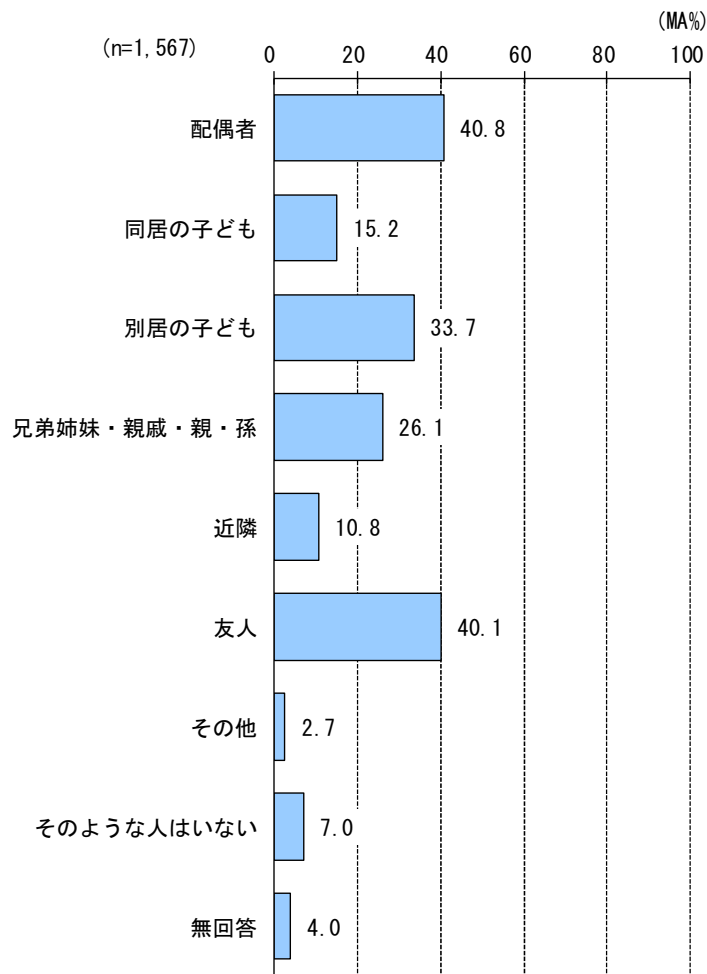
7. たすけあいについて

(1) 周囲との相互の関係

●問 6.1 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はいますか。(いくつでも)

- あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人について、「配偶者」が40.8%で最も多く、次いで「友人」が40.1%、「別居の子ども」が33.7%となっています。
- 性・年齢別にみると、男性では「配偶者」、女性では「友人」が最も多くなっています。男性後期高齢者では「友人」が21.3%となっており、他の区分に比べて少なくなっています。

【あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人(MA)】



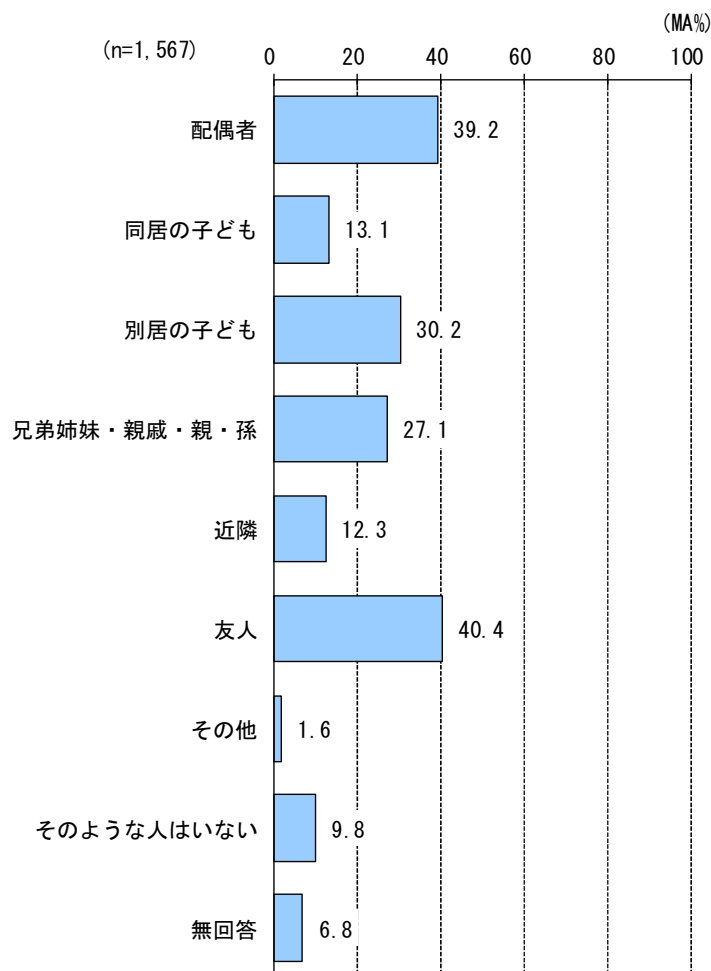
単位：%

		母数 (n)	あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人(MA)								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親・	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,567	40.8	15.2	33.7	26.1	10.8	40.1	2.7	7.0	4.0
性・年齢	男性 前期高齢者	296	64.5	11.1	19.6	16.2	4.1	34.1	2.7	11.5	2.7
	後期高齢者	422	54.5	14.5	30.8	19.0	6.4	21.3	2.8	9.5	5.2
	女性 前期高齢者	253	37.5	16.6	41.5	41.5	13.4	69.6	1.6	3.6	1.2
	後期高齢者	538	20.4	18.2	40.7	30.3	17.3	45.7	3.5	4.3	3.2

●問 6.2 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人はいますか。(いくつでも)

- 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人について、「友人」が40.4%で最も多く、次いで「配偶者」が39.2%、「別居の子ども」が30.2%となっています。
- 性・年齢別にみると、男性では「配偶者」、女性では「友人」が最も多くなっています。女性前期高齢者では、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が他の区分に比べて多くなっています。

【反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人(MA)】



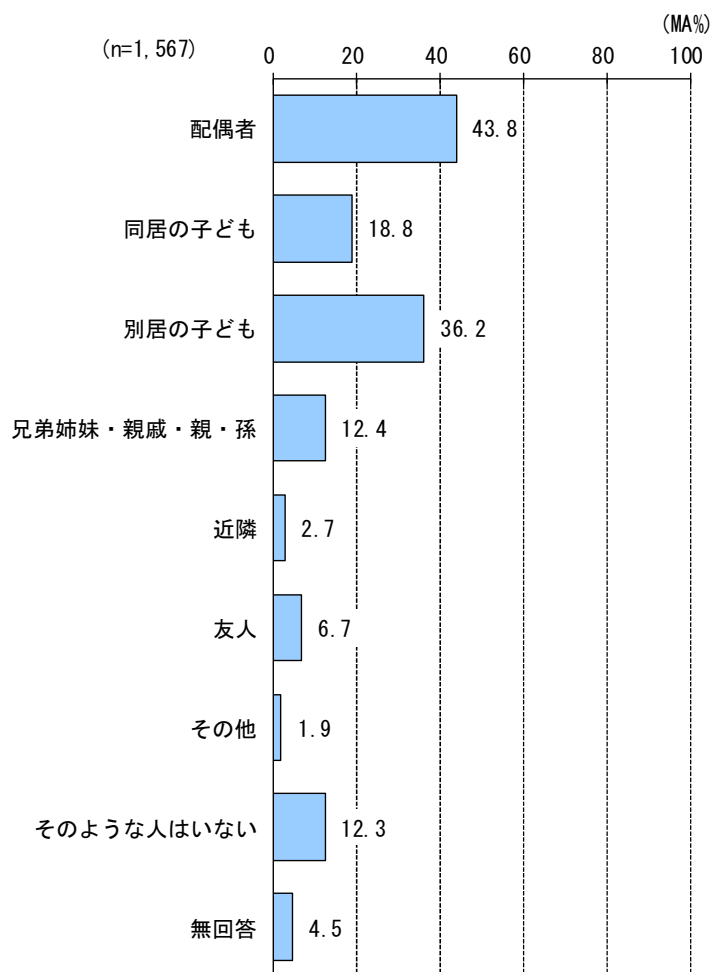
単位：%

		母数 (n)	反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人(MA)								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親・	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,567	39.2	13.1	30.2	27.1	12.3	40.4	1.6	9.8	6.8
性・年齢	男性 前期高齢者	296	62.5	13.2	25.7	20.3	3.7	33.1	2.7	13.2	2.7
	後期高齢者	422	53.8	12.1	27.0	19.0	7.6	20.4	1.7	14.0	7.3
	女性 前期高齢者	253	36.4	15.0	41.1	43.1	18.2	71.1	0.8	3.6	2.8
	後期高齢者	538	17.5	13.8	31.6	30.9	18.2	47.8	1.3	6.9	8.9

●問 6.3 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか。
(いくつでも)

- あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人について、「配偶者」が43.8%で最も多く、次いで「別居の子ども」が36.2%、「同居の子ども」が18.8%となっています。
- 性・年齢別にみると、女性後期高齢者では、「別居の子ども」が43.3%と多くなっています。

【あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(MA)】



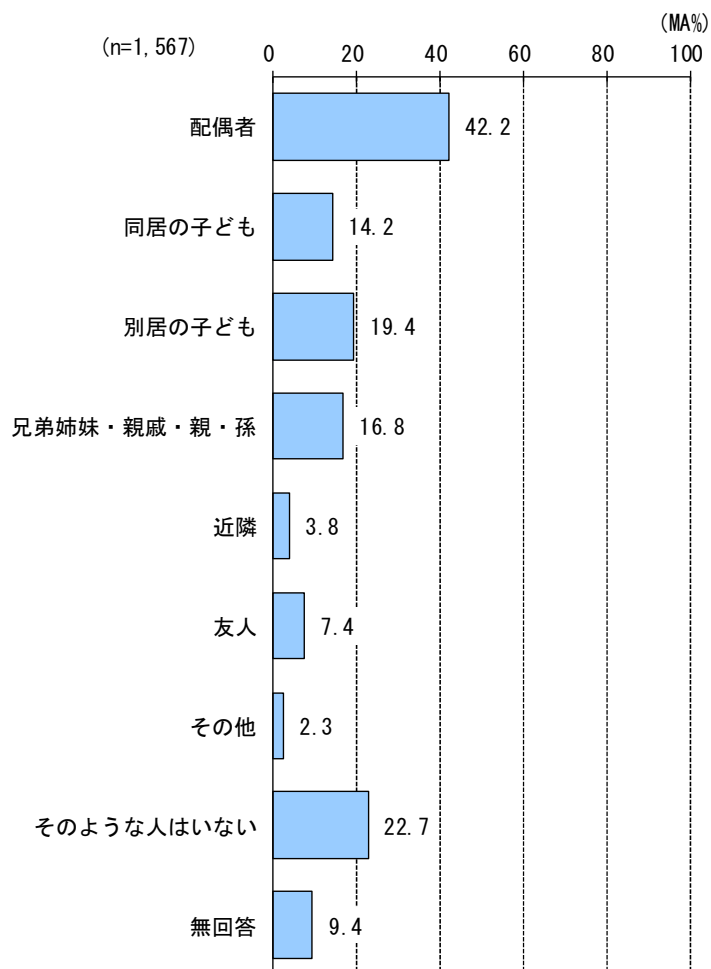
単位：%

		母数 (n)	あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(MA)								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親・	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,567	43.8	18.8	36.2	12.4	2.7	6.7	1.9	12.3	4.5
性・年齢	男性 前期高齢者	296	69.6	13.5	20.9	6.4	0.3	5.1	1.0	17.2	2.0
	後期高齢者	422	57.1	17.3	36.5	8.1	2.4	3.1	1.4	10.4	4.5
	女性 前期高齢者	253	43.5	20.9	39.9	22.9	4.0	14.6	-	6.3	2.0
	後期高齢者	538	20.6	23.0	43.3	14.3	3.9	7.2	3.9	13.8	5.2

●問 6.4 反対に、看病や世話をししてあげる人はいますか。(いくつでも)

- 反対に、看病や世話をししてあげる人について、「配偶者」が42.2%で最も多く、次いで「そのような人はいない」が22.7%、「別居の子ども」が19.4%となっています。
- 性・年齢別にみると、男性では前期高齢者で「兄弟姉妹・親戚・親・孫」がやや多くなっていますが、大きな傾向の差はありません。女性では前期高齢者で「配偶者」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が多く、「そのような人はいない」が他の区分に比べ少なくなっているのに対し、後期高齢者では「そのような人はいない」が多くなっています。

【反対に、看病や世話をししてあげる人(MA)】



単位：%

		母数 (n)	反対に、看病や世話をししてあげる人(MA)								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫兄弟姉妹・親戚・親・	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,567	42.2	14.2	19.4	16.8	3.8	7.4	2.3	22.7	9.4
性・年齢	男性 前期高齢者	296	59.1	13.2	17.9	15.2	1.4	4.7	0.7	25.7	3.0
	後期高齢者	422	56.2	10.4	13.5	9.0	1.7	2.4	2.4	22.7	8.5
	女性 前期高齢者	253	44.3	18.6	37.9	37.5	8.3	17.0	2.0	14.2	3.6
	後期高齢者	538	22.9	16.9	17.3	14.5	5.0	8.6	3.2	25.5	13.6

◆たすけあい合計点

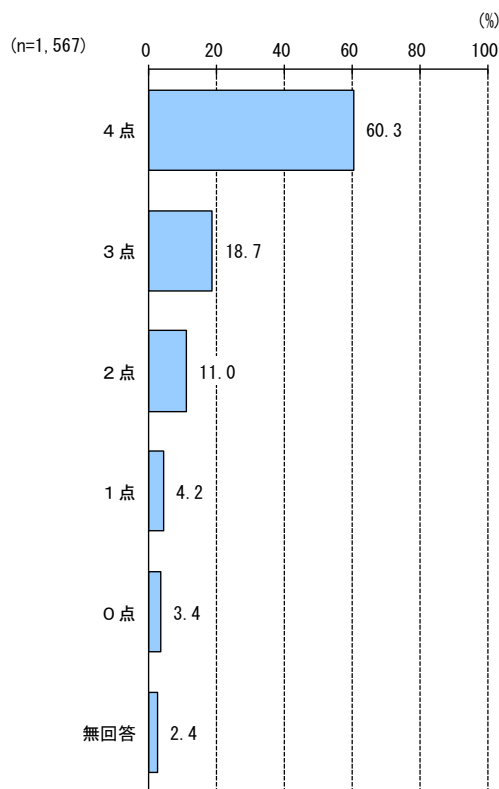
●算出方法

以下の4問で合計4点として、たすけあいの関係の有無を得点化しました。

問 6.1 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はいますか。	「1. 配偶者」「2. 同居の子ども」「3. 別居の子ども」「4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫」「5. 近隣」「6. 友人」「7. その他」のいずれかに○で1点
問 6.2 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人はいますか。	
問 6.3 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか。	
問 6.4 反対に、看病や世話をしてあげる人はいますか。	

○ たすけあいの合計点について、「4点」が60.3%で最も多く、次いで「3点」が18.7%、「2点」が11.0%となっています。

【たすけあいの合計点】



たすけあいの合計点	母数 (n)	問6.5 何かあったときの相談相手(MA)												
		地域包括支援センター	市役所	自治会・町内会・高齢クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	ヘルパーなどの介護保険事業者	医師・歯科医師・看護師	薬局・薬剤師	家族会などの介護者の交流の場	患者会などの認知症等の本인이話しかけ合う場	その他	そのような人はいない	無回答
全体	1,567	23.4	15.7	7.0	8.7	23.8	10.6	28.2	6.1	0.6	0.6	3.8	24.4	9.8
4点	945	24.9	18.4	8.5	10.4	20.8	9.4	33.5	7.6	0.6	1.1	4.0	24.7	6.3
3点	293	24.6	13.3	7.2	7.8	31.7	13.3	26.3	5.1	1.0	-	4.4	21.5	8.5
2点	172	23.8	9.9	3.5	4.7	26.7	9.9	19.8	2.3	-	-	2.9	23.3	14.0
1点	66	16.7	18.2	3.0	4.5	34.8	19.7	13.6	3.0	-	-	4.5	30.3	9.1
0点	53	15.1	7.5	1.9	9.4	26.4	15.1	9.4	3.8	-	-	-	49.1	1.9

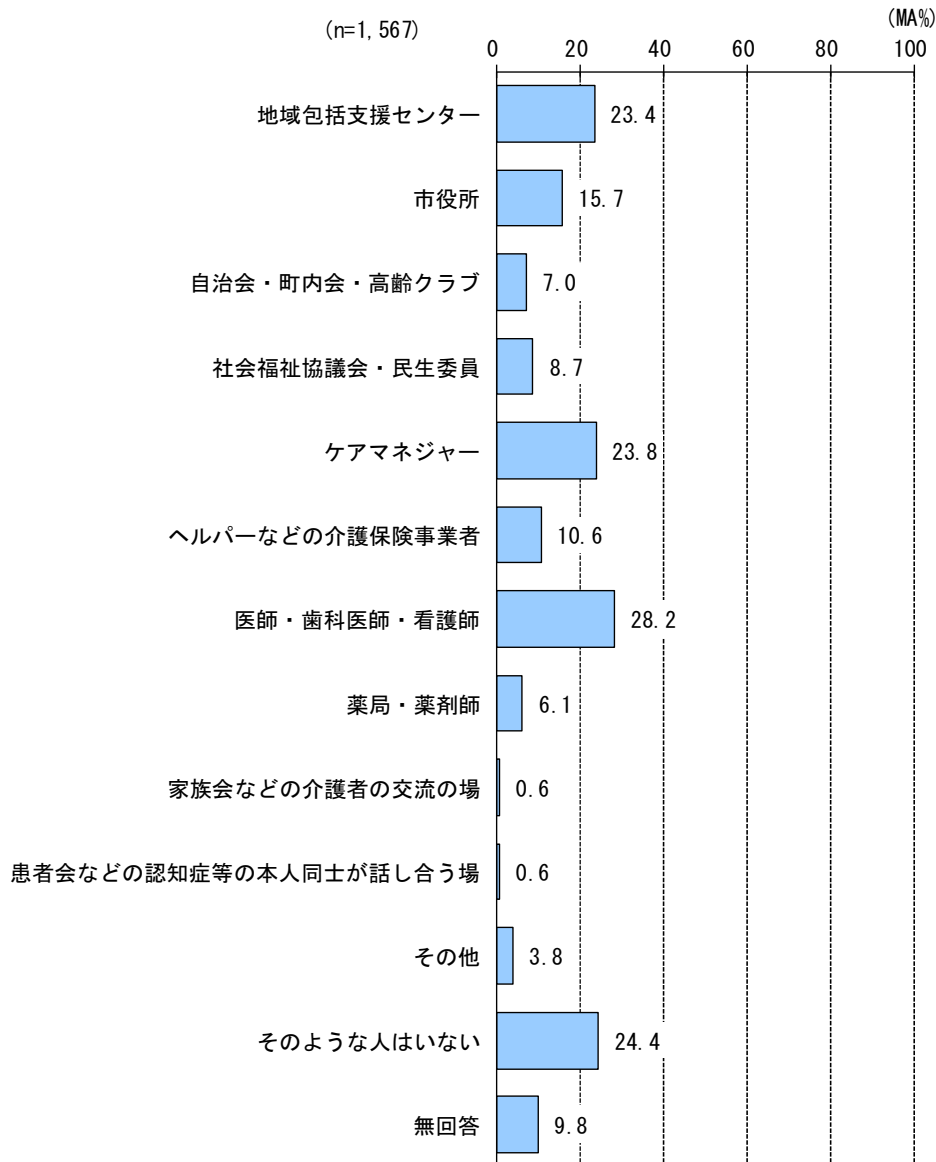
単位：%

(2) 家族や友人・知人以外の相談相手

●問 6.5 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(いくつでも)

○ 何かあったときの相談相手について、「医師・歯科医師・看護師」が28.2%で最も多く、次いで「そのような人はいない」が24.4%、「ケアマネジャー」が23.8%となっています。

【何かあったときの相談相手 (MA)】



単位：%

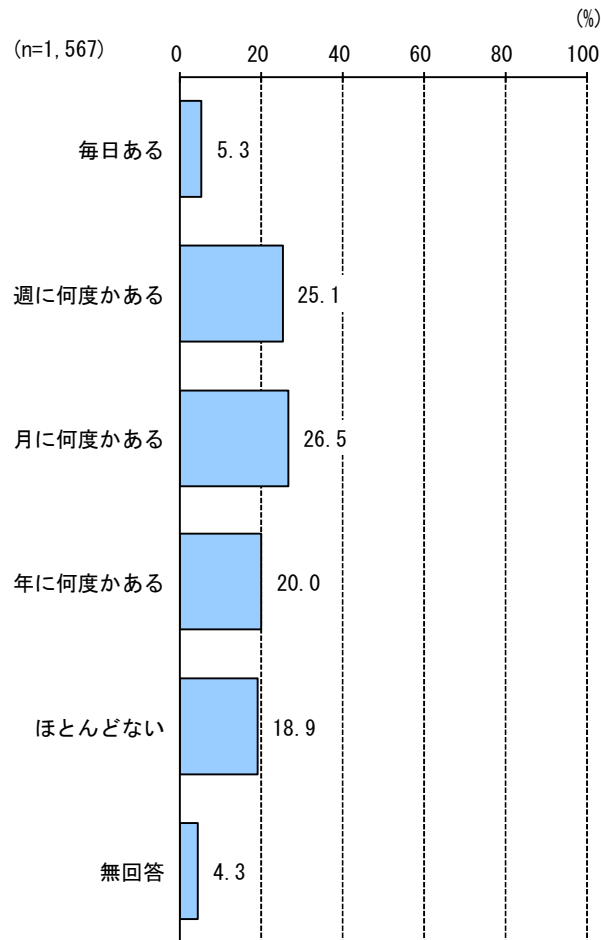
性・年齢	母数 (n)	何かあったときの相談相手 (MA)													
		地域包括支援センター	市役所	自治会・町内会・高齢クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	ヘルパーなどの介護事業者	医師・歯科医師・看護師	薬局・薬剤師	家族会などの介護者の交流の場	患者会などの認知症等の本人同士が話し合う場	その他	そのような人はいない	無回答	
全体	1,567	23.4	15.7	7.0	8.7	23.8	10.6	28.2	6.1	0.6	0.6	3.8	24.4	9.8	
男性・年齢	前期高齢者	296	11.5	23.0	6.8	6.8	12.2	5.4	27.4	4.7	0.3	-	3.4	38.2	6.4
	後期高齢者	422	26.3	13.0	9.2	10.4	27.3	12.8	30.8	7.6	0.7	0.7	2.8	22.5	11.4
	女性 前期高齢者	253	17.8	23.3	1.6	4.0	12.3	5.5	25.7	2.4	0.4	0.4	4.3	34.0	7.1
	後期高齢者	538	31.6	11.3	8.2	11.2	32.9	14.3	28.4	7.2	0.6	0.9	4.8	14.3	10.0

(3) 友人・知人との関係性

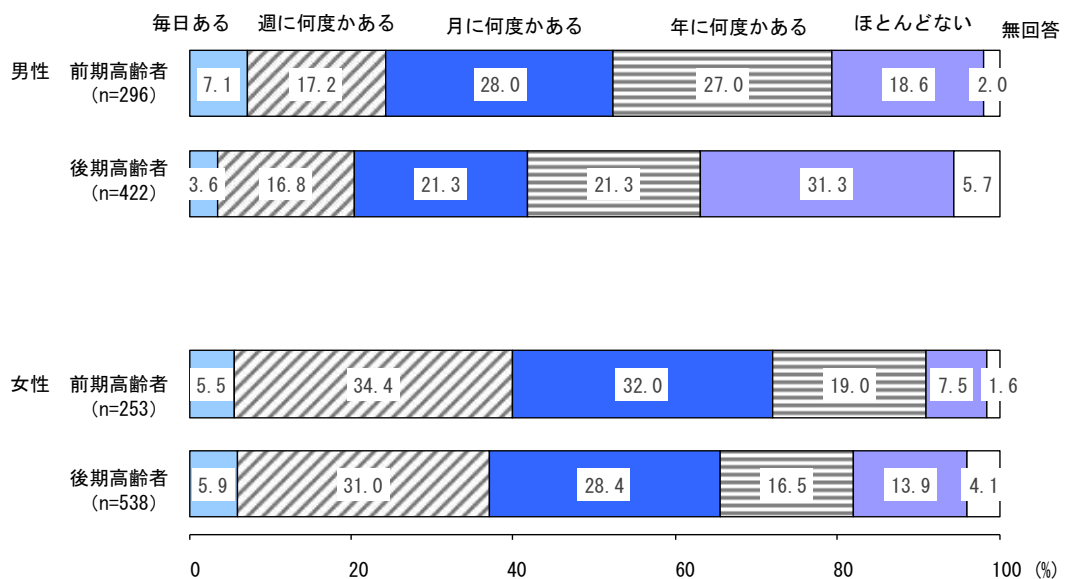
●問 6.6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つだけ)

○ 友人・知人と会う頻度について、「月に何度かある」が26.5%で最も多く、次いで「週に何度かある」が25.1%、「年に何度かある」が20.0%となっています。

【友人・知人と会う頻度】



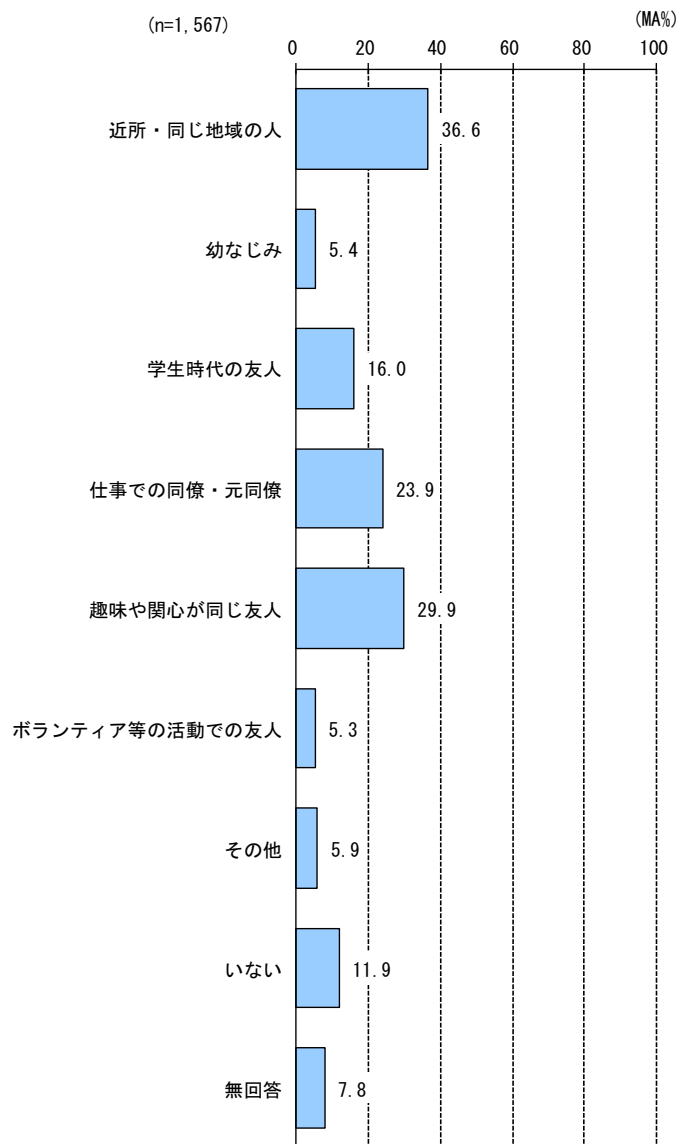
【性・年齢別】



●問 6.7 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)

- よく会う友人・知人との関係について、「近所・同じ地域の人」が36.6%で最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が29.9%、「仕事での同僚・元同僚」が23.9%となっています。
- 性・年齢別にみると、男性前期高齢者では「仕事での同僚・元同僚」が42.9%と最も多くなっています。

【よく会う友人・知人との関係 (MA)】



単位：%

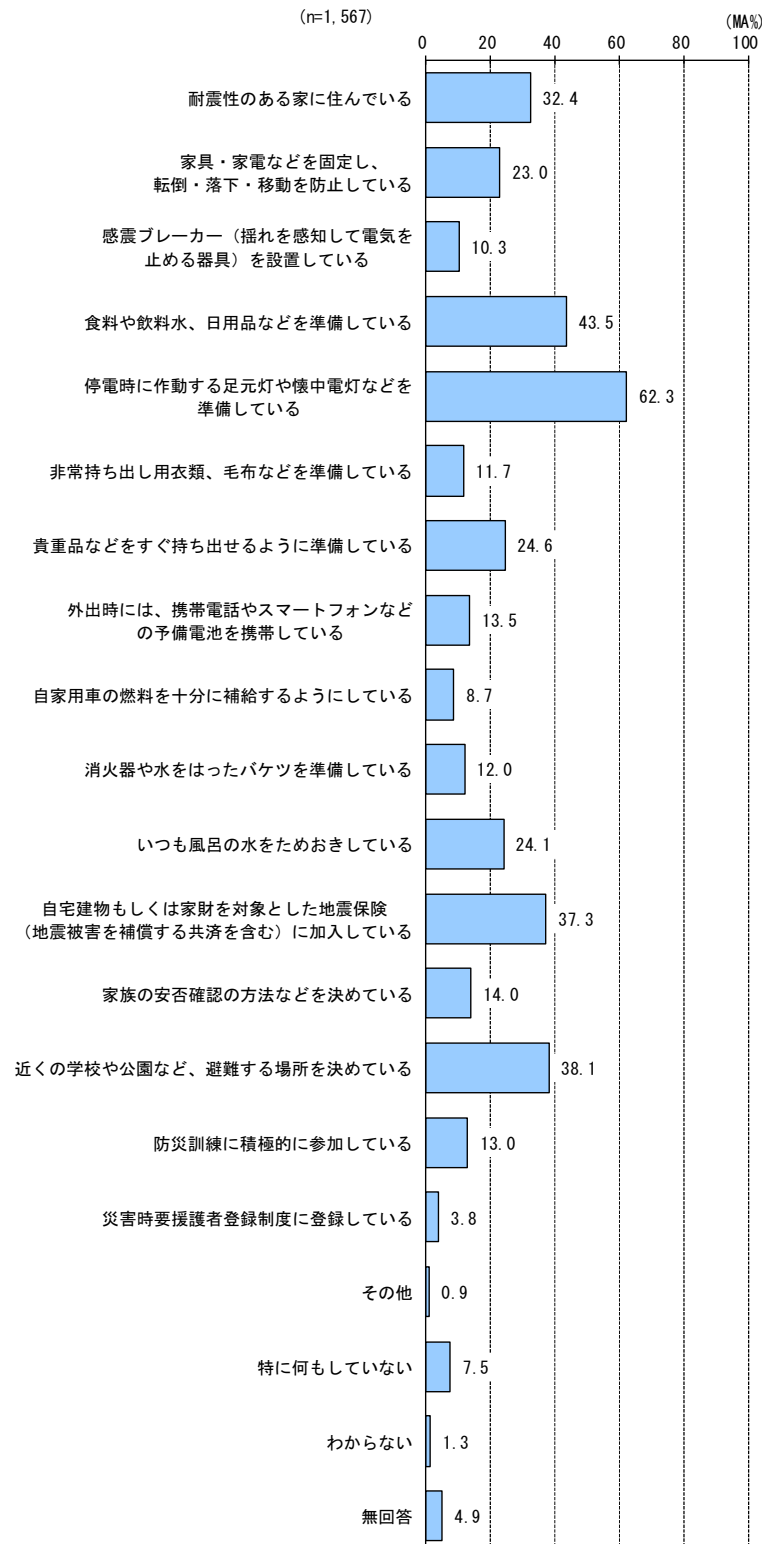
		母数 (n)	よく会う友人・知人との関係 (MA)								
			近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
全体		1,567	36.6	5.4	16.0	23.9	29.9	5.3	5.9	11.9	7.8
性・年齢	男性 前期高齢者	296	19.6	6.1	23.0	42.9	23.3	6.1	6.1	14.2	4.1
	後期高齢者	422	26.3	4.0	13.5	22.5	23.5	3.3	5.9	21.3	10.7
	女性 前期高齢者	253	46.2	5.9	22.5	33.2	41.1	9.9	4.7	3.2	2.8
	後期高齢者	538	50.2	6.1	12.5	11.2	34.6	4.5	6.3	7.8	7.1

(4) 災害に備えた対策

●問 6.8 あなたの家では、大地震等の災害が起こった場合に備えて、どのような対策をとっていますか。(いくつでも)

○ 災害に備えた対策について、「停電時に作動する足元灯や懐中電灯などを準備している」が62.3%で最も多く、次いで「食料や飲料水、日用品などを準備している」が43.5%、「近くの学校や公園など、避難する場所を決めている」が38.1%となっています。

【災害に備えた対策(MA)】



単位：%

		母数 (n)	災害に備えた対策(MA)									
			耐震性のある家に住んでいる	落下・家具・家電などを固定し、転倒・	電気ブレーカー（揺れを感知して電気を止める器具）を設置している	食料や飲料水、日用品などを準備している	停電時に作動する足元灯や懐中電灯などを準備している	非常持ち出し用衣類、毛布などを準備している	貴重品などをすぐ持ち出せるように準備している	外出時には、携帯電話やスマートフォンなどの予備電池を携帯している	自家用車の燃料を十分に補給するようしている	消火器や水をはったバケツを準備している
全体		1,567	32.4	23.0	10.3	43.5	62.3	11.7	24.6	13.5	8.7	12.0
住まい	持家（一戸建て）	599	28.2	23.2	11.5	43.9	64.8	12.4	23.9	13.2	10.9	15.7
	持家（集合住宅）	465	43.7	31.6	12.0	52.3	62.6	14.0	26.0	14.0	9.9	11.4
	公営賃貸住宅	224	39.3	19.6	10.7	41.5	67.0	10.3	24.1	14.3	7.6	8.5
	民間賃貸住宅（一戸建て）	23	4.3	13.0	8.7	13.0	60.9	8.7	21.7	13.0	4.3	8.7
	民間賃貸住宅（集合住宅）	173	19.1	11.6	4.6	32.4	54.9	9.2	24.9	14.5	4.0	8.1
	その他	30	20.0	10.0	6.7	40.0	66.7	3.3	30.0	10.0	-	10.0

単位：%

		災害に備えた対策(MA)									
		いつも風呂の水をためおきしている	共済（火災保険）に加入している	自宅建物もしくは家具財を対象とする	家族の安否確認の方法などを決めている	近所の学校や公園など、避難する場所を決めている	防災訓練に積極的に参加している	災害時要援護者登録制度に登録している	その他	特に何もしていない	わからない
全体		24.1	37.3	14.0	38.1	13.0	3.8	0.9	7.5	1.3	4.9
住まい	持家（一戸建て）	25.7	44.2	14.0	38.9	12.9	4.2	0.8	6.0	1.0	3.7
	持家（集合住宅）	21.5	49.2	15.3	38.7	18.1	3.4	1.1	4.7	1.1	3.2
	公営賃貸住宅	37.1	17.9	13.4	42.4	12.9	4.9	1.3	6.7	0.4	4.5
	民間賃貸住宅（一戸建て）	30.4	21.7	13.0	26.1	13.0	-	-	21.7	4.3	4.3
	民間賃貸住宅（集合住宅）	11.0	17.9	14.5	35.8	2.9	2.3	0.6	19.1	3.5	1.2
	その他	20.0	23.3	10.0	33.3	10.0	6.7	-	6.7	6.7	3.3

8. 健康について

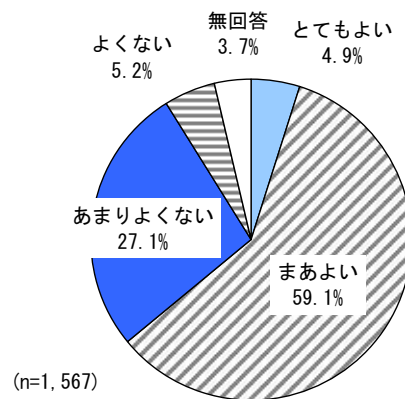
(1) 健康状態

① 主観的な健康感

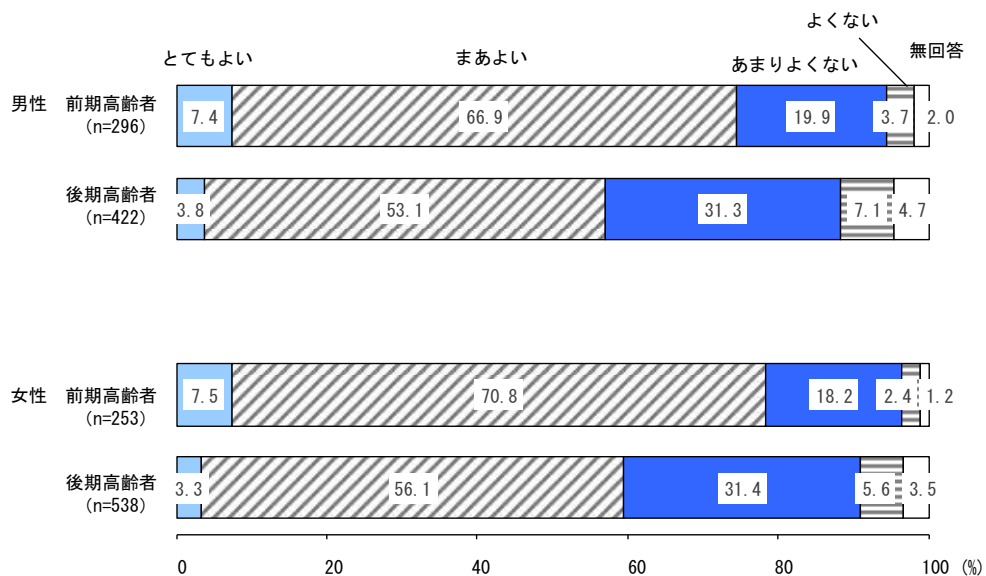
●問 7.1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つだけ)

- 主観的健康感について、「まあよい」が59.1%で最も多く、次いで「あまりよくない」が27.1%、「よくない」が5.2%となっています。
- 「とてもよい」「まあよい」を合わせた“よい”は、64.0%となっています。

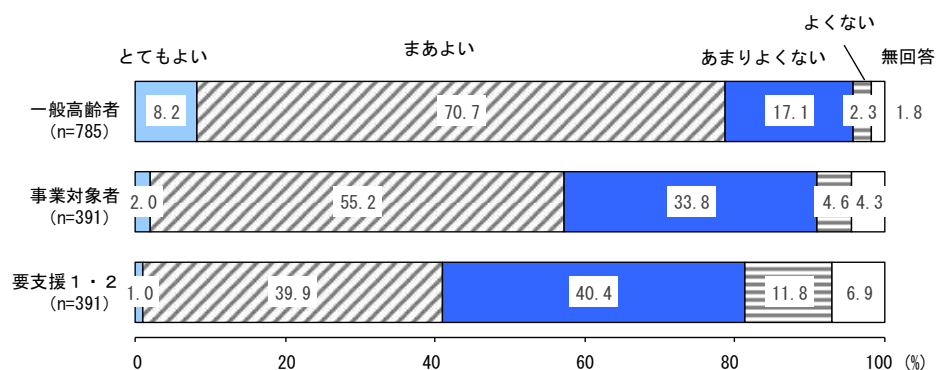
【主観的健康感】



【性・年齢別】



【認定該当状況別】



●問 7.1-1 なぜそう思いますか。(自由にお答えください。)

- 「とてもよい」「まあよい」を合わせた“よい”理由をみると、「何らかの不調はあるものの健康だと思うから」が最も多く、次いで「不自由なことがないから」、「ご飯がおいしく食べられる／食欲があるから」となっています。
- 「あまりよくない」「よくない」を合わせた“よくない”理由をみると「体に異常・不自由・体調不良があるから」が最も多く、次いで「病気があるから」、「歩行が困難だから」となっています。

「とてもよい」「まあよい」理由

カテゴリー	延件数
何らかの不調はあるものの健康だと思うから	91
不自由なことがないから	82
ご飯がおいしく食べられる／食欲があるから	45
運動している／運動できているから	33
定期的に病院に行っている／健診を受けているから	33
仕事・外出ができているから	30
体に異常がない／体調不良ではないから	25
病気・怪我がないから	22
元気だから	22
健康診断、人間ドックの結果が良いから	14
心の不調がないから	10
病院にかかっていないから	9
その他	36

「あまりよくない」「よくない」理由

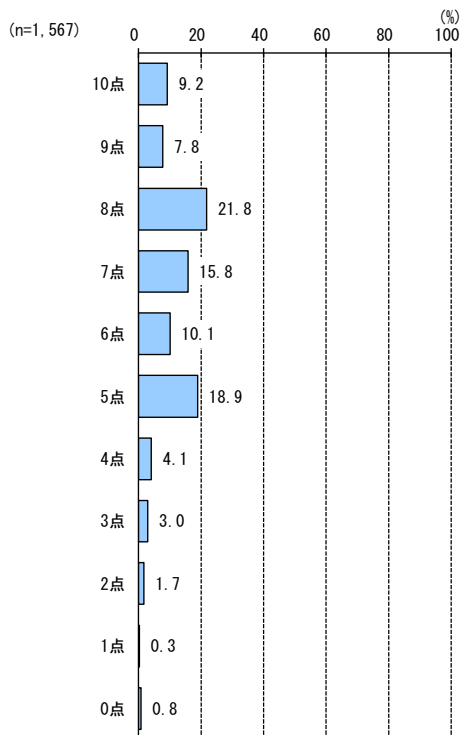
カテゴリー	延件数
体に異常・不自由・体調不良があるから	165
病気があるから	82
歩行が困難だから	35
病気・怪我等の後体調がよくないから	25
病院にかかっているから	24
高齢だから	18
心の不調があるから	15
その他	32

② ころの健康

●問 7.2 あなたは、現在どの程度幸せですか。(1つだけ)

- 幸福感について、「8点」が21.8%で最も多く、次いで「5点」が18.9%、「7点」が15.8%となっています。
- 平均点は、6.32点となっています。

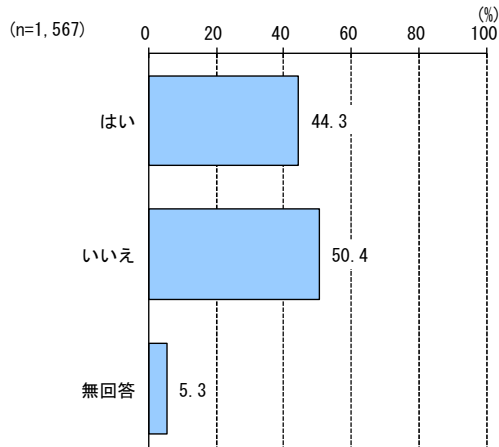
【幸福感】



●問 7.3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つだけ)

- 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについて、「はい」が44.3%、「いいえ」が50.4%となっています。

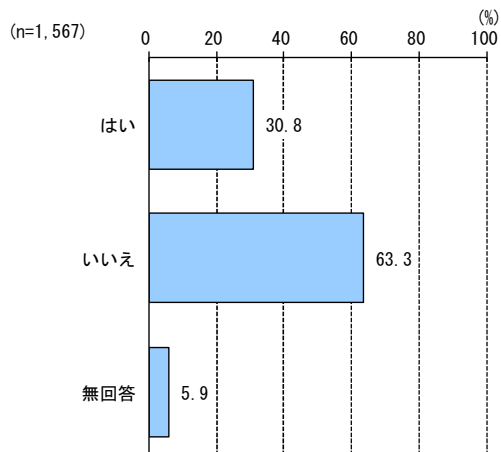
【気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったか】



- 問 7.4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つだけ)

○ どうしても物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったかについて、「はい」が30.8%、「いいえ」が63.3%となっています。

【どうしても物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったか】



※リスク判定は51~57ページに掲載しています。

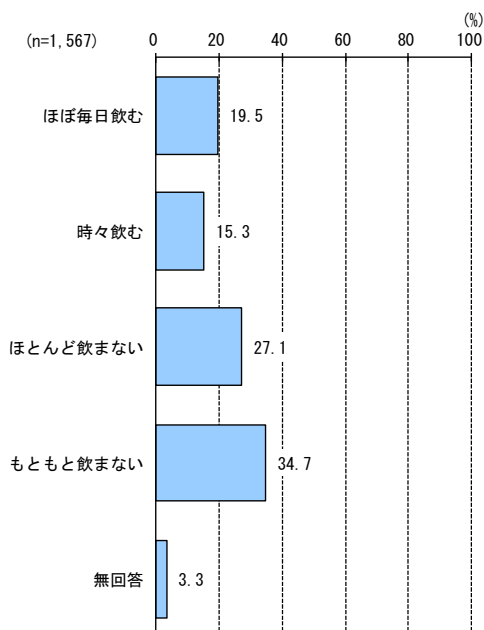
(2) 飲酒・喫煙

- 問 7.5 お酒は飲みますか。(1つだけ)
- 問 7.6 タバコは吸っていますか。(1つだけ)

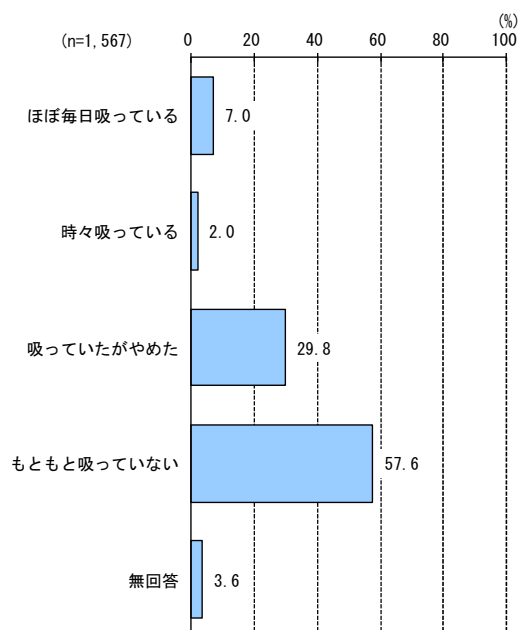
○ 飲酒の状況について、「もともと飲まない」が34.7%で最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が27.1%、「ほぼ毎日飲む」が19.5%となっています。

○ 喫煙の状況について、「もともと吸っていない」が57.6%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が29.8%、「ほぼ毎日吸っている」が7.0%となっています。

【飲酒の状況】



【喫煙の状況】



(3) 病気の状況

●問 7.7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)

○ 現在治療中、または後遺症のある病気について、「高血圧」が41.0%で最も多く、次いで「目の病気」が21.4%、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が19.3%となっています。

【現在治療中、または後遺症のある病気(MA)】



- 性・年齢別にみると、男性後期高齢者では、「腎臓・前立腺の病気」が25.1%と多くなっています。女性後期高齢者では、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が36.4%と多くなっています。
- 認定該当状況別にみると、事業対象者では、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が28.6%と多くなっています。

単位：%

	母数 (n)	現在治療中、または後遺症のある病気(MA)										
		ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)	
全体	1,567	9.5	41.0	6.1	14.4	14.6	14.3	7.1	8.0	11.0	19.3	
性・年齢	男性 前期高齢者	296	12.5	44.6	6.4	11.1	20.3	15.2	8.8	8.8	12.5	4.1
	後期高齢者	422	6.2	40.5	11.4	18.7	18.5	7.8	9.5	10.0	25.1	9.0
	女性 前期高齢者	253	17.8	29.6	1.6	5.9	11.5	18.6	2.8	7.1	2.0	17.4
	後期高齢者	538	6.5	45.2	2.4	16.0	11.0	17.5	6.7	7.1	3.3	36.4
状況認定	一般高齢者	785	15.5	37.3	2.0	9.4	13.9	14.5	6.0	7.1	9.2	13.1
	事業対象者	391	3.6	43.5	7.7	16.6	11.8	15.6	8.2	9.2	9.7	28.6
	要支援1・2	391	3.3	45.8	12.5	22.0	18.9	12.5	8.2	8.7	15.9	22.5

単位：%

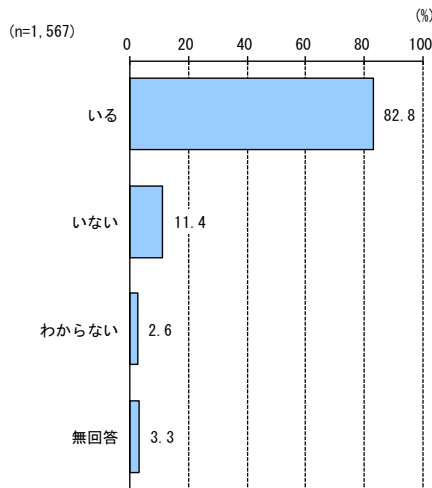
	母数 (n)	現在治療中、または後遺症のある病気(MA)										
		外傷 (転倒・骨折等)	がん (悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答	
全体	1,567	6.2	6.3	1.9	2.3	1.3	1.1	21.4	9.4	10.8	6.0	
性・年齢	男性 前期高齢者	296	1.0	6.8	1.4	3.4	0.7	0.7	18.9	4.7	9.1	5.4
	後期高齢者	422	4.5	8.3	1.7	1.7	1.9	0.7	17.8	12.8	9.0	7.3
	女性 前期高齢者	253	4.3	6.3	3.6	3.6	0.8	1.2	19.4	4.7	12.6	6.3
	後期高齢者	538	11.5	4.3	1.7	1.9	1.7	1.7	27.0	11.7	12.8	4.5
状況認定	一般高齢者	785	2.0	4.7	1.5	1.5	0.3	0.3	18.6	8.2	10.3	5.2
	事業対象者	391	9.2	5.9	2.3	2.6	2.3	1.5	25.6	12.0	11.5	6.6
	要支援1・2	391	11.5	9.7	2.0	3.6	2.6	2.3	22.8	9.5	11.0	6.9

(4) かかりつけ医、歯科医、薬局

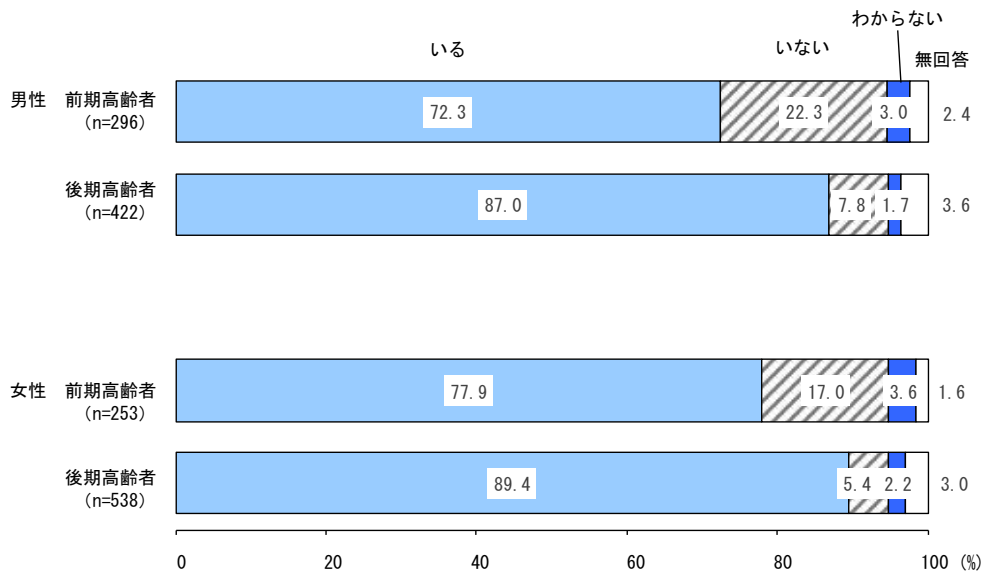
●問 7.8 かかりつけ医はいますか。(1つだけ)

- かかりつけ医の有無について、「いる」が82.8%、「いない」が11.4%となっています。
- 性・年齢別にみると、男性前期高齢者では、「いない」が22.3%と多くなっています。
- 認定該当状況別にみると、一般高齢者では、「いない」が17.6%と多くなっています。

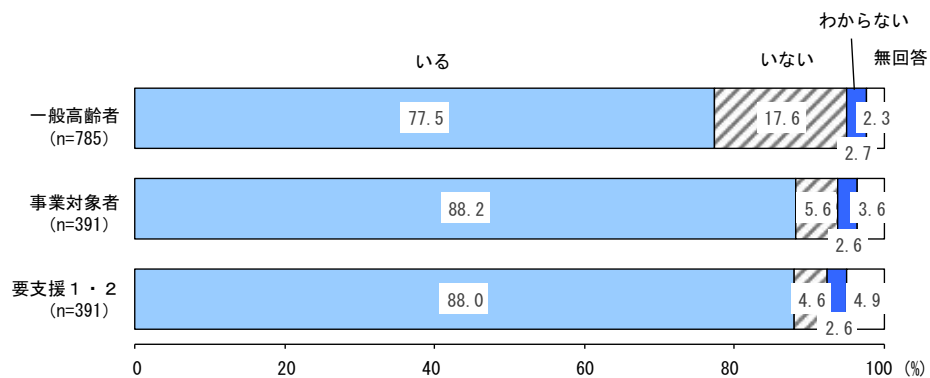
【かかりつけ医の有無】



【性・年齢別】



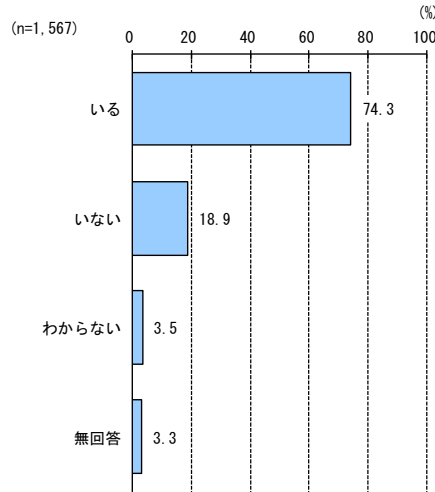
【認定該当状況別】



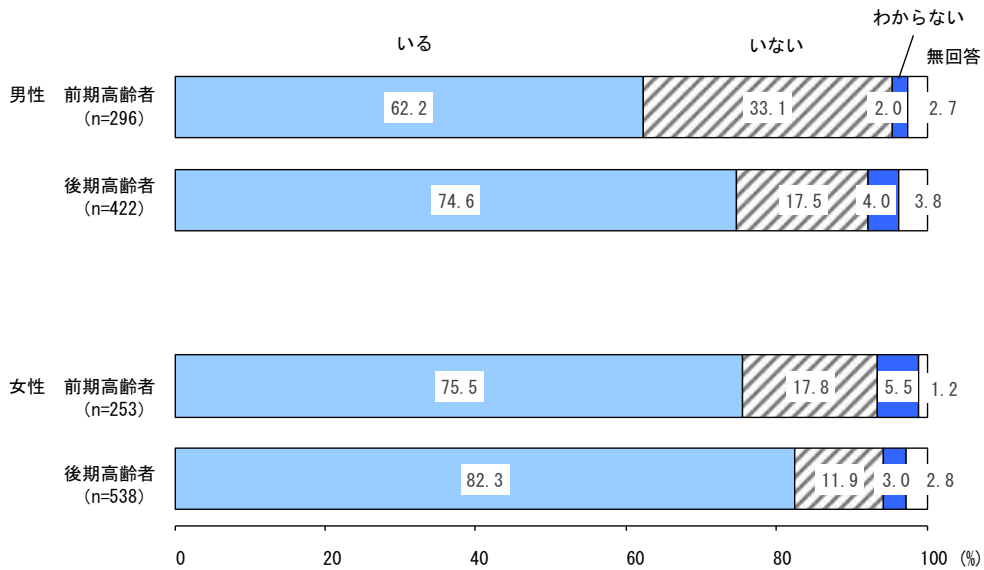
●問 7.9 かかりつけ歯科医はいますか。(1つだけ)

- かかりつけ歯科医の有無について、「いる」が74.3%、「いない」が18.9%となっています。
- 性・年齢別にみると、男性前期高齢者では、「いない」が33.1%と多くなっています。
- 認定該当状況別にみると、かかりつけ医やかかりつけ薬局の有無に比べ、大きな傾向の差はありませんが、一般高齢者で「いない」が21.8%とやや多くなっています。

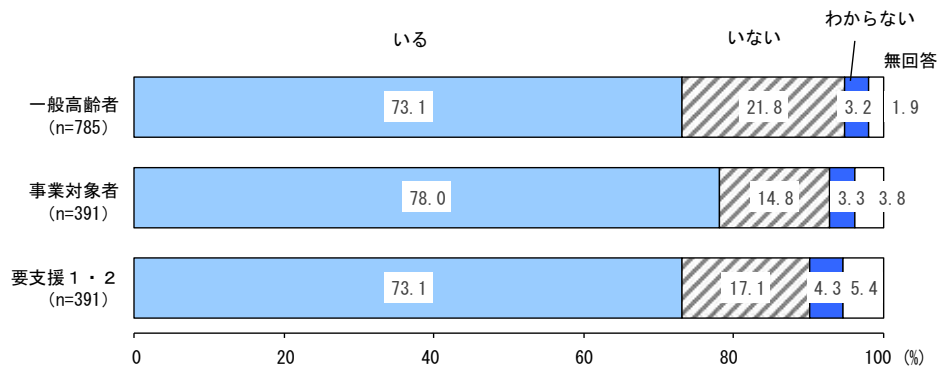
【かかりつけ歯科医の有無】



【性・年齢別】



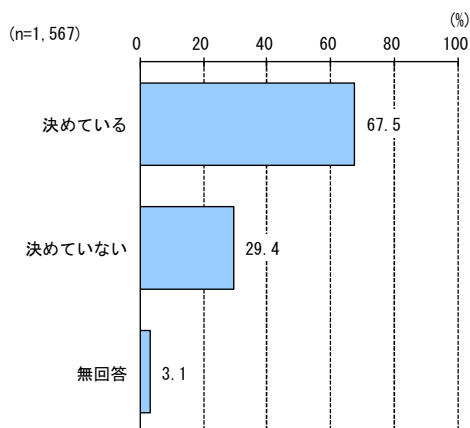
【認定該当状況別】



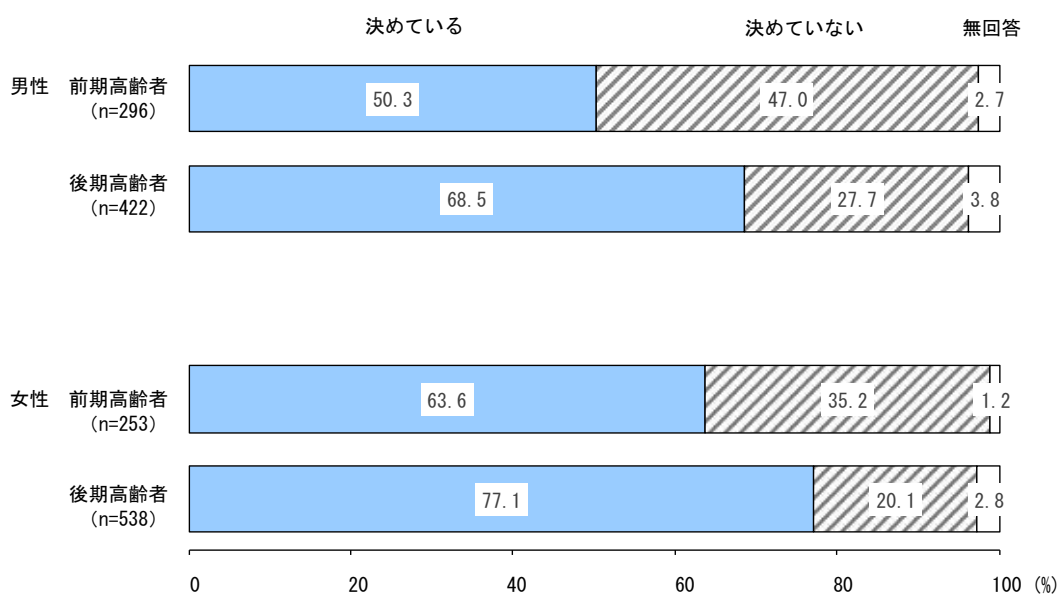
●問 7.10 かかりつけ薬局を決めていますか。(1つだけ)

- かかりつけ薬局を決めているかについて、「決めている」が 67.5%、「決めていない」が 29.4% となっています。
- 性・年齢別にみると、男性前期高齢者では、「決めていない」が 47.0%と多くなっています。
- 認定該当状況別にみると、一般高齢者では、「いない」が 40.0%と多くなっています。

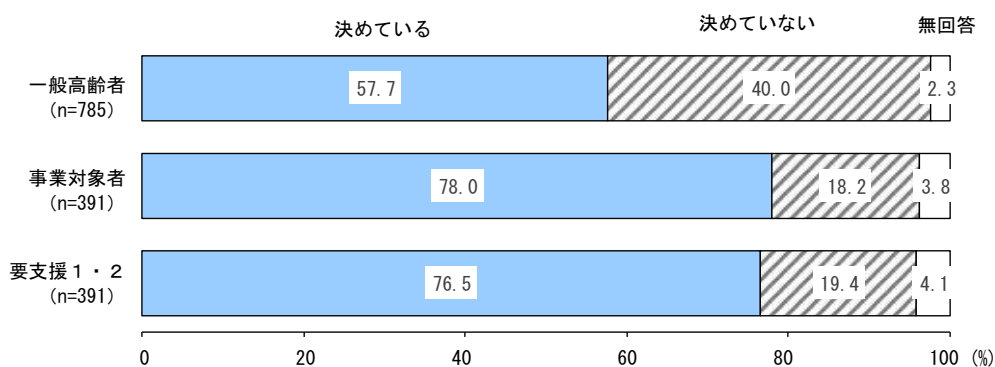
【かかりつけ薬局を決めているか】



【性・年齢別】



【認定該当状況別】

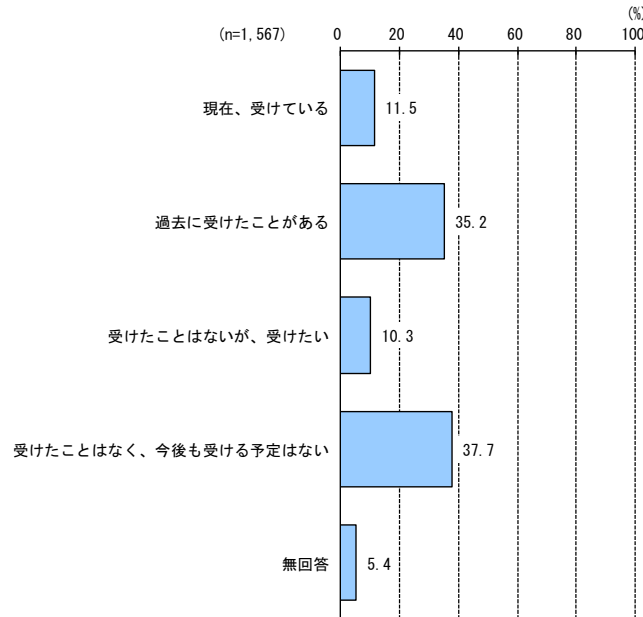


(5) はり・きゅう・マッサージ（あん摩・指圧）の施術を受けた経験

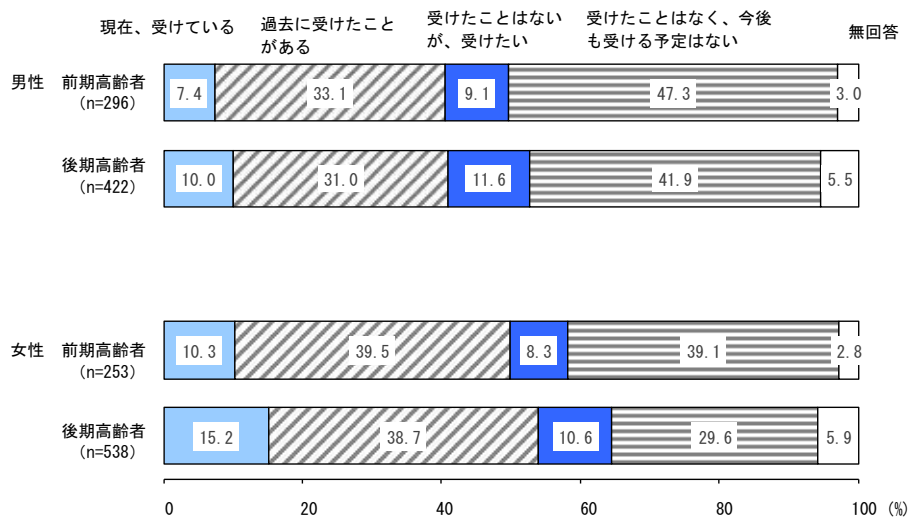
●問 7.11 健康保険適用外のはり・きゅう・マッサージ（あん摩・指圧）の施術を受けたことがありますか。（1つだけ）

○ 健康保険適用外のはり・きゅう・マッサージ（あん摩・指圧）の施術を受けた経験について、「受けたことはなく、今後も受ける予定はない」が37.7%で最も多く、次いで「過去に受けたことがある」が35.2%、「現在、受けている」が11.5%となっています。

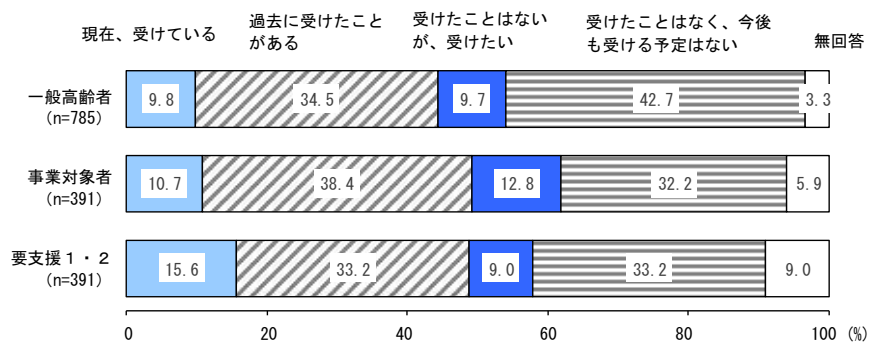
【健康保険適用外のはり・きゅう・マッサージ（あん摩・指圧）の施術を受けた経験】



【性・年齢別】



【認定該当状況別】



9. 介護予防・健康保持について

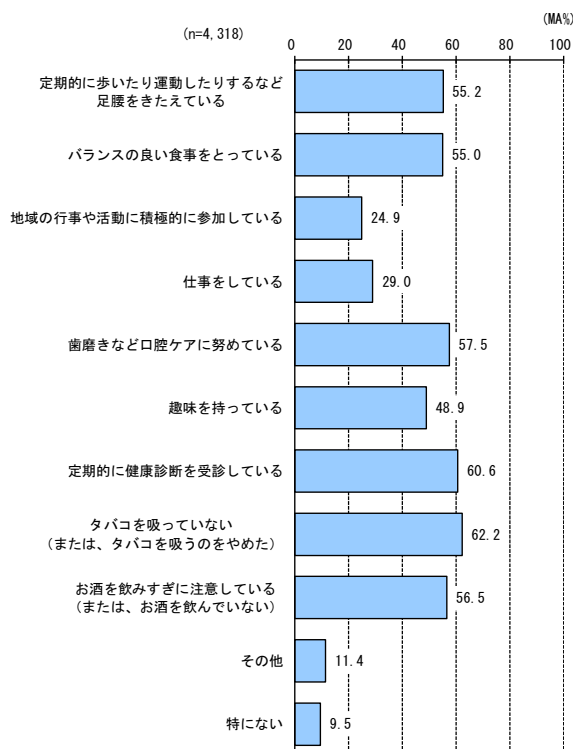
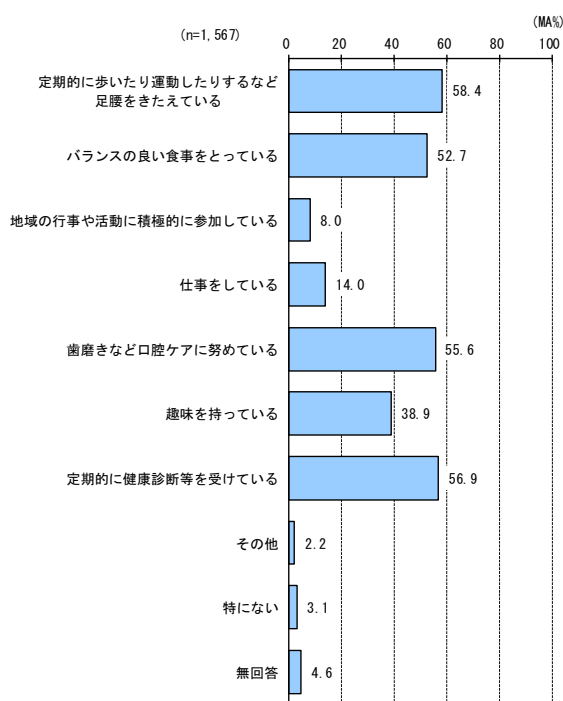
(1) 介護予防の取組

●問 8.1 健康の保持・増進や介護予防のために、どのようなことを心がけていますか。(いくつでも)

- 健康の保持・増進や介護予防のために心がけていることについて、「定期的に歩いたり運動したりするなど足腰をきたえている」が58.4%で最も多く、次いで「定期的に健康診断等を受けている」が56.9%、「歯磨きなど口腔ケアに努めている」が55.6%となっています。
- 大阪府調査と比較すると、「地域の行事や活動に積極的に参加している」、「仕事をしている」が少なくなっています。
- 性・年齢別にみると、前期高齢者・後期高齢者ともに、男性では「定期的に歩いたり運動したりするなど足腰をきたえている」、女性では「歯磨きなど口腔ケアに努めている」が最も多くなっています。また、「仕事をしている」は前期高齢者で多くなっており、男性32.4%、女性25.3%となっています。

【健康の保持・増進や介護予防のために心がけていること(MA)】

(大阪府調査)



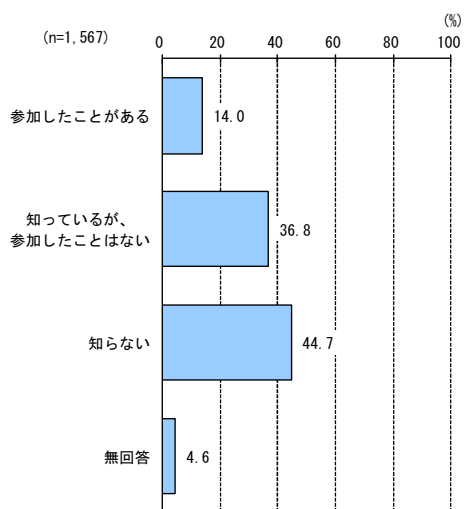
単位：%

性・年齢	母数(n)	健康の保持・増進や介護予防のために心がけていること(MA)										
		腰動をきたえたりする	定期的歩いたりする	バランスのよい食事	積極的に参加している	仕事をしている	歯磨きなど口腔ケア	趣味を持っている	定期的に健康診断等	その他	特にな	無回答
全体	1,567	58.4	52.7	8.0	14.0	55.6	38.9	56.9	2.2	3.1	4.6	
性・年齢	男性 前期高齢者	296	63.9	45.3	5.7	32.4	43.6	41.9	55.1	2.7	2.7	3.0
	男性 後期高齢者	422	57.6	50.2	7.6	8.8	51.7	34.1	52.6	1.2	4.5	6.4
	女性 前期高齢者	253	59.7	53.4	7.5	25.3	62.8	46.2	59.3	3.6	2.8	1.2
	女性 後期高齢者	538	56.7	58.6	10.4	3.0	64.3	39.2	61.9	2.2	2.8	4.5
状況認定	一般高齢者	785	64.3	53.8	7.8	24.1	58.9	48.5	59.4	2.0	2.0	2.4
	事業対象者	391	57.5	56.8	9.7	2.8	57.0	34.0	56.0	1.8	2.8	4.1
	要支援1・2	391	47.3	46.5	6.9	4.9	47.8	24.6	52.9	2.8	5.6	9.5

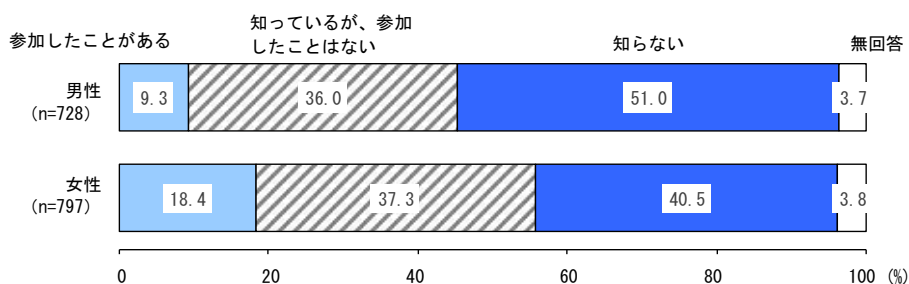
●問 8.2 市では、要介護状態になることをできる限り防ぐことを目的に、介護予防事業を実施していますが、知っていますか。（1つだけ）

- 介護予防事業への参加状況と周知状況について、「知らない」が44.7%で最も多く、次いで「知っているが、参加したことはない」が36.8%、「参加したことがある」が14.0%となっています。
- 「参加したことがある」「知っているが、参加したことはない」を合わせた“知っている”は、50.8%となっています。
- 認定該当状況別にみると、事業対象者では、「参加したことがある」が25.1%と多くなっています。

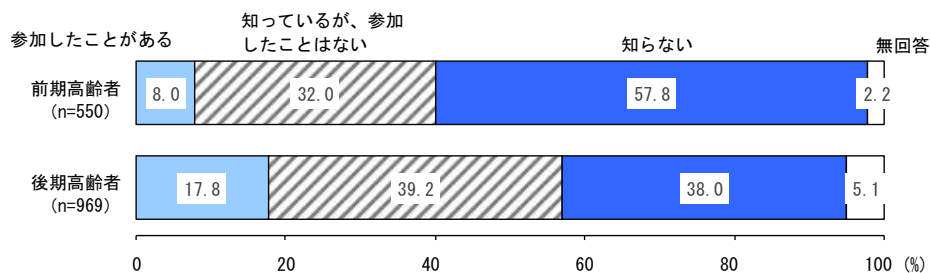
【介護予防事業への参加状況と周知状況】



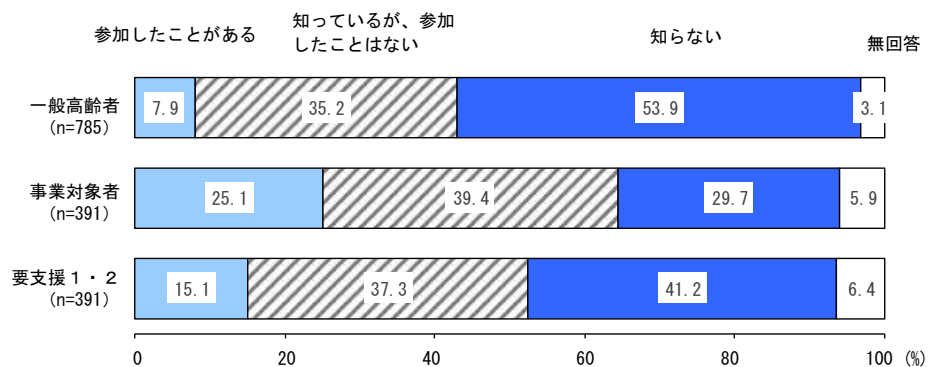
【性別】



【年齢別】



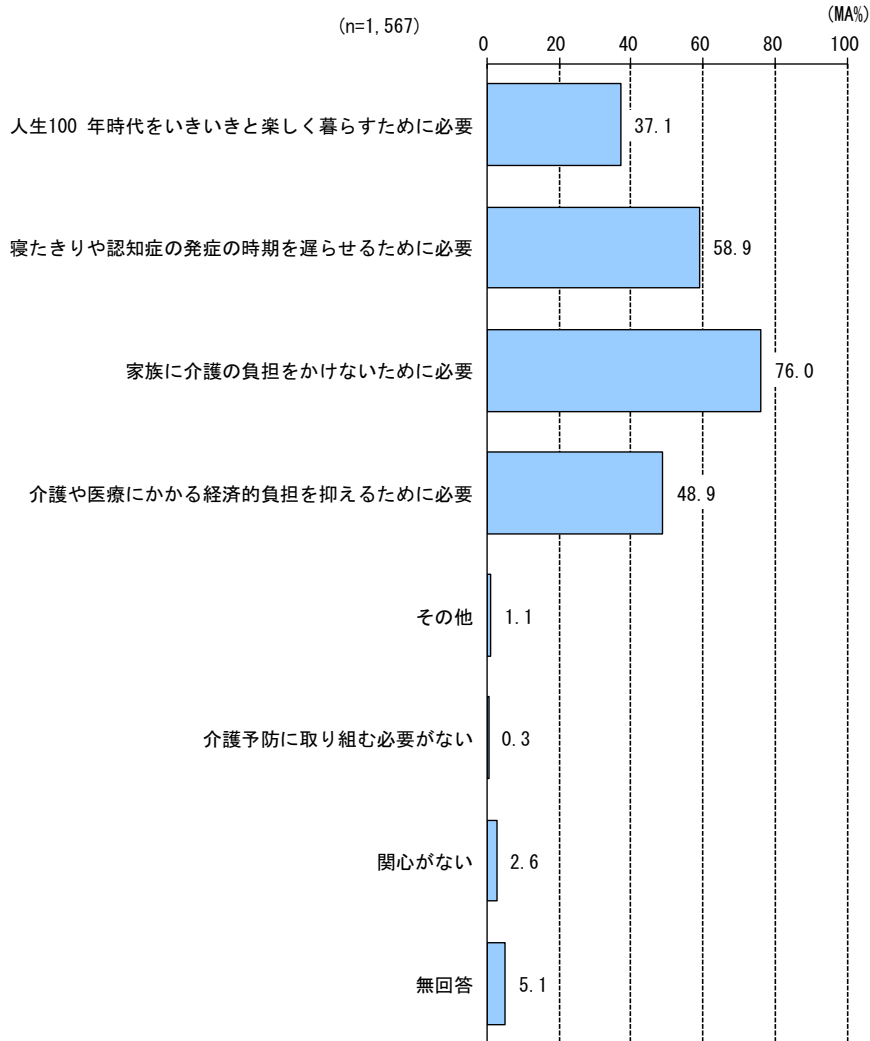
【認定該当状況別】



●問 8.3 介護予防に取り組む理由について、あなたの考えに近いのはどれですか。（いくつでも）

- 介護予防に取り組む理由について、「家族に介護の負担をかけないために必要」が76.0%で最も多く、次いで「寝たきりや認知症の発症の時期を遅らせるために必要」が58.9%、「介護や医療にかかる経済的負担を抑えるために必要」が48.9%となっています。
- 家族構成別にみると、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）、息子・娘との2世帯では、「家族に介護の負担をかけないために必要」が多くなっています。

【介護予防に取り組む理由(MA)】



単位：%

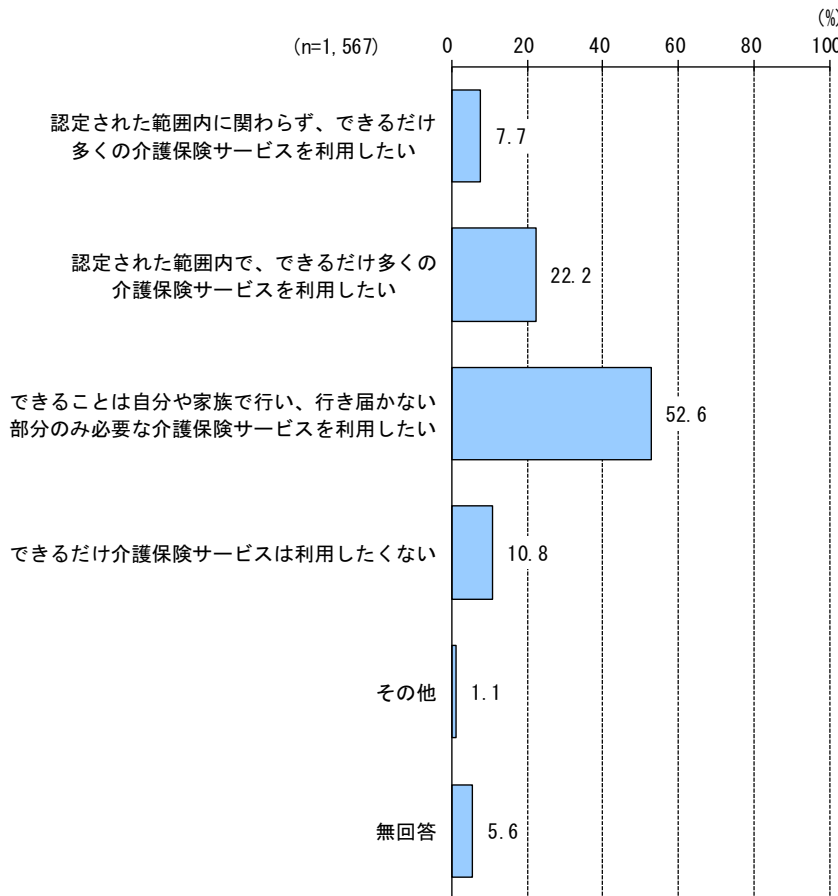
	母数 (n)	介護予防に取り組む理由(MA)								
		ら い す き た い め き に と 必 要 し く 代 暮 を	る 発 症 た め に 時 期 を 遅 ら せ る	寝 た き り や 認 知 症 の 発 症 の 時 期 を 遅 ら せ る	か 家 族 に 介 護 の 負 担 を か け な い た め に 必 要	た 経 済 的 な 負 担 を 抑 え る	介 護 や 医 療 に か か る	そ の 他	必 要 が な い に 取 り 組 む	関 心 が な い
全体	1,567	37.1	58.9	76.0	48.9	1.1	0.3	2.6	5.1	
家族 構 成	1人暮らし	548	40.5	62.2	69.0	49.6	1.5	0.2	2.4	4.6
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	529	37.4	56.3	80.7	47.6	0.6	0.4	2.5	3.8
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	60	35.0	45.0	71.7	50.0	1.7	-	1.7	1.7
	息子・娘との2世帯	198	33.3	63.6	84.8	51.5	1.5	1.0	3.5	3.5
	その他	185	35.1	61.1	81.6	52.4	1.6	-	3.2	3.8

(2) 介護保険サービスの利用

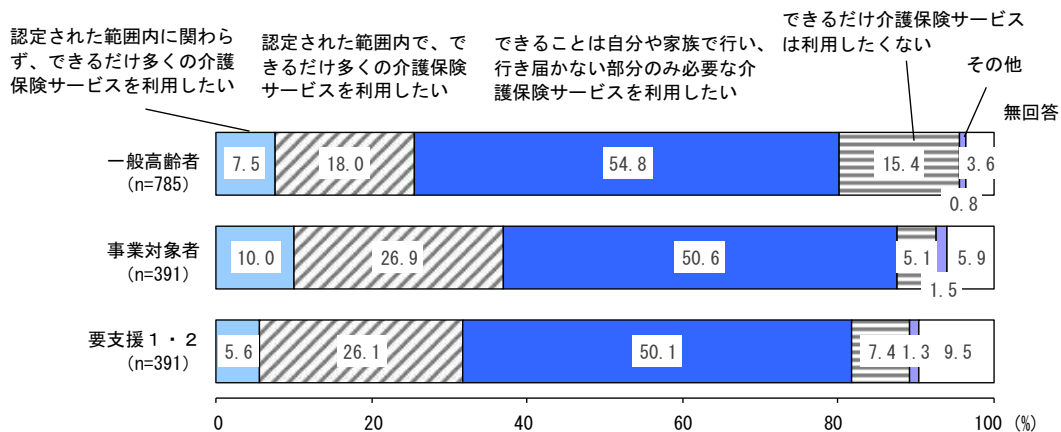
●問 8.4 介護保険サービスを利用する際のあなたの考え方について、次のうち、もっとも当てはまるのはどれですか。(1つだけ)

○ 介護保険サービスを利用する際の考え方について、「できることは自分や家族で行い、行き届かない部分のみ必要な介護保険サービスを利用したい」が52.6%で最も多く、次いで「認定された範囲内で、できるだけ多くの介護保険サービスを利用したい」が22.2%、「できるだけ介護保険サービスは利用したくない」が10.8%となっています。

【介護保険サービスを利用する際の考え方】



【認定該当状況別】

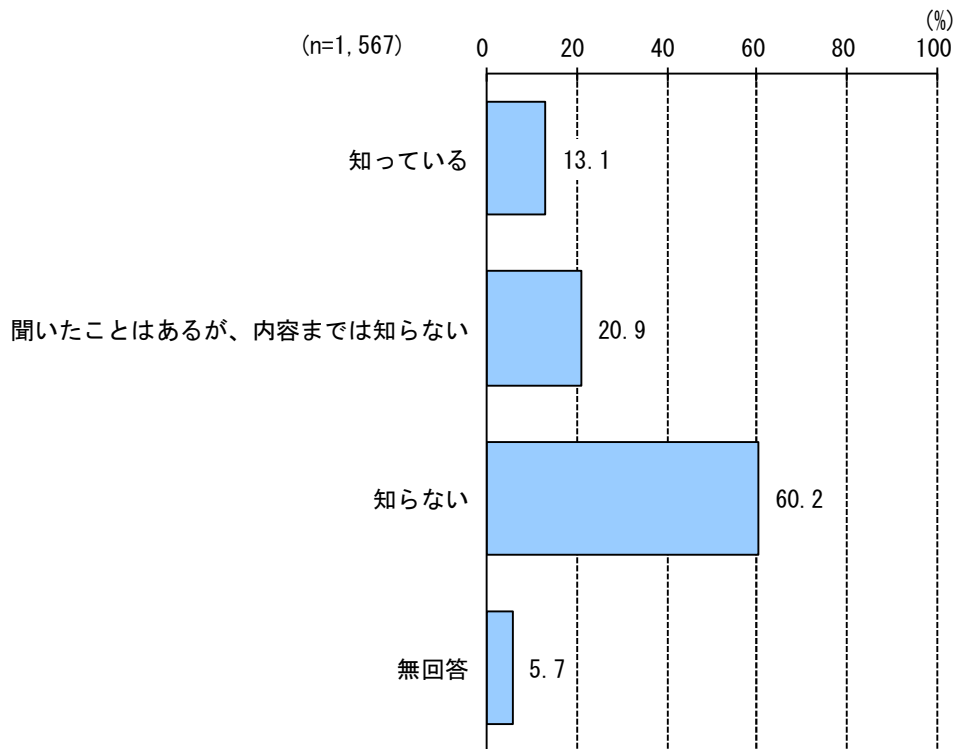


(3) フレイルの周知状況

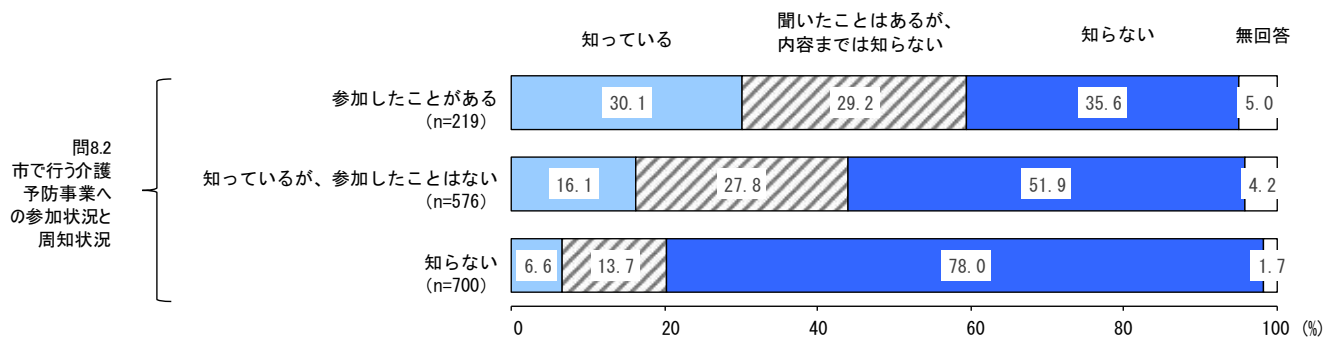
●問 8.5 「フレイル」について知っていますか。(1つだけ)

- フレイルの周知状況について、「知らない」が60.2%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が20.9%、「知っている」が13.1%となっています。
- 市で行う介護予防事業に参加したことがある人では、「知っている」、「聞いたことはあるが、内容までは知らない」を合わせた“知っている”が59.3%と多くなっています。一方で、市で行う介護予防事業を知らない人では、“知っている”は20.3%と少なく、「知らない」が78.0%と多くなっています。

【フレイルの周知状況】



【市で行う介護予防事業への参加状況と周知状況別】



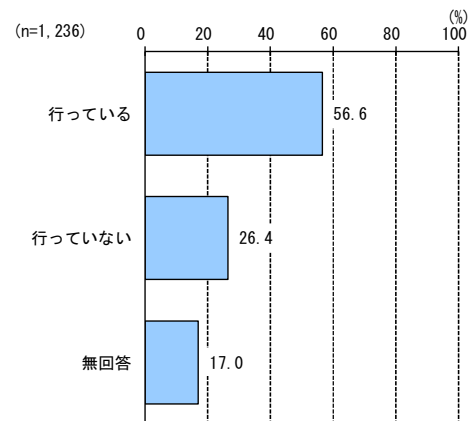
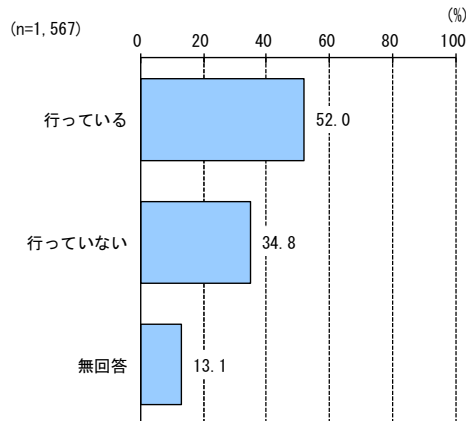
(4) 身体を動かす習慣

- 問 8.6 身体を動かす運動を習慣的に週 1 回以上行っていますか。デイサービスで行っている場合も含みます。(1つだけ)

- 身体を動かす運動を習慣的に週 1 回以上行っているかについて、「行っている」が 52.0%、「行っていない」が 34.8%となっています。
- 要介護認定者調査と比べると、「行っている」がやや少なくなっています。

【身体を動かす運動を習慣的に週 1 回以上行っているか】

(要介護認定者調査 問 4.6)

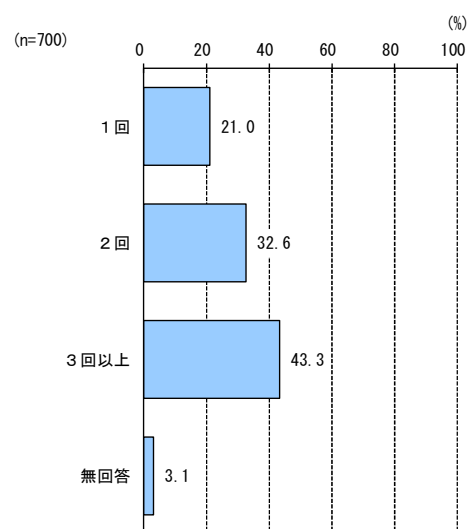
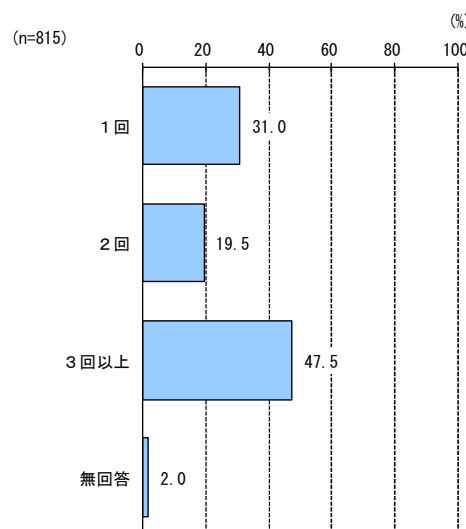


- 問 8.6-1 (問 8.6 で「行っている」と答えた方(身体を動かす運動を習慣的にしている方)のみ) 一週間当たりの運動回数は何回ですか。(1つだけ)

- 一週間当たりの運動回数について、「3 回以上」が 47.5%で最も多く、次いで「1 回」が 31.0%、「2 回」が 19.5%となっています。
- 要介護認定者調査と比べると、「3 回以上」はあまり差がありませんが、「2 回」が約 10 ポイント少なく、「1 回」が 10.0 ポイント多くなっています。

【一週間当たりの運動回数】

(要介護認定者調査 問 4.6-1)

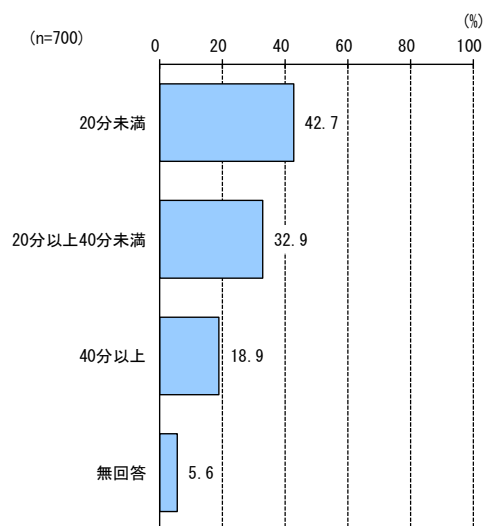
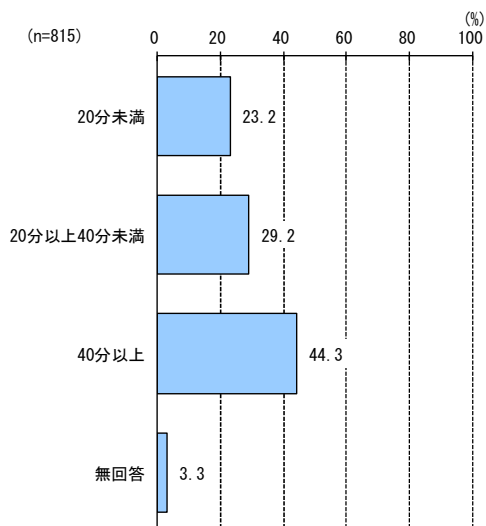


- 問 8.6-2 (問 8.6 で「行っている」と答えた方(身体を動かす運動を習慣的にしている方)のみ) 一回当たりの運動時間は何分ですか。(1つだけ)

- 一回当たりの運動時間について、「40分以上」が44.3%で最も多く、次いで「20分以上40分未満」が29.2%、「20分未満」が23.2%となっています。
- 要介護認定者調査と比べると、「20分以上40分未満」はあまり差がありませんが、「20分未満」は約20ポイント少なく、「40分以上」が約20ポイント多くなっています。

【一回当たりの運動時間】

(要介護認定者調査 問 4.6-2)

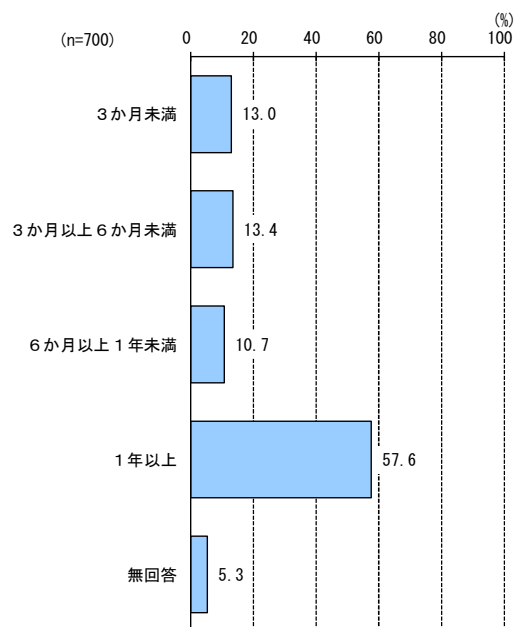
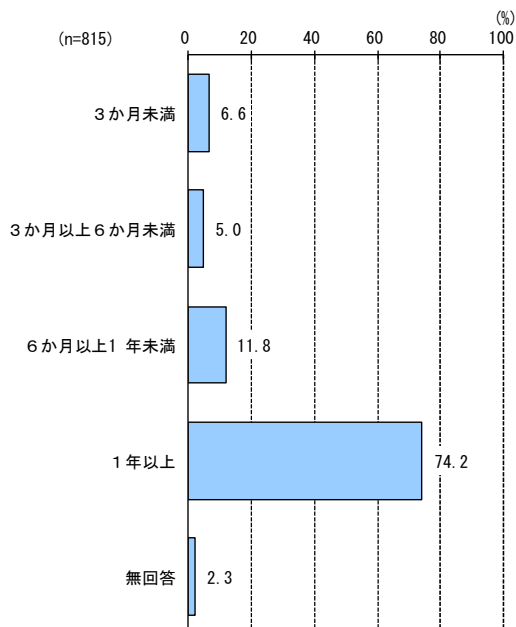


- 問 8.6-3 (問 8.6 で「行っている」と答えた方(身体を動かす運動を習慣的にしている方)のみ) どれくらい継続して運動を行っていますか。(1つだけ)

- どれくらい継続して運動を行っているかについて、「1年以上」が74.2%で最も多く、次いで「6か月以上1年未満」が11.8%、「3か月未満」が6.6%となっています。
- 要介護認定者調査と比べると、「1年以上」が16.6ポイント多くなっています。

【どれくらい継続して運動を行っているか】

(要介護認定者調査 問 4.6-3)

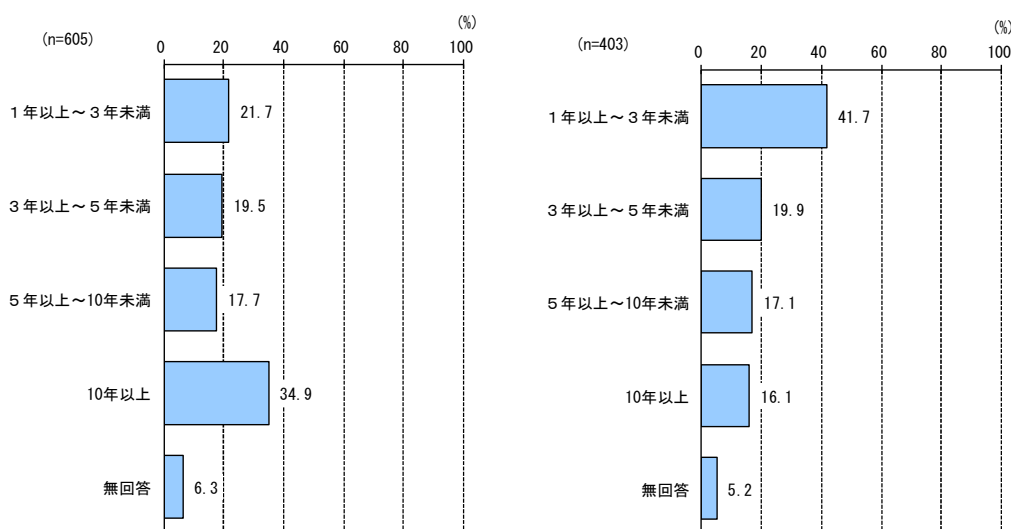


- 問 8.6-4 (問 8.6-3 で「1年以上」と答えた方(1年以上運動を継続している方)のみ)
何年運動を続けていますか。また、どのような運動をしていますか。(1つだけ)

- 何年運動を続けているかについて、「10年以上」が34.9%で最も多く、次いで「1年以上～3年未満」が21.7%、「3年以上～5年未満」が19.5%となっています。
- 要介護認定者調査と比べると、「1年以上～3年未満」は20ポイント少なくなっていますが、「10年以上」が約20ポイント多くなっています。
- 続けている運動の種類として、「ウォーキング、散歩、ジョギング」「体操」等が多くなっています。

【何年運動を続けているか】

(要介護認定者調査 問 4.6-4)



続けている運動の種類

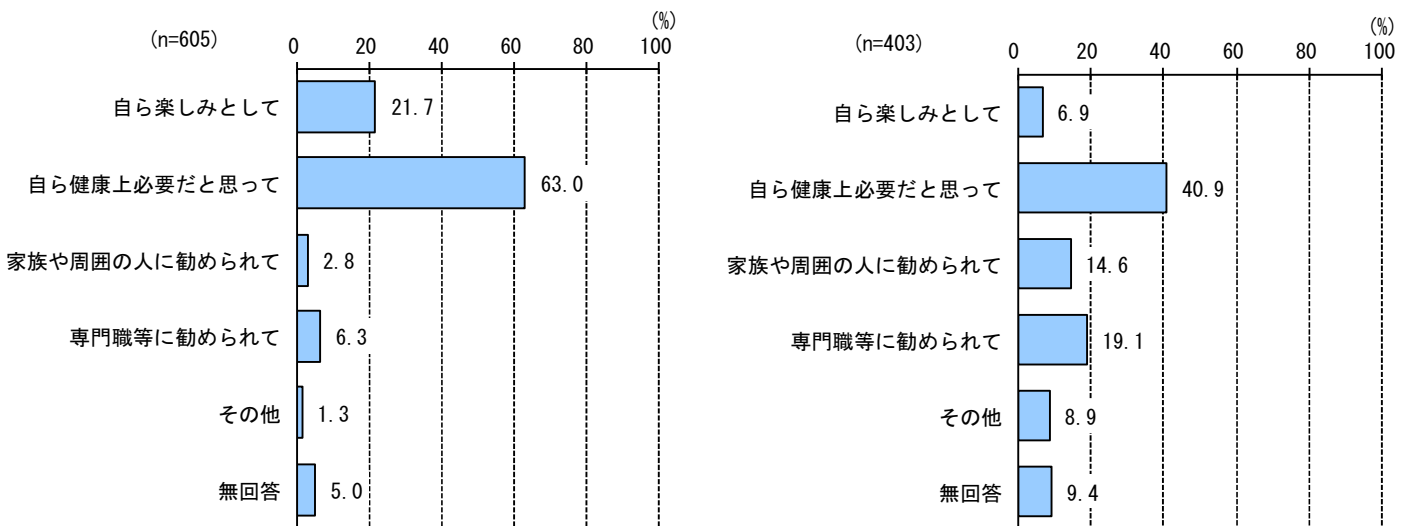
カテゴリ	延件数
ウォーキング、散歩、ジョギング	177
体操	105
うち、ラジオ体操	30
うち、100歳体操	13
筋トレ	44
ストレッチ	41
プールでの運動(水泳、水中歩行)	27
デイサービスでの運動	23
ヨガ	23
ジム、フィットネスクラブなど	22
ゴルフ	22
テニス、卓球	20
自転車(エアロバイク含む)	17
踊り	14
リハビリ	14
その他	45

●問 8.6-5 (問 8.6-3 で「1年以上」と答えた方(1年以上運動を継続している方)のみ)
運動を継続する理由はどのようなことですか。(1つだけ)

- 運動を継続する理由について、「自ら健康上必要だと思って」が63.0%で最も多く、次いで「自ら楽しみとして」が21.7%、「専門職等に勧められて」が6.3%となっています。そのうち、「自ら楽しみとして」と回答した人では「10年以上」運動を継続している割合が58.8%で最も高く、次いで、「5年以上～10年未満」が13.0%となっています。「自ら健康上必要だと思って」と回答した人では「10年以上」の割合が33.3%で最も高く、次いで「3年以上～5年未満」が21.5%となっています。
- 「家族や周囲の人に勧められて」、「専門職等に勧められて」と回答した人は「1年以上～3年未満」の割合が最も高く、いずれも約6割となっています。
- 要介護認定者調査と比べると、「自ら楽しみとして」「自ら健康上必要だと思って」が多くなっています。

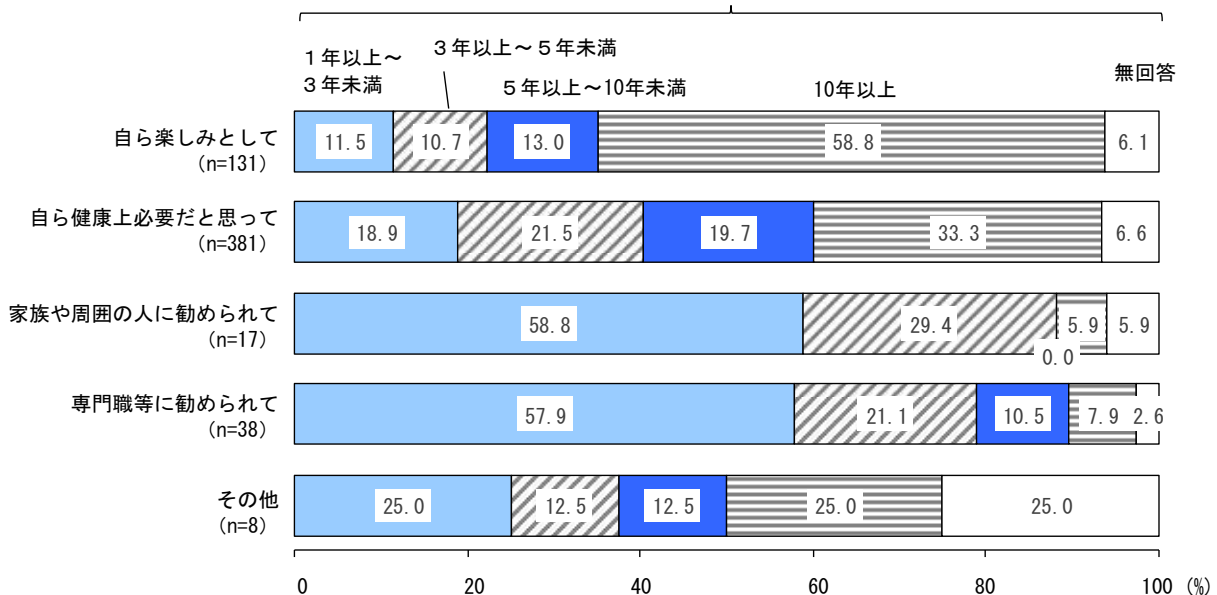
【運動を継続する理由】

(要介護認定者調査 問 4.6-5)



【運動の継続年数】

問8.6-4
何年運動を続けているか

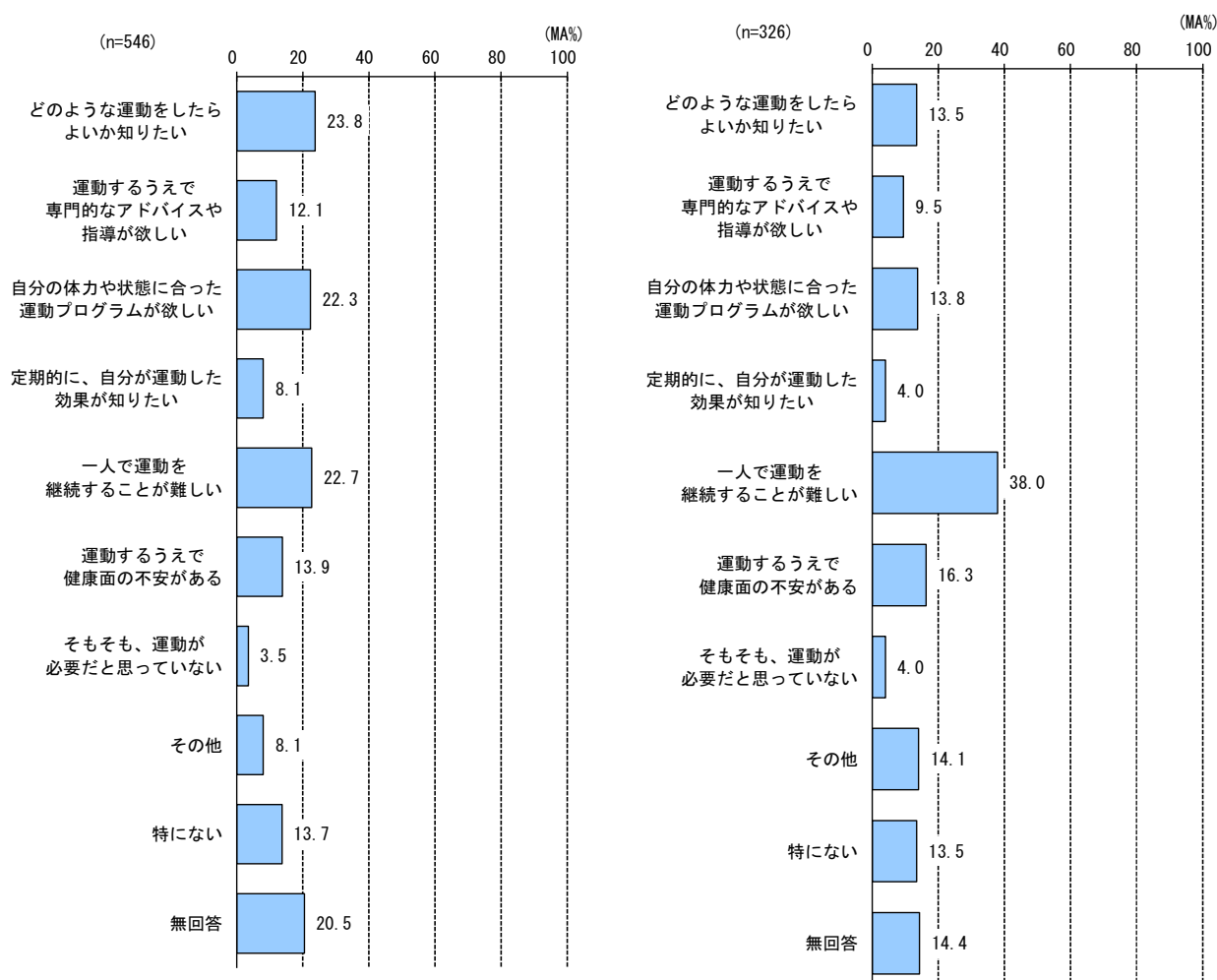


- 問 8.6-6 (問 8.6 で「行っていない」(身体を動かす運動を習慣的にしていない方)のみ) 運動を継続するために必要と考えることや、困っていることはどのようなことですか。(いくつでも)

- 運動を継続するために必要と考えることや困っていることについて、「どのような運動をしたらよいか知りたい」が 23.8%で最も多く、次いで「一人で運動を継続することが難しい」が 22.7%、「自分の体力や状態に合った運動プログラムが欲しい」が 22.3%となっています。
- 要介護認定者調査と比べると、「どのような運動をしたらよいか知りたい」「運動をするうえで専門的なアドバイスや指導が欲しい」「自分の体力や状態に合った運動プログラムが欲しい」「定期的に、自分が運動した効果が知りたい」が多くなっています。

【運動を継続するために必要と考えることや困っていること(MA)】

(要介護認定者調査 問 4.6-6)

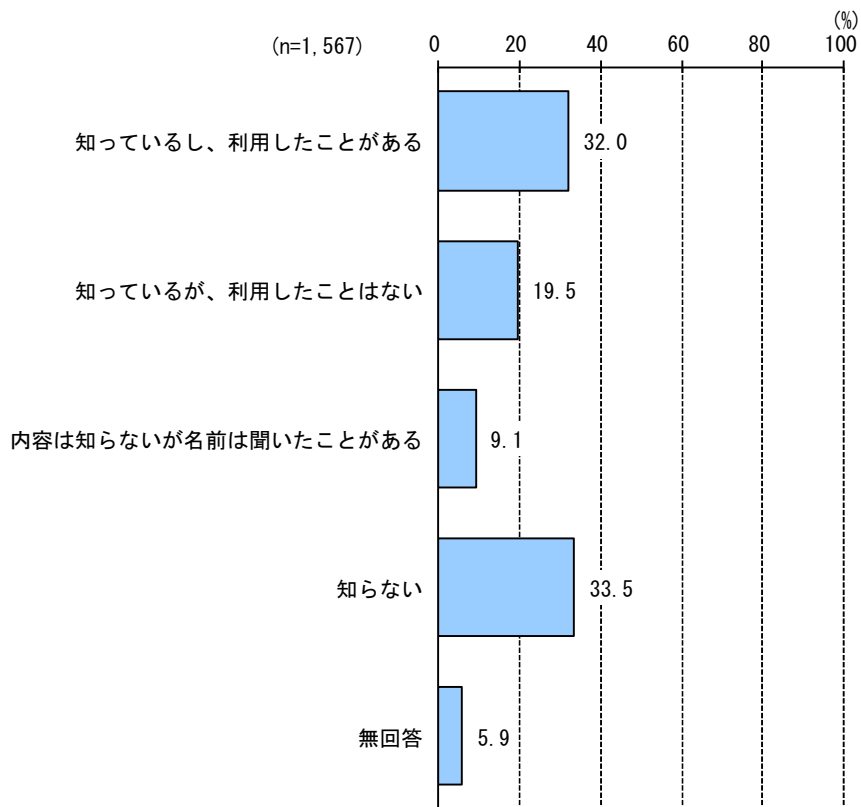


(5) 地域包括支援センターの周知状況

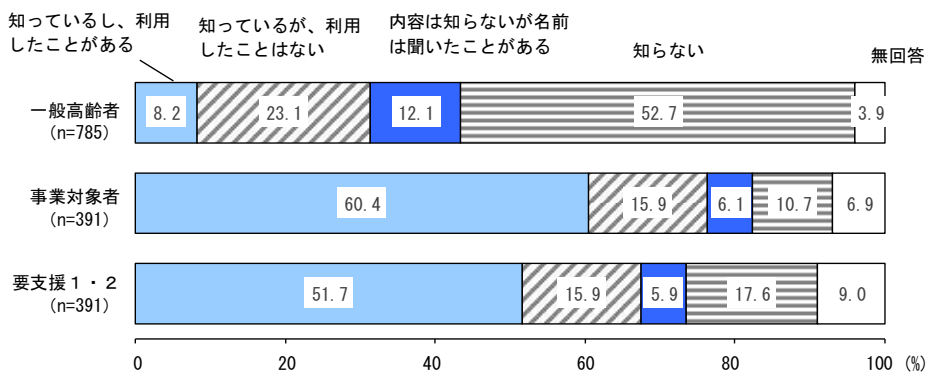
●問 8.7 吹田市には、介護や高齢者福祉などの総合相談窓口として、15 か所の「地域包括支援センター」がありますが、お近くの地域包括支援センターを知っていますか。（1つだけ）

- 近くの地域包括支援センターの周知状況と利用状況について、「知らない」が33.5%で最も多く、次いで「知っているし、利用したことがある」が32.0%、「知っているが、利用したことはない」が19.5%となっています。
- 「知っているし、利用したことがある」「知っているが、利用したことはない」を合わせた“知っている”は、51.5%となっています。
- 認定該当状況別にみると、一般高齢者では、「知らない」が52.7%と多くなっています。

【近くの地域包括支援センターの周知状況と利用状況】



【認定該当状況別】



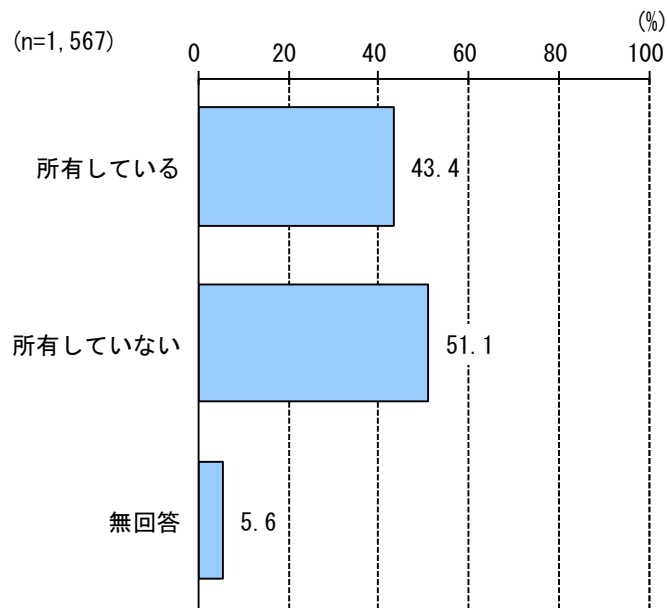
10. 情報収集について

(1) スマートフォンの所有

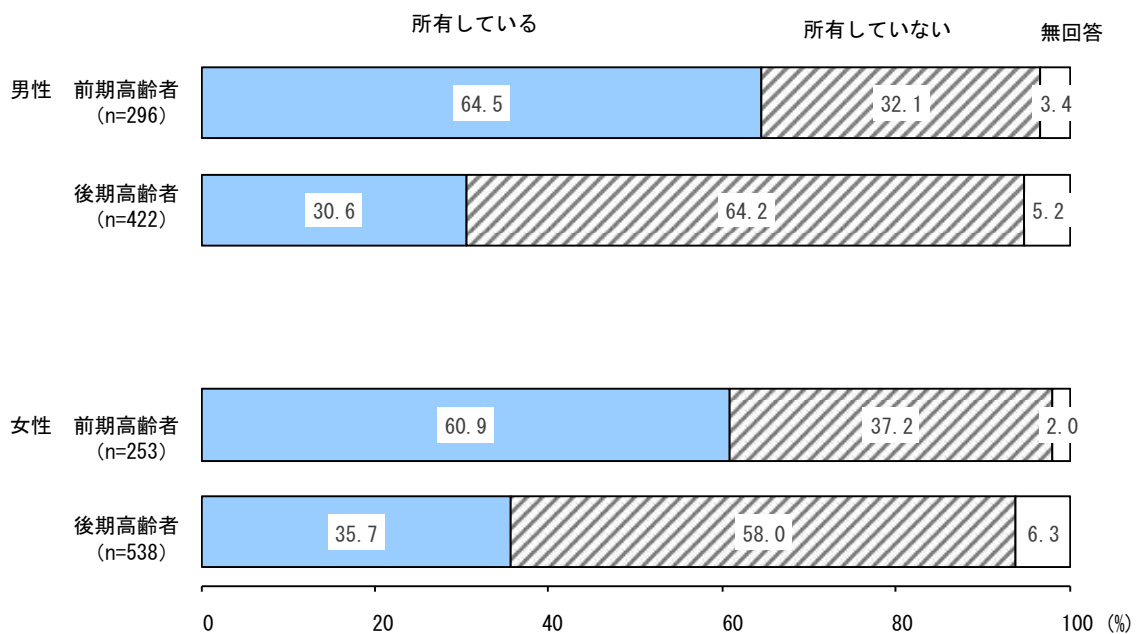
●問9.1 あなたは、スマートフォンを所有していますか。(1つだけ)

- スマートフォンの所有について、「所有している」が43.4%、「所有していない」が51.1%となっています。
- 性・年齢別にみると、男女ともに、前期高齢者では「所有している」が6割程度であるのに対し、後期高齢者では3割程度となっています。

【スマートフォンの所有】



【性・年齢別】



(2) 情報収集手段

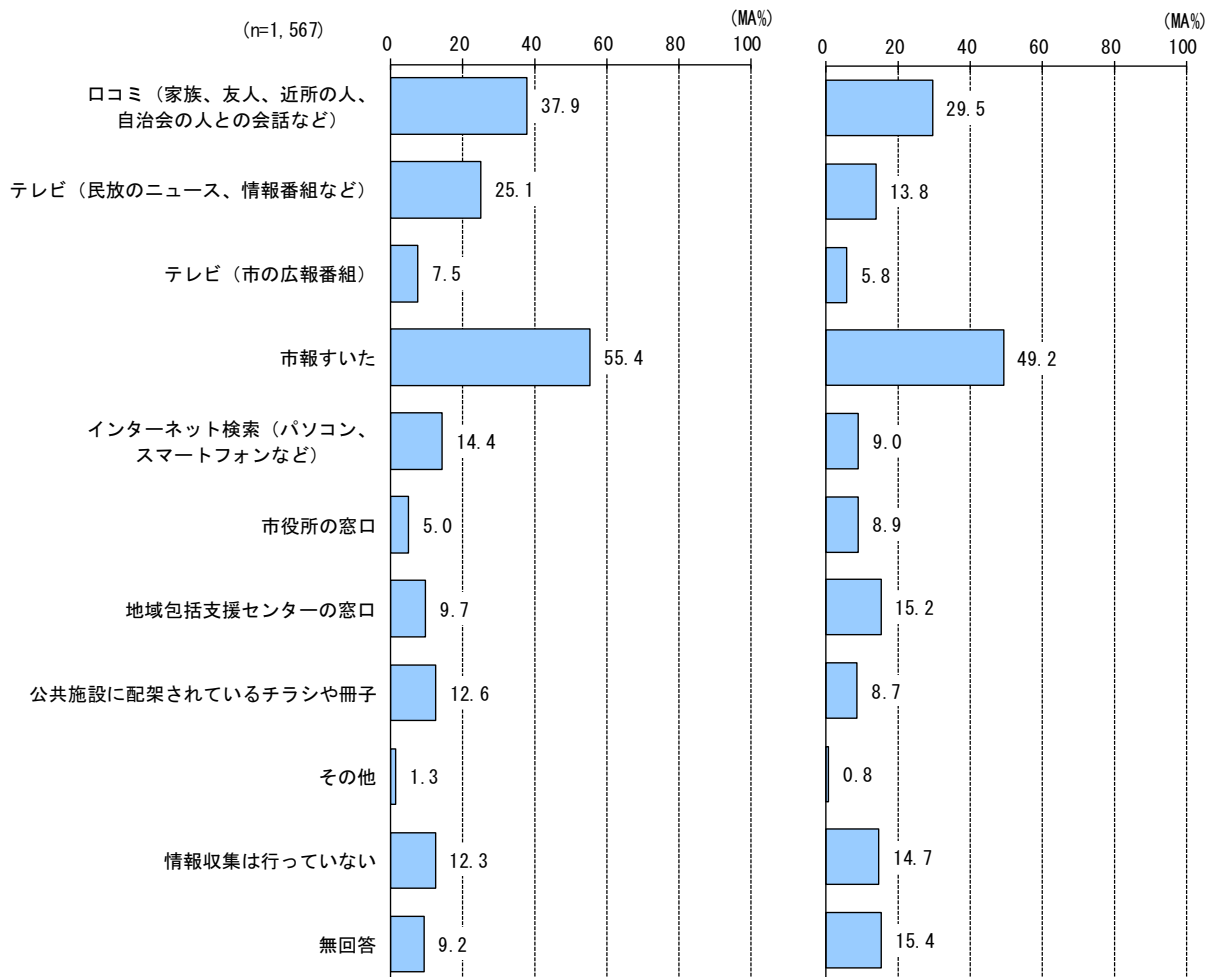
●問 9.2 あなたが趣味やサークル活動、介護や生活支援などの行政サービスの情報収集手段として利用するものは次のうちどれですか。(いくつでも)

- 趣味、サークル活動、行政サービスの情報収集について、いずれも、「市報すいた」が最も多く、次いで「口コミ（家族、友人、近所の人、自治会の人との会話など）」となっています。次いで、趣味、サークル活動の情報収集については「テレビ（民放のニュース、情報番組など）」、行政サービスの情報収集については「地域包括支援センターの窓口」が多くなっています。また、趣味、サークル活動についてはそのほか「インターネット検索（パソコン、スマートフォンなど）」「公共施設に配架されているチラシや冊子」が、行政サービスに比べて多くなっています。
- 性・年齢別にみると、趣味、サークル活動、行政サービスの情報収集いずれも、女性では男性に比べ、「口コミ（家族、友人、近所の人、自治会の人との会話など）」が多くなっています。前期高齢者では後期高齢者に比べ「インターネット検索（パソコン、スマートフォンなど）」が多く、特に男性で多くなっています。後期高齢者では前期高齢者に比べ「地域包括支援センターの窓口」が多くなっています。
- 行政サービスでは、前期高齢者で後期高齢者に比べ「市役所の窓口」が多い一方、「情報収集は行っていない」も多くなっています。

【趣味、サークル活動の情報収集手段(MA)】

【介護や生活支援などの

行政サービスの情報収集手段(MA)】



【趣味、サークル活動の情報収集手段(MA)】

単位：%

		母数 (n)	①趣味、サークル活動の情報収集手段(MA)										
			会話など 所の人、自治会 の人の人との近	口コミ (家族、友人、近	ス、情報 番組など)	テレビ (民放のニュー	テレビ (市の広報番組)	市報 すいた	ソ ン コ ン 、 ス マ ー ト フ オ ン パ 	市 役 所 の 窓 口	窓 口	地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー の	公 共 施 設 に 配 架 さ れ て い る ラ ン シ ャ 冊 子
全体		1,567	37.9	25.1	7.5	55.4	14.4	5.0	9.7	12.6	1.3	12.3	9.2
性・ 年 齢	男性 前期高齢者	296	27.7	27.4	6.1	49.3	35.1	6.1	4.1	12.5	1.0	18.9	4.1
	後期高齢者	422	29.6	26.8	7.8	56.4	8.8	5.0	11.4	11.1	1.7	14.0	11.1
	女性 前期高齢者	253	51.0	27.7	6.7	66.8	19.8	5.9	7.1	16.6	-	9.9	2.8
	後期高齢者	538	45.2	22.9	8.7	54.8	5.4	4.3	13.2	12.6	2.0	8.9	11.0

【介護や生活支援などの行政サービスの情報収集手段(MA)】

単位：%

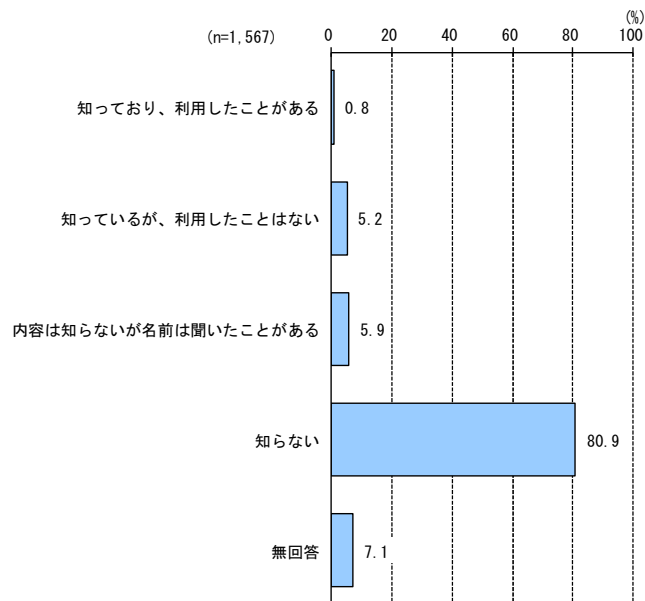
		母数 (n)	②介護や生活支援などの行政サービスの情報収集手段(MA)										
			会話など 所の人、自治会 の人の人との近	口コミ (家族、友人、近	ス、情報 番組など)	テレビ (民放のニュー	テレビ (市の広報番組)	市報 すいた	ソ ン コ ン 、 ス マ ー ト フ オ ン パ 	市 役 所 の 窓 口	窓 口	地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー の	公 共 施 設 に 配 架 さ れ て い る ラ ン シ ャ 冊 子
全体		1,567	29.5	13.8	5.8	49.2	9.0	8.9	15.2	8.7	0.8	14.7	15.4
性・ 年 齢	男性 前期高齢者	296	20.6	14.5	5.4	42.9	22.0	11.5	7.4	6.8	1.4	25.0	8.8
	後期高齢者	422	25.1	14.0	6.4	51.7	5.0	6.6	18.0	8.8	0.7	13.5	16.6
	女性 前期高齢者	253	36.0	14.6	5.9	60.5	12.6	12.3	9.9	11.1	0.4	17.0	9.1
	後期高齢者	538	35.3	13.2	5.9	47.6	3.7	7.6	20.6	8.9	0.9	10.0	19.1

(3) すいた年輪サポートなびの周知状況

●問 9.3 ポータルサイト「すいた年輪サポートなび」を知っていますか。(1つだけ)

○ すいた年輪サポートなびの周知状況と利用状況について、「知らない」が80.9%で最も多く、次いで「内容は知らないが名前は聞いたことがある」が5.9%、「知っているが、利用したことはない」が5.2%となっています。

【すいた年輪サポートなびの周知状況と利用状況】



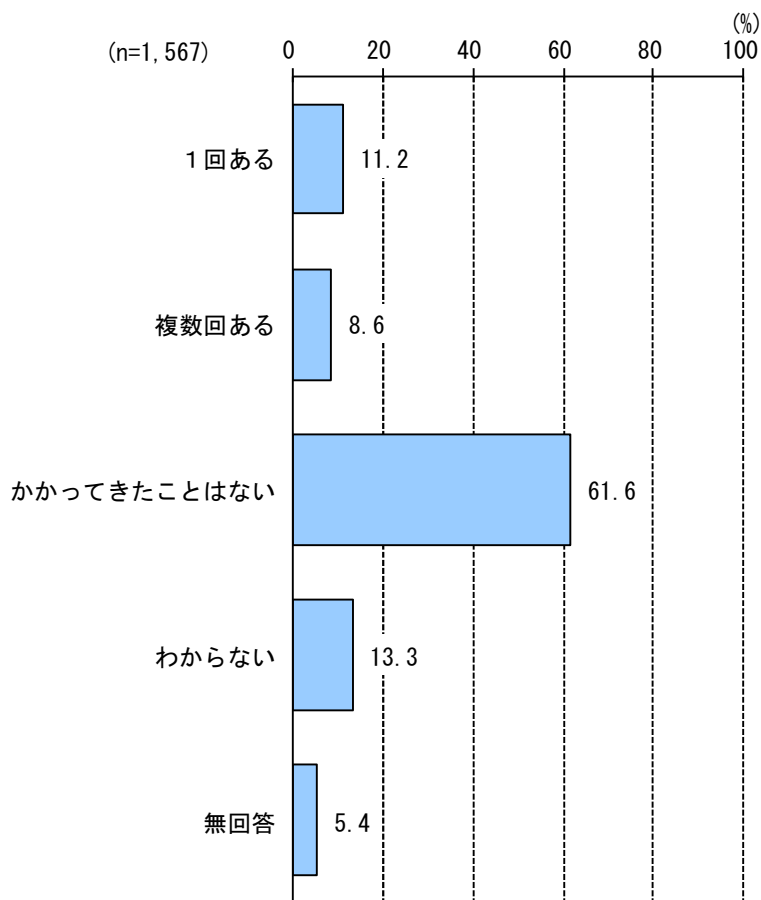
11. 高齢者の権利等について

(1) 振り込み詐欺や還付金詐欺などの特殊詐欺

●問 10.1 過去1年間に、「振り込み詐欺や還付金詐欺などの特殊詐欺」だと思われる電話がかかってきたことがありますか。(1つだけ)

- 過去1年間に振り込み詐欺や還付金詐欺などの特殊詐欺だと思われる電話がかかってきたことについて、「かかってきたことはない」が61.6%で最も多く、次いで「わからない」が13.3%、「1回ある」が11.2%となっています。
- 「1回ある」「複数回ある」を合わせた“かかってきたことがある”人は19.8%となっています。

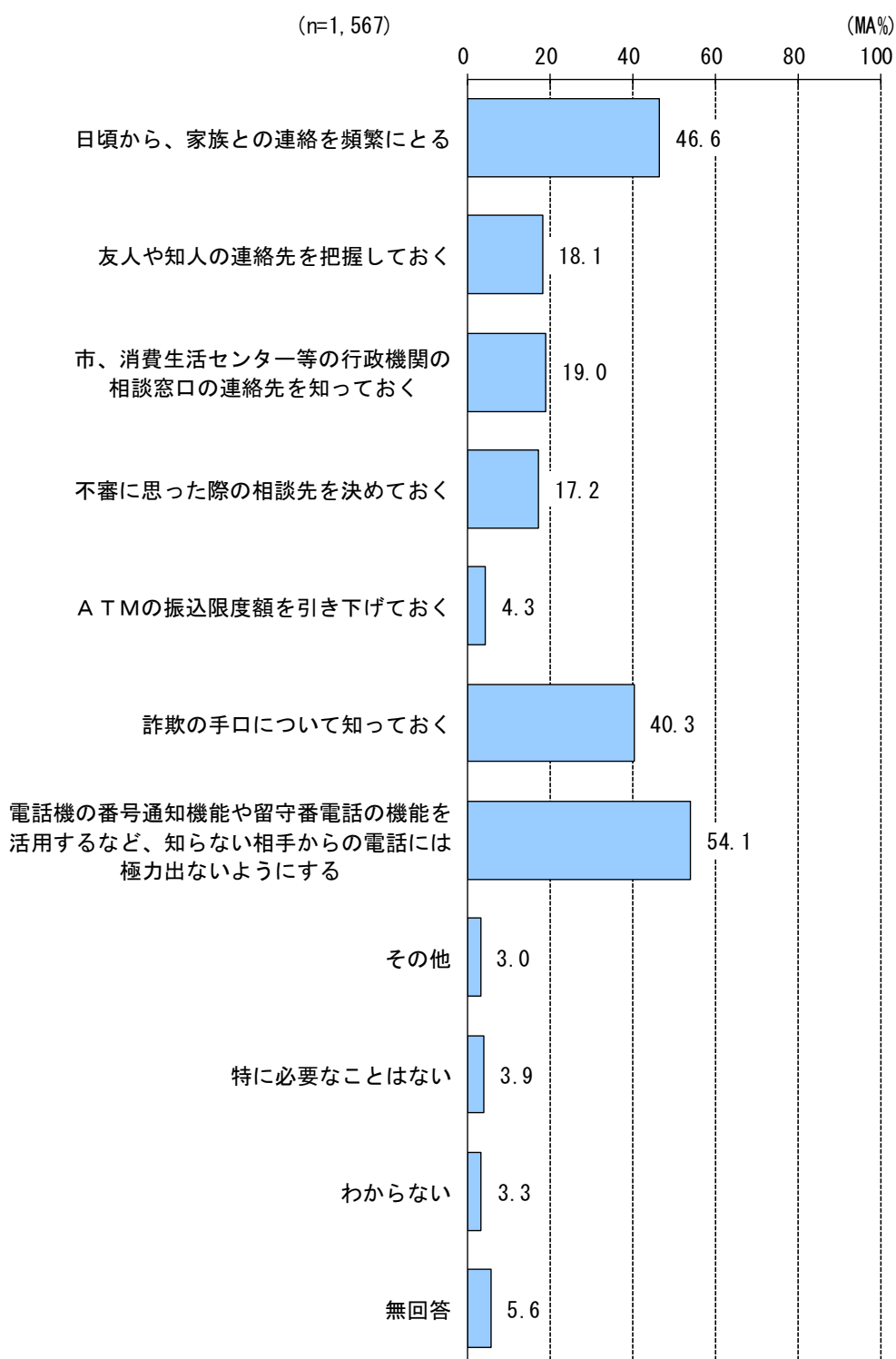
【過去1年間に振り込み詐欺や還付金詐欺などの特殊詐欺だと思われる電話がかかってきたこと】



●問 10.2 「振り込め詐欺や還付金詐欺などの特殊詐欺」の被害を防ぐために、どのようなことが必要だと思いますか。(いくつでも)

○ 振り込め詐欺や還付金詐欺などの特殊詐欺の被害を防ぐために必要なことについて、「電話機の番号通知機能や留守番電話の機能を活用するなど、知らない相手からの電話には極力出ないようにする」が54.1%で最も多く、次いで「日頃から、家族との連絡を頻繁にとる」が46.6%、「詐欺の手口について知っておく」が40.3%となっています。

【振り込め詐欺や還付金詐欺などの特殊詐欺の被害を防ぐために必要なこと(MA)】

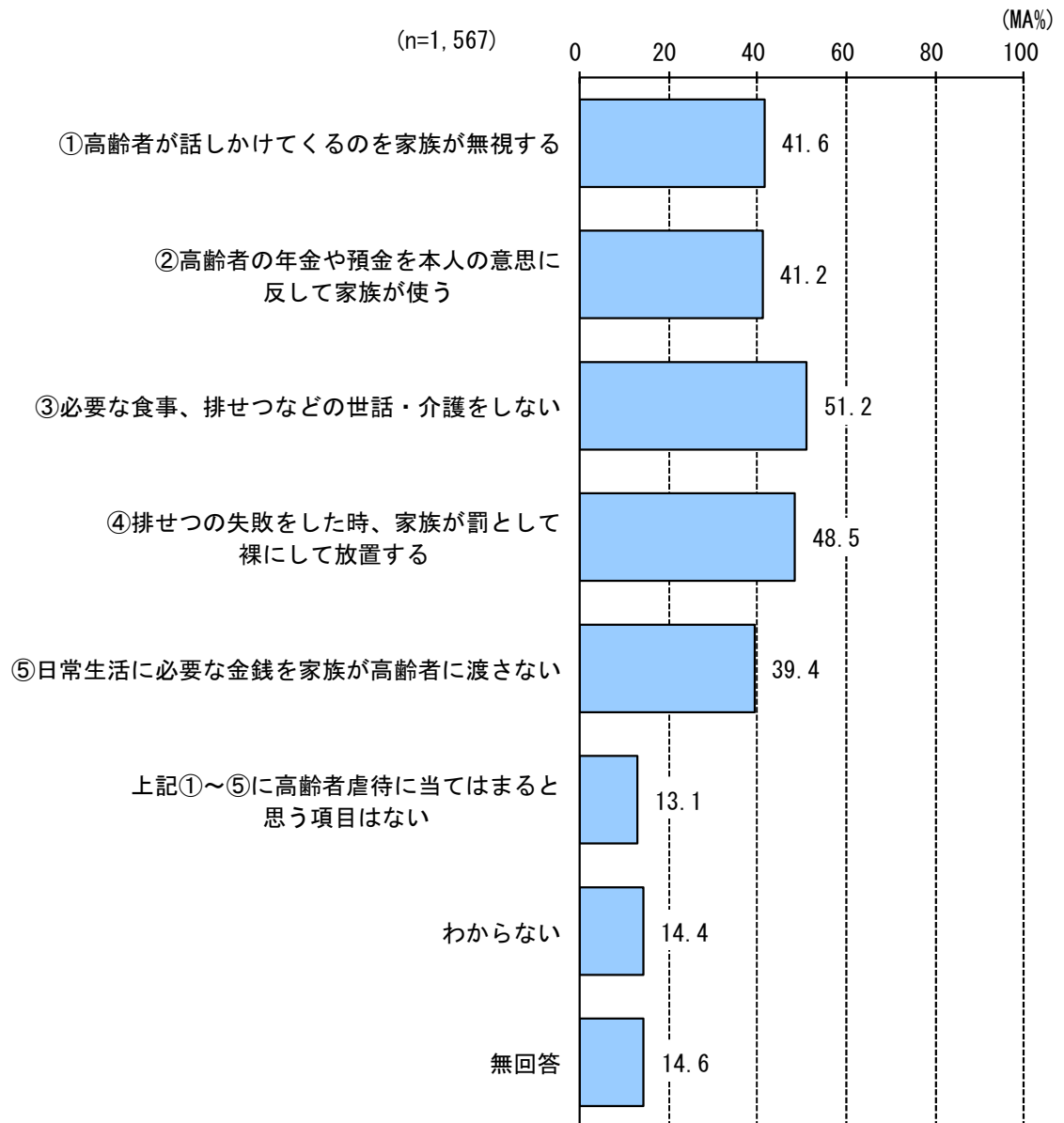


(2) 高齢者虐待

●問 10.3 あなたが「高齢者虐待」に当てはまると思う項目は次のうちどれですか。（いくつでも）

○ 高齢者虐待に当てはまると思う項目について、「必要な食事、排せつなどの世話・介護をしない」が51.2%で最も多く、次いで「排せつの失敗をした時、家族が罰として裸にして放置する」が48.5%、「高齢者が話しかけてくるのを家族が無視する」が41.6%となっています。

【高齢者虐待に当てはまると思う項目 (MA)】



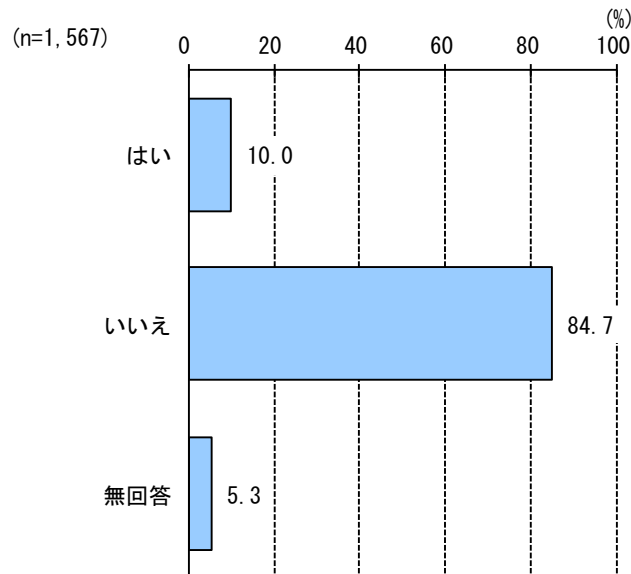
(3) 認知症

① 認知症の症状の有無

●問 10.4 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つだけ)

○ 自身や家族の認知症の症状有無について、「はい」が 10.0%、「いいえ」が 84.7%となっています。

【自身や家族の認知症の症状有無】



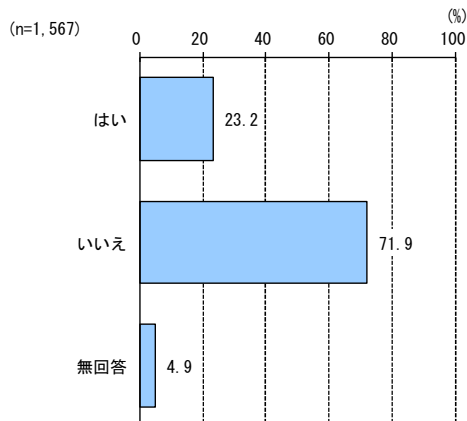
② 認知症の相談窓口、認知症サポーターの周知状況

●問 10.5 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つだけ)

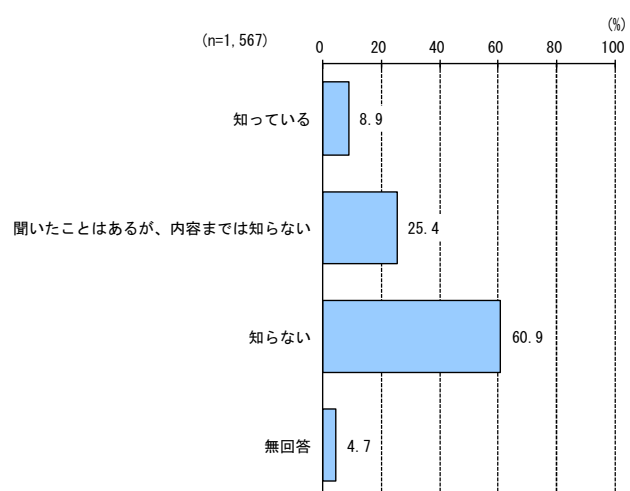
●問 10.6 認知症サポーターについて知っていますか。(1つだけ)

○ 認知症に関する相談窓口の周知状況について、「はい」が 23.2%、「いいえ」が 71.9%となっています。
○ 認知症サポーターの周知状況について、「知らない」が 60.9%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が 25.4%、「知っている」が 8.9%となっています。

【認知症に関する相談窓口の周知状況】



【認知症サポーターの周知状況】

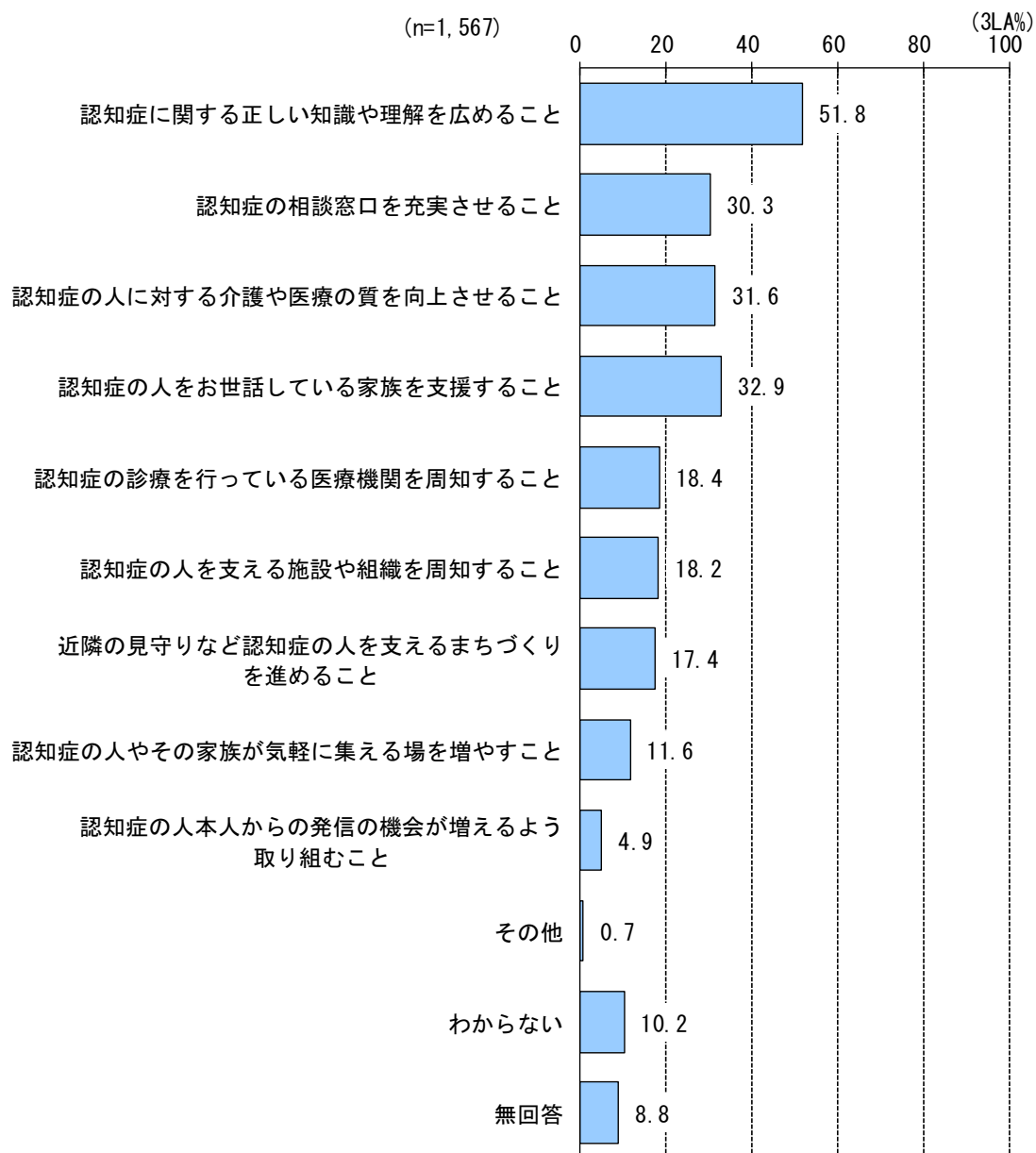


③ 認知症の人が安心して暮らせるまちにするために必要な対策

●問 10.7 認知症の人が安心して暮らせるまちにするには、どのような対策が必要だと思いますか。(主なもの3つまで)

○ 認知症の人が安心して暮らせるまちにするために必要な対策について、「認知症に関する正しい知識や理解を広めること」が51.8%で最も多く、次いで「認知症の人をお世話している家族を支援すること」が32.9%、「認知症の人に対する介護や医療の質を向上させること」が31.6%となっています。

【認知症の人が安心して暮らせるまちにするために必要な対策(3LA)】

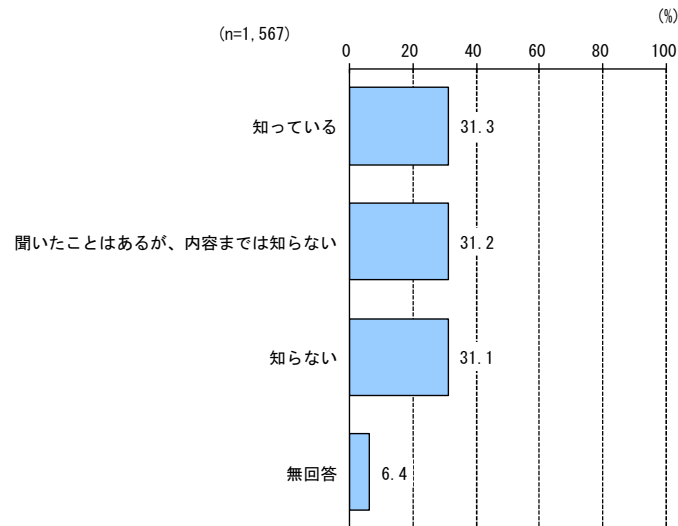


(4) 成年後見制度

- 問 10.8 認知症の人など、判断能力が十分でない人々の権利を守り、援助する制度として、成年後見制度がありますが、この成年後見制度について知っていますか。(1つだけ)

○ 成年後見制度の周知状況について、「知っている」が31.3%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が31.2%、「知らない」が31.1%となっています。

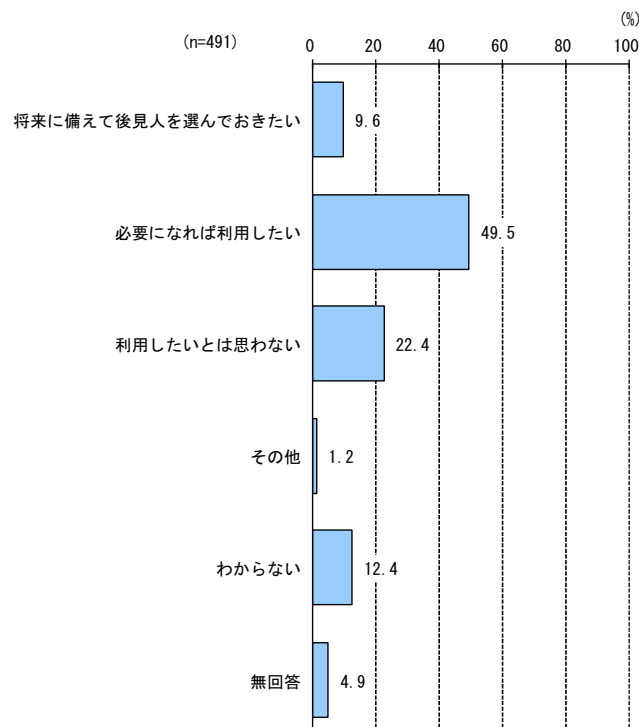
【成年後見制度の周知状況】



- 問 10.8-1 (問 10.8 で「知っている」と答えた方(成年後見制度を知っている方)のみ) あなたは支援が必要になったときには、成年後見制度を利用したいと思いますか。(1つだけ)

○ 成年後見制度の利用意向について、「必要になれば利用したい」が49.5%で最も多く、次いで「利用したいとは思わない」が22.4%、「わからない」が12.4%となっています。

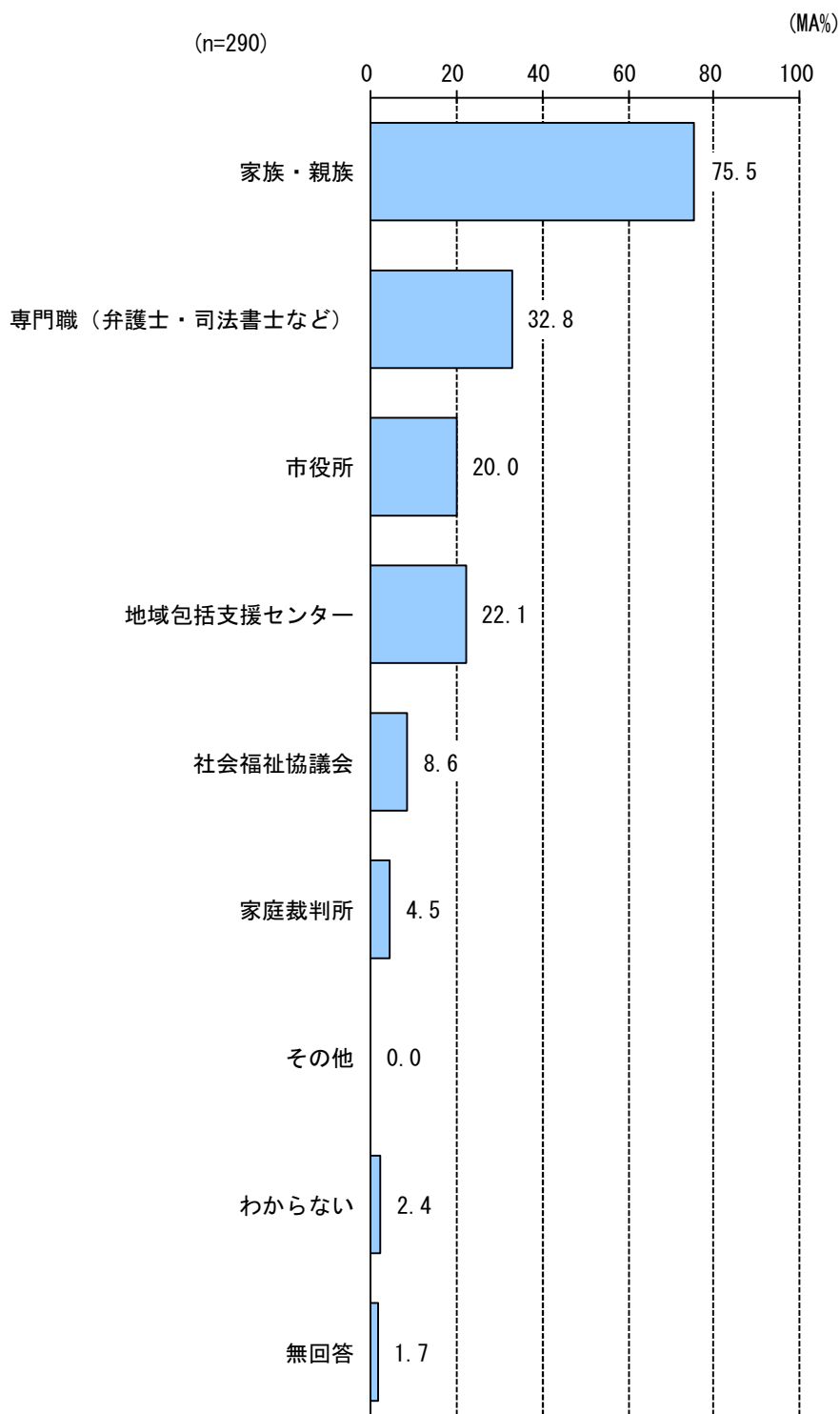
【成年後見制度の利用意向】



●問 10.8-2 (問 10.8-1 で「将来に備えて後見人を選んでおきたい」「必要になれば利用したい」と答えた方(成年後見制度を利用したい方)のみ) 成年後見制度について、誰に(どこに)相談しようと思いますか。(いくつでも)

○ 成年後見制度の相談相手について、「家族・親族」が75.5%で最も多く、次いで「専門職(弁護士・司法書士など)」が32.8%、「地域包括支援センター」が22.1%となっています。

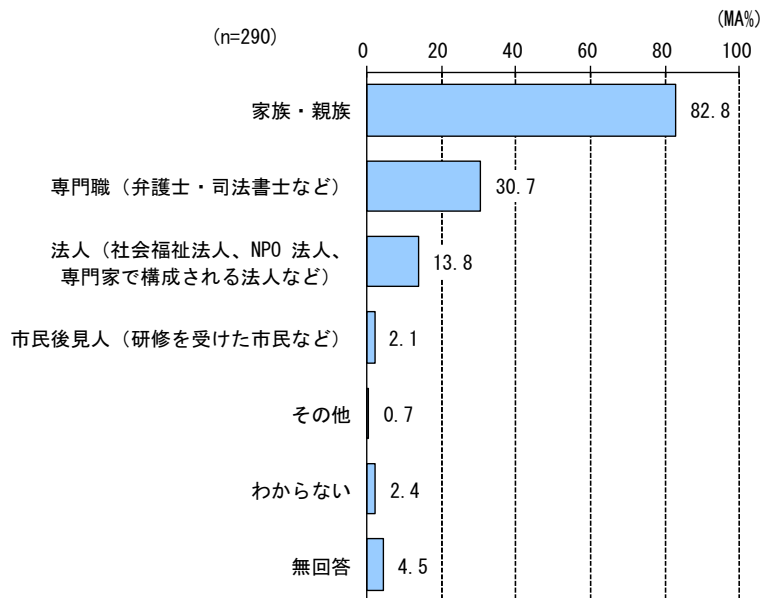
【成年後見制度の相談相手(MA)】



- 問 10.8-3 (問 10.8-1 で「将来に備えて後見人を選んでおきたい」「必要になれば利用したい」と答えた方(成年後見制度を利用したい方)のみ) 後見人等はだれになってもらいたいですか。(いくつでも)

- 後見人等になってほしい人について、「家族・親族」が 82.8%で最も多く、次いで「専門職(弁護士・司法書士など)」が 30.7%、「法人(社会福祉法人、NPO 法人、専門家で構成される法人など)」が 13.8%となっています。

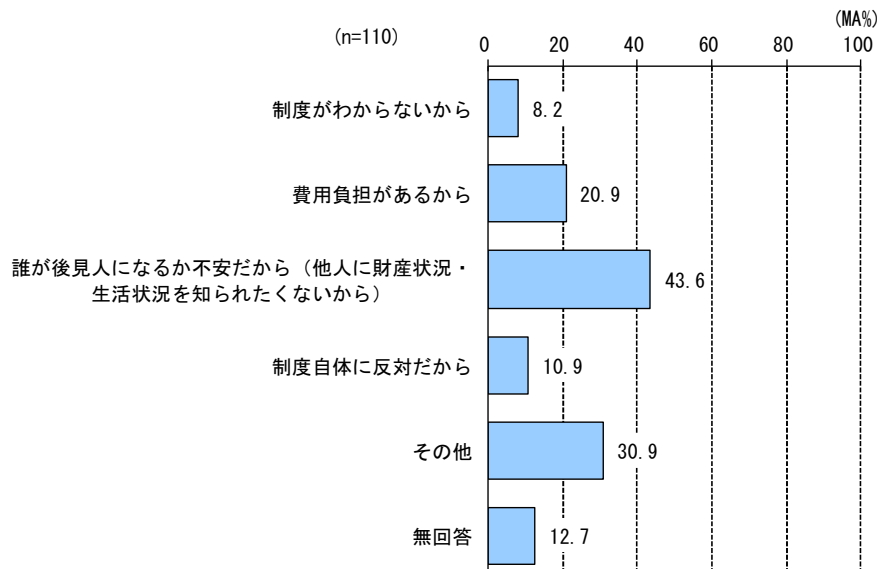
【後見人等になってほしい人(MA)】



- 問 10.8-4 (問 10.8-1 で「利用したいとは思わない」と答えた方(成年後見制度を利用したいと思わない方)のみ) その理由として、あなたの考えに近いものは何ですか。(いくつでも)

- 成年後見制度を利用したいと思わない理由について、「誰が後見人になるか不安だから(他人に財産状況・生活状況を知られたくないから)」が 43.6%で最も多く、次いで「費用負担があるから」が 20.9%、「制度自体に反対だから」が 10.9%となっています。
- その他の内容としては、信頼できる家族(子供、配偶者)がいる、制度が不十分・信用できないが多くなっています。

【成年後見制度を利用したいと思わない理由(MA)】



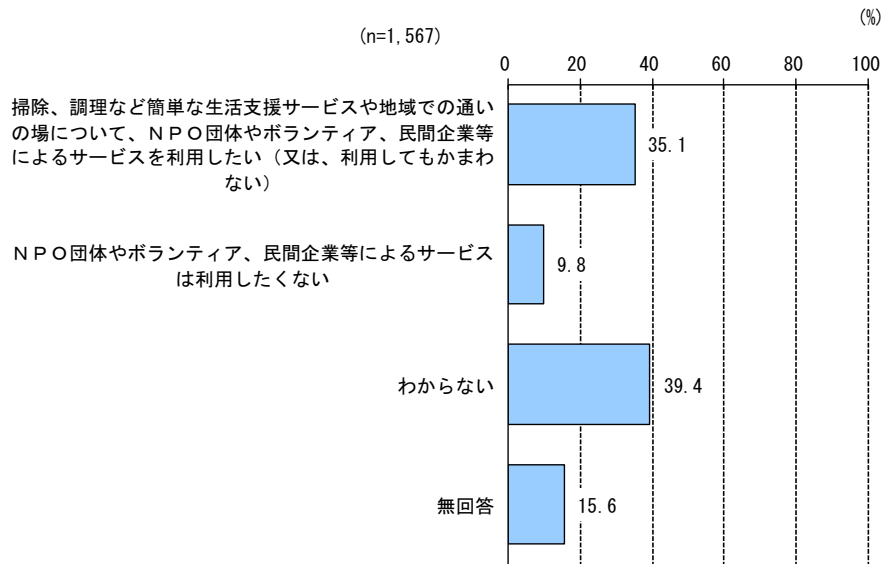
12. 今後の暮らしについて

(1) 介護保険外の多様な事業主体によるサービスの提供

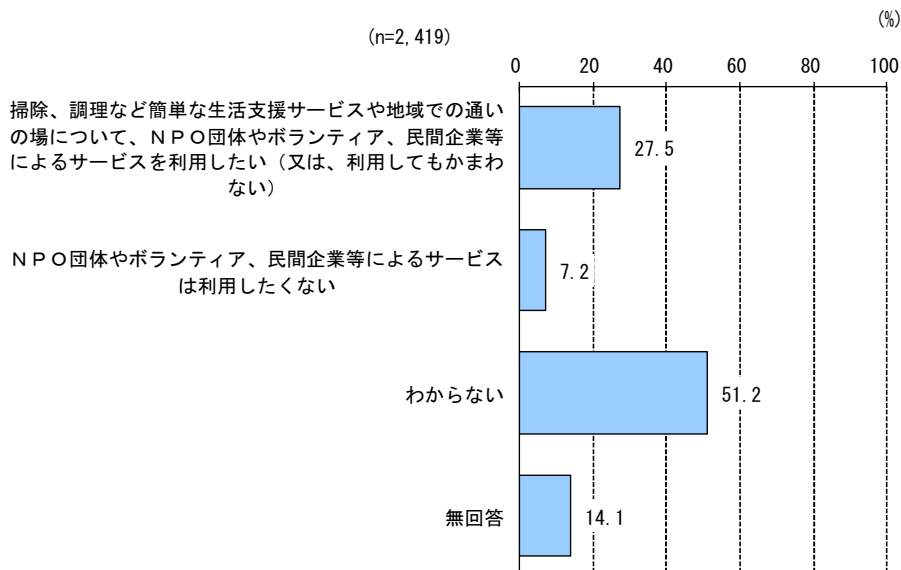
- 問 11.1 介護保険サービスの他に利用者のニーズに合わせたNPO団体やボランティア、民間企業等、多様な事業主体によるサービスの提供をすすめています。これらのサービス提供について、どのように思いますか。(1つだけ)

- 介護保険外の多様な事業主体によるサービスの提供についての考えについて、「掃除、調理など簡単な生活支援サービスや地域での通いの場について、NPO団体やボランティア、民間企業等によるサービスを利用したい(又は、利用してもかまわない)」が35.1%、「NPO団体やボランティア、民間企業等によるサービスは利用したくない」が9.8%となっています。

【介護保険外の多様な事業主体によるサービスの提供についての考え】



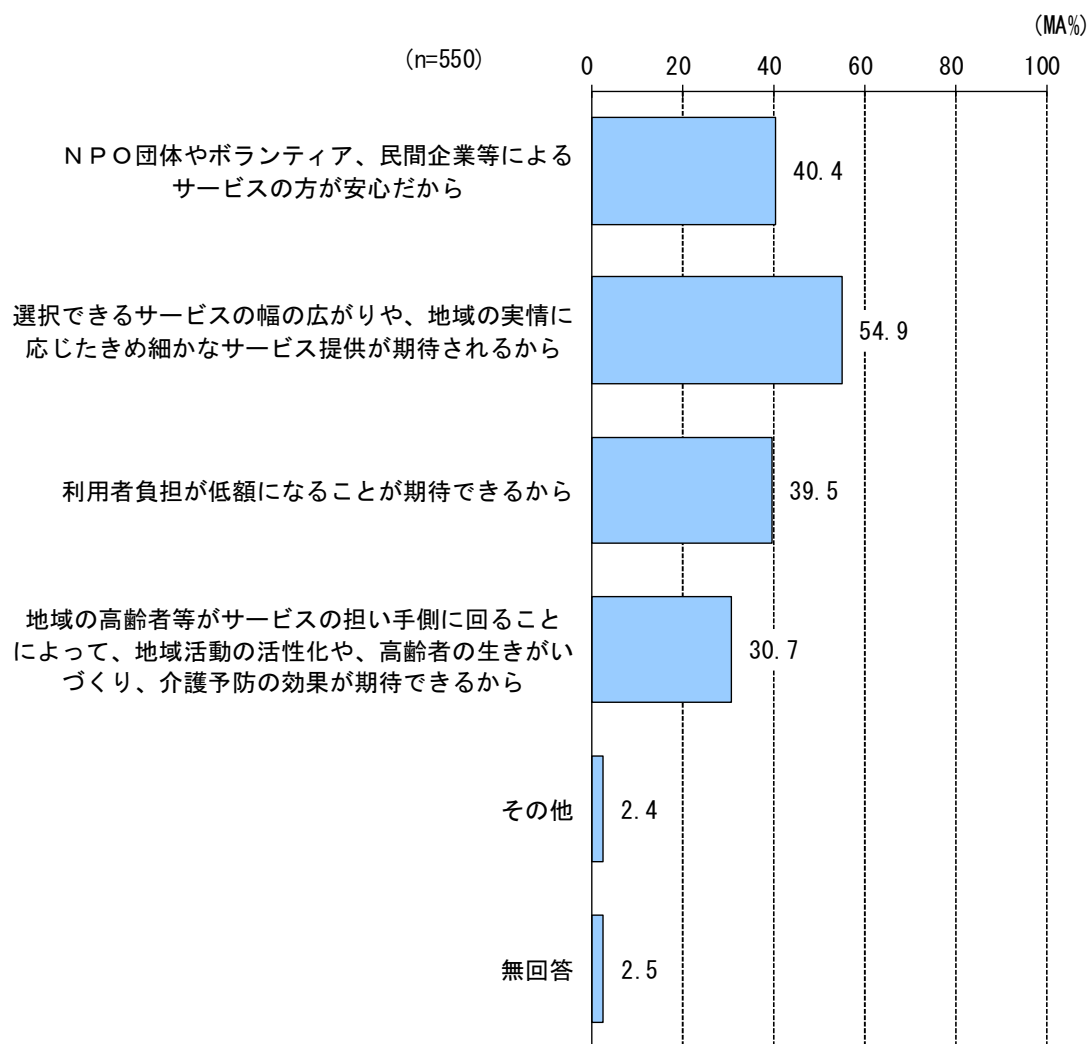
(参考：前回調査)



- 問 11.1-1 (問 11.1 で「掃除、調理など簡単な生活支援サービスや地域での通いの場について、NPO 団体やボランティア、民間企業等によるサービスを利用したい(又は、利用してもかまわない)」と答えた方のみ) 利用したい理由は何ですか。(いくつでも)

- 利用したい理由について、「選択できるサービスの幅の広がりや、地域の実情に応じたきめ細かなサービス提供が期待されるから」が 54.9%で最も多く、次いで「NPO 団体やボランティア、民間企業等によるサービスの方が安心だから」が 40.4%、「利用者負担が低額になることが期待できるから」が 39.5%となっています。

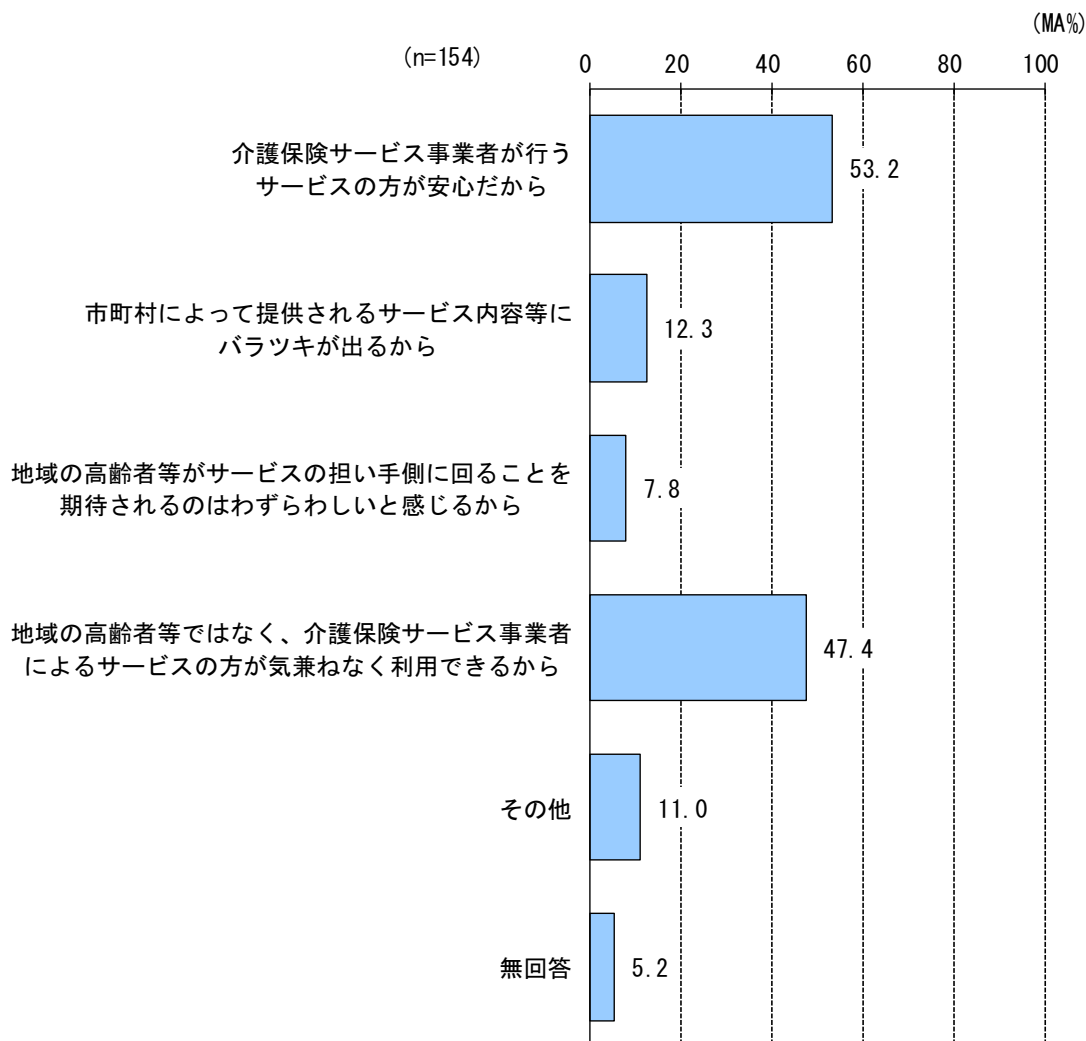
【利用したい理由(MA)】



- 問 11.1-2 (問 11.1 で「NPO 団体やボランティア、民間企業等によるサービスは利用したくない」と答えた方(利用したくない方)のみ) 利用したくない理由は何ですか。(いくつでも)

- 利用したくない理由について、「介護保険サービス事業者が行うサービスの方が安心だから」が 53.2%で最も多く、次いで「地域の高齢者等ではなく、介護保険サービス事業者によるサービスの方が気兼ねなく利用できるから」が 47.4%、「市町村によって提供されるサービス内容等にバラツキが出るから」が 12.3%となっています。

【利用したくない理由(MA)】

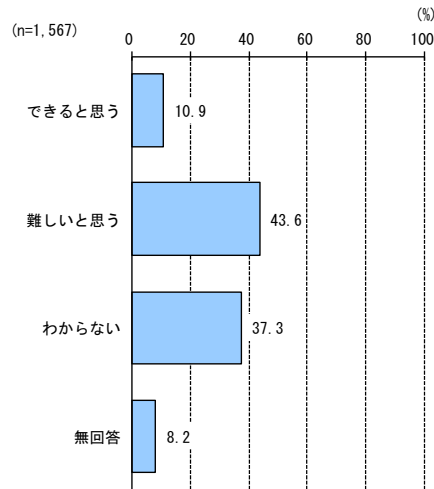


(2) 自宅で療養しながら最期まで過ごすこと

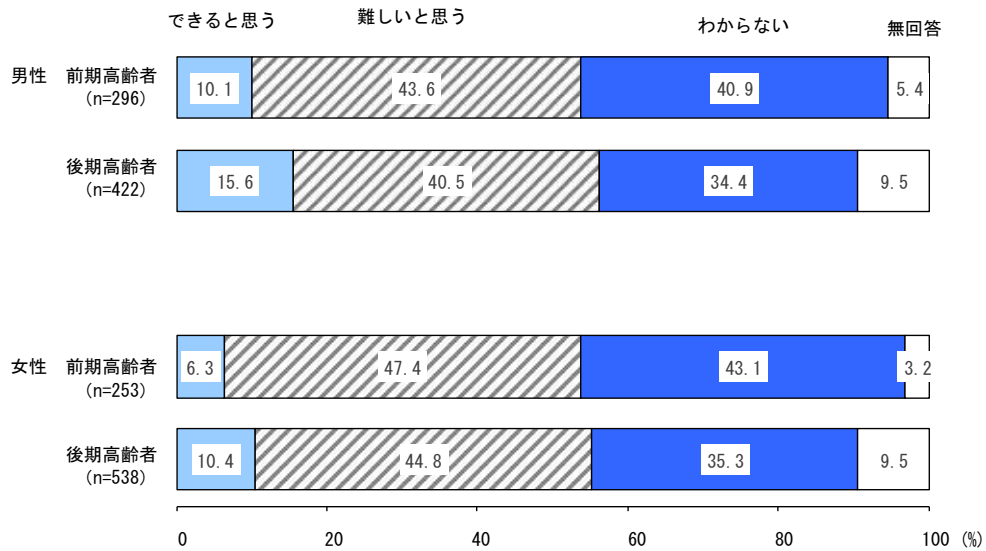
●問 11.2 あなたは自宅で療養しながら、最期まで過ごすことができますか。（1つだけ）

- 自宅で療養しながら最期まで過ごすことができると思うかについて、「難しいと思う」が43.6%で最も多く、次いで「わからない」が37.3%、「できると思う」が10.9%となっています。
- 性・年齢別にみると、女性前期高齢者では、「難しいと思う」が47.4%と、他の区分と比べ、やや多くなっています。

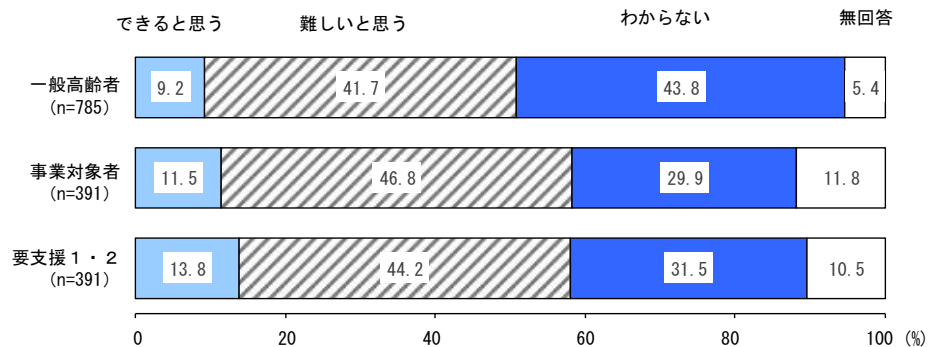
【自宅で療養しながら最期まで過ごすことができると思うか】



【性・年齢別】



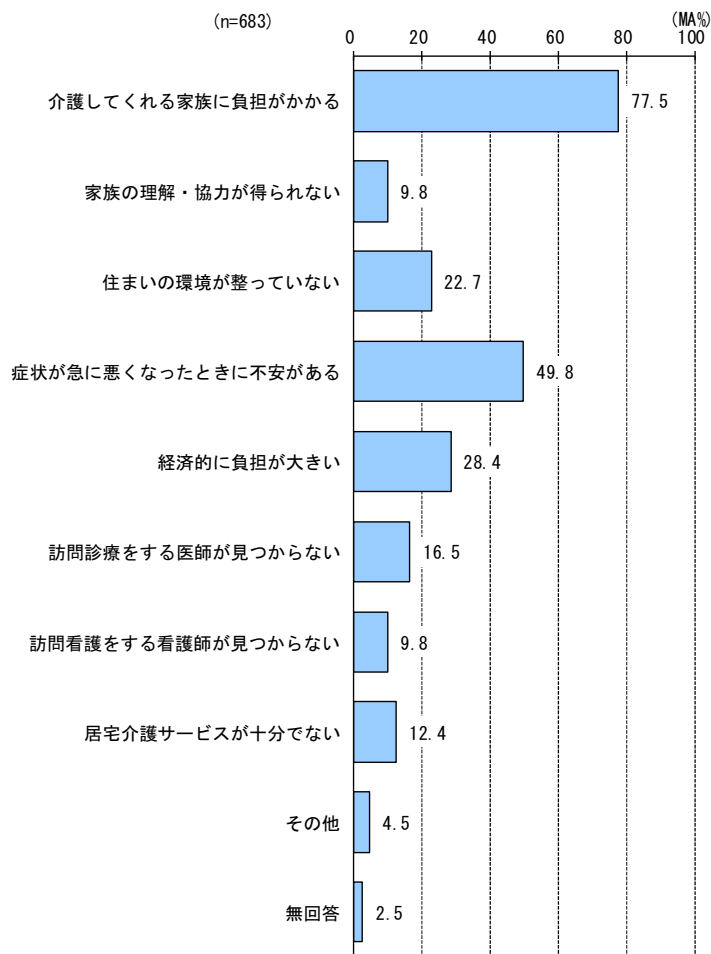
【認定該当状況別】



●問 11.2-1 (問 11.2 で「難しいと思う」と答えた方(自宅で最期まで過ごすことが難しいと思う方)のみ) 実現が難しいと思う理由は何ですか。(いくつでも)

- 実現が難しいと思う理由について、「介護してくれる家族に負担がかかる」が 77.5%で最も多く、次いで「症状が急に悪くなったときに不安がある」が 49.8%、「経済的に負担が大きい」が 28.4%となっています。
- 性・年齢別にみると、男性前期高齢者では、「経済的に負担が大きい」が 39.5%と、他の区分と比べ多くなっています。

【実現が難しいと思う理由(MA)】



単位：%

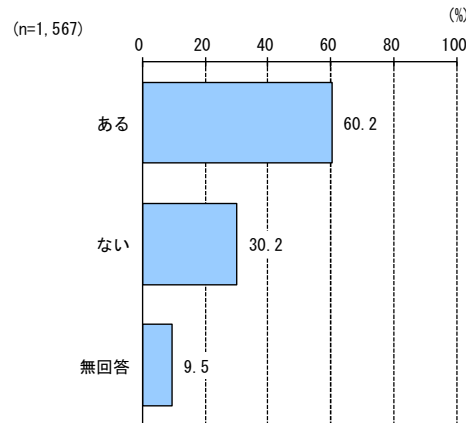
性・年齢	母数(n)	実現が難しいと思う理由(MA)										
		に介護 担し がて かか れる 家 族	得家 られ の理 ない 解・ 協力 が	て住 いま ない の環 境が 整っ	た症 と状 が急 に悪 くな る	い経 済的 に負 担が 大き	が訪 問診 療を する 医師	師訪 問 看護 をす る	十居 分 でな いサ ービ スが	そ の 他	無 回 答	
全体	683	77.5	9.8	22.7	49.8	28.4	16.5	9.8	12.4	4.5	2.5	
性・年齢	男性 前期高齢者	129	76.0	7.8	25.6	48.8	39.5	15.5	8.5	14.0	6.2	2.3
	後期高齢者	171	76.6	11.1	18.1	45.0	23.4	18.7	12.9	11.1	3.5	4.1
	女性 前期高齢者	120	77.5	4.2	24.2	51.7	30.0	10.8	4.2	7.5	6.7	1.7
	後期高齢者	241	79.3	13.7	23.2	53.9	25.3	18.3	11.6	15.4	3.7	1.7
当該認定状況	一般高齢者	327	80.4	6.4	23.9	46.8	30.6	15.0	8.3	12.2	4.9	1.8
	事業対象者	183	72.7	13.1	21.9	56.8	24.6	19.7	14.2	14.2	4.9	3.3
	要支援1・2	173	76.9	12.7	21.4	48.0	28.3	16.2	8.1	11.0	3.5	2.9

(3) 人生の最終段階における医療・療養について

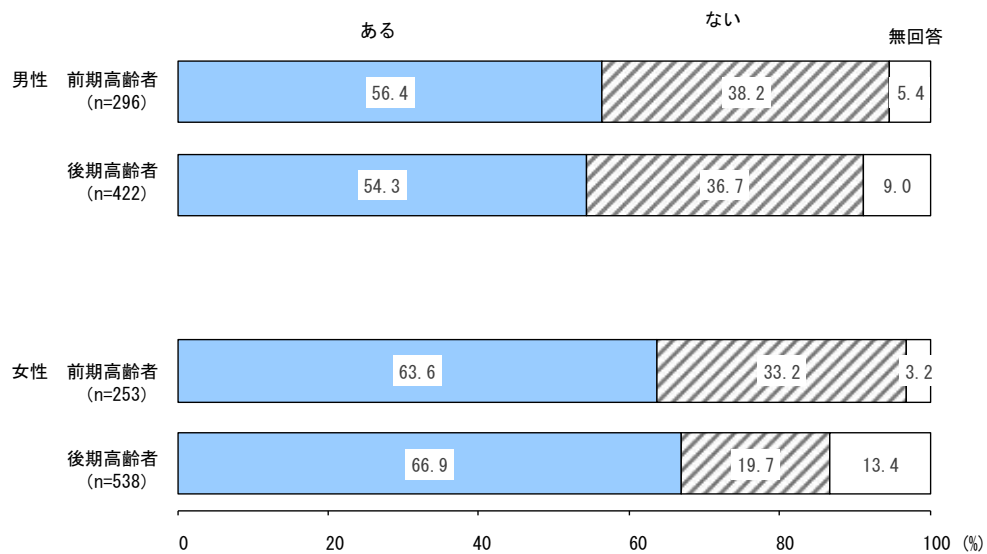
●問 11.3 あなたは、人生の最終段階における医療・療養についてこれまでに考えたことがありますか。(1つだけ)

- 人生の最終段階における医療・療養についてこれまでに考えたことについて、「ある」が60.2%、「ない」が30.2%となっています。
- 性・年齢別にみると、女性では「ある」人が6割以上となっており、男性に比べて多くなっています。

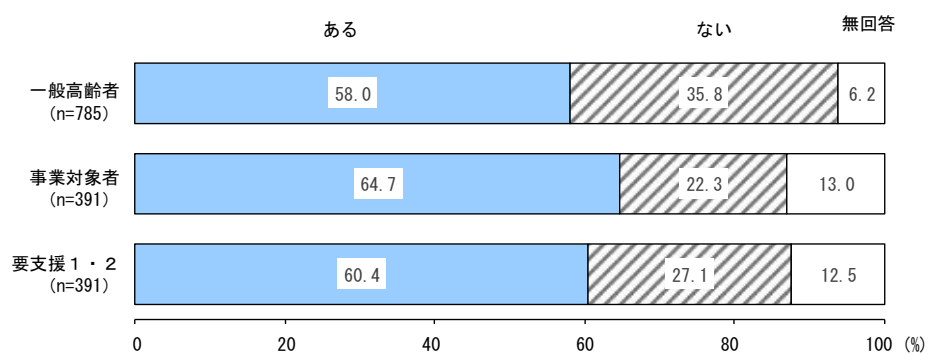
【人生の最終段階における医療・療養についてこれまでに考えたこと】



【性・年齢別】



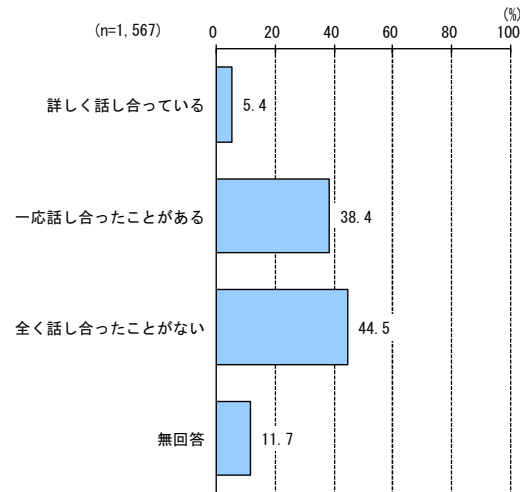
【認定該当状況別】



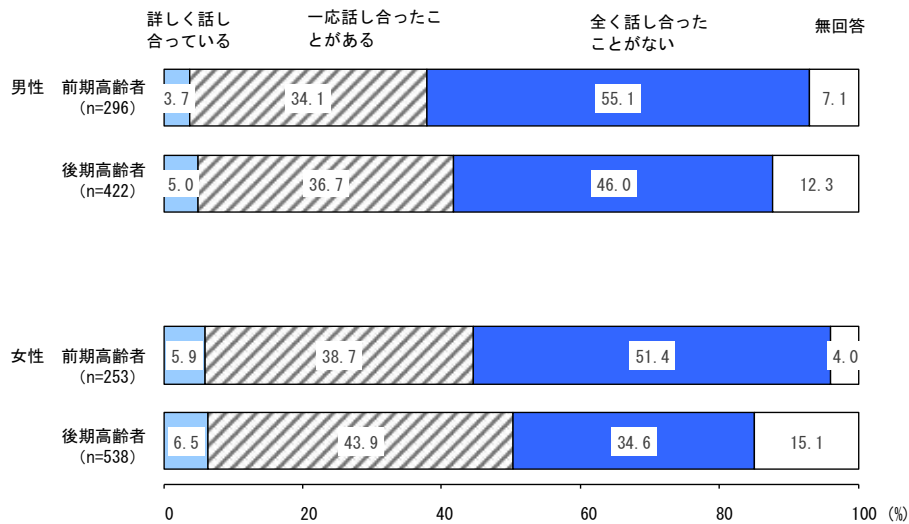
●問 11.4 あなたは、人生の最終段階における医療・療養について、ご家族等や医療介護関係者とどのくらい話し合ったことがありますか。(1つだけ)

- 人生の最終段階における医療・療養について家族等や医療介護関係者と話し合ったことについて、「全く話し合ったことがない」が44.5%で最も多く、次いで「一応話し合ったことがある」が38.4%、「詳しく話し合っている」が5.4%となっています。
- 性・年齢別にみると、女性後期高齢者では、「詳しく話し合っている」「一応話し合ったことがある」を合わせた“話し合っている”人が半数以上と多くなっています。

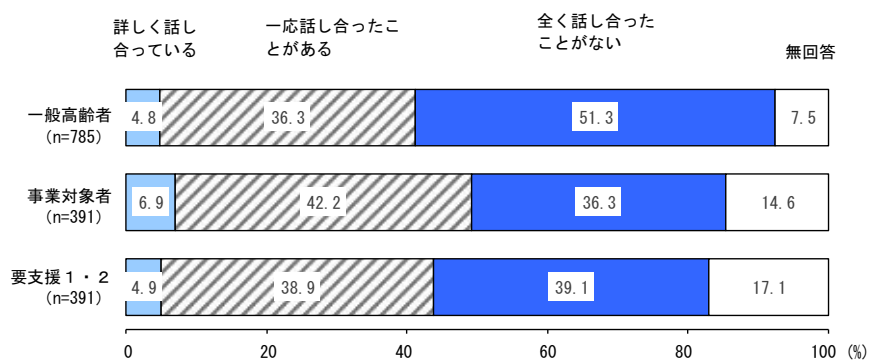
【人生の最終段階における医療・療養について家族等や医療介護関係者と話し合ったこと】



【性・年齢別】



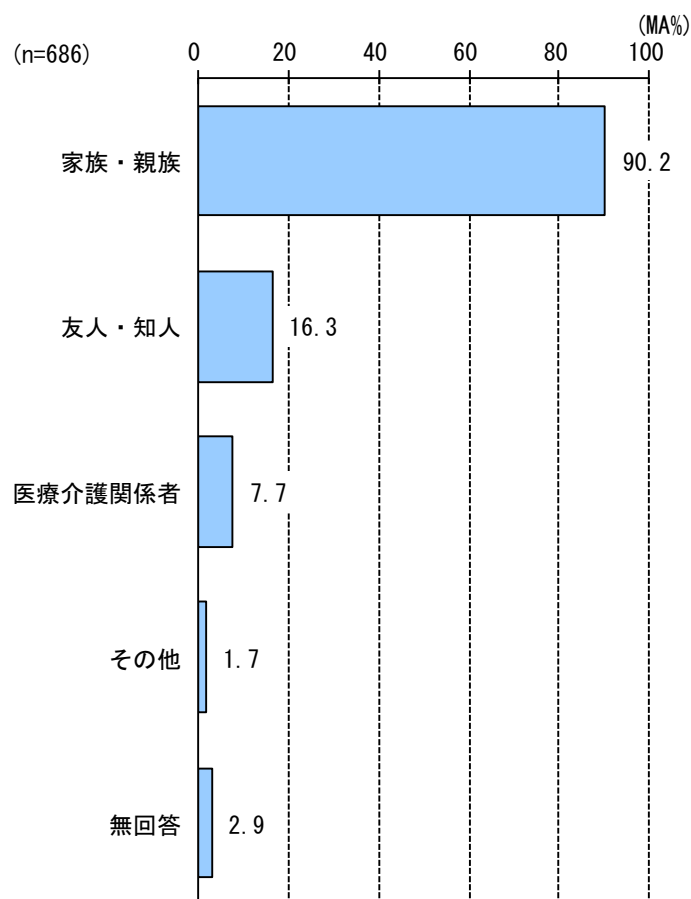
【認定該当状況別】



- 問 11.4-1 (問 11.4 で「詳しく話し合っている」「一応話し合ったことがある」と答えた方(人生の最終段階における医療・療養について話し合ったことがある方)のみ) どなたと話し合いましたか。(いくつでも)

○ 話し合った相手について、「家族・親族」が 90.2%で最も多く、次いで「友人・知人」が 16.3%、「医療介護関係者」が 7.7%となっています。

【話し合った相手(MA)】



単位：%

		母数 (n)	話し合った相手(MA)				
			家族・親族	友人・知人	医療介護関係者	その他	無回答
全体		686	90.2	16.3	7.7	1.7	2.9
性・年齢	男性 前期高齢者	112	88.4	11.6	8.0	-	5.4
	後期高齢者	176	91.5	11.4	11.9	3.4	2.8
	女性 前期高齢者	113	92.0	27.4	4.4	-	0.9
	後期高齢者	271	90.0	17.3	6.3	1.8	2.6
状況認定	一般高齢者	323	91.3	18.0	3.4	0.6	3.1
	事業対象者	192	86.5	16.7	11.5	4.7	2.1
	要支援1・2	171	92.4	12.9	11.7	0.6	3.5

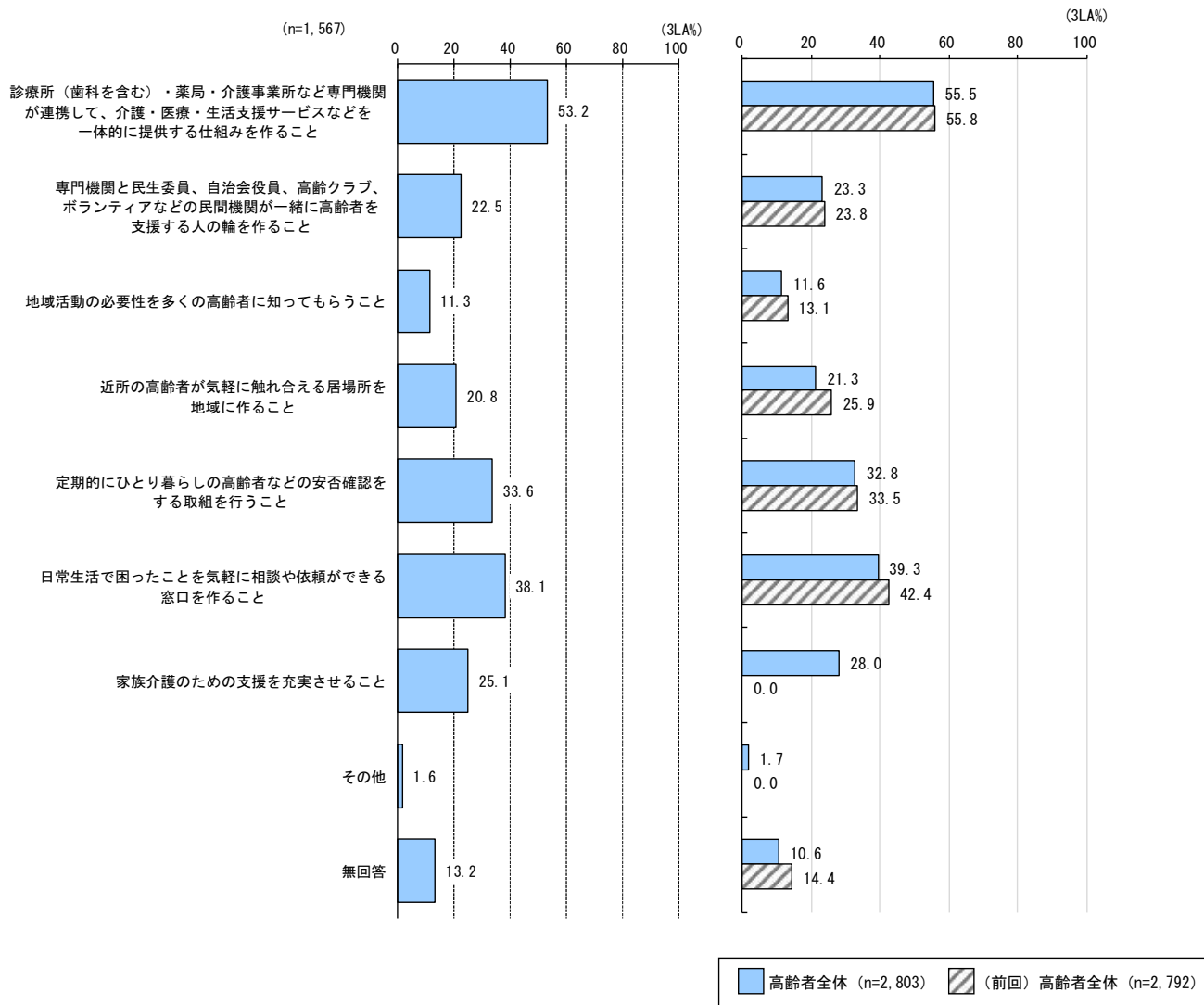
(4) 地域包括ケアシステムを作るために大切と思うこと

●問 11.5 介護の必要な高齢者が地域で暮らしやすくするためのネットワーク（地域包括ケアシステム）を作るために、何が大切だと思いますか。（主なもの3つまで）

○ 地域包括ケアシステムを作るために大切と思うことについて、「診療所（歯科を含む）・薬局・介護事業所など専門機関が連携して、介護・医療・生活支援サービスなどを一体的に提供する仕組みを作ること」が 53.2%で最も多く、次いで「日常生活で困ったことを気軽に相談や依頼ができる窓口を作ること」が 38.1%、「定期的にひとり暮らしの高齢者などの安否確認をする取組を行うこと」が 33.6%となっています。

【地域包括ケアシステムを作るために大切と思うこと (3LA)】

【高齢者全体での前回との比較】



※選択肢「診療所（歯科を含む）・薬局・介護事業所など専門機関が連携して、介護・医療・生活支援サービスなどを一体的に提供する仕組みを作ること」は、前回調査「専門機関が連携して、サービスを一体的に提供する仕組みを作ること」と同じとしています。

※選択肢「専門機関と民生委員、自治会役員、高齢クラブ、ボランティアなどの民間機関と一緒に高齢者を支援する人の輪を作ること」は、前回調査「専門機関と民間機関と一緒に高齢者を支援する人の輪を作ること」と同じとしています。

※選択肢「家族介護のための支援を充実させること」、「その他」は今回調査から新たに追加しています。

- 性・年齢別にみると、女性では男性に比べ、「近所の高齢者が気軽に触れ合える居場所を地域に作ること」が多くなっています。前期高齢者では後期高齢者に比べ、「診療所（歯科を含む）・薬局・介護事業所など専門機関が連携して、介護・医療・生活支援サービスなどを一体的に提供する仕組みを作ること」「日常生活で困ったことを気軽に相談や依頼ができる窓口を作ること」が多くなっています。また、女性前期高齢者では他の区分に比べ、「定期的にとり暮らしの高齢者などの安否確認をする取組を行うこと」が多くなっています。
- 認定該当状況別にみると、身体の方が良くなるにつれて、「診療所（歯科を含む）・薬局・介護事業所など専門機関が連携して、介護・医療・生活支援サービスなどを一体的に提供する仕組みを作ること」「日常生活で困ったことを気軽に相談や依頼ができる窓口を作ること」が多くなる傾向がみられます。また、一般高齢者、要支援1・2では、「家族介護のための支援を充実させること」が約3割と多くなっています。

単位：%

		母数 (n)	地域包括ケアシステムを作るために大切と思うこと(3LA)			
			に医療診療所など（歯科を含む）の連携をすること	専門機関と高齢者を支援する人の間を	地域活動の必要性を多くの高齢者に	近所の高齢者が気軽に触れ合える居場所
全体		1,567	53.2	22.5	11.3	20.8
性・年齢	男性 前期高齢者	296	58.8	24.7	10.8	17.2
	後期高齢者	422	53.6	23.5	12.3	19.9
	女性 前期高齢者	253	57.3	25.3	10.3	25.7
	後期高齢者	538	50.0	20.4	11.7	21.9
状況認定	一般高齢者	785	57.2	24.2	12.0	21.9
	事業対象者	391	52.4	21.5	10.5	19.4
	要支援1・2	391	46.0	20.2	10.7	19.9

単位：%

		安定期にひとり暮らしの高齢者などの	日常生活で困ったことを気軽に相談や	と家族介護のための支援を充実させるこ	その他	無回答
全体		33.6	38.1	25.1	1.6	13.2
性・年齢	男性 前期高齢者	38.2	41.6	27.4	3.0	7.4
	後期高齢者	28.7	31.5	22.5	2.8	15.9
	女性 前期高齢者	44.7	45.8	28.5	0.4	5.1
	後期高齢者	31.0	39.0	24.3	0.6	16.0
状況認定	一般高齢者	33.9	40.6	27.6	1.7	8.9
	事業対象者	35.8	37.3	18.4	1.5	17.1
	要支援1・2	30.7	33.8	26.6	1.5	17.9

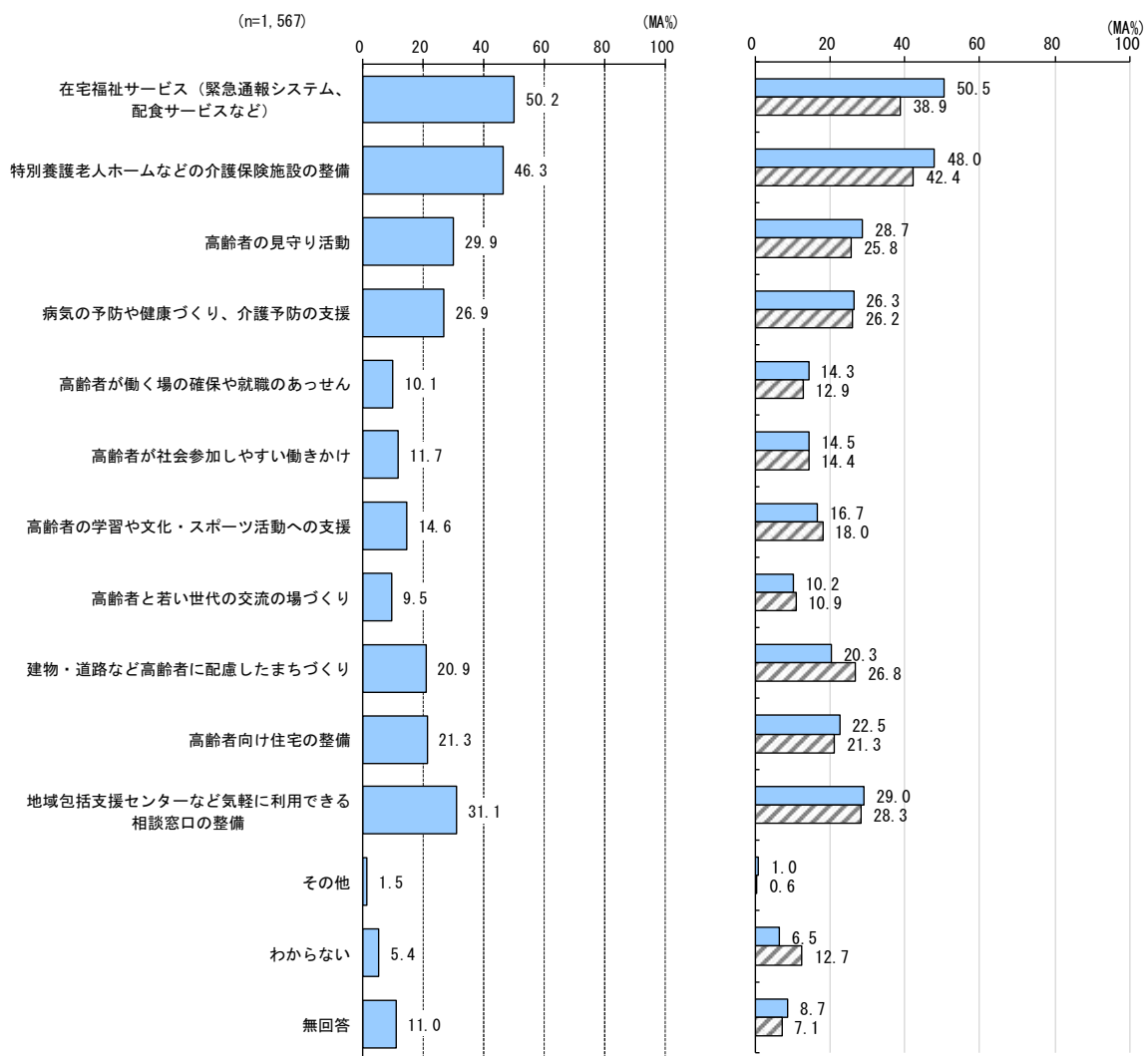
(5) 今後充実を望む高齢者保健福祉の施策

●問 11.6 高齢者保健福祉について、今後どのような施策の充実を望まれますか。(いくつでも)

- 今後充実を望む高齢者保健福祉の施策について、「在宅福祉サービス（緊急通報システム、配食サービスなど）」が50.2%で最も多く、次いで「特別養護老人ホームなどの介護保険施設の整備」が46.3%、「地域包括支援センターなど気軽に利用できる相談窓口の整備」が31.1%となっています。
- 要介護認定者調査も合わせた高齢者全体で前回調査と比べると、「在宅福祉サービス（緊急通報システム、配食サービスなど）」「特別養護老人ホームなどの介護保険施設の整備」は多く、「建物・道路など高齢者に配慮したまちづくり」は少なくなっています。

【今後充実を望む高齢者保健福祉の施策 (MA)】

【高齢者全体での前回との比較】



■ 高齢者全体 (n=2,803) ▨ (前回) 高齢者全体 (n=2,792)

- 性・年齢別にみると、前期高齢者・後期高齢者ともに、女性では男性に比べ、「高齢者と若い世代の交流の場づくり」「建物・道路など高齢者に配慮したまちづくり」「地域包括支援センターなど気軽に利用できる相談窓口の整備」が多くなっています。
また、前期高齢者では後期高齢者に比べ、「在宅福祉サービス（緊急通報システム、配食サービスなど）」「特別養護老人ホームなどの介護保険施設の整備」「高齢者が働く場の確保や就職のあっせん」「高齢者が社会参加しやすい働きかけ」「高齢者の学習や文化・スポーツ活動への支援」「高齢者向け住宅の整備」が多くなっています。
- 認定該当状況別にみると、身体が状況が悪化するにつれて、「在宅福祉サービス（緊急通報システム、配食サービスなど）」が少なくなる傾向がみられます。
また、一般高齢者、事業対象者では、「高齢者の学習や文化・スポーツ活動への支援」「高齢者向け住宅の整備」が多くなっています。

単位：％

		母数 (n)	今後充実を望む高齢者保健福祉の施策(MA)						高齢者の学習や文化への支援
			緊急通報システム、配食サービスなど	在宅福祉サービス	特別養護老人ホームの整備	高齢者の見守り活動	病気の予防や健康づくり	高齢者が働く場の確保	
全体		1,567	50.2	46.3	29.9	26.9	10.1	11.7	14.6
性・年齢	男性 前期高齢者	296	55.4	50.3	26.4	24.7	19.3	16.6	19.3
	後期高齢者	422	46.7	44.8	30.8	26.8	5.0	7.6	9.7
	女性 前期高齢者	253	53.8	53.0	33.6	28.1	19.4	20.2	22.5
	後期高齢者	538	50.7	44.1	30.1	28.6	5.6	8.9	13.0
状況認定	一般高齢者	785	52.2	49.2	29.3	27.1	15.9	15.8	18.1
	事業対象者	391	49.4	43.2	31.2	26.9	4.6	7.7	12.5
	要支援1・2	391	47.1	43.5	29.7	26.3	4.1	7.4	9.5

単位：％

		高齢者の交流の場づくり	今後充実を望む高齢者保健福祉の施策(MA)					無回答
			建物・道路など高齢者に配慮したまちづくり	高齢者向け住宅の整備	相な地域窓口に支援センター	その他	わからない	
全体		9.5	20.9	21.3	31.1	1.5	5.4	11.0
性・年齢	男性 前期高齢者	7.8	16.2	22.6	21.3	2.4	6.4	6.8
	後期高齢者	7.6	18.0	19.0	30.8	2.1	6.4	12.6
	女性 前期高齢者	13.0	28.1	27.3	32.0	0.8	5.5	4.3
	後期高齢者	10.4	23.0	20.3	37.5	0.9	3.9	12.6
状況認定	一般高齢者	10.7	20.3	23.3	29.4	1.0	6.4	7.1
	事業対象者	8.7	21.0	24.0	35.5	2.3	3.1	14.6
	要支援1・2	7.9	22.3	14.6	29.9	1.5	5.9	15.1

13. 自由意見

カテゴリー	延件数
介護保険制度・高齢者施策の方向性について	49
お金について	39
うち、保険料・利用料に関すること	24
自分の状況について	27
情報入手、相談窓口について	26
サービスについて	24
人材について	24
アンケートについて	23
将来への不安について	22
アクセス、バリアフリーについて	21
施設整備・入所について	20
居場所づくり・社会参加について	20
医療について	18
その他意見	33